

仙台市  
子ども・子育てに関するアンケート

—調査結果報告書—

令和6年3月

仙 台 市



---

## 目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査内容	1
3	調査対象及び調査方法	2
4	調査結果の見方	2
II	調査結果の概要	4
1	就学前児童の保護者向け	4
(1)	平日の幼稚園・保育施設等の利用状況について	4
(2)	平日の幼稚園・保育施設等の利用希望について	4
(3)	土曜・休日の幼稚園・保育施設等の利用希望について	4
(4)	病気の際の対応について	5
(5)	不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについて	5
(6)	地域の子育て支援事業の利用状況について	5
(7)	小学校就学後の放課後の過ごし方について	5
(8)	子育てに関する悩みや不安、相談先等について	6
(10)	保護者の就労状況について	6
(11)	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	6
(12)	子育てに関する市への意見等について	7
2	小学生の保護者向け	8
(1)	平日の放課後や休日の過ごし方について	8
(2)	放課後児童クラブの利用状況について	8
(3)	宿泊を伴う一時預かりについて	8
(4)	地域の子育て支援事業の利用状況について	8
(5)	子育てに関する悩みや不安、相談先等について	8
(6)	子育てに関する情報の入手方法等について	9
(7)	保護者の就労状況について	9
(8)	子育てに関する市への意見等について	9
III	調査結果（就学前児童の保護者向け）	10
1	子どもと家族の状況について	10
(1)	回答者	10
(2)	回答者の配偶関係	10
(3)	子どもの年齢	11
(4)	子どもの人数・末子の年齢	11
(5)	同居家族・家族構成・家族全員の人数	12
(6)	居住区	13
(7)	主に子育てを行っている人	13
2	平日の幼稚園・保育施設等の利用状況について	14

---

(1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況	14
(2) 平日に定期的に利用している事業	17
(3) 平日に定期的に利用している事業の実施場所	20
(4) 平日に幼稚園・保育施設等を利用している主な理由	22
(5) 現在利用している幼稚園・保育施設等を選んだ主な理由	24
(6) 平日に定期的に事業を利用していない主な理由	26
3 平日の幼稚園・保育施設等の利用希望について	27
(1) 平日に定期的に利用したい事業	27
(2) 特に幼稚園（預かり保育を含む）の利用を強く希望するか	33
(3) 仙台すくすくサポート事業を利用したいと思わない主な理由	35
4 土曜・休日の幼稚園・保育施設等の利用希望について	36
(1) 土曜日と日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望	36
(2) 土曜日と日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用が毎週ではない理由	42
5 病気の際の対応について	43
(1) 子どもが病気やケガで事業を利用できなかったことの有無	43
(2) 事業が利用できなかった際の対応	44
(3) 病児・病後児保育実施施設の今後の利用希望	47
(4) 病児・病後児保育実施施設を利用したいと思わない主な理由	50
6 不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについて	53
(1) 不定期に利用している一時預かり事業	53
(2) 不定期の一時預かり事業を利用していない主な理由	55
(3) 不定期の一時預かり事業の今後の利用希望	57
(4) 子どもを泊りがけで預ける際のショートステイの利用希望	59
(5) ショートステイの今後の利用希望状況	61
7 地域の子育て支援事業の利用状況について	63
(1) 地域の子育て支援事業の利用状況	63
(2) 地域の子育て支援事業の今後の利用希望	65
8 小学校就学後の放課後の過ごし方について	68
(1) 小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所	68
(2) 休日の放課後児童クラブの利用希望	70
9 子育てに関する悩みや不安、相談先等について	75
(1) 子育てをする上での悩みや負担に思うこと	75
(2) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無	78
(3) 子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無	78
(4) 子育てに関して気軽に相談できる人（場所）	79
(5) 利用したことのある市の子育て関連担当窓口	81
(6) 市の子育て関連担当窓口相談しやすい方法や日時	82
10 子育てに関する情報の入手方法等について	84
(1) 子育てに関する情報の主な入手先	84

---

(2) 子育てに関して入手している主な情報 .....	88
(3) 市に充実してほしい情報の入手先 .....	91
1 1 保護者の就労状況について .....	94
(1) 就労状況 .....	94
(2) 就労日数・時間及び出発時間・帰宅時間 .....	98
(3) フルタイムへの転換希望 .....	99
(4) 就労希望 .....	100
1 2 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について .....	102
(1) 育児休業の取得状況 .....	102
(2) 育児休業取得後の職場復帰状況 .....	106
(3) 育児休業の取得期間 .....	108
(4) 職場復帰が希望時期と異なっていた理由 .....	109
(5) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況 .....	110
1 3 子育てに関する市への意見等について .....	111
(1) 施策の評価（評価点） .....	112
(2) 今後注力すべき施策（重要度） .....	113
(3) 評価点×重要度 .....	114
(4) 意見・要望 .....	116
IV 調査結果（小学生の保護者向け） .....	125
1 子どもと家族の状況について .....	125
(1) 回答者 .....	125
(2) 回答者の配偶関係 .....	125
(3) 子どもの学年 .....	126
(4) 子どもの人数・末子の年齢 .....	126
(5) 同居家族・家族構成・家族全員の人数 .....	127
(6) 居住区 .....	128
(7) 主に子育てを行っている人 .....	128
2 平日の放課後や休日の過ごし方について .....	129
(1) 平日の放課後や休日の過ごし方 .....	129
(2) 放課後に過ごさせたい場所 .....	134
3 放課後児童クラブの利用状況について .....	137
(1) 放課後児童クラブの利用状況 .....	137
(2) 放課後児童クラブを利用していない理由 .....	143
4 宿泊を伴う一時預かりについて .....	145
(1) 保護者の用事により子どもを泊りがけで預ける必要がある場合、ショートステイを利用したいと思うか .....	145
(2) ショートステイを利用したい状況 .....	147
5 地域の子育て支援事業の利用状況について .....	149
(1) 仙台すくすくサポート事業の利用状況 .....	149

---

(2) 仙台すくすくサポート事業を利用していない主な理由 .....	150
6 子育てに関する悩みや不安、相談先等について .....	151
(1) 子育てをする上での悩みや不安に思うこと .....	151
(2) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無 .....	154
(3) 子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無 .....	154
(4) 子育てに関して気軽に相談できる人（場所） .....	155
(5) 利用したことのある市の子育て関連担当窓口 .....	156
(6) 市の子育て関連担当窓口に相談しやすい方法や日時 .....	157
7 子育てに関する情報の入手方法等について .....	159
(1) 子育てに関する情報の主な入手先 .....	159
(2) 子育てに関して入手している主な情報 .....	163
(3) 市に充実してほしい情報の入手先 .....	165
8 保護者の就労状況について .....	167
(1) 就労状況 .....	167
(2) 就労日数・時間及び出発時間・帰宅時間 .....	170
(3) フルタイムへの転換希望 .....	171
(4) 就労希望 .....	172
9 子育てに関する市への意見等について .....	174
(1) 施策の評価（評価点） .....	175
(2) 今後注力すべき施策（重要度） .....	176
(3) 評価点×重要度 .....	177
(4) 意見・要望 .....	179
V 資料編 .....	188
(1) 就学前児童の保護者向け調査票 .....	188
(2) 小学生の保護者向け調査票 .....	216

# I 調査概要

## 1 調査の目的

本市で子育てを行っている家庭の現状やニーズを把握し、令和7年度から5か年を計画期間とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」(子ども・子育て支援法の規定に基づく)を策定するための基礎資料を得ること、子育てに係る市民の意識や、本市子育て支援施策への意見等を把握することを目的とし、本調査を実施した。

## 2 調査内容

子育て家庭の現状とニーズを把握するため、以下の内容についてアンケート調査を実施した。  
※なお、調査を行うに当たり、アンケートの記入に係る仙台市の主な子ども・子育て支援関連事業の内容等について記載した参考資料を同封した。

就学前児童の保護者向け	小学生の保護者向け
1. 子どもと家族の状況について	1. 子どもと家族の状況について
2. 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況について	2. 平日の放課後や休日の過ごし方について
3. 平日の幼稚園・保育施設等の利用希望について	3. 放課後児童クラブの利用状況について
4. 土曜・休日の幼稚園・保育施設等の利用希望について	4. 宿泊を伴う一時預かりについて
5. 病気の際の対応について	5. 地域の子育て支援事業の利用状況について
6. 不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについて	6. 子育てに関する悩みや不安、相談先等について
7. 地域の子育て支援事業の利用状況について	7. 子育てに関する情報の入手方法等について
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	8. 保護者の就労状況について
9. 子育てに関する悩みや不安、相談先等について	9. 子育てに関する市への意見等について
10. 子育てに関する情報の入手方法等について	
11. 保護者の就労状況について	
12. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	
13. 子育てに関する市への意見等について	

### 3 調査対象及び調査方法

	就学前児童の保護者向け	小学生の保護者向け
対象	仙台市に居住する 就学前児童の保護者	仙台市に居住する 小学1～6年生の保護者
標本数	9,000人	7,200人
標本抽出	住民基本台帳（令和5年4月1日現在）より、0～5歳の年齢ごとに1,500人ずつを、各区の当該年齢の人口割合に応じて無作為抽出	住民基本台帳（令和5年4月1日現在）より、学年ごとに1,200人ずつを、各区の当該学年の人口割合に応じて無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収（WEB回答併用）	
調査期間	令和5年11月17日（金）～令和5年12月15日（金）	
回収結果	有効回収数：3,788件 （有効回収率：42.1%）	有効回収数：2,943件 （有効回収率：40.9%）

### 4 調査結果の見方

- ①グラフ・表中の「n（number of cases）」はアンケートの有効回収数を示している。
- ②割合はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100.0%にならない場合もある。
- ③複数回答の場合、回答の合計割合が100.0%を超える場合がある。
- ④グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略している場合がある。また、設問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化している場合がある。
- ⑤表内の網掛けは、選択肢に対するクロス集計軸ごとの最も高い割合、及びコメントで言及している内容を示している。
- ⑥各設問において回答のなかった選択肢については、図表内で「-」と表記している場合がある。また、回答の構成比について、回答者が少なく小数点第2位を四捨五入した際に0.1%未満となる値は「0.0」と表記している場合がある。
- ⑦調査結果の概要、及び調査結果の詳細において表記されている「<>」は、類似した複数の選択肢を合算した場合に使用している。

⑧就学前児童の年齢については、0歳～5歳と表記している。各年齢が該当する誕生日は次のとおり。

0歳	令和4年4月2日～令和5年4月1日	3歳	平成31年4月2日～令和2年4月1日
1歳	令和3年4月2日～令和4年4月1日	4歳	平成30年4月2日～平成31年4月1日
2歳	令和2年4月2日～令和3年4月1日	5歳	平成29年4月2日～平成30年4月1日

⑨クロス集計軸『両親の就労状況別』ごとの、家族構成の内訳は以下の通り。特に、「父親のみ就労」では両親と子どもの世帯の意見が、「母親のみ就労」ではひとり親と子どもの世帯の意見が多く反映されていることに留意が必要である。

		(上段:件 下段:%)				
		調査数	両親と子ども	ひとり親と子ども	多世代同居	無回答
両親の就労状況別	共働き	2,497 100.0	2,185 87.5	101 4.0	192 7.7	19 0.8
	父親のみ就労	919 100.0	804 87.5	37 4.0	71 7.7	7 0.8
	母親のみ就労	134 100.0	15 11.2	69 51.5	48 35.8	2 1.5
	親は働いていない	27 100.0	11 40.7	10 37.0	6 22.2	- -

⑩本書で「平成12年度調査」、「平成15年度調査」、「平成20年度調査」、「平成25年度調査」、「平成30年度調査」として表しているのは、それぞれ、市が平成12年度に実施した『仙台市子供をとりまく環境等に関する総合調査』、平成15年度に実施した『仙台市子供の権利等に関するアンケート調査』、平成20年度に実施した『子育てに関するアンケート調査』、平成25年度に実施した『子ども・子育てに関するアンケート調査』、平成30年度に実施した『子ども・子育てに関するアンケート調査』のことであり、参考として比較を行っている。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 就学前児童の保護者向け

#### (1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況について

- 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況については、「利用している」が77.9%となっており、平成30年度調査(71.7%)に比べ約6ポイント上昇している。(詳細はP.14。以下の文章に付した頁数も同様)
- 平日に定期的に利用している事業については、「認可保育所」(34.3%)が最も高く、次いで「幼稚園」(27.4%)、「認定こども園」(25.6%)、「幼稚園の預かり保育」(10.6%)となっている。平成30年度調査で最も割合が高かった「認可保育所」と第2位の「幼稚園」が10ポイント以上下降する一方、「認定こども園」が約19ポイント上昇している。(P.17)

#### (2) 平日の幼稚園・保育施設等の利用希望について

- 平日に定期的に利用したい事業については、「認可保育所」(43.3%)が最も高く、次いで「幼稚園」(41.7%)、「認定こども園」(41.2%)、「幼稚園の預かり保育」(26.9%)となっており、平成30年度調査に比べ「認定こども園」が約21ポイント上昇している。(P.27)
- 幼稚園・保育施設等の利用状況と利用希望を比較すると、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「認可保育所」、「認定こども園」「小規模保育事業(A型・B型)」、「その他の認可外の保育施設」の利用者は引き続きその事業の利用を希望する割合が最も高いが、「家庭的保育事業、小規模保育事業C型」の利用者は「認可保育所」を希望する割合が最も高い。(P.30)

#### (3) 土曜・休日の幼稚園・保育施設等の利用希望について

- 土曜日の幼稚園・保育施設等の利用希望は37.9%、日曜日・祝日の利用希望は17.5%となっている。(P.36)
- 両親の就労状況別にみると、土曜日、日曜日・祝日ともに、母親のみ就労の世帯の利用希望の割合が他の就労状況に比べ高く、土曜日で65.0%、日曜日・祝日で32.9%となっている。(P.41)

#### (4) 病気の際の対応について

- 子どもが病気やケガで事業を利用できなかったことの有無については、「あった」が83.2%となっており、その際の対応としては「母親が仕事を休んだ」(81.8%)、「父親が仕事を休んだ」(43.3%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(23.0%)など、両親や親族・知人による対応が多くなっている。平成30年度調査と比較すると、「母親が仕事を休んだ」が約8ポイント、「父親が仕事を休んだ」が約17ポイント上昇している一方で、「親族・知人に子どもをみてもらった」が約9ポイント下降している。(P.43~45)
- 病児・病後児保育実施施設の今後の利用希望については、「できれば利用したい」が27.6%となっており、平成30年度調査(19.4%)に比べ約8ポイント上昇している。(P.47)
- 病児・病後児保育実施施設を利用したいと思わない主な理由については、「親が仕事を休んで対応するため」(42.0%)が最も高く、次いで「利用料がかかる・高いため」(32.9%)、「利用手続き(申請等)が面倒なため」(29.4%)、「病児・病後児保育実施施設」の内容がよくわからないため」(28.5%)、「他人にみてもらうのが不安なため」(26.9%)となっている。(P.50)

#### (5) 不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについて

- 不定期の一時預かり事業については、「利用していない」が83.2%と最も高いものの、今後の利用希望では「利用したい」が39.8%となっている。(P.53、P.57)
- 子どもを泊りがけで預ける際のショートステイの利用希望については、「利用したい」が18.6%となっており、どのような状況のときに利用したいかは「保護者や家族の病気」(71.7%)や「保護者や家族の育児疲れ・不安」(64.3%)の割合が高い。(P.59、P.61)

#### (6) 地域の子育て支援事業の利用状況について

- 地域の子育て支援事業の利用状況については、「利用していない」が67.8%と最も高く、今後の利用希望も、「今後利用したい」と「利用回数を増やしたい」を合わせた《利用したい》が39.3%となり、平成30年度調査(44.3%)に比べ約5ポイント下降している。(P.63、P.65)

#### (7) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

- 小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所については、「放課後児童クラブ」(57.9%)、「自宅」(48.1%)、「習い事」(30.4%)を希望する割合が高くなっている。(P.68)

## (8) 子育てに関する悩みや不安、相談先等について

- 子育てをする上での悩みや負担に思うことについては、「子育てにかかる出費がかさむこと」(45.2%)が最も高く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」(40.9%)、「子どもの教育に関すること」(36.5%)、「子どもの病気や発育・発達に関すること」(33.9%)、「子どもの情緒や行動に関すること」(33.4%)など子どもの教育・行動に関する悩みや、「子育てのため自分の自由な時間が持てないこと」(34.7%)、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」(31.7%)など子育てによる時間的・身体的な影響に関する悩みが多くなっている。(P.75)
- 子育てに関して気軽に相談できる人(場所)については、「配偶者・パートナー」(86.1%)、「祖父母等の親族」(73.5%)などの身近な人を相談相手とする割合が高い。(P.79)

## (9) 子育てに関する情報の入手方法等について

- 市に充実してほしい情報の入手先については、今回の調査(令和5年)で新たに追加項目とした「SNSでの情報発信」(40.1%)が最も高く、次いで「幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ」(33.8%)、「仙台市政だより」(28.3%)、「仙台市ホームページの子育て関連ページ」(24.6%)となっている。(P.91)

## (10) 保護者の就労状況について

- 母親の就労状況については、「フルタイム」(36.5%)が最も高く、次いで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(24.2%)「パート・アルバイト等」(23.3%)となっている。平成30年度調査から「フルタイム」、が約6ポイント上昇しており、就労している母親が増加していることがうかがえる。(P.94、P.95)
- 両親の就労状況について過去の調査と比較すると、近年になるほど「共働き」の世帯の割合が上昇しており、今回の令和5年度調査では全体の6割以上が共働き世帯となっている。(P.96)

## (11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

- 育児休業の取得状況については、母親の取得率が55.8%であるのに対し、父親の取得率は14.1%となっている。(P.102)
- 父親の育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」(51.6%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(41.4%)など、職場の状況を理由とする回答や、「収入減となり、経済的に苦しくなりそうだった」(30.9%)といった経済面からの理由、「配偶者が育児休業を取得した」(30.1%)など、配偶者や親族の状況を理由とする回答が多い。(P.104)

## (12) 子育てに関する市への意見等について

※本市で取り組む各施策について、施策の評価及び今後注力すべき施策をそれぞれ5段階評価でたずね、得られた回答から「評価点」と「重要度」を算出した（算出方法はP.111参照）。

- 重要度が平均より高く評価点が平均より低い優先対応項目として、「いじめの防止に関する取り組みの強化」、「虐待問題など、子どもの人権に関する取り組みの強化」、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所の充実」、「認可保育所や幼稚園等にかかる費用負担の軽減」、「就労の有無にかかわらず、気軽に利用できる保育サービスの充実」、「子どもが多くいる世帯の経済的負担の軽減」、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ」が位置している。（P.115）

## 2 小学生の保護者向け

### (1) 平日の放課後や休日の過ごし方について

- 平日の放課後の子どもの過ごし方について、14～16 時の時間帯では、「親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる」(25.3%) が最も高くなっており、次いで「放課後児童クラブで過ごす」が 19.8%となっている。(P.129)
- 16～18 時の時間帯では、14～16 時に比べ「親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる」(43.0%) や「学習塾や習い事に行っている」(14.2%) が上昇しており、18 時以降になると「親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる」(85.5%) が大多数を占めている。(P.129)
- 平日の放課後に過ごさせたい場所については、「自宅」(77.7%)、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」(60.7%) がともに高く、次いで「放課後児童クラブ」(22.6%) となっている。(P.134)

### (2) 放課後児童クラブの利用状況について

- 放課後児童クラブの利用状況について、平日に利用している割合は 26.0%、土曜日は 4.1%、長期の休みは 25.4%となっている。平成 30 年度調査から、平日が約 4 ポイント、長期の休みが約 5 ポイント上昇しており、放課後児童クラブの利用者が増加していることがうかがえる。(P.137、P.138)

### (3) 宿泊を伴う一時預かりについて

- 保護者の用事により子どもを泊りがけで預ける必要がある場合のショートステイの利用希望については、「利用したい」が 15.6%であり、利用したい状況については「保護者や家族の病気」が 83.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(35.9%) となっている。(P.145、P.147)

### (4) 地域の子育て支援事業の利用状況について

- 仙台すくすくサポート事業の利用状況については、「利用していない」が 98.3%と大多数を占めている。その主な理由としては、「子どもを預かってもらう必要がないため」(64.2%)、「仙台すくすくサポート事業」の内容がよく分からないため」(32.2%)、「子どもの父親または母親がみるため」(24.5%) など、利用の必要性がないことや事業の認知度の低さを理由とする回答が上位を占めている。(P.149、P.150)

### (5) 子育てに関する悩みや不安、相談先等について

- 子育てをする上での悩みや負担に思うことについては、「子育てにかかる出費がかさむこと」(42.9%)、「子どもの教育に関すること」(41.5%) がともに高く、次いで「子どもの情緒や行動

に関すること」(29.2%)など、経済的な負担や子どもの教育・行動に関する内容が多くなっている。平成30年度調査で第4位だった「子どもとの時間を十分にとれないこと」と、第6位だった「子どもの病気や発育・発達に関すること」の順位の入替わりがみられる。(P.151、P.152)

- 子育てに関して気軽に相談できる人(場所)については、「配偶者・パートナー」(78.6%)、「祖父母等の親族」(66.2%)などの身近な人を相談相手とする割合が高い。(P.155)

## (6) 子育てに関する情報の入手方法等について

- 市に充実してほしい情報の入手先については、「小学校が発行しているお知らせ」(50.3%)が最も高く、次いで「仙台市政だより」(31.4%)、「SNSでの情報発信」(30.1%)、「仙台市ホームページの子育て関連ページ」(20.5%)となっている。(P.165)

## (7) 保護者の就労状況について

- 母親の就労状況については、「パート・アルバイト等」(39.7%)が最も高く、次いで「フルタイム」(38.7%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(16.8%)となっている。平成30年度調査より「フルタイム」が約6ポイント上昇し、「パート・アルバイト等」が下降していることから、フルタイムで就労している母親が増加していることがうかがえる。(P.167、P.168)

## (8) 子育てに関する市への意見等について

※本市で取り組む各施策について、施策の評価及び今後注力すべき施策をそれぞれ5段階評価でたずね、得られた回答から「評価点」と「重要度」を算出した(算出方法はP.174参照)。

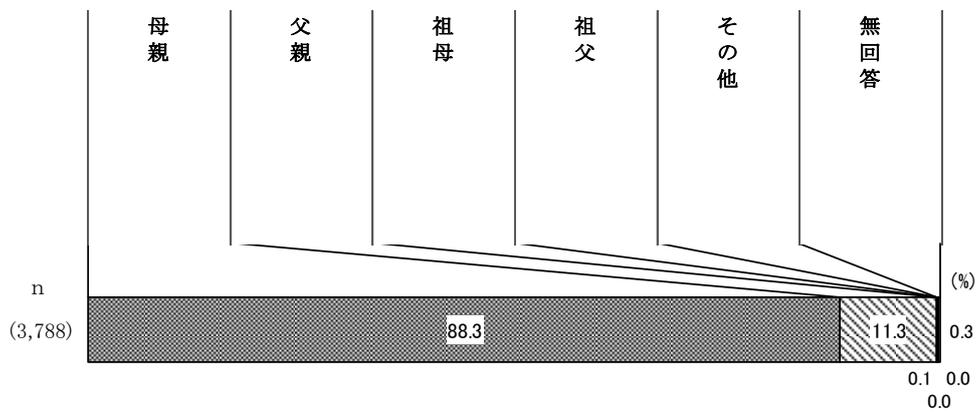
- 重要度が平均より高く評価点が平均より低い優先対応項目として、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所の充実」、「いじめの防止に関する取り組みの強化」「虐待問題など、子どもの人権に関する取り組みの強化」「就労の有無にかかわらず、気軽に利用できる子育て支援サービスの充実」、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境改善の働きかけ」が位置している。(P.178)

# Ⅲ 調査結果（就学前児童の保護者向け）

## 1 子どもと家族の状況について

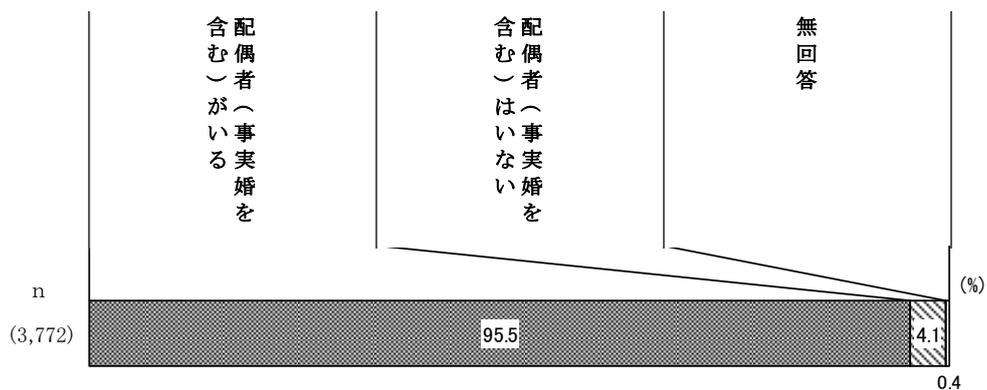
### （1）回答者

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さまから見た関係でお答えください。（〇は1つ）



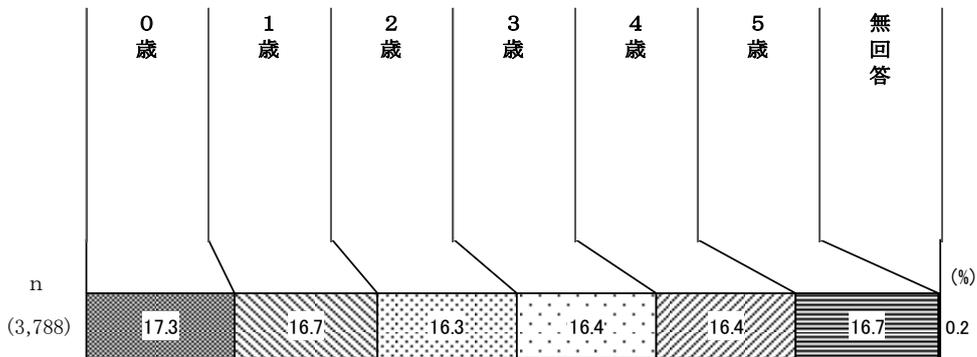
### （2）回答者の配偶関係

問1-1 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（〇は1つ）



### （３）子どもの年齢

問２ 宛名のお子さまの誕生日は、次のうちどれに該当しますか。（○は１つ）

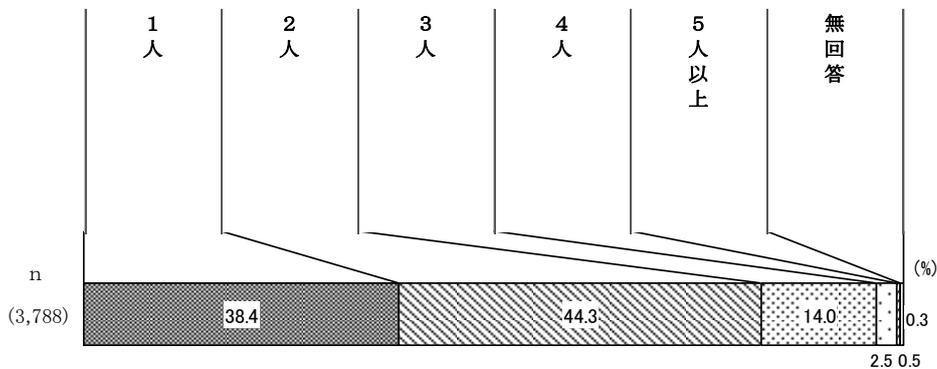


※誕生日を年齢に置き換え集計している

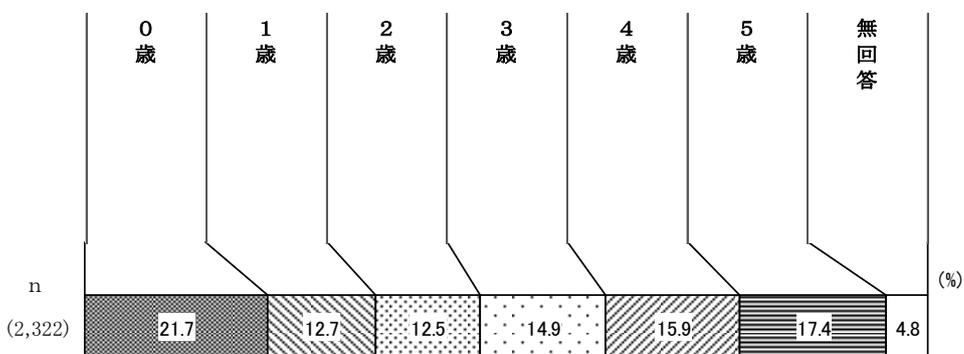
### （４）子どもの人数・末子の年齢

問３ 宛名のお子さまも含めて、全部でお子さまは何人いますか。また、２人以上いる場合、末子の生年月を[ ]内に数字でご記入ください。（年号は○でお選びください）

<子どもの人数>



<末子の年齢>

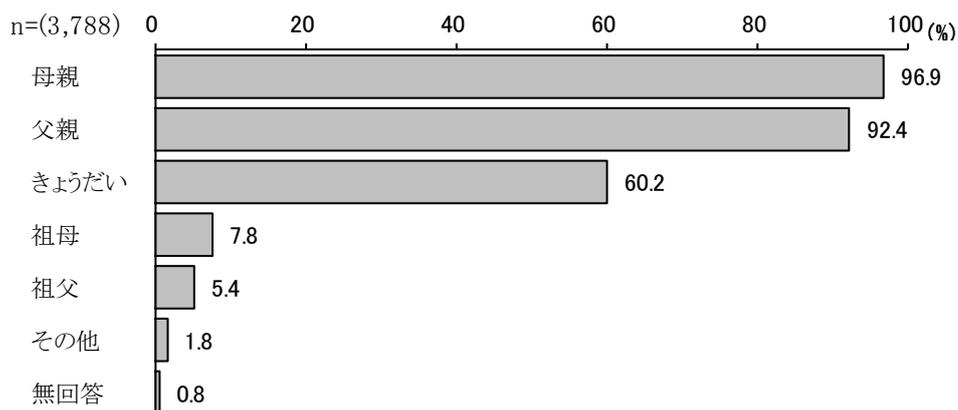


※末子の方の生年月を年齢に置き換え集計している

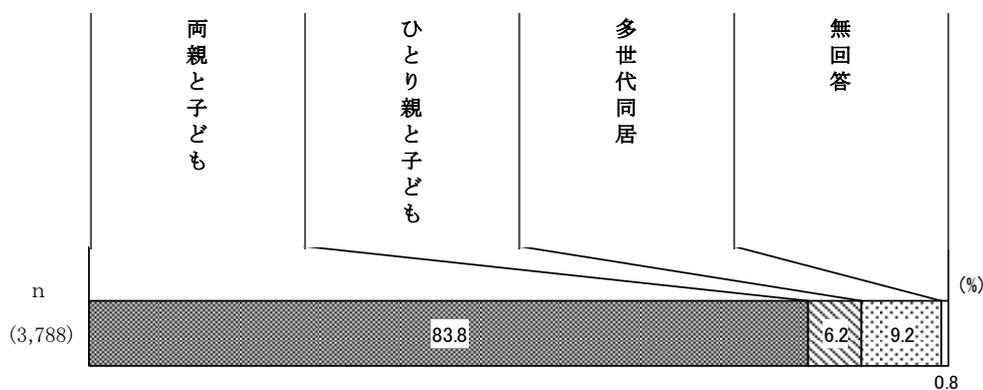
## (5) 同居家族・家族構成・家族全員の人数

問4 宛名のお子さまと同居（2世帯住宅を含む）されている方について、該当するすべての番号に○をつけてください。続柄はお子さんからみた関係です。また、同居している家族全員（回答者ご本人とお子さまを含む）の人数を[ ]内に数字でご記入ください。

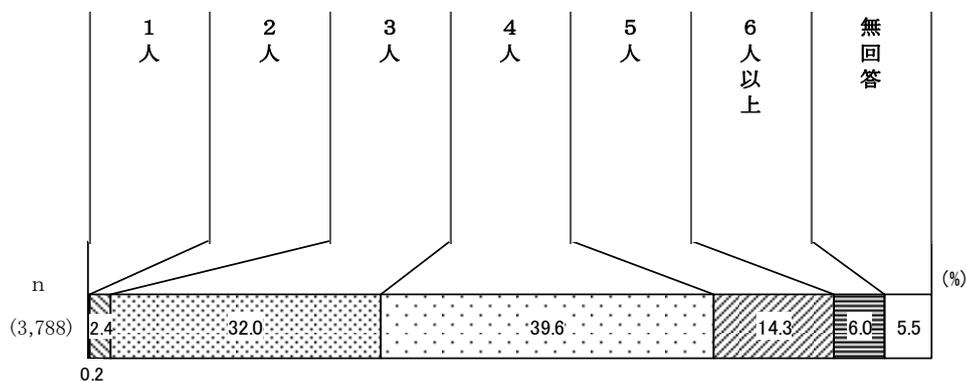
### <同居家族>



### <家族構成>

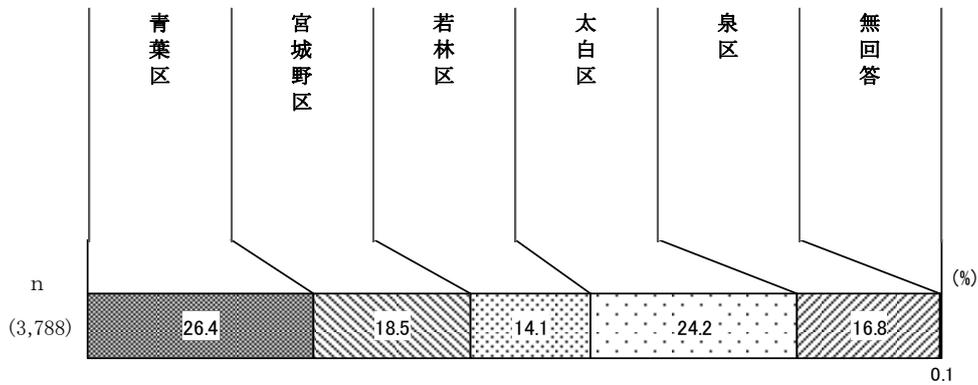


### <家族全員の人数>



（6）居住区

問5 お住まいの区と町丁名を（ ）内にご記入ください。

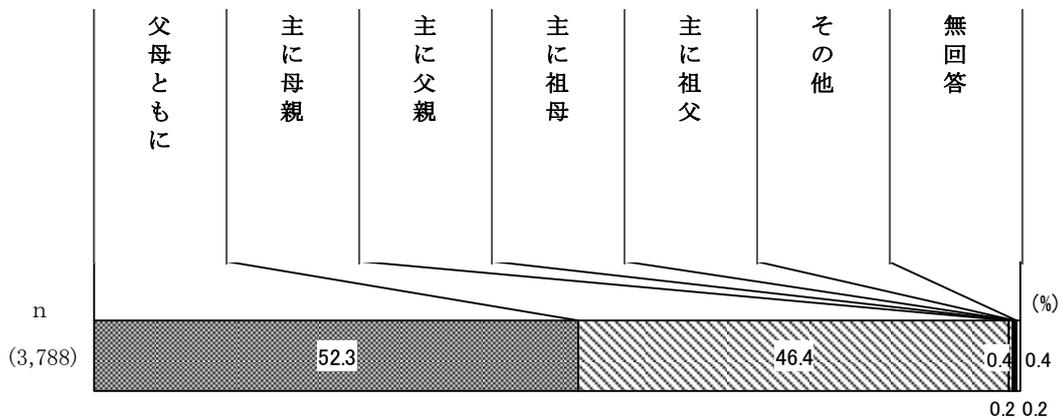


※町丁名のグラフは非掲載

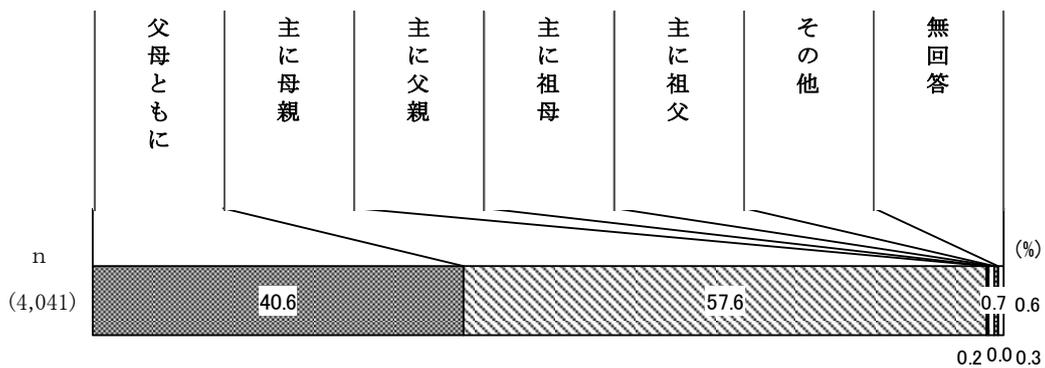
（7）主に子育てを行っている人

問6 宛名のお子さまの子育てを主に行っているのは、お子さまから見た関係でどなたですか。

（○は1つ）



参考：平成30年度調査



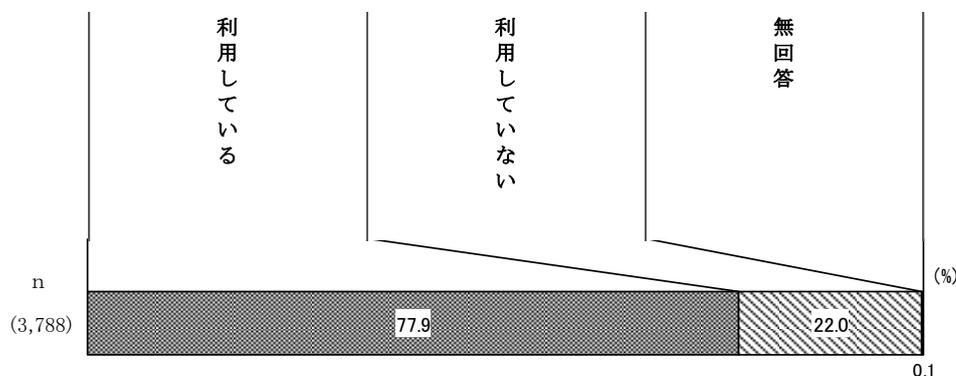
## 2 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況について

### (1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況

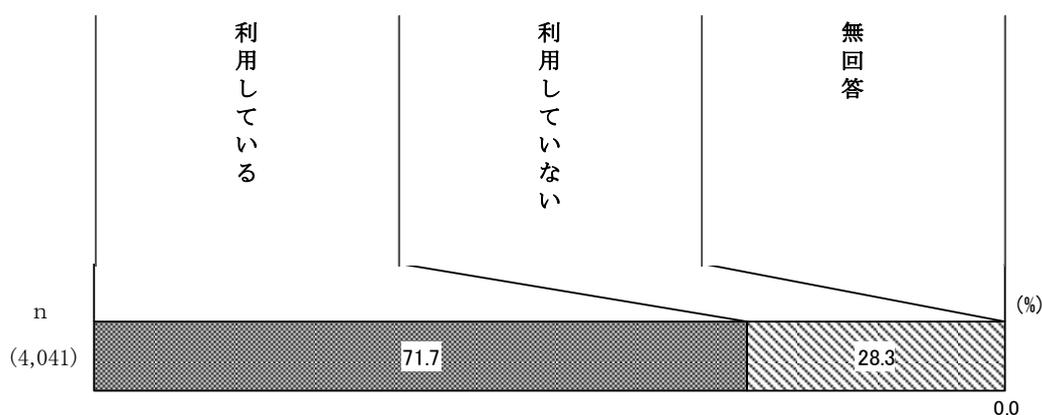
- ▶平日の幼稚園・保育施設等の利用状況については、「利用している」が 77.9%、「利用していない」が 22.0%となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「利用している」が約 6 ポイント上昇しており、幼稚園・保育施設等を利用している割合が高くなっている。

問 7 宛名のお子さまは現在、平日に「幼稚園・保育施設等」を利用されていますか。

(○は1つ)

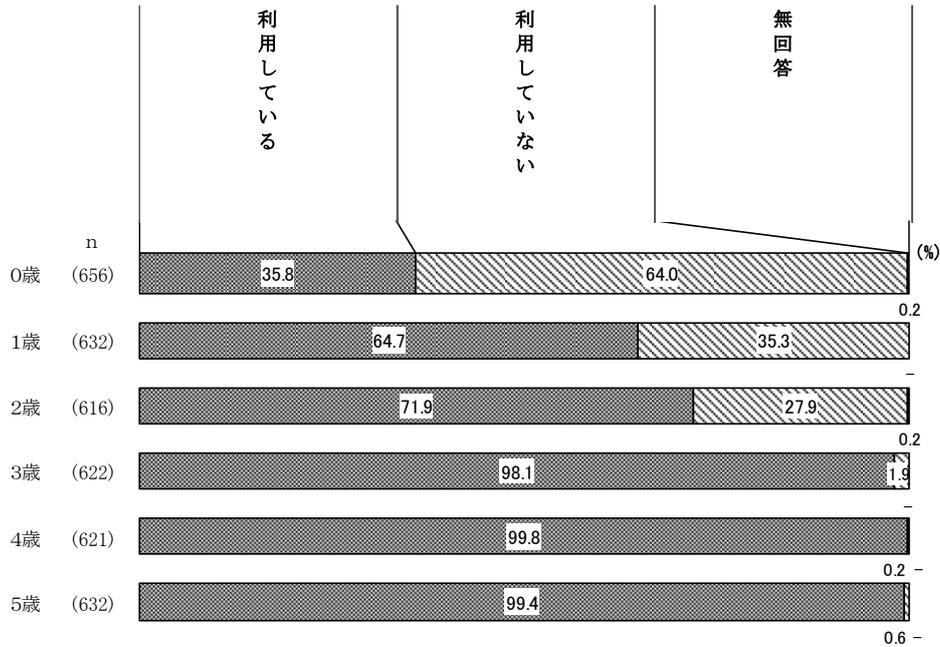


参考：平成 30 年度調査



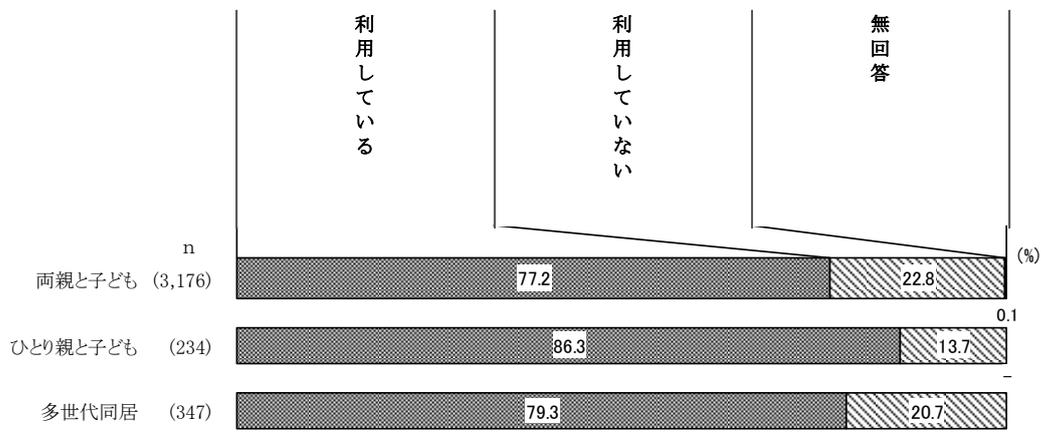
【子どもの年齢別／平日の幼稚園・保育施設等の利用状況】

▶ 子どもの年齢別にみると、「利用している」は年齢が上がるにつれて上昇する傾向にあり、3歳では98.1%と、0～2歳に比べ大きく上昇している。4歳以上になると、ほぼすべての児童が幼稚園・保育施設等を「利用している」と回答している。



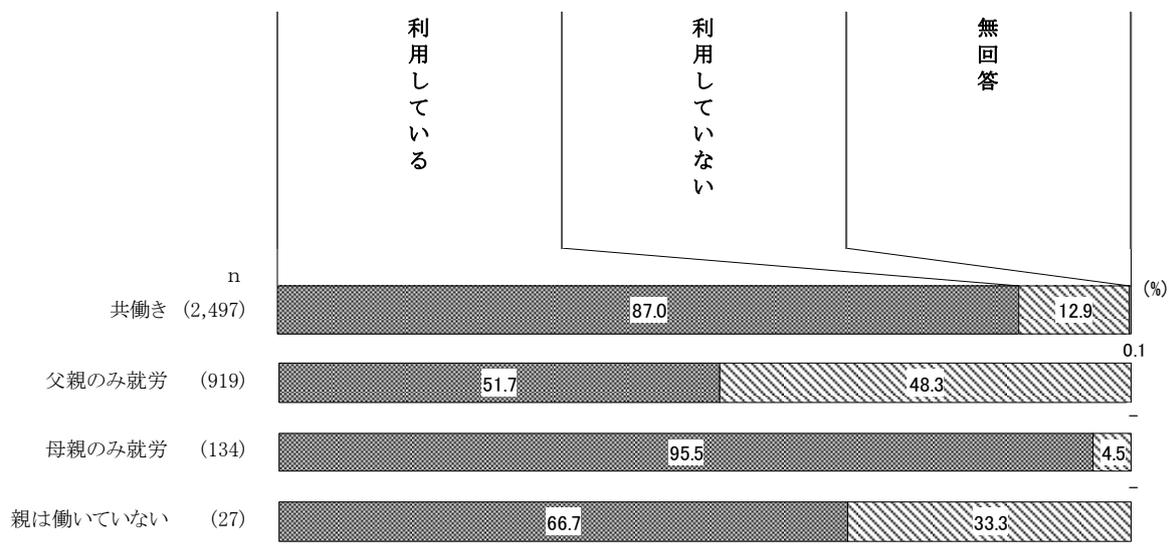
【家族構成別／平日の幼稚園・保育施設等の利用状況】

▶ 家族構成別にみると、「利用している」はひとり親と子どもの世帯で86.3%となっており、他の家族構成に比べ、平日に幼稚園・保育施設等を利用している割合が高い。



## 【両親の就労状況別／平日の幼稚園・保育施設等の利用状況】

▶両親の就労状況別にみると、「利用している」は共働きの世帯で 87.0%、母親のみ就労の世帯で 95.5%と、他の就労状況に比べ高いが、一方で父親のみ就労の世帯では 51.7%、親は働いていない世帯では 66.7%となっている。

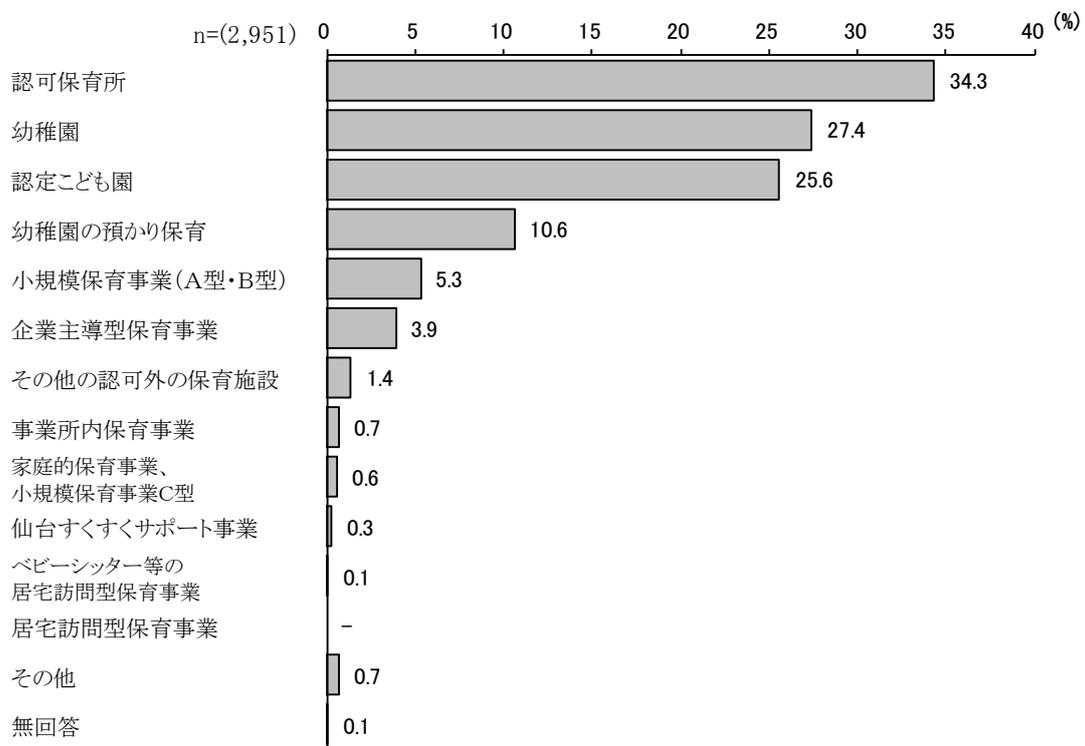


※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別の家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

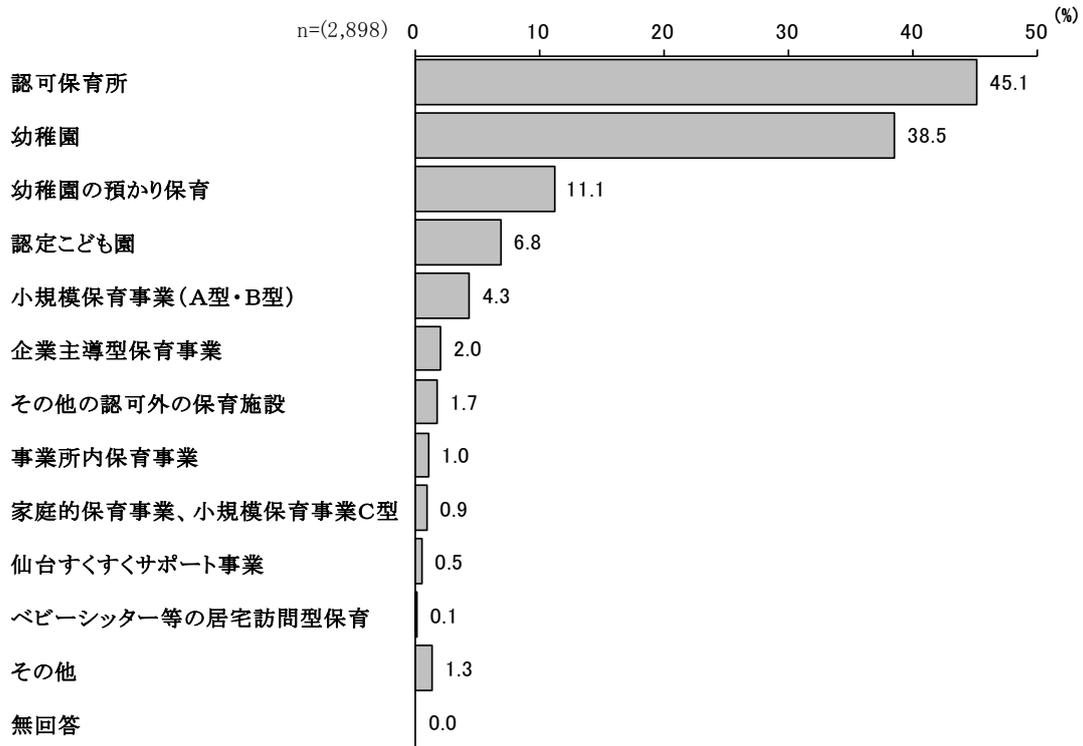
（２）平日に定期的に利用している事業

- ▶平日に定期的に利用している事業については、「認可保育所」が 34.3%と最も高く、次いで「幼稚園」（27.4%）、「認定こども園」（25.6%）となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「認可保育所」「幼稚園」の順位に変化はないものの、両事業ともにそれぞれ 10 ポイント以上下降する一方、「認定こども園」が約 19 ポイント大幅に上昇している。

※『2（１）平日の幼稚園・保育施設等の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ。  
問 7-1 定期的に継続して利用している事業の番号すべてに○をつけてください。



参考：平成30年度調査



【子どもの年齢別／平日に定期的にご利用している事業】

▶子どもの年齢別にみると、0～2歳では「認可保育所」の割合が最も高いが、幼稚園の利用が可能となる3～5歳では「幼稚園」の割合が最も高い。

(上段:件 下段:%)

	調査数	認可保育所	幼稚園	認定こども園	幼稚園の預かり保育	小規模保育事業(A型・B型)	企業主導型保育事業	その他の認可外の保育施設	事業所内保育事業	C型小規模保育事業、家庭的保育事業、サポート事業	仙台すくすくサポート事業	居宅訪問型保育事業	ベビーシッター等の居宅訪問型保育事業	その他	無回答	
																件
子どもの年齢別	0歳	235	96	2	60	-	34	22	8	9	3	3	1	-	4	1
		100.0	40.9	0.9	25.5	-	14.5	9.4	3.4	3.8	1.3	1.3	0.4	-	1.7	0.4
	1歳	409	177	2	108	2	62	41	8	6	4	-	1	-	2	-
		100.0	43.3	0.5	26.4	0.5	15.2	10.0	2.0	1.5	1.0	-	0.2	-	0.5	-
	2歳	443	174	48	106	15	54	31	6	3	12	1	-	-	9	-
		100.0	39.3	10.8	23.9	3.4	12.2	7.0	1.4	0.7	2.7	0.2	-	-	2.0	-
	3歳	610	196	246	154	97	4	7	5	1	-	2	-	-	1	-
	100.0	32.1	40.3	25.2	15.9	0.7	1.1	0.8	0.2	-	0.3	-	-	0.2	-	
4歳	620	188	242	172	94	1	8	6	1	-	2	-	-	1	-	
	100.0	30.3	39.0	27.7	15.2	0.2	1.3	1.0	0.2	-	0.3	-	-	0.2	-	
5歳	628	180	266	155	104	1	5	9	2	-	1	-	-	5	1	
	100.0	28.7	42.4	24.7	16.6	0.2	0.8	1.4	0.3	-	0.2	-	-	0.8	0.2	

【家族構成別／平日に定期的に利用している事業】

▶家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では他の世帯と比べ、「認可保育所」の割合が高く、「幼稚園」の割合が低い。

(上段:件 下段:%)

		調査数	認可保育所	幼稚園	認定こども園	保育園 幼稚園の預かり	小規模保育事業 (A型・B型)	企業主導型 保育事業	その他の認可外の 保育施設	事業所内保育事業	C型 小規模保育事業、 家庭的保育事業、 サポーター事業	仙台 すくすく 保育園	ベビーシッター等の 居宅訪問型 保育事業	居宅訪問型保育事業	その他	無回答
家族構成別	両親と子ども	2,451 100.0	830 33.9	697 28.4	614 25.1	266 10.9	136 5.5	97 4.0	35 1.4	18 0.7	11 0.4	7 0.3	2 0.1	-	16 0.7	-
	ひとり親と子ども	202 100.0	82 40.6	36 17.8	57 28.2	19 9.4	6 3.0	9 4.5	3 1.5	4 2.0	5 2.5	2 1.0	-	-	1 0.5	-
	多世代同居	275 100.0	93 33.8	72 26.2	76 27.6	26 9.5	13 4.7	8 2.9	3 1.1	-	3 1.1	-	-	-	5 1.8	2 0.7

【両親の就労状況別／平日に定期的に利用している事業】

▶両親の就労状況別にみると、共働きの世帯、母親のみ就労の世帯では「認可保育所」の割合が最も高いが、父親のみ就労の世帯、親は働いていない世帯では「幼稚園」の割合が最も高い。

(上段:件 下段:%)

		調査数	認可保育所	幼稚園	認定こども園	保育園 幼稚園の預かり	小規模保育事業 (A型・B型)	企業主導型 保育事業	その他の認可外の 保育施設	事業所内保育事業	C型 小規模保育事業、 家庭的保育事業、 サポーター事業	仙台 すくすく 保育園	ベビーシッター等の 居宅訪問型 保育事業	居宅訪問型保育事業	その他	無回答
両親の 就労 状況別	共働き	2,172 100.0	867 39.9	388 17.9	596 27.4	275 12.7	147 6.8	104 4.8	32 1.5	20 0.9	11 0.5	4 0.2	2 0.1	-	4 0.2	1 0.0
	父親のみ就労	475 100.0	24 5.1	348 73.3	84 17.7	12 2.5	1 0.2	3 0.6	4 0.8	2 0.4	2 0.4	2 0.4	-	-	13 2.7	-
	母親のみ就労	128 100.0	68 53.1	17 13.3	33 25.8	14 10.9	3 2.3	3 2.3	1 0.8	-	3 2.3	1 0.8	-	-	-	-
	親は働いていない	18 100.0	4 22.2	7 38.9	5 27.8	-	1 5.6	-	-	-	-	-	1 5.6	-	2 11.1	-

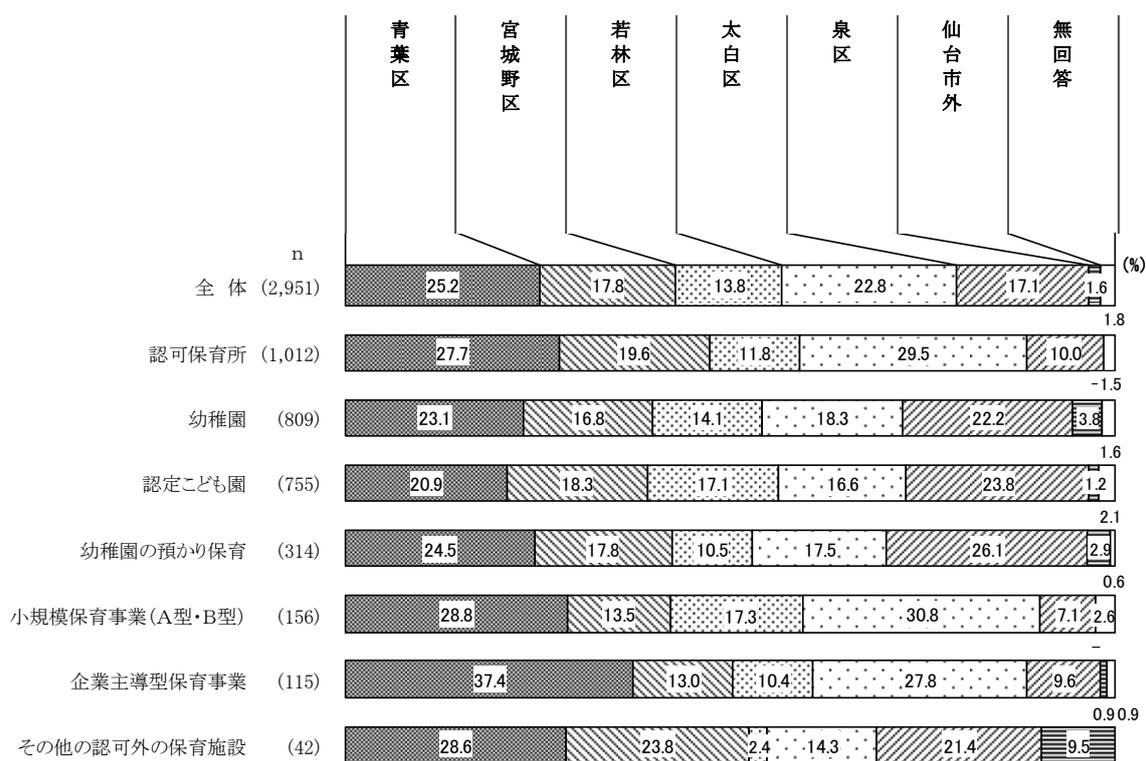
※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別の家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

### (3) 平日に定期的に利用している事業の実施場所

▶認可保育所では、若林区と泉区が約 10%、幼稚園の預かり保育では若林区が 10.5%と他の区より低い傾向にある。その他の事業では、実施場所にばらつきがみられる。

※『2 (1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ。  
 問 7-2 利用している事業の実施場所はどこですか。問 7-1 で 2 つ以上の事業を回答された方は、利用日数（時間）が最も多い事業についてお答え下さい。（○は 1 つ）

「1」を選択した方は、実施場所の区と町丁名を（ ）内にご記入ください。

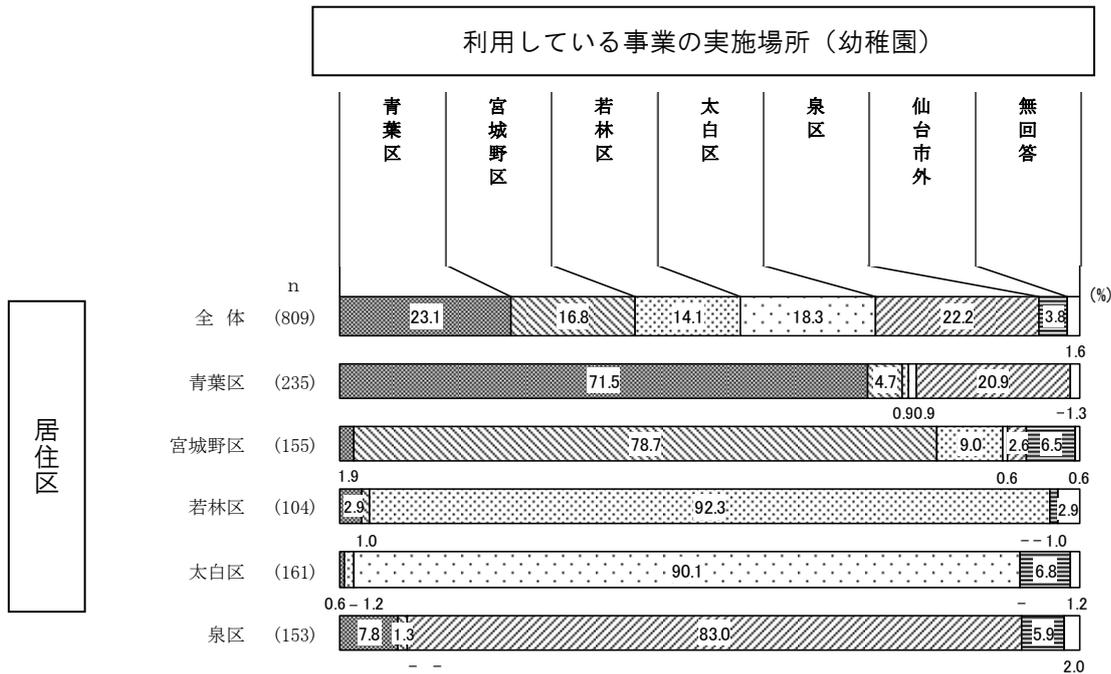


※町丁名のグラフは非掲載

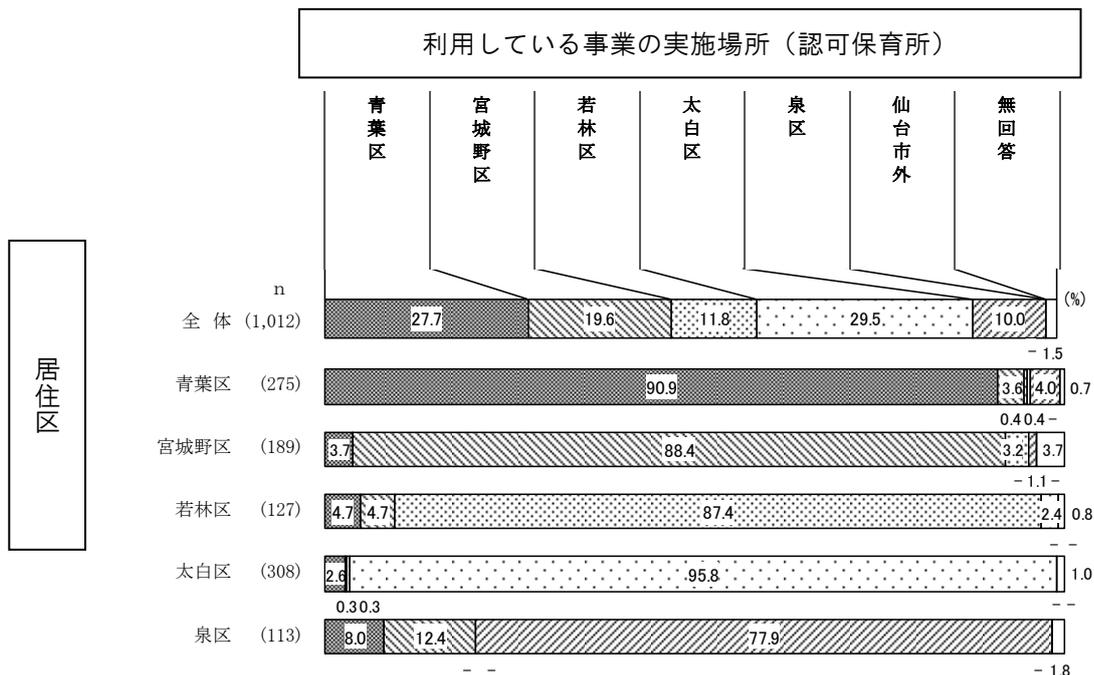
【現在の居住区別／平日に定期的に利用している事業の実施場所】

- ▶ 利用者の多い幼稚園、認可保育所について、他の事業の利用者も含めた上で、利用している幼稚園、認可保育所の実施場所を現在の居住区別にみると、ともに現在の居住区内で利用している割合が最も高いが、幼稚園利用者のうち青葉区と宮城野区の居住者は、他の居住区で利用している割合が相当程度ある。特に青葉区居住者では、青葉区での利用割合が 71.5% となっており、泉区（20.9%）など他の居住区で利用している割合が比較的高い。  
また、認可保育所利用者のうち泉区の居住者は、他の居住区で利用している割合が比較的高い。

<幼稚園利用者>



<認可保育所利用者>



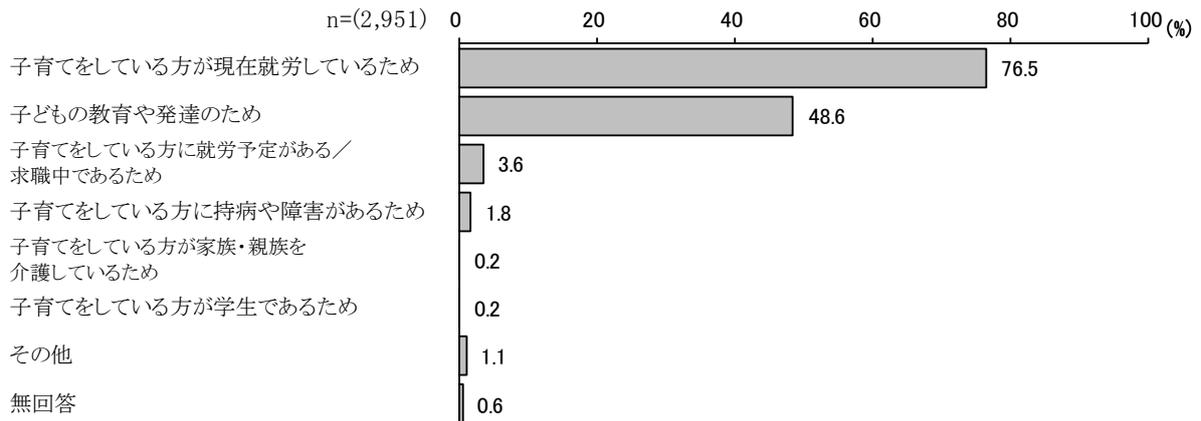
#### (4) 平日に幼稚園・保育施設等を利用している主な理由

▶平日に幼稚園・保育施設等を利用している主な理由については、「子育てをしている方が現在就労しているため」が76.5%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(48.6%)となっている。

※『2(1) 平日幼稚園・保育施設等の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ。

問7-3 平日に幼稚園・保育施設等を利用している主な理由は何ですか。

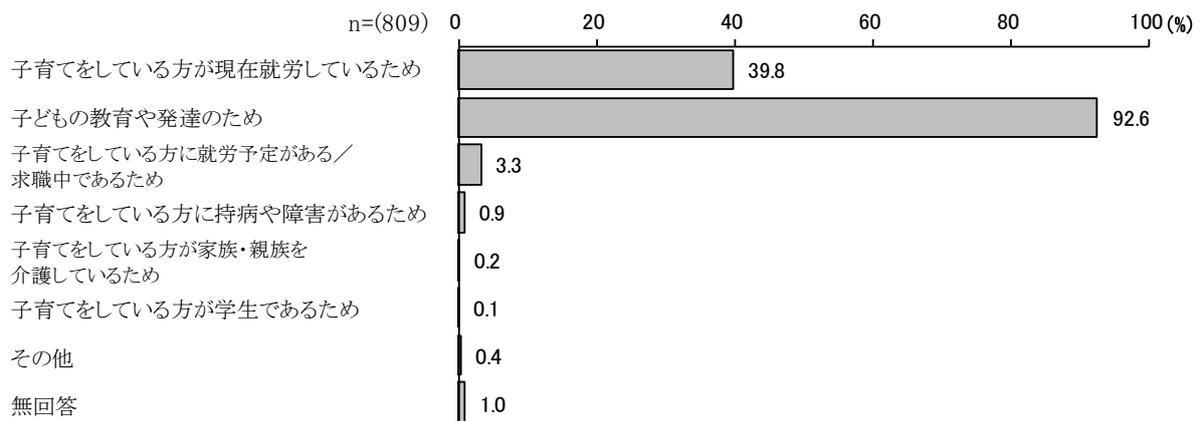
(当てはまるものすべてに○)



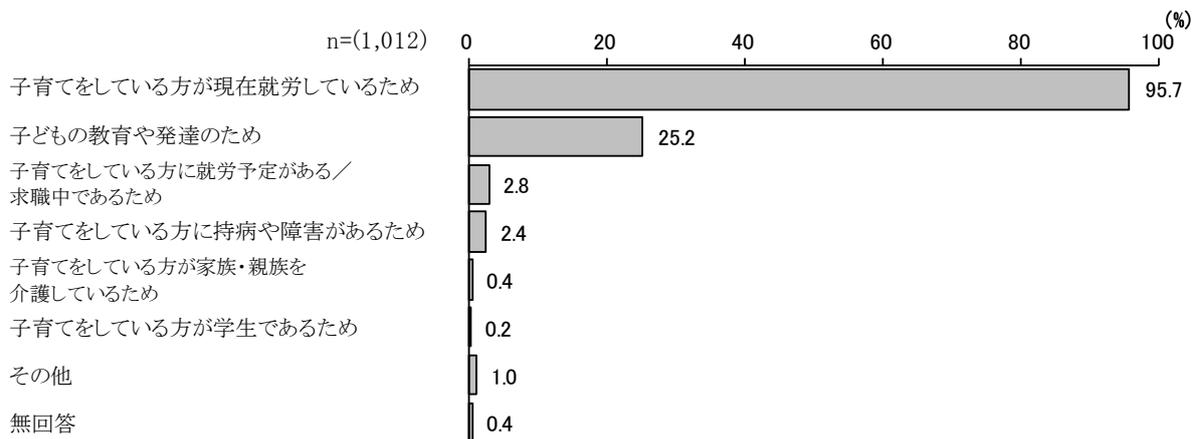
【幼稚園・認可保育所利用者／平日に幼稚園・保育施設等を利用している主な理由】

▶利用者の多い幼稚園、認可保育所について、それぞれの施設のみ利用者に絞った（複数回答を除外した）上で、利用している主な理由をみると、幼稚園のみ利用者では「子どもの教育や発達のため」が92.6%と最も高く、認可保育所のみ利用者では「子育てをしている方が現在就労しているため」が95.7%と最も高い。

<幼稚園のみ利用者>



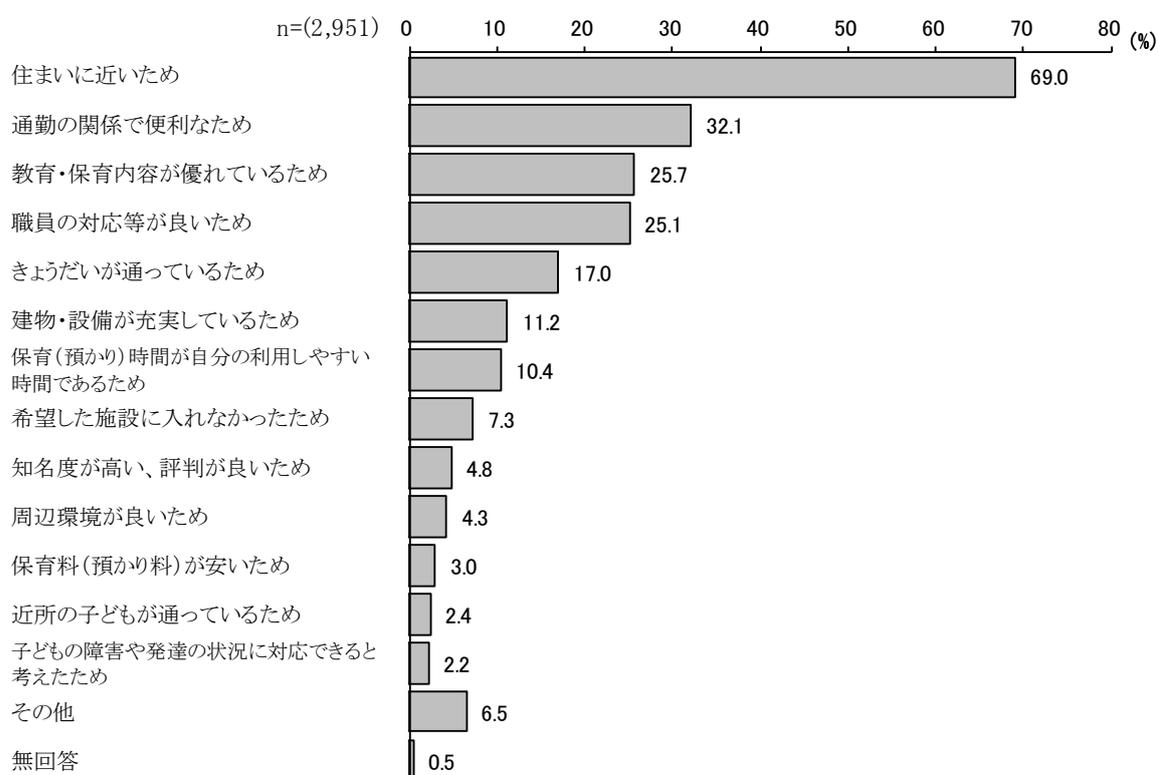
<認可保育所のみ利用者>



## (5) 現在利用している幼稚園・保育施設等を選んだ主な理由

▶現在利用している幼稚園・保育施設等を選んだ主な理由については、「住まいに近いため」が 69.0%と最も高く、次いで「通勤の関係で便利のため」(32.1%)、「教育・保育内容が優れているため」(25.7%)、「職員の対応等が良かったため」(25.1%)、となっており、施設の利便性や内容等を評価する回答が多い。

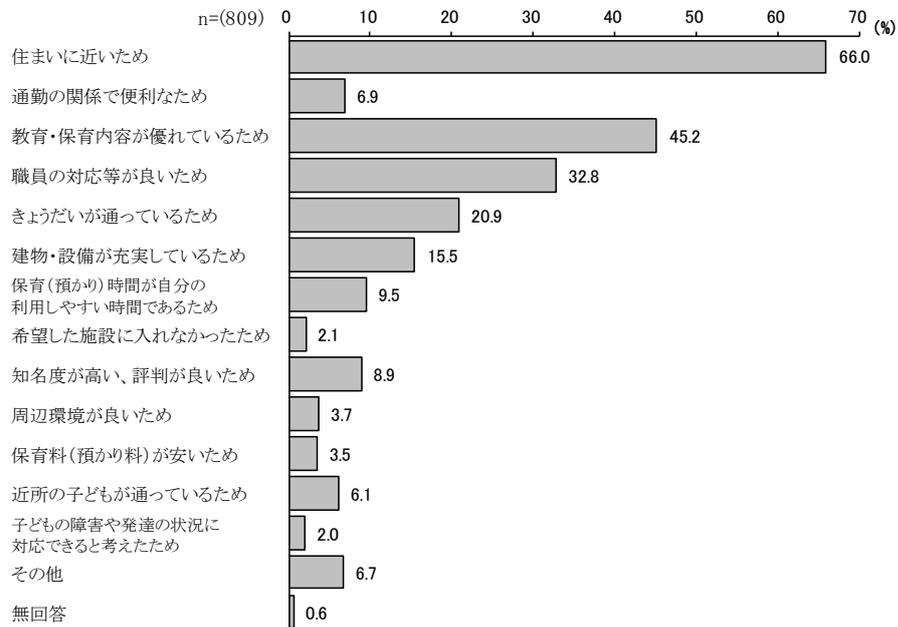
※『2(1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ。  
問 7-4 現在利用している幼稚園・保育施設等を選んだ主な理由は何ですか。(○は3つまで)



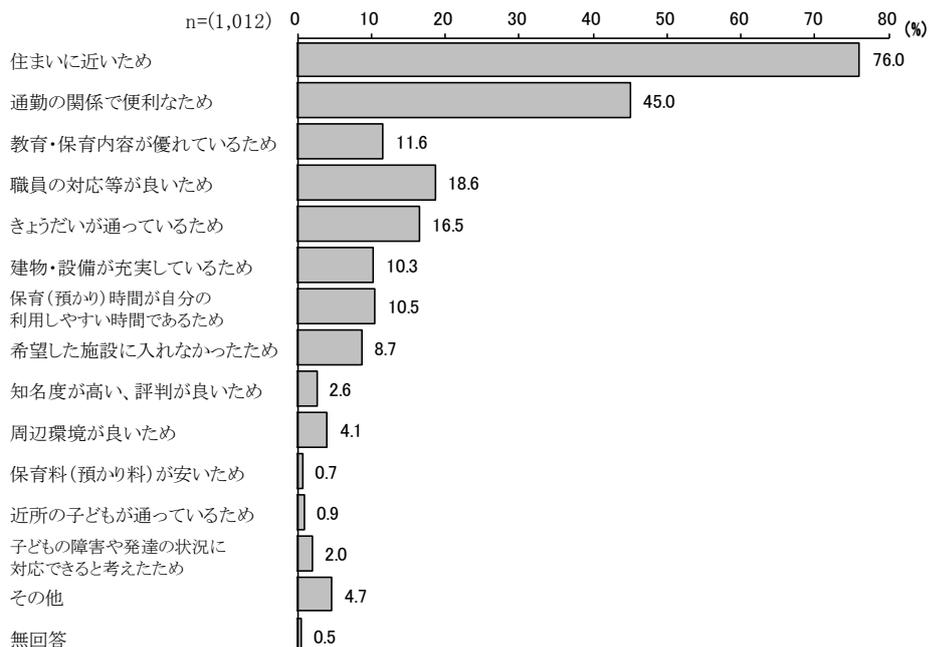
【幼稚園・認可保育所利用者／現在利用している幼稚園・保育施設等を選んだ主な理由】

- ▶利用者の多い幼稚園、認可保育所について、それぞれの施設のみ利用者にとった（複数回答を除外した）上で、選んだ主な理由をみると、ともに「住まいに近いため」が最も高いが、幼稚園のみ利用者では「教育・保育内容が優れているため」（45.2%）、「職員の対応等が良かったため」（32.8%）など、施設の対応や内容を評価する回答が多い。
- ▶一方、認可保育所のみ利用者では「通勤の関係で便利のため」（45.0%）など、施設の利便性を評価する回答が多い。

<幼稚園のみ利用者>



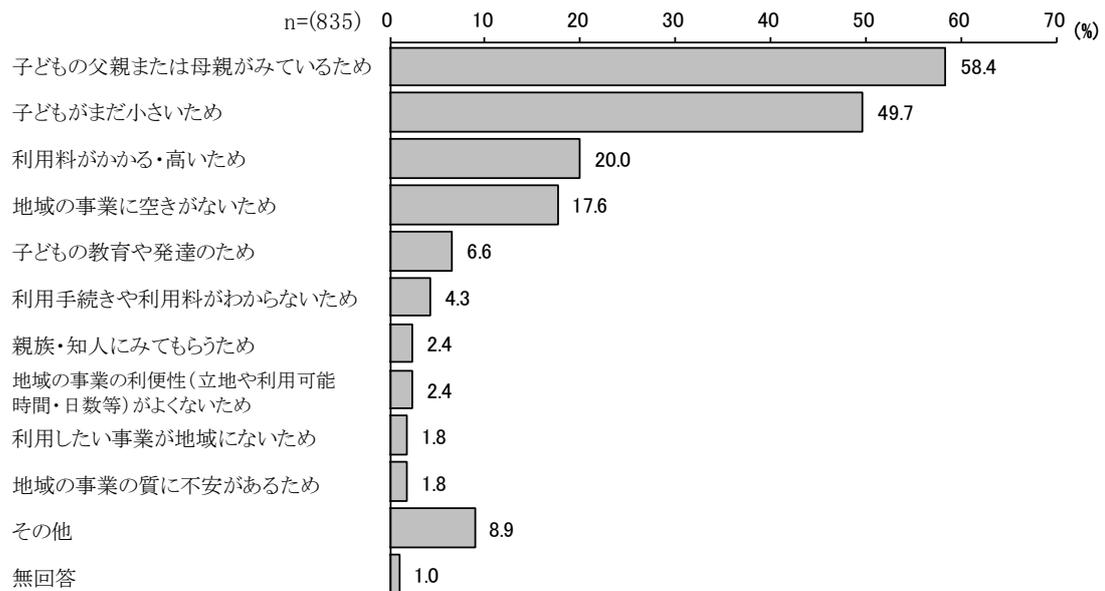
<認可保育所のみ利用者>



## (6) 平日に定期的に事業を利用していない主な理由

▶平日に定期的に事業を利用していない主な理由については、「子どもの父親または母親がみているため」が 58.4%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」(49.7%)、「利用料がかかる・高いため」(20.0%)、「地域の事業に空きがないため」(17.6%)となっている。

※『2(1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況』で「利用していない」と回答した方のみ。  
問 7-5 利用していない主な理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

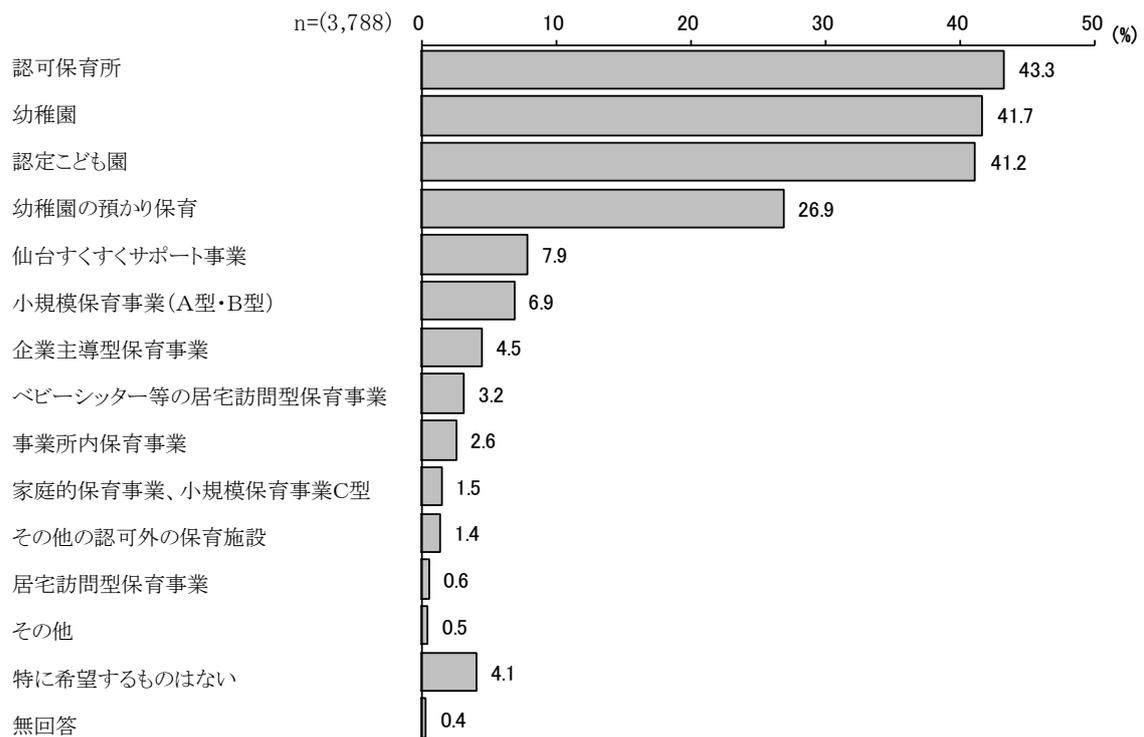


### 3 平日の幼稚園・保育施設等の利用希望について

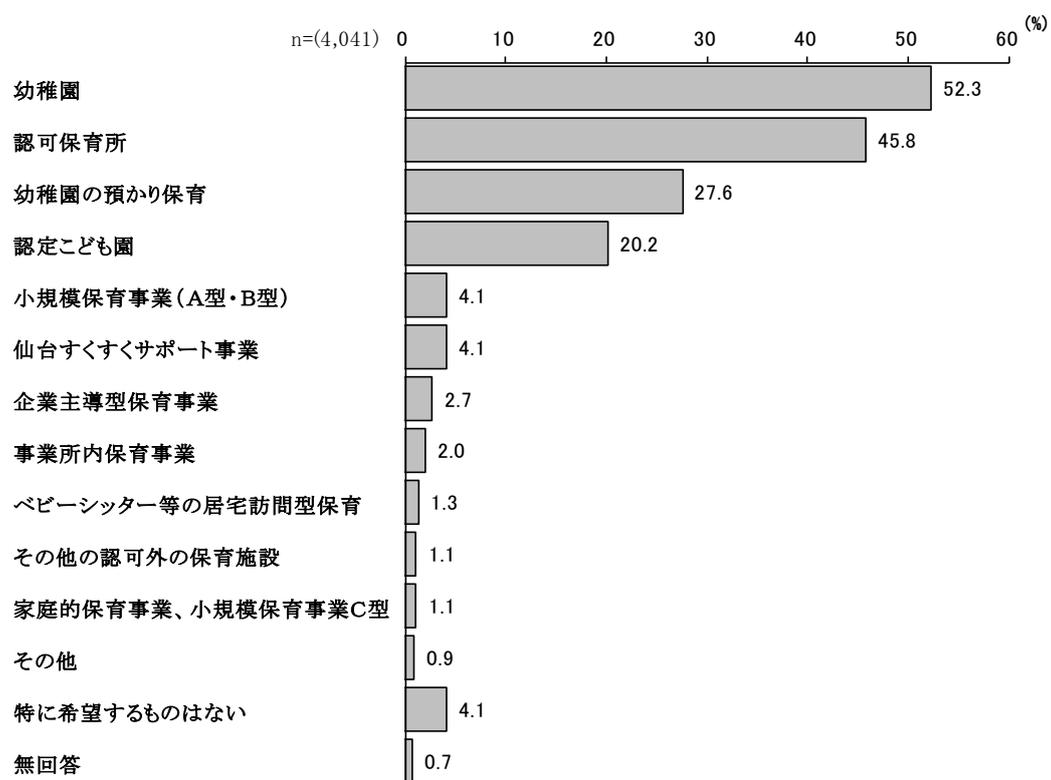
#### (1) 平日に定期的に利用したい事業

- ▶ 平日に定期的に利用したい事業については、「認可保育所」が 43.3%と最も高く、次いで「幼稚園」（41.7%）、「認定こども園」（41.2%）、「幼稚園の預かり保育」（26.9%）となっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、「幼稚園」が約 11 ポイント下降し、「認可保育所」と順位が逆転している。また、「認定こども園」が 21 ポイント上昇している。

問 8 現在「利用している」、「利用していない」にかかわらず、宛名のお子さまについて、平日、定期的に継続して利用したいと考える事業をお答えください。利用したい事業の番号すべてに○をつけ、利用したい時間帯等について、[ ] 内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかることがあります。



参考：平成 30 年度調査



【子どもの年齢別／平日に定期的にご利用したい事業】

▶子どもの年齢別にみると、0～1歳では「認可保育所」の割合が最も高いが、2～5歳では「幼稚園」の割合が最も高い。

		調査数	認可保育所	幼稚園	認定こども園	幼稚園の預かり保育	仙台サポーターズ事業	小規模保育事業（A型・B型）	企業主導型保育事業	ベビーシッター等の居宅訪問型保育事業	事業所内保育事業	C型小規模保育事業、家庭的保育事業、	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育事業	その他	特に希望するものは	無回答
子どもの年齢別	0歳	656 100.0	400 61.0	193 29.4	363 55.3	134 20.4	64 9.8	115 17.5	61 9.3	32 4.9	42 6.4	24 3.7	17 2.6	4 0.6	3 0.5	37 5.6	5 0.8
	1歳	632 100.0	312 49.4	240 38.0	306 48.4	151 23.9	51 8.1	84 13.3	38 6.0	24 3.8	17 2.7	13 2.1	10 1.6	6 0.9	4 0.6	35 5.5	2 0.3
	2歳	616 100.0	250 40.6	269 43.7	254 41.2	160 26.0	52 8.4	37 6.0	25 4.1	26 4.2	8 1.3	8 1.3	6 1.0	3 0.5	5 0.8	26 4.2	-
	3歳	622 100.0	245 39.4	288 46.3	216 34.7	196 31.5	50 8.0	13 2.1	16 2.6	18 2.9	8 1.3	4 0.6	6 1.0	3 0.5	4 0.6	14 2.3	-
	4歳	621 100.0	221 35.6	284 45.7	228 36.7	186 30.0	42 6.8	7 1.1	13 2.1	17 2.7	13 2.1	4 0.6	6 1.0	4 0.6	1 0.2	16 2.6	4 0.6
	5歳	632 100.0	210 33.2	302 47.8	192 30.4	189 29.9	39 6.2	5 0.8	14 2.2	5 0.8	10 1.6	3 0.5	7 1.1	3 0.5	3 0.5	26 4.1	4 0.6

【家族構成別／平日に定期的にご利用したい事業】

▶家族構成別による、特徴的な差はみられない。

		調査数	認可保育所	幼稚園	認定こども園	幼稚園の預かり保育	仙台サポーターズ事業	小規模保育事業（A型・B型）	企業主導型保育事業	ベビーシッター等の居宅訪問型保育事業	事業所内保育事業	C型小規模保育事業、家庭的保育事業、	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育事業	その他	特に希望するものは	無回答
家族構成別	両親と子ども	3,176 100.0	1,388 43.7	1,369 43.1	1,319 41.5	887 27.9	252 7.9	231 7.3	153 4.8	105 3.3	88 2.8	46 1.4	43 1.4	19 0.6	14 0.4	117 3.7	12 0.4
	ひとり親と子ども	234 100.0	107 45.7	67 28.6	96 41.0	46 19.7	27 11.5	13 5.6	11 4.7	12 5.1	7 3.0	4 1.7	5 2.1	3 1.3	3 1.3	13 5.6	-
	多世代同居	347 100.0	137 39.5	133 38.3	133 38.3	75 21.6	19 5.5	17 4.9	5 1.4	6 1.7	4 1.2	6 1.7	3 0.9	1 0.3	3 0.9	23 6.6	3 0.9

【両親の就労状況別／平日に定期的にご利用したい事業】

▶両親の就労状況別にみると、共働きの世帯、母親のみ就労の世帯では「認可保育所」の割合が最も高いが、父親のみ就労の世帯、親は働いていない世帯では「幼稚園」の割合が最も高い。

		調査数	認可保育所	幼稚園	認定こども園	幼稚園の預かり保育	仙台サポーターズ事業	小規模保育事業（A型・B型）	企業主導型保育事業	ベビーシッター等の居宅訪問型保育事業	事業所内保育事業	C型小規模保育事業、家庭的保育事業、	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育事業	その他	特に希望するものは	無回答
両親の就労状況別	共働き	2,497 100.0	1,340 53.7	766 30.7	1,179 47.2	690 27.6	192 7.7	204 8.2	128 5.1	85 3.4	71 2.8	32 1.3	39 1.6	17 0.7	8 0.3	63 2.5	6 0.2
	父親のみ就労	919 100.0	142 15.5	683 74.3	225 24.5	246 26.8	82 8.9	37 4.0	27 2.9	29 3.2	19 2.1	18 2.0	7 0.8	3 0.3	6 0.7	72 7.8	7 0.8
	母親のみ就労	134 100.0	78 58.2	27 20.1	59 44	25 18.7	11 8.2	5 3.7	3 2.2	3 2.2	2 1.5	2 1.5	1 0.7	1 0.7	2 1.5	4 3.0	-
	親は働いていない	27 100.0	10 37.0	12 44.4	11 40.7	7 25.9	2 7.4	-	-	-	1 3.7	-	-	1 3.7	-	3 11.1	-

※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

<利用状況と利用希望の比較>

- ▶現在利用している事業と利用を希望する事業を比較すると、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「認可保育所」、「認定こども園」、「小規模保育事業（A型・B型）」、「その他の認可外の保育施設」の利用者は引き続きその事業の利用を希望する割合が最も高いが、「家庭的保育事業、小規模保育事業C型」の利用者は「認定こども園」を希望する割合が最も高い。
- ▶また、「事業所内保育事業」の利用者は、「認可保育所」と「事業所内保育事業」を、「企業主導型保育事業」の利用者は「認定こども園」と「企業主導型保育事業」を希望する割合が高い。
- ▶一方、幼稚園・保育施設等を「利用していない」と回答した人は、「幼稚園」を希望する割合が最も高い。

(上段:件 下段:%)

利用を希望する事業	調査数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育事業 (A型・B型)	家庭的保育事業、 小規模保育事業C型	事業所内保育事業	企業主導型保育事業	施設 その他の認可外の保育	居宅訪問型保育事業	ベビーシッター等の居 宅訪問型保育事業	仙台 すくすくサポート 事業	その他	い 特に 希望 する もの はな	無 回答
現在利用している事業																
幼稚園	809 100.0	773 95.6	425 52.5	38 4.7	63 7.8	4 0.5	-	4 0.5	6 0.7	4 0.5	1 0.1	16 2.0	53 6.6	4 0.5	8 1.0	3 0.4
幼稚園の預かり保育	314 100.0	277 88.2	294 93.6	21 6.7	43 13.7	5 1.6	-	3 1.0	3 1.0	2 0.6	2 0.6	7 2.2	22 7.0	2 0.6	1 0.3	1 0.3
認可保育所	1,012 100.0	122 12.1	132 13.0	933 92.2	265 26.2	21 2.1	10 1.0	20 2.0	24 2.4	5 0.5	10 1.0	39 3.9	78 7.7	2 0.2	21 2.1	1 0.1
認定こども園	755 100.0	119 15.8	116 15.4	164 21.7	684 90.6	10 1.3	6 0.8	11 1.5	18 2.4	2 0.3	4 0.5	30 4.0	60 7.9	3 0.4	29 3.8	3 0.4
小規模保育事業(A型・B型)	156 100.0	45 28.8	44 28.2	85 54.5	86 55.1	96 61.5	2 1.3	2 1.3	8 5.1	2 1.3	1 0.6	3 1.9	9 5.8	-	2 1.3	-
家庭的保育事業、 小規模保育事業C型	19 100.0	4 21.1	5 26.3	8 42.1	14 73.7	3 15.8	7 36.8	-	3 15.8	-	-	-	2 10.5	-	1 5.3	-
事業所内保育事業	22 100.0	4 18.2	6 27.3	10 45.5	7 31.8	2 9.1	1 4.5	11 50.0	1 4.5	-	-	1 4.5	3 13.6	1 4.5	1 4.5	-
企業主導型保育事業	115 100.0	39 33.9	41 35.7	45 39.1	55 47.8	10 8.7	-	6 5.2	54 47.0	2 1.7	1 0.9	5 4.3	12 10.4	1 0.9	3 2.6	-
その他の認可外の保育施設	42 100.0	15 35.7	13 31.0	13 31.0	11 26.2	-	-	2 4.8	3 7.1	27 64.3	1 2.4	1 2.4	6 14.3	-	4 9.5	-
居宅訪問型保育事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッター等の 居宅訪問型保育事業	2 100.0	-	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仙台すくすくサポート事業	9 100.0	2 22.2	2 22.2	2 22.2	6 66.7	1 11.1	-	-	1 11.1	-	-	1 11.1	4 44.4	-	-	-
その他	22 100.0	13 59.1	6 27.3	7 31.8	9 40.9	-	-	-	1 4.5	-	-	1 4.5	3 13.6	2 9.1	2 9.1	1 4.5
利用していない	835 100.0	459 55.0	219 26.2	344 41.2	375 44.9	119 14.3	30 3.6	42 5.0	55 6.6	15 1.8	4 0.5	29 3.5	76 9.1	8 1.0	82 9.8	6 0.7

<利用希望（利用日数）>

▶利用を希望する事業の利用したい日数については、ほとんどの事業で「週5日」の割合が最も高くなっているが、「ベビーシッター等の居宅訪問型保育」、「仙台すくすくサポート事業」は「週1日」が最も高い。

	調査数	利用日数（1週あたり）					
		1日	2日	3日	4日	5日	1週当たり 平均日数
幼稚園	1,581	0.1%	0.3%	0.8%	1.0%	96.3%	4.96日
幼稚園の預かり保育	1,019	5.1%	6.8%	11.0%	5.1%	67.5%	4.29日
認可保育所	1,642	0.2%	0.3%	0.9%	2.7%	94.5%	4.94日
認定こども園	1,561	0.3%	0.4%	1.2%	2.0%	93.3%	4.93日
小規模保育事業（A型・B型）	263	0.8%	2.3%	1.9%	4.2%	87.1%	4.81日
家庭的保育事業、小規模保育事業C型	56	1.8%	1.8%	5.4%	5.4%	76.8%	4.69日
事業所内保育施設	99	2.0%	2.0%	2.0%	1.0%	91.9%	4.81日
企業主導型保育事業	170	0.6%	1.2%	1.2%	3.5%	91.2%	4.88日
その他の認可外の保育施設	53	9.4%	1.9%	1.9%	1.9%	83.0%	4.50日
居宅訪問型保育事業	23	17.4%	13.0%	4.3%	4.3%	43.5%	3.53日
ベビーシッター等の居宅訪問型保育	123	34.1%	26.8%	10.6%	-	18.7%	2.36日
仙台すくすくサポート事業	299	33.1%	21.7%	13.7%	1.3%	15.7%	2.36日
その他	20	20.0%	10.0%	10.0%	-	30.0%	3.14日

<利用希望（利用時間）>

▶利用を希望する事業の利用したい時間については、ほとんどの事業で、開始時間は「8時から」、終了時間は「18時まで」が最頻値となっている。

	調査数	利用時間（1日あたり）				
		1日当たり 平均時間	開始時間 （最頻値）	終了時間 （最頻値）		
幼稚園	1,581	6.63時間	9時から	55.4%	14時まで	39.5%
幼稚園の預かり保育	1,019	5.23時間	14時から	40.2%	18時まで	34.3%
認可保育所	1,642	9.53時間	8時から	52.3%	18時まで	46.8%
認定こども園	1,561	9.10時間	8時から	46.4%	18時まで	39.9%
小規模保育事業（A型・B型）	263	9.20時間	8時から	46.4%	18時まで	42.6%
家庭的保育事業、 小規模保育事業C型	56	8.96時間	8時から	33.9%	18時まで	33.9%
事業所内保育施設	99	9.36時間	8時から	56.6%	18時まで	48.5%
企業主導型保育事業	170	9.23時間	8時から	49.4%	18時まで	38.8%
その他の認可外の保育施設	53	8.88時間	8時から	43.4%	18時まで	35.8%
居宅訪問型保育事業	23	6.77時間	7時・9時から	26.1%	18時まで	30.4%
ベビーシッター等の居宅訪問型保育	123	4.88時間	9時から	20.3%	18時まで	13.8%
仙台すくすくサポート事業	299	3.89時間	9時から	13.0%	18時まで	22.4%
その他	20	6.38時間	8時から	25.0%	16時まで	20.0%

<平日に定期的に利用したい事業と居住区>

▶平日に定期的に利用したい事業と居住区については、利用希望者の多い認可保育所では泉区、幼稚園では若林区の割合がやや少なくなっているものの、居住区毎でそれほど大きな差はみられない。上記以外では、居住区毎のばらつきがみられる事業もあるが、概ね青葉区、太白区に居住している方たちの利用希望割合が高くなっている。

(上段:件 下段:%)

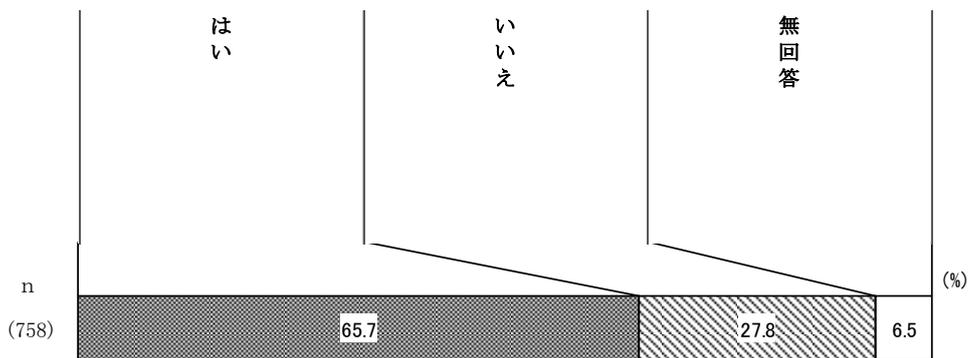
	調査数	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	無回答	
全体	3,788 100.0	999 26.4	699 18.5	533 14.1	917 24.2	635 16.8	5 0.1	
子どもの年齢別	認可保育所	1,642 100.0	409 24.9	318 19.4	235 14.3	463 28.2	214 13.0	3 0.2
	幼稚園	1,581 100.0	442 28.0	285 18.0	206 13.0	354 22.4	292 18.5	2 0.1
	認定こども園	1,561 100.0	374 24.0	303 19.4	235 15.1	351 22.5	295 18.9	3 0.2
	幼稚園の預かり保育	1,019 100.0	305 29.9	184 18.1	121 11.9	218 21.4	190 18.6	1 0.1
	仙台すくすくサポート事業	299 100.0	87 29.1	54 18.1	34 11.4	83 27.8	40 13.4	1 0.3
	小規模保育事業(A型・B型)	263 100.0	71 27.0	35 13.3	49 18.6	75 28.5	32 12.2	1 0.4
	企業主導型保育事業	170 100.0	52 30.6	28 16.5	22 12.9	43 25.3	24 14.1	1 0.6
	ベビーシッター等の 居宅訪問型保育事業	123 100.0	26 21.1	33 26.8	17 13.8	30 24.4	17 13.8	- -
	事業所内保育事業	99 100.0	30 30.3	17 17.2	10 10.1	28 28.3	14 14.1	- -
	家庭的保育事業、 小規模保育事業C型	56 100.0	20 35.7	6 10.7	3 5.4	18 32.1	9 16.1	- -
	その他の認可外の保育施設	53 100.0	19 35.8	10 18.9	5 9.4	12 22.6	7 13.2	- -
	居宅訪問型保育事業	23 100.0	7 30.4	7 30.4	2 8.7	4 17.4	3 13.0	- -
	その他	20 100.0	8 40.0	4 20.0	2 10.0	3 15.0	3 15.0	- -
	特に希望するものはない	154 100.0	40 26.0	29 18.8	25 16.2	28 18.2	32 20.8	- -

（２）特に幼稚園（預かり保育を含む）の利用を強く希望するか

▶特に幼稚園（預かり保育を含む）の利用を強く希望するかについては、「はい」が 65.7%、「いいえ」が 27.8%となっている。

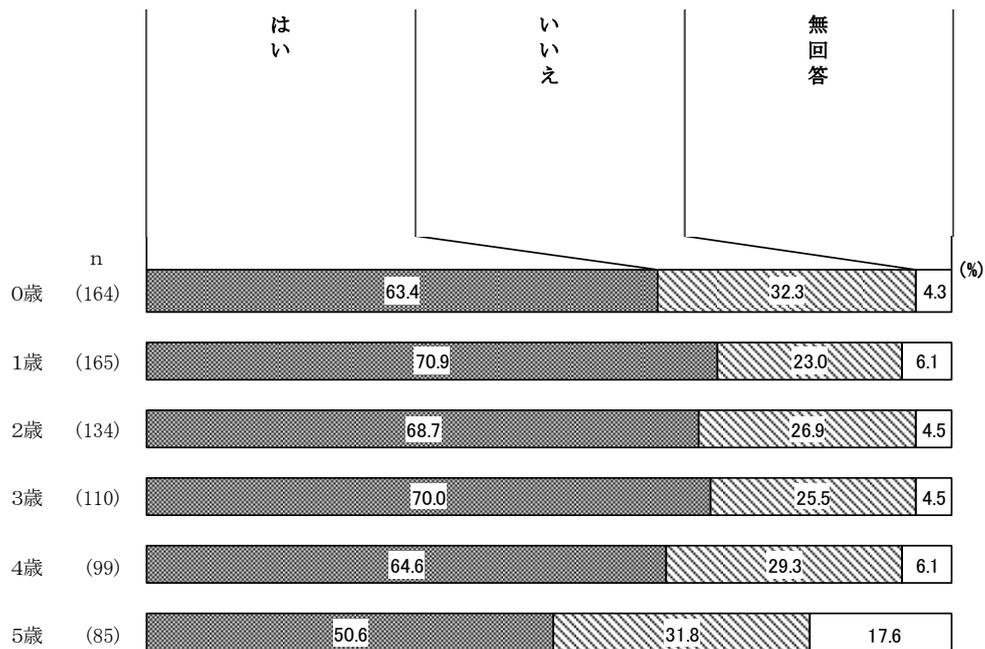
※『3（１）平日に定期的に利用したい事業』で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」と回答し、かつそれ以外の事業も回答した方のみ

問 8-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）



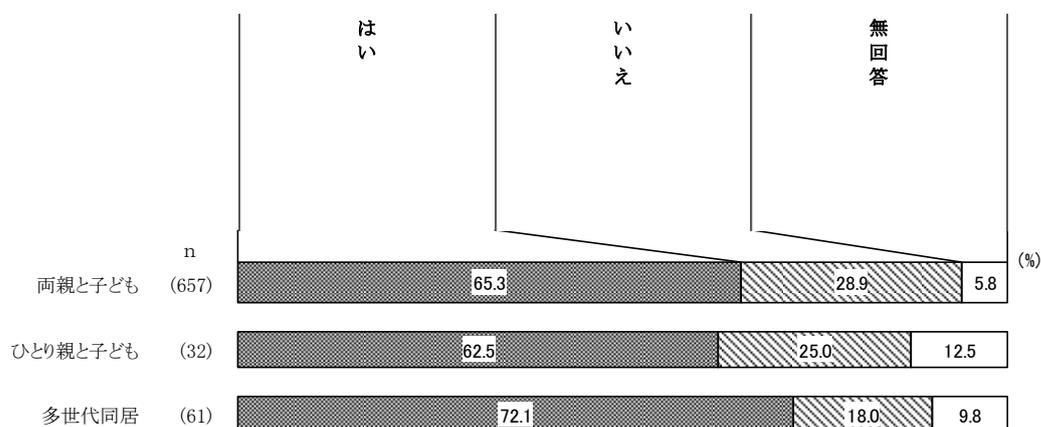
【子どもの年齢別／特に幼稚園（預かり保育を含む）の利用を強く希望するか】

▶子どもの年齢別による、特徴的な差はみられない。



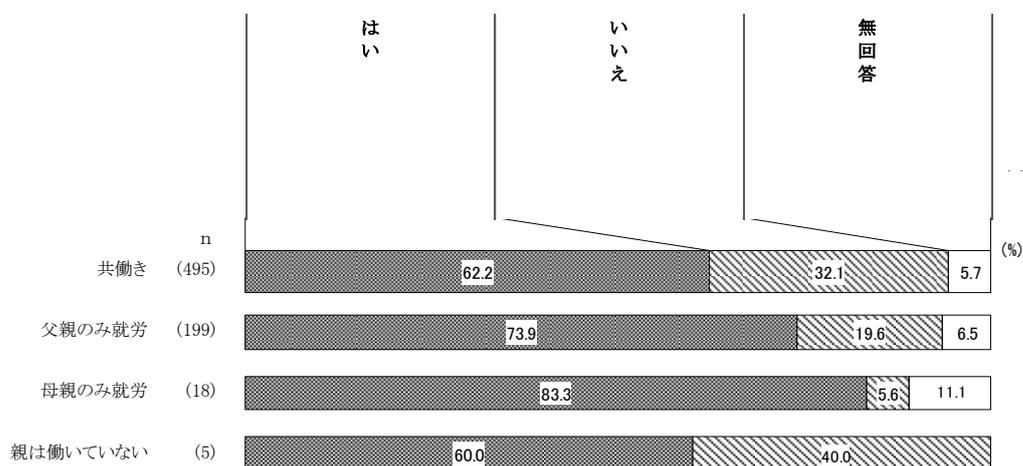
### 【家族構成別／特に幼稚園（預かり保育を含む）の利用を強く希望するか】

▶ 家族構成別にみると、多世代同居世帯で「はい」が 72.1%と高く、他の家族構成に比べ強く希望する割合が高い。



### 【両親の就労状況別／特に幼稚園（預かり保育を含む）の利用を強く希望するか】

▶ 両親の就労状況別にみると、母親のみ就労の世帯で「はい」が 83.3%と高く、他の就労状況に比べ強く希望する割合が高い。



※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

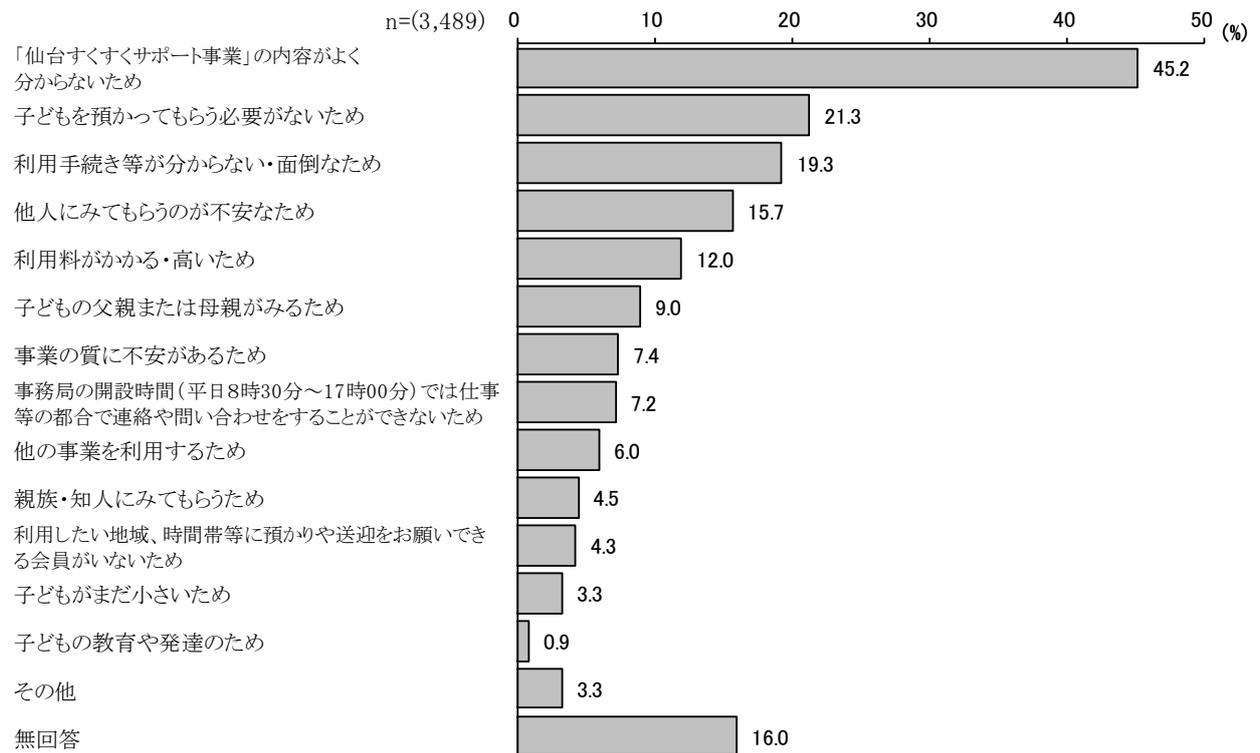
### （3）仙台すくすくサポート事業を利用したいと思わない主な理由

▶仙台すくすくサポート事業を利用したいと思わない主な理由については、「事業の内容がよく分からない」が45.2%と最も高い。

※『3（1）平日に定期的に利用したい事業』で「仙台すくすくサポート事業」と回答しなかった方のみ

問 8-2 「仙台すくすくサポート事業」を利用したいと思わない主な理由は何ですか。

（当てはまるものすべてに○）



## 4 土曜・休日の幼稚園・保育施設等の利用希望について

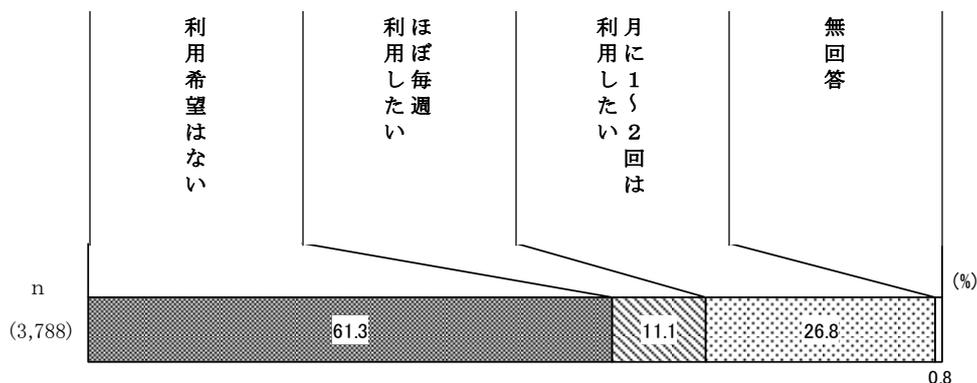
### (1) 土曜日と日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望

- ▶土曜日の幼稚園・保育施設等の利用希望については、「利用希望はない」が 61.3%と最も高く、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた《利用したい》は 37.9%となっている。
- ▶日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望については、「利用希望はない」が 81.2%と最も高く、《利用したい》は 17.5%となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、概ね同様の傾向がみられる。

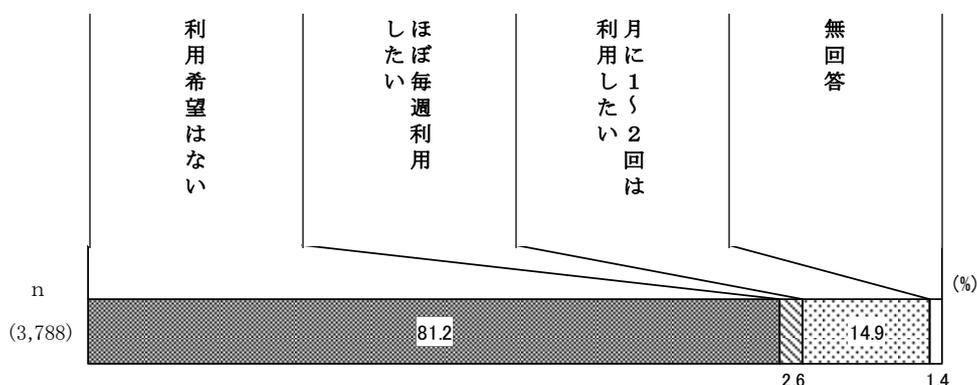
問9 現在、宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育施設等の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。(1)、(2)それぞれの当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯について、[ ]内に数字をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかることがあります。

#### 利用希望

##### <土曜日>

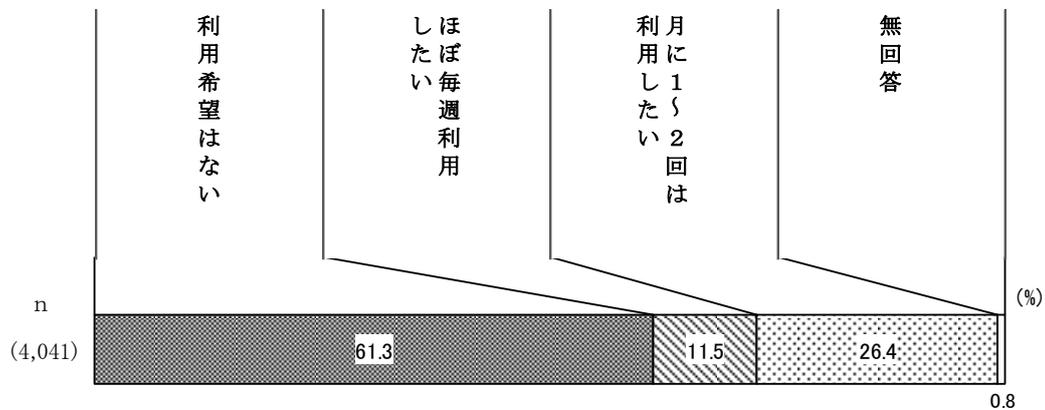


##### <日曜日・祝日>

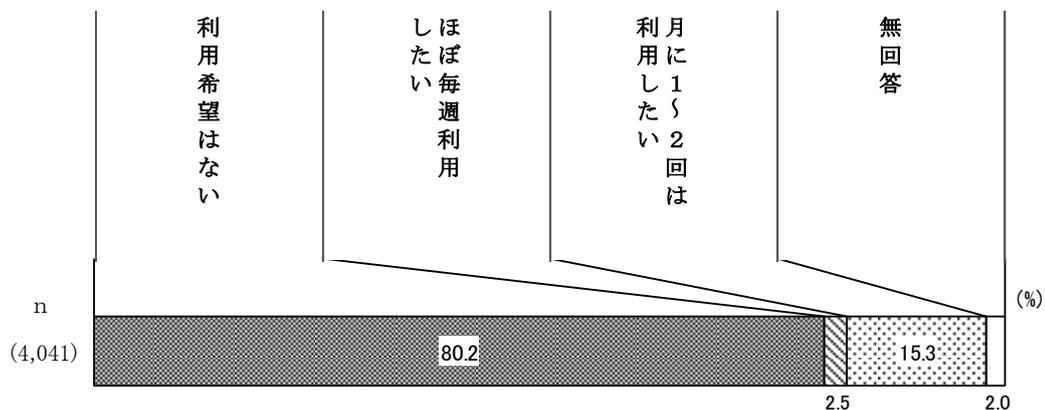


参考：平成 30 年度調査

<土曜日>



<日曜日・祝日>



- ▶土曜日の幼稚園・保育施設等の利用希望時間について、「ほぼ毎週利用したい」では、開始時間は「8時から」（52.0%）、終了時間は「18時まで」（37.9%）が最も高い。
- ▶「月に1〜2回は利用したい」についても同様に、開始時間は「8時から」（40.2%）、終了時間は「18時まで」（29.0%）が最も高い。
- ▶日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望時間について、「ほぼ毎週利用したい」では、開始時間は「8時から」（56.7%）、終了時間は「18時まで」「19時まで」（ともに28.9%）が最も高い。
- ▶「月に1〜2回は利用したい」についても同様に、開始時間は「8時から」（42.0%）、終了時間は「18時まで」（34.6%）が最も高い。

**利用希望時間**

**<土曜日：ほぼ毎週利用>**

n = 419

《開始時間》	
時間帯	%
6時以前	-
6時から	0.2
7時から	23.2
8時から	52.0
9時から	20.0
10時から	-
11時から	-
12時から	0.2
13時から	-
14時から	-
15時から	-
16時から	-
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	4.3

《終了時間》	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	0.2
9時まで	-
10時まで	-
11時まで	-
12時まで	1.0
13時まで	1.7
14時まで	2.9
15時まで	5.5
16時まで	9.3
17時まで	19.8
18時まで	37.9
19時まで	14.3
20時まで	2.4
21時まで	0.5
22時まで	-
23時まで	0.2
24時以降	-
無回答	4.3

**<土曜日：月1～2回利用>**

n = 1,017

《開始時間》	
時間帯	%
6時以前	0.2
6時から	0.3
7時から	20.1
8時から	40.2
9時から	32.3
10時から	3.9
11時から	0.2
12時から	0.2
13時から	0.1
14時から	-
15時から	-
16時から	-
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	2.6

《終了時間》	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	-
9時まで	0.1
10時まで	-
11時まで	0.2
12時まで	2.3
13時まで	2.4
14時まで	4.5
15時まで	9.2
16時まで	14.4
17時まで	26.4
18時まで	29.0
19時まで	8.3
20時まで	0.8
21時まで	-
22時まで	-
23時まで	-
24時以降	-
無回答	2.6

**<日曜日・祝日：ほぼ毎週利用>**

n = 97

《開始時間》	
時間帯	%
6時以前	-
6時から	1.0
7時から	20.6
8時から	56.7
9時から	16.5
10時から	-
11時から	-
12時から	1.0
13時から	-
14時から	-
15時から	-
16時から	-
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	4.1

《終了時間》	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	1.0
9時まで	-
10時まで	-
11時まで	-
12時まで	-
13時まで	-
14時まで	3.1
15時まで	2.1
16時まで	8.2
17時まで	17.5
18時まで	28.9
19時まで	28.9
20時まで	4.1
21時まで	2.1
22時まで	-
23時まで	-
24時以降	-
無回答	4.1

**<日曜日・祝日：月1～2回利用>**

n = 564

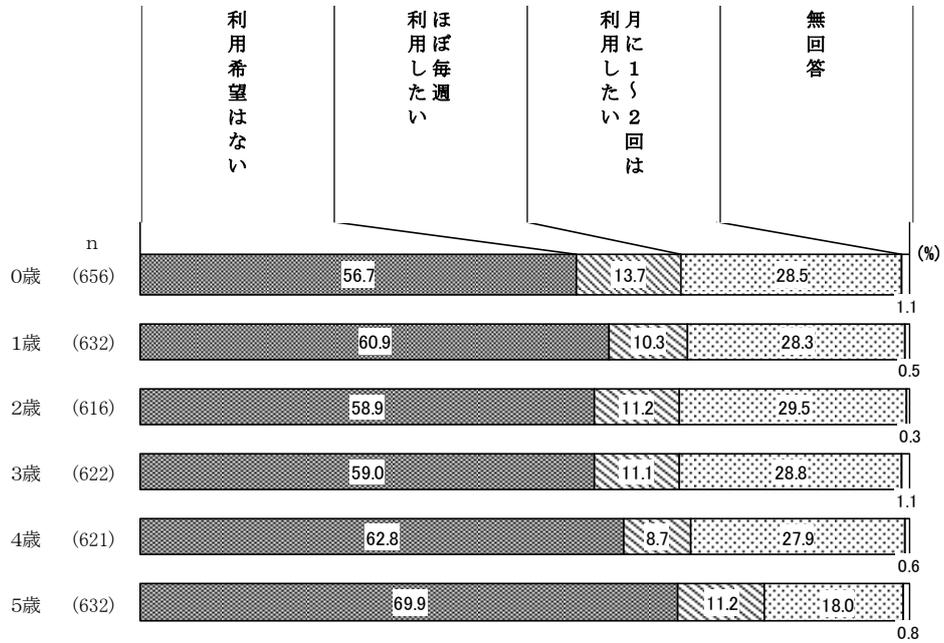
《開始時間》	
時間帯	%
6時以前	0.4
6時から	-
7時から	21.1
8時から	42.0
9時から	27.5
10時から	5.7
11時から	-
12時から	0.4
13時から	0.2
14時から	-
15時から	-
16時から	-
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	2.8

《終了時間》	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	-
9時まで	-
10時まで	-
11時まで	-
12時まで	0.9
13時まで	1.2
14時まで	2.7
15時まで	8.0
16時まで	12.9
17時まで	24.3
18時まで	34.6
19時まで	11.2
20時まで	1.2
21時まで	-
22時まで	-
23時まで	0.2
24時以降	-
無回答	2.8

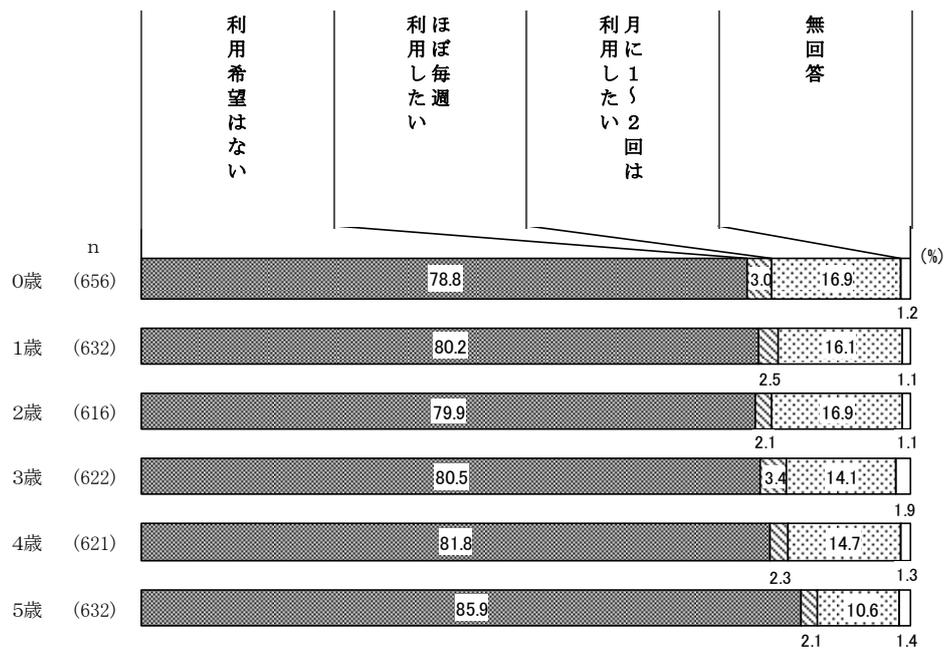
【子どもの年齢別／土曜日と日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望】

▶子どもの年齢別にみても、土曜日、日曜日・祝日ともにすべての年齢で「利用希望はない」の割合が最も高くなっており、年齢が上がるにつれてその割合は上昇する傾向にある。

<土曜日>



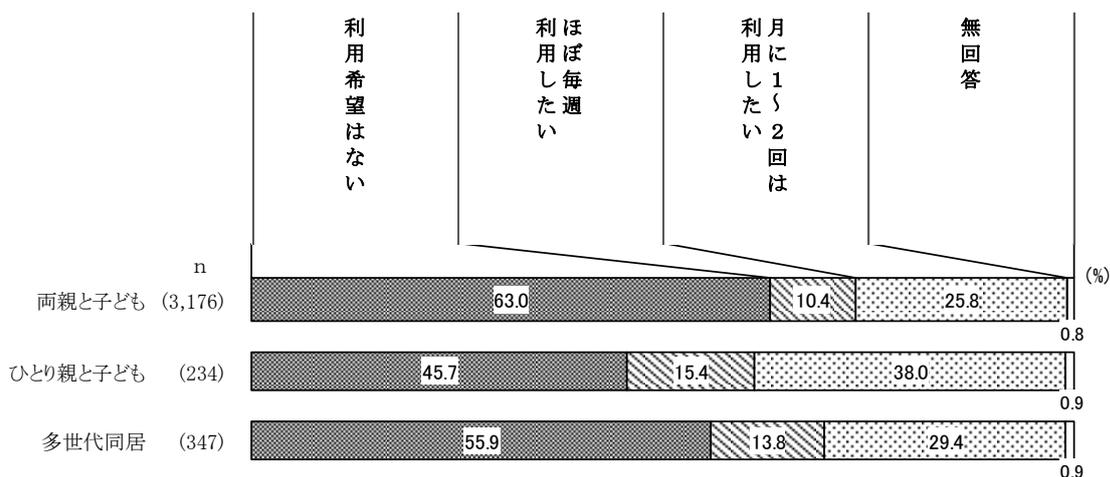
<日曜日・祝日>



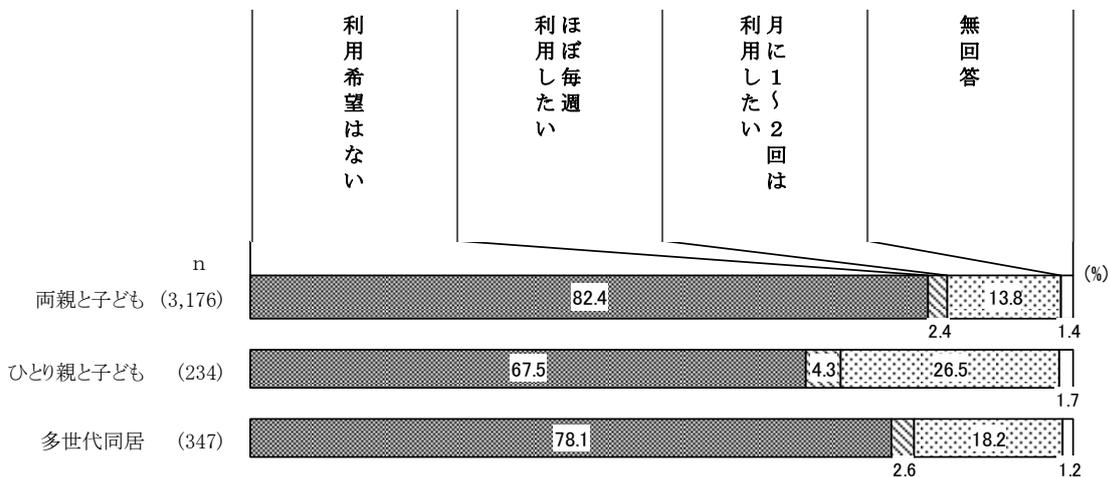
## 【家族構成別／土曜日と日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望】

▶ 家族構成別にみると、土曜日、日曜日・祝日ともに、ひとり親と子どもの世帯の《利用したい》の割合が他の家族構成に比べ高くなっており、土曜日で 53.4%、日曜日・祝日で 30.8%となっている。

### <土曜日>



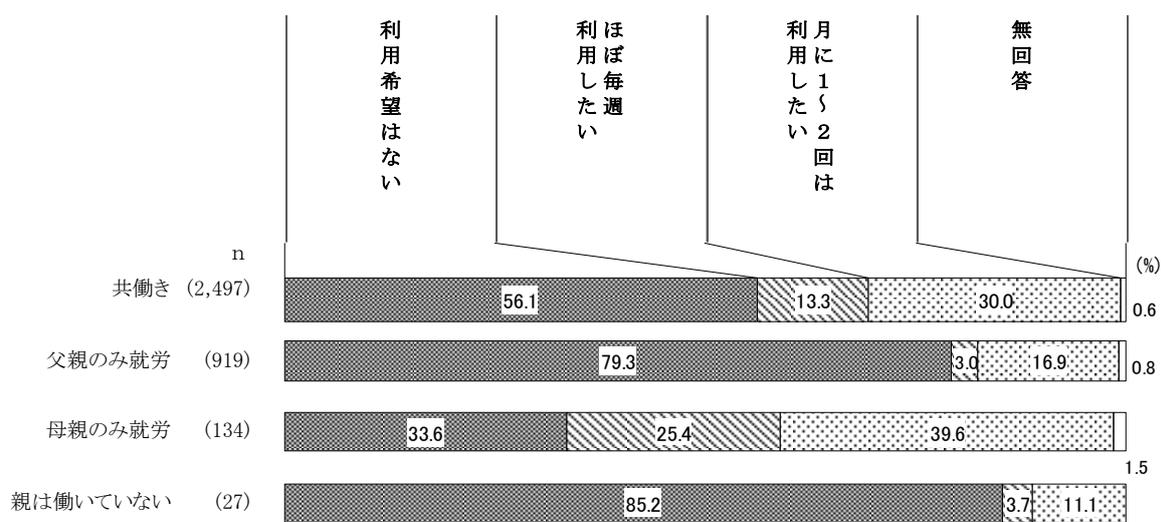
### <日曜日・祝日>



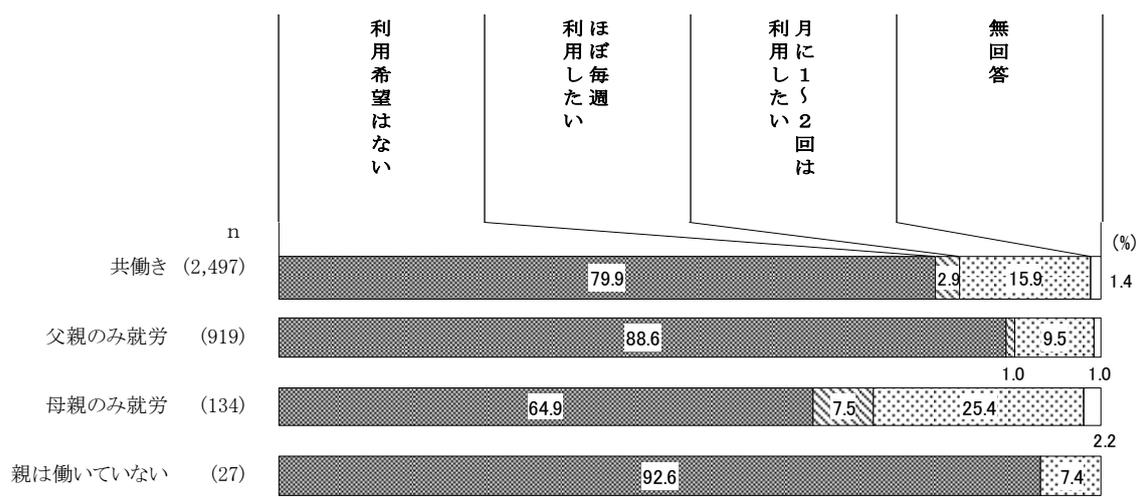
【両親の就労状況別／土曜日の幼稚園・保育施設等の利用希望】

- ▶両親の就労状況別にみると、土曜日、日曜日・祝日ともに、母親のみ就労の世帯の《利用したい》の割合が他の就労状況に比べ高く、土曜日で65.0%、日曜日・祝日で32.9%となっている。
- ▶一方、土曜日、日曜日・祝日ともに、父親のみ就労の世帯、親は働いていない世帯の「利用希望はない」の割合が他の就労状況に比べ高い。

<土曜日>



<日曜日・祝日>



※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

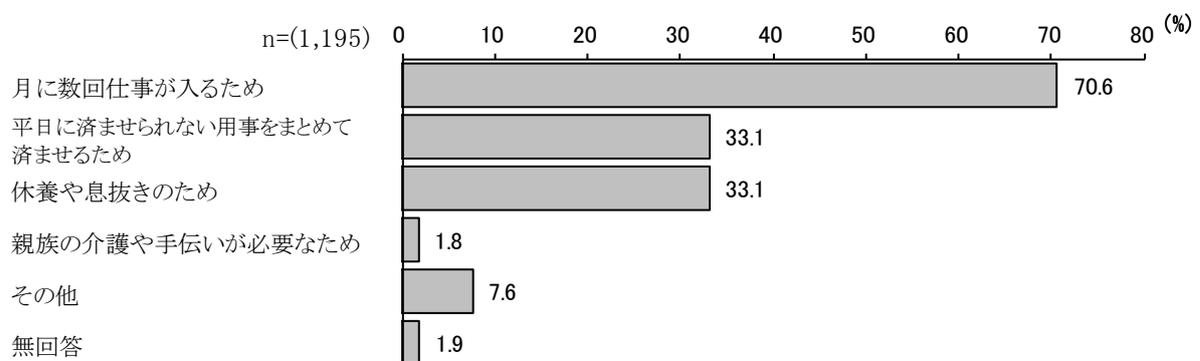
## (2) 土曜日と日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用が毎週ではない理由

▶土曜日と日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用が毎週ではない理由については、「月に数回仕事が入るため」が 70.6%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」、「休養や息抜きのため」（ともに 33.1%）となっている。

※『4（1）土曜日と日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望』の、土曜日または日曜日・祝日の利用希望で「月に1～2回は利用したい」と回答した方のみ

問 9-1 月に1～2回は利用したい（毎週ではない）理由は何ですか。

（当てはまるものすべてに○）

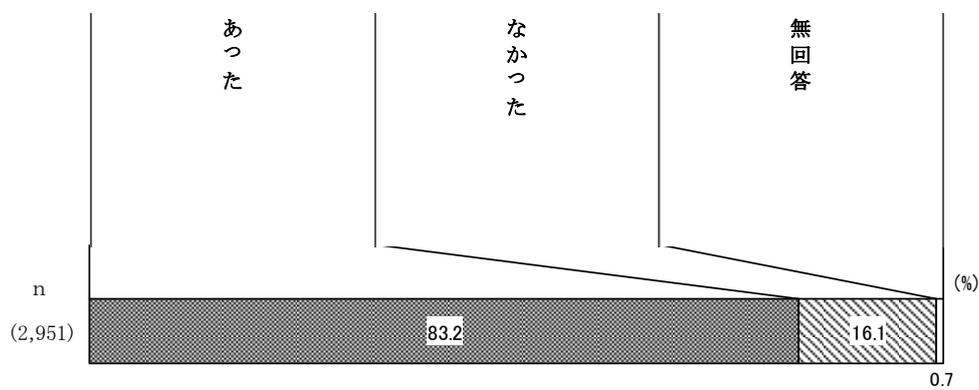


## 5 病気の際の対応について

### （1）子どもが病気やケガで事業を利用できなかったことの有無

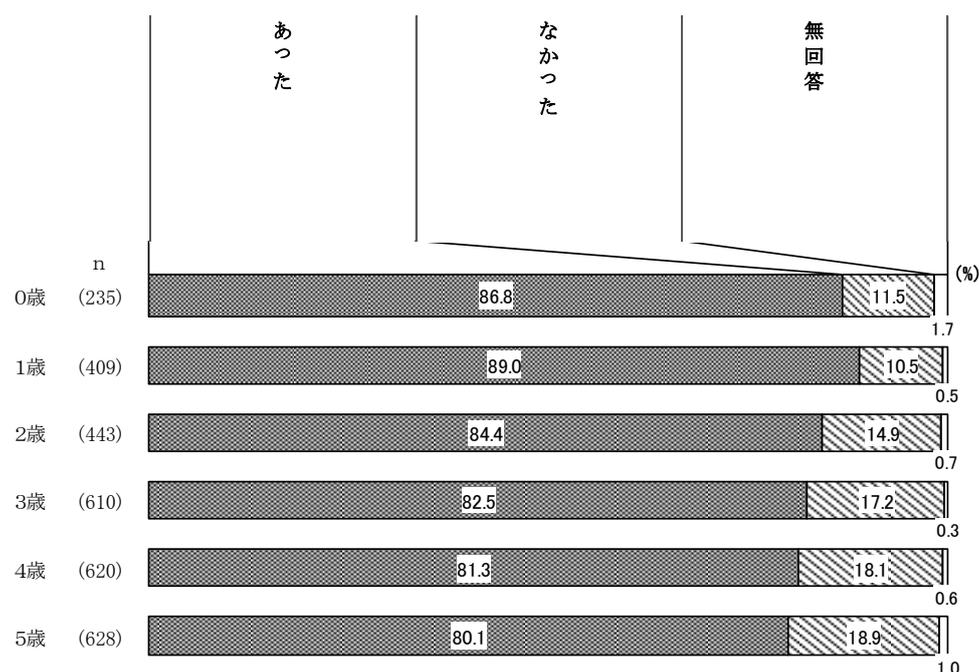
▶子どもが病気やケガで事業を利用できなかったことの有無については、「あった」が 83.2%、「なかった」が 16.1%となっている。

※『2（1） 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ  
 問 10 この1年間に、宛名のお子さまが病気やケガで、幼稚園・保育施設等が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）



### 【子どもの年齢別／子どもが病気やケガで事業を利用できなかったことの有無】

▶子どもの年齢別にみても、すべての年齢で「あった」の割合が高くなっているが、年齢が上がるにつれてその割合が下降する傾向にある。

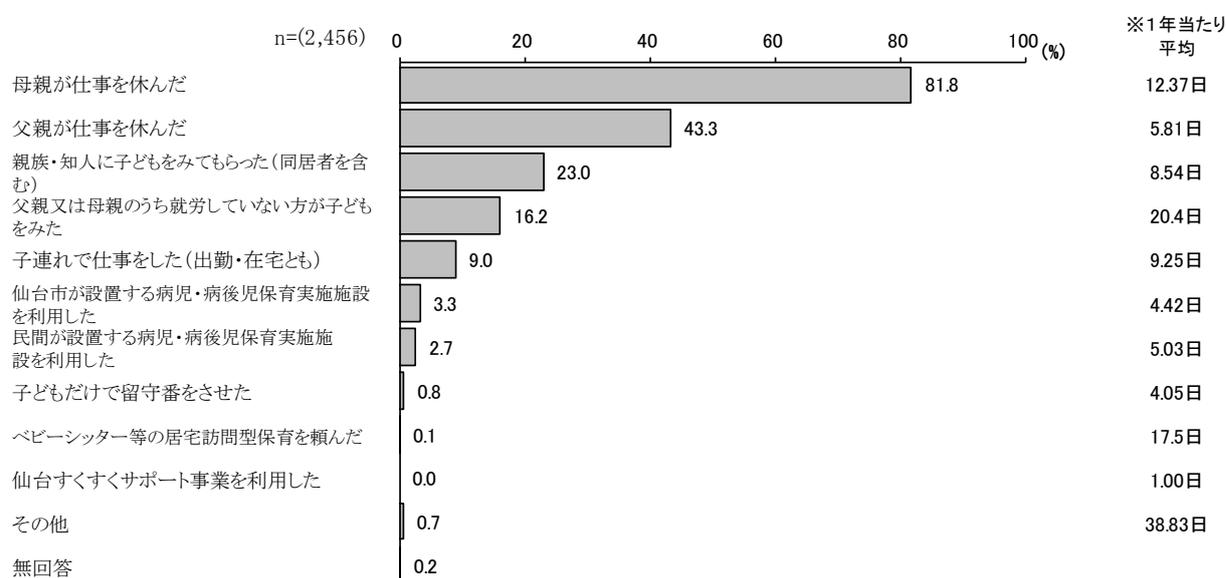


## (2) 事業が利用できなかった際の対応

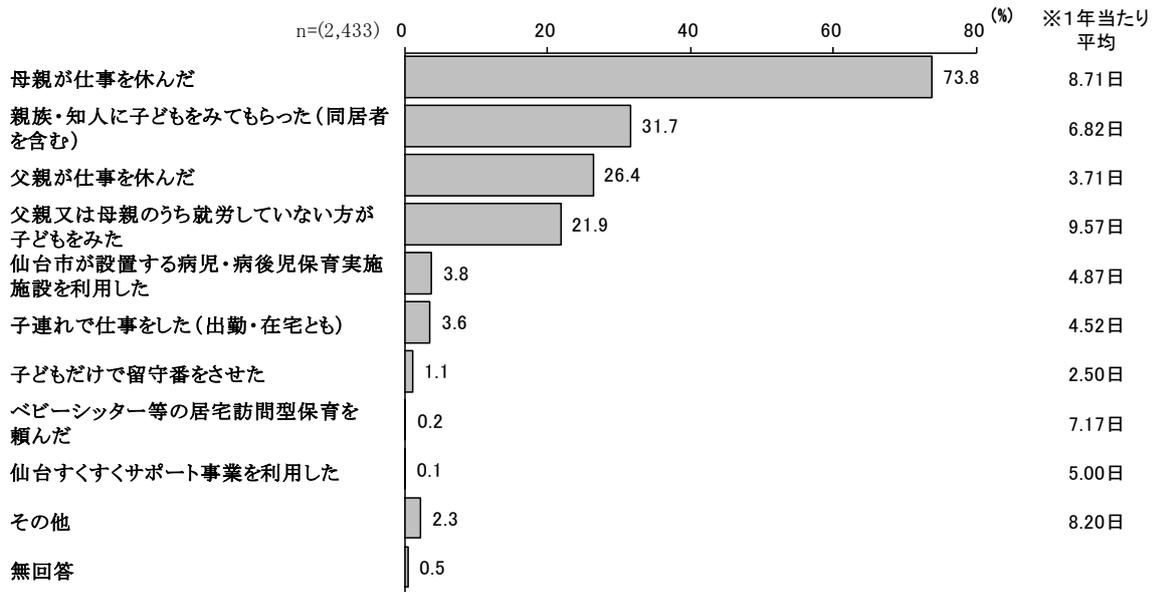
- ▶事業が利用できなかった際の対応については、「母親が仕事を休んだ」が 81.8%で最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」(43.3%)となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「親族・知人に子どもをみてもらった」が約 9 ポイント下降している一方で、「母親が仕事を休んだ」が約 8 ポイント、「父親が仕事を休んだ」が約 17 ポイント上昇している。

※『5 (1) 子どもが病気やケガで事業を利用できなかったことの有無』で「あった」と回答した方のみ

問 10-1 その際、どのように対応されましたか。(当てはまるものすべてに○) また、それぞれの対応のおおよその日数は何日くらいですか。(数字を記入)



参考：平成 30 年度調査



【子どもの年齢別／事業が利用できなかった際の対応】

▶子どもの年齢別にみると、0～5歳で「母親が仕事を休んだ」割合が高く、特に1～2歳では約9割と、3～5歳（7.5割前後）に比べ高い。

		(上段:件 下段:%)																						
		調査数	母親が仕事を休んだ	父親が仕事を休んだ	をみてもらった（同居者を含む）	親族・知人に子どもをみた	もみていない方がうちど	労しては母親のうが子ど	父親又は母親のうが子ど	（出勤・在宅とも）	子連れで仕事をした	設を病後児保育実施施設	児・病後児保育実施施設	仙台市が設置する病児・病後児保育実施施設	利用した	民間が設置する病児を	させた	子どもだけで留守番を	宅訪問型保育を頼んだ	ベビーシッター等の居	事業を利用した	仙台すくすくサポート	その他	無回答
子どもの年齢別	0歳	204 100.0	193 94.6	105 51.5	52 25.5	8 3.9	19 9.3	12 5.9	10 4.9	1 0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5 2.5	-	
	1歳	364 100.0	347 95.3	206 56.6	109 29.9	13 3.6	35 9.6	14 3.8	15 4.1	1 0.3	1 0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 0.3	1 0.3	
	2歳	374 100.0	333 89.0	183 48.9	90 24.1	41 11.0	27 7.2	15 4.0	11 2.9	2 0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 0.8	1 0.3	
	3歳	503 100.0	377 75.0	213 42.3	108 21.5	109 21.7	40 8.0	18 3.6	13 2.6	7 1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 0.2	3 0.6	3 0.6	
	4歳	504 100.0	393 78.0	196 38.9	109 21.6	108 21.4	50 9.9	13 2.6	11 2.2	7 1.4	1 0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 0.2	1 0.2	
	5歳	503 100.0	362 72.0	161 32.0	96 19.1	120 23.9	49 9.7	8 1.6	7 1.4	9 1.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 0.6	-	

【家族構成別／事業が利用できなかった際の対応】

▶ 家族構成別にみると、両親と子どもの世帯では「父親が仕事を休んだ」割合が、他の家族構成に比べ高い。また、多世代同居世帯で「親族・知人に子どもをみてもらった」割合が他の家族構成に比べ高い。

(上段:件 下段:%)

		調査数	母親が仕事を休んだ	父親が仕事を休んだ	親族・知人に子どもをみてもらった(同居者を含む)	親をみて知らない方が子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみてもらった	子連れで仕事をした(出勤・在宅とも)	設を利した	児・病後児保育実施施設	仙台市が設置する病児・病後児保育実施施設	民間が設置する病児・病後児保育実施施設を・	子どもだけで留守番をさせた	宅訪問型保育を頼んだ	ベビーシッター等の居	事業を利用した	仙台市が設置するサポート	その他	無回答							
家族構成別	両親と子ども	2,063	1,679	966	440	358	185	68	63	17	1	-	11	6	100.0	81.4	46.8	21.3	17.4	9.0	3.3	3.1	0.8	0.0	-	0.5	0.3
	ひとり親と子ども	172	144	43	43	18	19	6	2	-	-	-	-	-	100.0	83.7	25.0	25.0	10.5	11.0	3.5	1.2	-	-	-	3	-
	多世代同居	207	173	50	79	21	15	5	1	3	1	1	1	2	100.0	83.6	24.2	38.2	10.1	7.2	2.4	0.5	1.4	0.5	0.5	1.0	-

【両親の就労状況別／事業が利用できなかった際の対応】

▶ 両親の就労状況別にみると、共働きの世帯においても、「母親が仕事を休んだ」が 94.7%、「父親が仕事を休んだ」は 52.0%と、母親が仕事を休む割合が高くなっている。

(上段:件 下段:%)

		調査数	母親が仕事を休んだ	父親が仕事を休んだ	親族・知人に子どもをみてもらった(同居者を含む)	親をみて知らない方が子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみてもらった	子連れで仕事をした(出勤・在宅とも)	設を利した	児・病後児保育実施施設	仙台市が設置する病児・病後児保育実施施設	民間が設置する病児・病後児保育実施施設を・	子どもだけで留守番をさせた	宅訪問型保育を頼んだ	ベビーシッター等の居	事業を利用した	仙台市が設置するサポート	その他	無回答							
両親の就労状況別	共働き	1,891	1,791	984	494	75	199	65	62	19	1	1	11	3	100.0	94.7	52.0	26.1	4.0	10.5	3.4	3.3	1.0	0.1	0.1	0.6	0.2
	父親のみ就労	345	31	38	17	299	8	1	2	-	-	-	4	3	100.0	9.0	11.0	4.9	86.7	2.3	0.3	0.6	-	-	-	1.2	0.9
	母親のみ就労	102	95	5	26	1	8	9	1	-	-	-	1	-	100.0	93.1	4.9	25.5	1.0	7.8	8.8	1.0	-	-	-	1.0	-
	親は働いていない	9	3	-	2	5	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	33.3	-	22.2	55.6	11.1	-	-	-	-	-	-	-

※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である(詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照)。

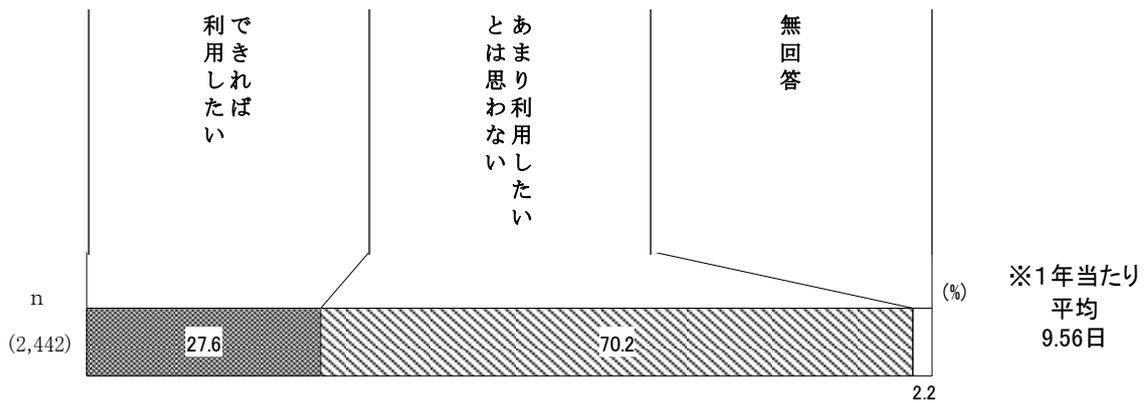
### （3）病児・病後児保育実施施設の今後の利用希望

- ▶病児・病後児保育実施施設の今後の利用希望については、「できれば利用したい」が 27.6%であり、利用希望の年間平均日数は 9.56 日となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「できれば利用したい」が約 8 ポイント上昇している。

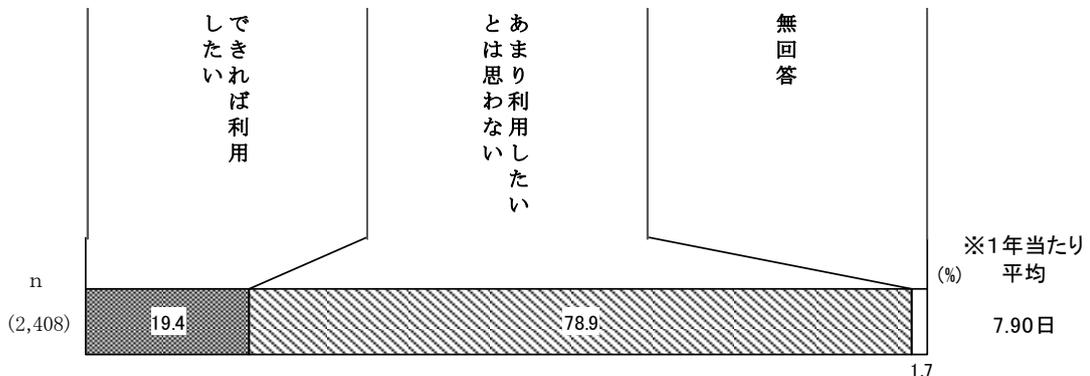
※『5（1）事業が利用できなかった際の対応』で「病児・病後児保育実施施設」の利用以外で対応したと回答した方のみ

問 10-2 今後、できれば仙台市が設置する病児・病後児保育実施施設を利用したいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、1 年間で何日くらい利用したいか [ ] 内に数字でご記入ください。

なお、病児・病後児保育実施施設の利用には、事前にかかりつけ医の受診が必要となり、原則として一定の利用料（現在の利用料は、1 日当たり 2,000 円）がかかります。

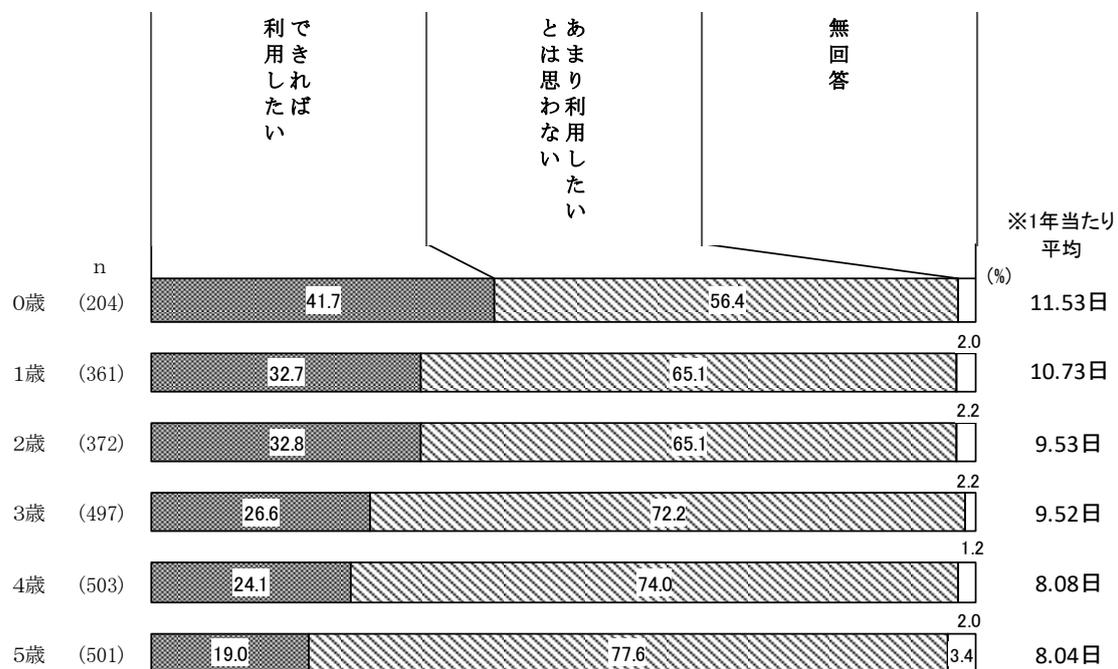


#### 参考：平成 30 年度調査



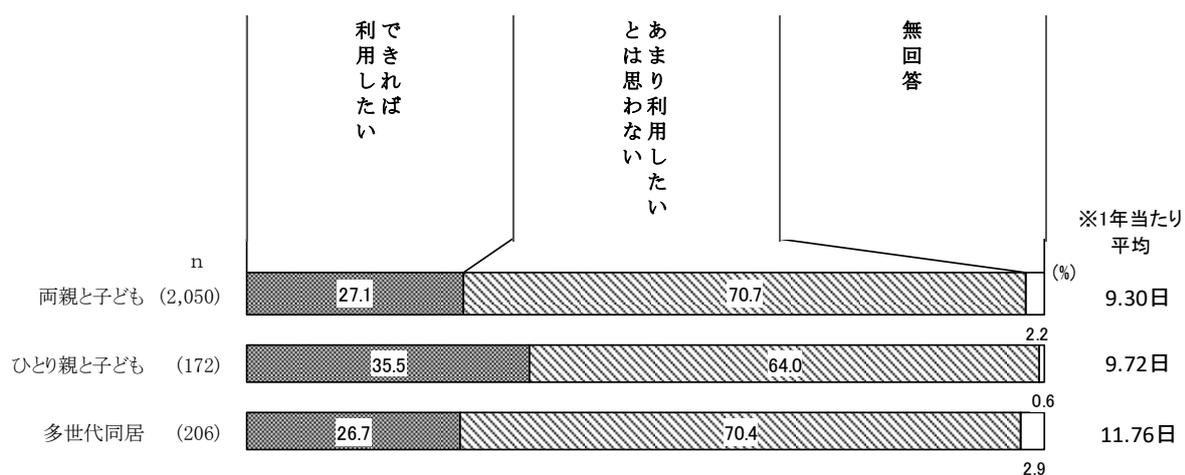
### 【子どもの年齢別／病児・病後児保育実施施設の今後の利用希望】

▶子どもの年齢別にみると、「できれば利用したい」は0～2歳で3割以上と、3～5歳に比べ高い。



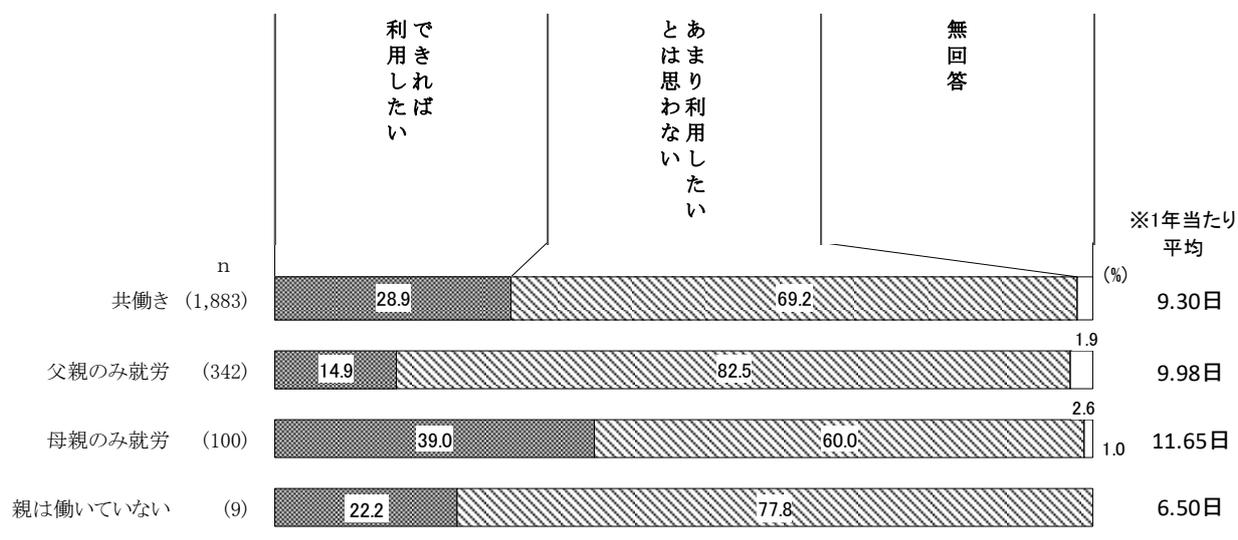
### 【家族構成別／病児・病後児保育実施施設の今後の利用希望】

▶家族構成別にみると、「できれば利用したい」はひとり親と子どもの世帯で35.5%と、他の家族構成に比べ高い。



【両親の就労状況別／病児・病後児保育実施施設の今後の利用希望】

▶両親の就労状況別にみると、「できれば利用したい」は母親のみ就労の世帯で 39.0%と、他の就労状況に比べ高い。一方、父親のみ就労の世帯では、「できれば利用したい」の割合は他の就労状況に比べ低くなっている。



※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

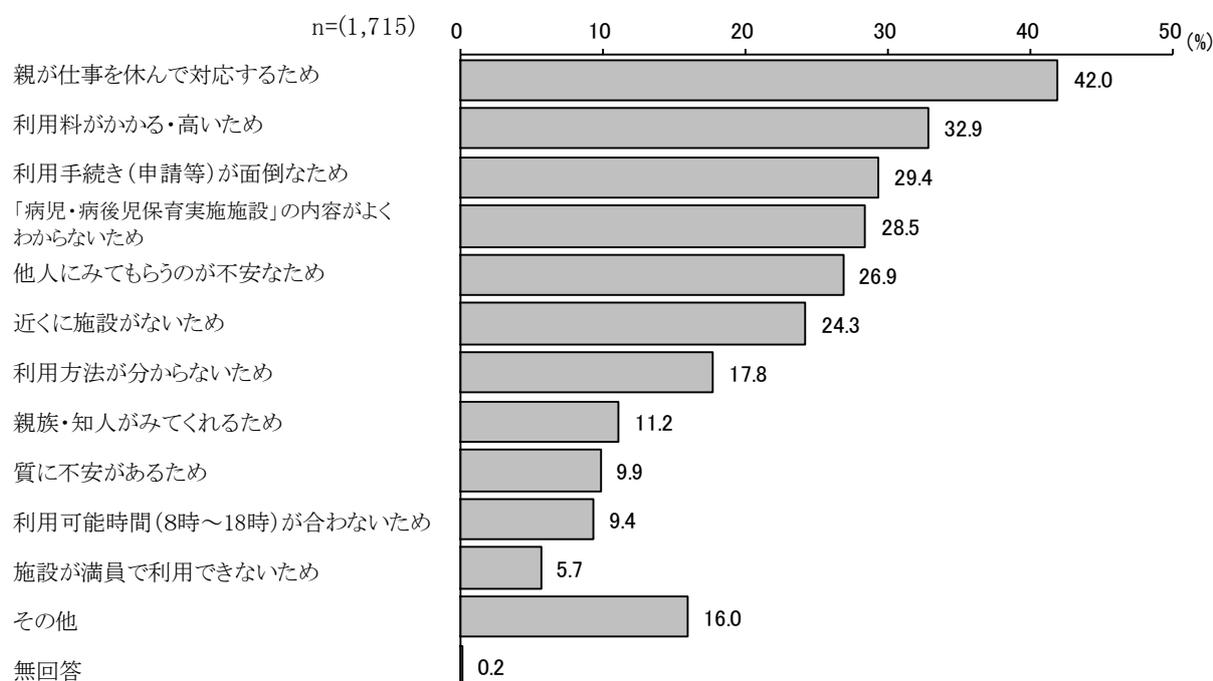
#### (4) 病児・病後児保育実施施設を利用したいと思わない主な理由

▶病児・病後児保育実施施設を利用したいと思わない主な理由については、「親が仕事を休んで対応するため」が42.0%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高いため」(32.9%)、「利用手続き(申請等)が面倒なため」(29.4%)、「「病児・病後児保育実施施設」の内容がよくわからないため」(28.5%)、「他人にみてもらうのが不安なため」(26.9%)となっている。

※『5(3) 病児・病後児保育実施施設の今後の利用希望』で「あまり利用したいと思わない」と回答した方のみ

問10-3 病児・病後児保育実施施設をあまり利用したいと思わない主な理由は何ですか。

(当てはまるものすべてに○)



【子どもの年齢別／病児・病後児保育実施施設を利用したいと思わない主な理由】

▶子どもの年齢別にみると、0～1歳、3～5歳では「親が仕事を休んで対応する」が最も高いが、2歳では「利用料がかかる・高い」が39.7%と、最も高くなっている。

(上段:件 下段:%)

		調査数	親が仕事を休んで対応	利用料がかかる・高い	利用手続き（申請等）が面倒	「施設・病後児保育実施内容がよくわからない」	他人にみてもらうのが不安	近くに施設がない	利用方法が分からない	親族・知人がみえてくれる	質に不安がある	18時～が合わない	利用可能時間（8時～）	施設が満員で利用できない	その他	無回答
子どもの年齢別	0歳	115	55	38	34	36	30	25	18	12	12	14	5	16	1	
		100.0	47.8	33.0	29.6	31.3	26.1	21.7	15.7	10.4	10.4	12.2	4.3	13.9	0.9	
	1歳	235	96	75	76	52	63	56	23	25	18	30	13	27	1	
		100.0	40.9	31.9	32.3	22.1	26.8	23.8	9.8	10.6	7.7	12.8	5.5	11.5	0.4	
	2歳	242	91	96	72	62	68	69	43	35	24	26	15	37	-	
		100.0	37.6	39.7	29.8	25.6	28.1	28.5	17.8	14.5	9.9	10.7	6.2	15.3	-	
3歳	359	155	110	123	113	107	92	59	44	39	35	24	59	-		
	100.0	43.2	30.6	34.3	31.5	29.8	25.6	16.4	12.3	10.9	9.7	6.7	16.4	-		
4歳	372	164	116	91	103	85	81	75	40	34	25	17	67	1		
	100.0	44.1	31.2	24.5	27.7	22.8	21.8	20.2	10.8	9.1	6.7	4.6	18.0	0.3		
5歳	389	159	128	107	122	107	94	88	36	42	32	23	69	1		
	100.0	40.9	32.9	27.5	31.4	27.5	24.2	22.6	9.3	10.8	8.2	5.9	17.7	0.3		

【家族構成別／病児・病後児保育実施施設を利用したいと思わない主な理由】

▶家族構成別にみると、多世代同居の世帯では「親族・知人がみえてくれる」が26.2%と、他の家族構成に比べ高い。

(上段:件 下段:%)

		調査数	親が仕事を休んで対応	利用料がかかる・高い	利用手続き（申請等）が面倒	「施設・病後児保育実施内容がよくわからない」	他人にみてもらうのが不安	近くに施設がない	利用方法が分からない	親族・知人がみえてくれる	質に不安がある	18時～が合わない	利用可能時間（8時～）	施設が満員で利用できない	その他	無回答
家族構成別	両親と子ども	1,450	621	479	440	413	396	360	258	144	147	143	82	227	4	
		100.0	42.8	33.0	30.3	28.5	27.3	24.8	17.8	9.9	10.1	9.9	5.7	15.7	0.3	
	ひとり親と子ども	110	31	41	31	28	29	25	18	10	11	10	8	21	-	
	100.0	28.2	37.3	28.2	25.5	26.4	22.7	16.4	9.1	10.0	9.1	7.3	19.1	-		
多世代同居	145	67	41	30	44	32	27	27	38	7	9	6	26	-		
	100.0	46.2	28.3	20.7	30.3	22.1	18.6	18.6	26.2	4.8	6.2	4.1	17.9	-		

【両親の就労状況別／病児・病後児保育実施施設を利用したいと思わない主な理由】

▶両親の就労状況別にみると、共働きの世帯では「親が仕事を休んで対応する」が 46.0%と、他の就労状況に比べ高い。

(上段:件 下段:%)

		調査数	親が仕事を休んで対応する	利用料がかかる・高い	が面倒手続き(申請等)	「わが施設」の内容がよくわからない	「病児・病後児保育実施施設」の内容がよくわからない	他人にみてもらうのが不安	近くに施設がない	利用方法が分からない	親族・知人がみてくれる	質に不安がある	18時(8時)が合わない	利用可能時間(8時)がない	施設が満員で利用できない	その他	無回答
両親の就労状況別	共働き	1,303 100.0	599 46.0	424 32.5	416 31.9	348 26.7	342 26.2	331 25.4	210 16.1	158 12.1	127 9.7	142 10.9	80 6.1	203 15.6	2 0.2		
	父親のみ就労	282 100.0	77 27.3	93 33.0	61 21.6	101 35.8	88 31.2	47 16.7	74 26.2	18 6.4	32 11.3	4 1.4	10 3.5	57 20.2	1 0.4		
	母親のみ就労	60 100.0	20 33.3	23 38.3	14 23.3	14 23.3	14 23.3	14 23.3	14 23.3	7 11.7	7 11.7	4 6.7	8 13.3	5 8.3	9 15.0	-	
	親は働いていない	7 100.0	1 14.3	4 57.1	3 42.9	4 57.1	2 28.6	3 42.9	2 28.6	1 14.3	2 28.6	-	1 14.3	1 14.3	-		

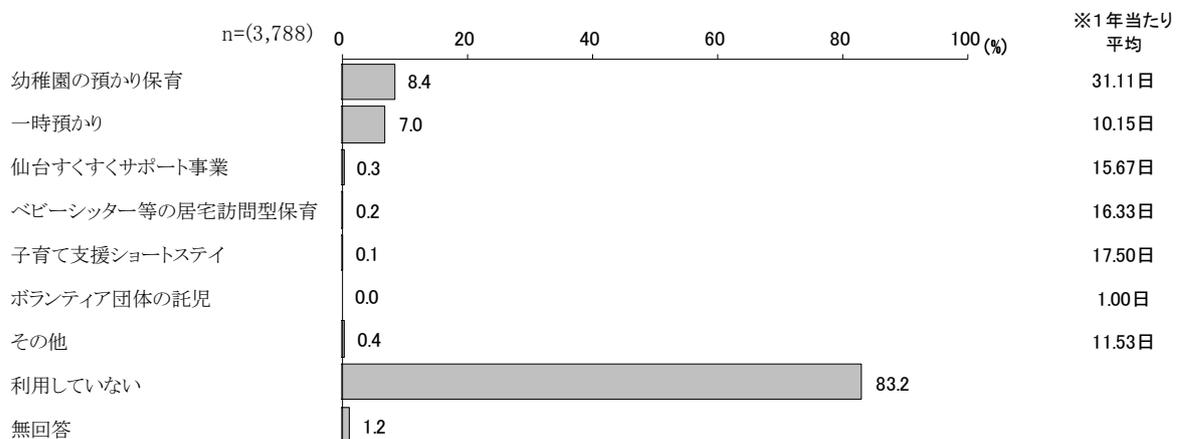
※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である(詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照)。

## 6 不規則の一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについて

### （1）不規則に利用している一時預かり事業

▶不規則に利用している一時預かり事業については、「利用していない」が 83.2%と最も高くなっている。利用している事業の中では、「幼稚園の預かり保育」（8.4%）、「一時預かり」（7.0%）がともに高く、年間平均利用日数は「幼稚園の預かり保育」で 31.11 日、「一時預かり」で 10.15 日となっている。

問 11 宛名のお子さまについて、日中の定期的な保育や病気のためを除き、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している一時預かりの事業はありますか。  
当てはまるものすべてに○をつけ、この1年間のおおよその利用日数を[ ]内に数字でご記入ください。



### 【家族構成別／不定期に利用している一時預かり事業】

▶ 家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では他の家族構成の世帯に比べ「一時預かり」が 9.0%とやや高く、「幼稚園の預かり保育」が 5.1%と、やや低い。

(上段:件 下段:%)

		調査数	幼稚園の預かり保育	一時預かり	事業 仙台 すくすく サポート	宅訪問型 ベビーシッター 等の居	子育て支援 ショートス テイ	児 ポラン ティア 団体の託	その他	利用していない	無回答
家族構成別	両親と子ども	3,176 100.0	279 8.8	221 7.0	9 0.3	7 0.2	2 0.1	1 0.0	9 0.3	2,641 83.2	35 1.1
	ひとり親と子ども	234 100.0	12 5.1	21 9.0	- -	1 0.4	- -	- -	5 2.1	195 83.3	3 1.3
	多世代同居	347 100.0	25 7.2	20 5.8	1 0.3	1 0.3	- -	- -	2 0.6	292 84.1	6 1.7

### 【両親の就労状況別／不定期に利用している一時預かり事業】

▶ 両親の就労状況別にみると、父親のみ就労の世帯では「幼稚園の預かり保育」が、15.5%と他の就労状況に比べやや高くなっている。

(上段:件 下段:%)

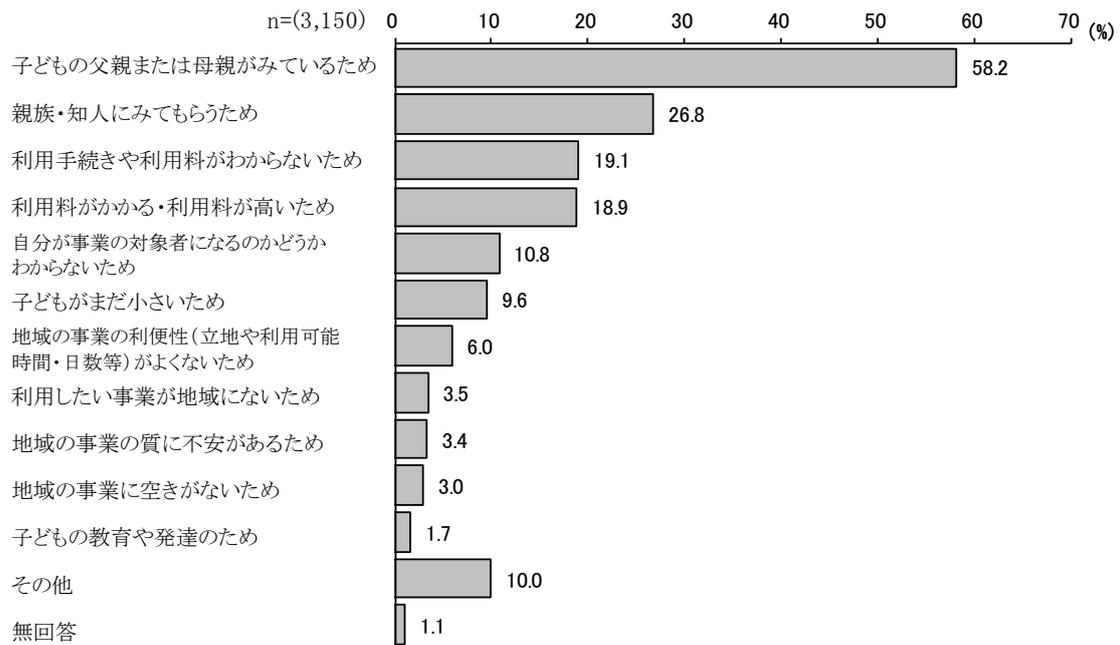
		調査数	幼稚園の預かり保育	一時預かり	事業 仙台 すくすく サポート	宅訪問型 ベビーシッター 等の居	子育て支援 ショートス テイ	児 ポラン ティア 団体の託	その他	利用していない	無回答
両親の 就労 状況別	共働き	2,497 100.0	152 6.1	145 5.8	7 0.3	7 0.3	1 0.0	- -	6 0.2	2,173 87.0	22 0.9
	父親のみ就労	919 100.0	142 15.5	94 10.2	2 0.2	1 0.1	- -	1 0.1	5 0.5	671 73.0	13 1.4
	母親のみ就労	134 100.0	6 4.5	8 6.0	- -	- -	- -	- -	3 2.2	116 86.6	2 1.5
	親は働いていない	27 100.0	1 3.7	4 14.8	- -	- -	- -	- -	1 3.7	20 74.1	1 3.7

※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

（２）不定期の一時預かり事業を利用していない主な理由

▶不定期の一時預かり事業を利用していない主な理由については、「子どもの父親または母親がみているため」が58.2%と最も高く、次いで「親族・知人にみてもらうため」（26.8%）となっている。

※『6（1）不定期に利用している一時預かり事業』で「利用していない」と回答した方のみ  
 問 11-1 利用していない主な理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）



## 【家族構成別／不定期の一時預かり事業を利用していない主な理由】

▶ 家族構成別にみると、多世代同居の世帯では「親族・知人にみてもらうため」が 43.8%と、他の家族構成に比べ高い。

(上段:件 下段:%)

		調査数	親 子 ど も の 父 親 ま た は 母	う 親 族 ・ 知 人 に み て ら う	わ か ら な い 手 続 き や 利 用 料 が	利 用 料 が 高 い た め	な い の か ど う か わ か ら な い	自 分 が 事 業 の 対 象 者 に な ら な い	め 子 ど も が ま だ 小 さ い た	が よ く な い 地 域 の 事 業 の 利 便 性 ( 立 地 や 利 用 可 能 時 間 ・ 日 数 等 )	に な い 利 用 し た い 事 業 が 地 域	る 地 域 の 事 業 の 質 に 不 安 が あ	い 地 域 の 事 業 に 空 き が な	た め 子 ど も の 教 育 や 発 達 の	そ の 他	無 回 答
家 族 構 成 別	両親と子ども	2,641 100.0	1,608 60.9	657 24.9	500 18.9	494 18.7	283 10.7	263 10.0	153 5.8	94 3.6	91 3.4	78 3.0	44 1.7	265 10.0	25 0.9	
	ひとり親と子ども	195 100.0	74 37.9	53 27.2	41 21.0	42 21.5	14 7.2	16 8.2	19 9.7	9 4.6	6 3.1	11 5.6	4 2.1	19 9.7	7 3.6	
	多世代同居	292 100.0	141 48.3	128 43.8	57 19.5	54 18.5	38 13.0	23 7.9	15 5.1	6 2.1	5 1.7	4 1.4	6 2.1	30 10.3	2 0.7	

## 【両親の就労状況別／不定期の一時預かり事業を利用していない主な理由】

▶ 両親の就労状況別にみると、父親のみ就労の世帯では「子どもの父親または母親がみているため」が 66.9%と、他の就労状況に比べ高い。また、母親のみ就労の世帯では、「親族・知人にみてもらうため」が 33.6%と、最も高くなっている。

(上段:件 下段:%)

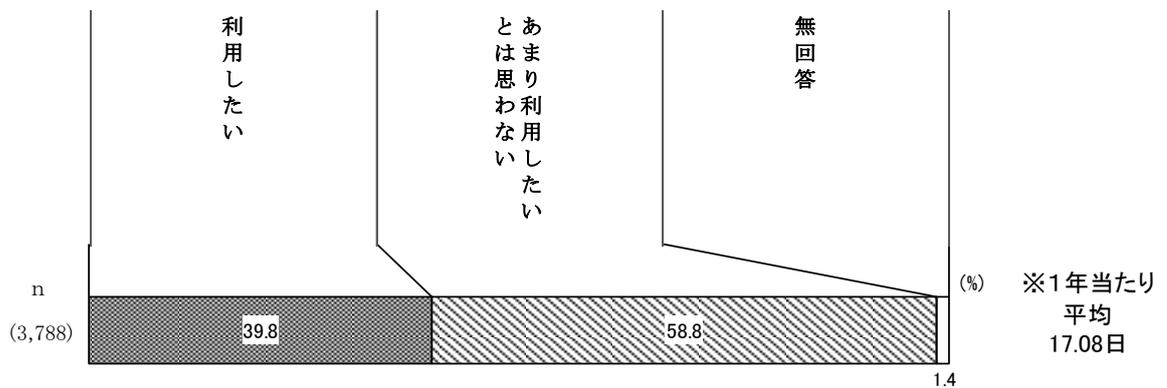
		調査数	親 子 ど も の 父 親 ま た は 母	う 親 族 ・ 知 人 に み て ら う	わ か ら な い 手 続 き や 利 用 料 が	利 用 料 が 高 い た め	な い の か ど う か わ か ら な い	自 分 が 事 業 の 対 象 者 に な ら な い	め 子 ど も が ま だ 小 さ い た	が よ く な い 地 域 の 事 業 の 利 便 性 ( 立 地 や 利 用 可 能 時 間 ・ 日 数 等 )	に な い 利 用 し た い 事 業 が 地 域	る 地 域 の 事 業 の 質 に 不 安 が あ	い 地 域 の 事 業 に 空 き が な	た め 子 ど も の 教 育 や 発 達 の	そ の 他	無 回 答
両 親 の 就 労 状 況 別	共働き	2,173 100.0	1,246 57.3	585 26.9	434 20.0	378 17.4	240 11.0	185 8.5	137 6.3	87 4.0	72 3.3	63 2.9	35 1.6	227 10.4	24 1.1	
	父親のみ就労	671 100.0	449 66.9	174 25.9	105 15.6	145 21.6	66 9.8	94 14.0	29 4.3	14 2.1	23 3.4	21 3.1	16 2.4	51 7.6	4 0.6	
	母親のみ就労	116 100.0	31 26.7	39 33.6	29 25.0	30 25.9	16 13.8	6 5.2	11 9.5	3 2.6	5 4.3	5 4.3	-	12 10.3	1 0.9	
	親は働いていない	20 100.0	9 45.0	5 25.0	6 30.0	3 15.0	2 10.0	2 10.0	-	-	1 5.0	2 10.0	1 5.0	2 10.0	3 15.0	1 5.0

※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

（3）不規則の一時預かり事業の今後の利用希望

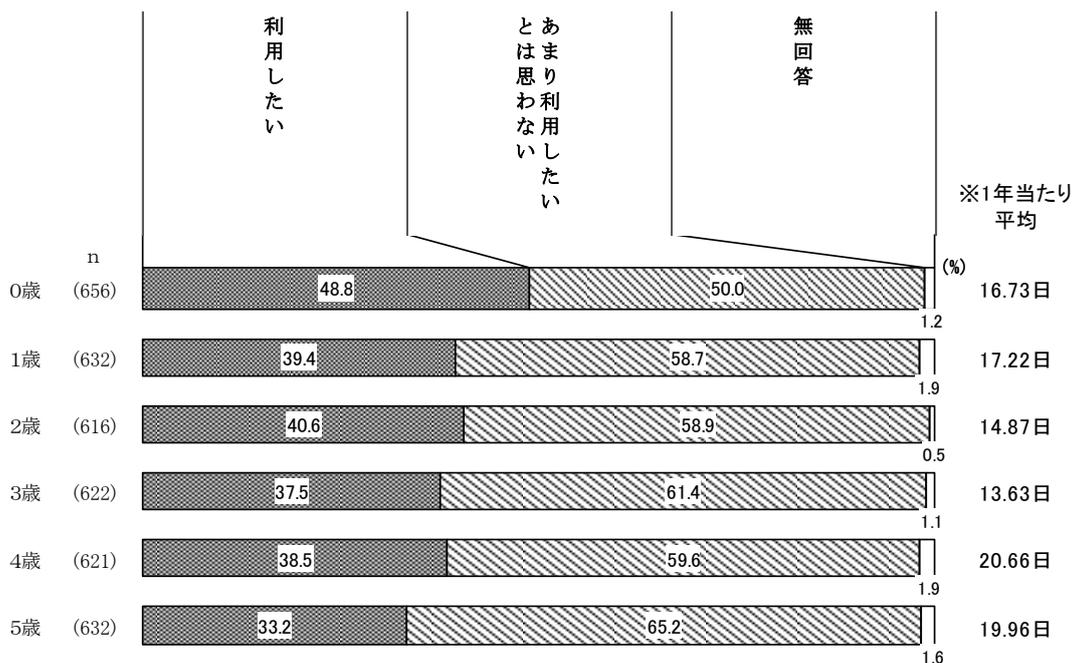
▶不規則の一時預かり事業の今後の利用希望については、「利用したい」が39.8%であり、利用希望の年間平均日数は17.08日となっている。

問12 宛名のお子さまに関して、今後問11のような一時預かりの事業を利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけ、1年間で何日くらい利用したいか [ ]内に数字でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。



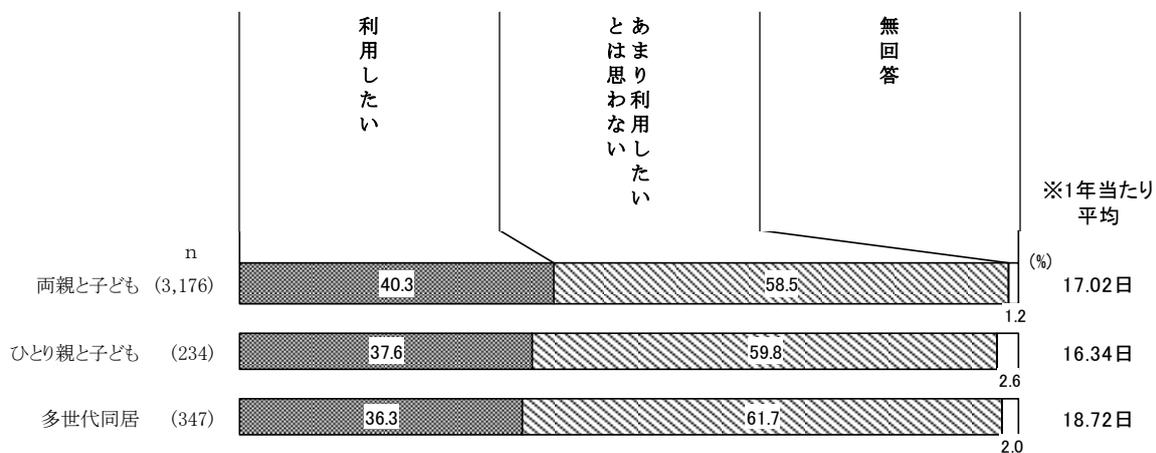
【子どもの年齢別／不規則の一時預かり事業の今後の利用希望】

▶子どもの年齢別にみると、「利用したい」は0歳で5割近く、1～4歳で約4割となっている。



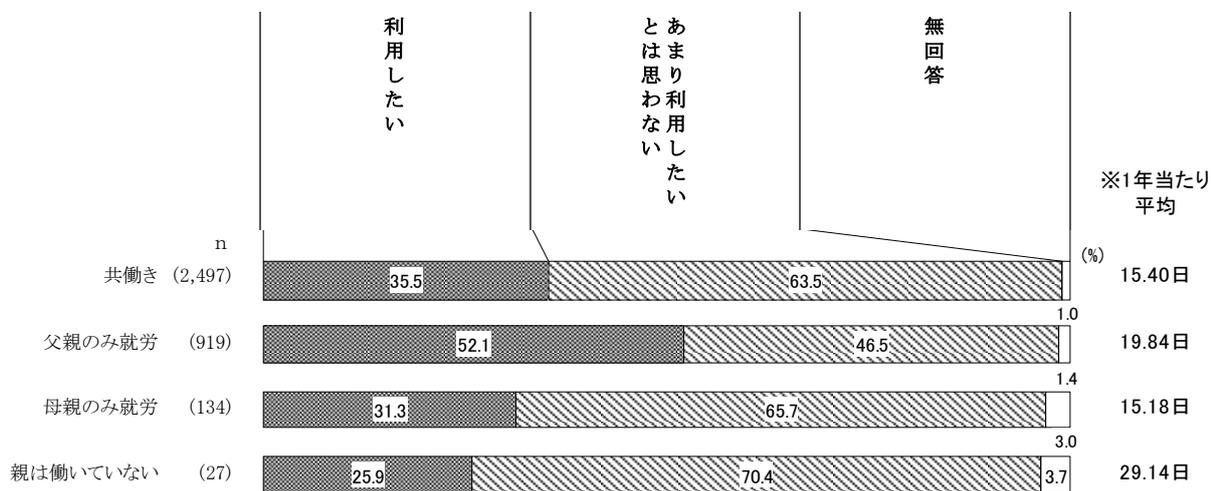
### 【家族構成別／不定期の一時預かり事業の今後の利用希望】

▶ 家族構成別にみると、「利用したい」は両親と子どもの世帯で 40.3%と、他の家族構成に比べ高い。



### 【両親の就労状況別／不定期の一時預かり事業の今後の利用希望】

▶ 両親の就労状況別にみると、「利用したい」は父親のみ就労の世帯で 52.1%と、他の就労状況に比べ高い。

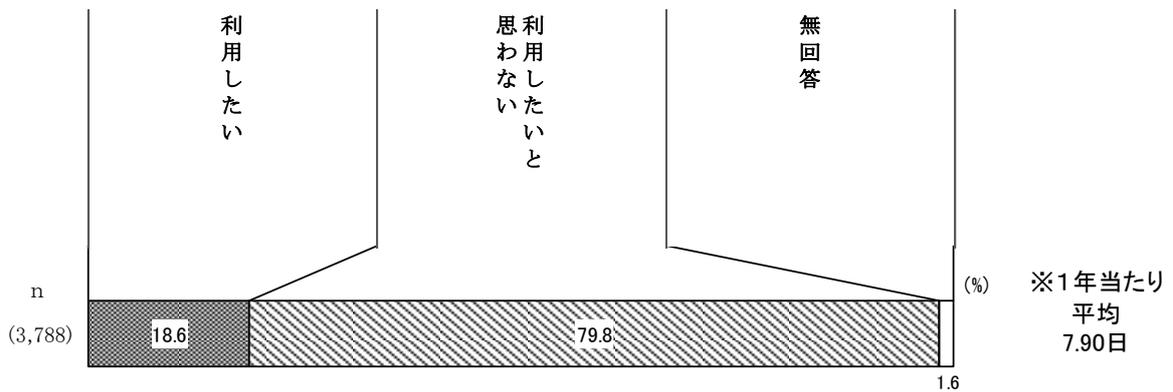


※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

（４）子どもを泊りがけで預ける際のショートステイの利用希望

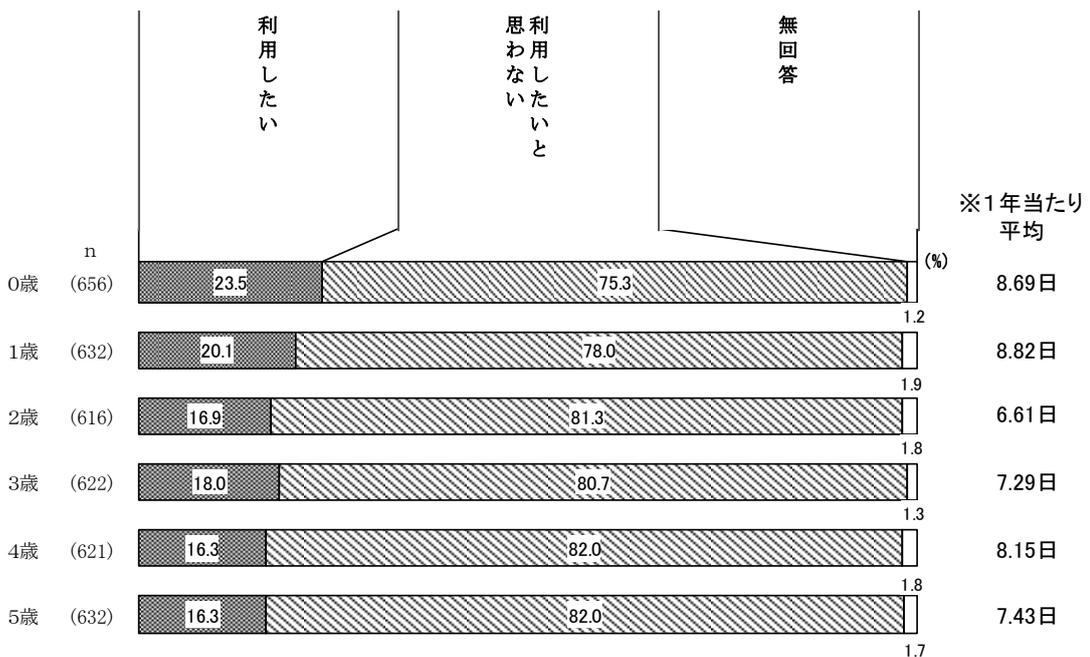
▶子どもを泊りがけで預ける際のショートステイの利用希望については、「利用したい」が 18.6%であり、利用希望の年間平均日数は 7.90 日となっている。

問 13 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気、その他の理由）により、宛名のお子さまを泊りがけで家族に預ける必要がある場合、ショートステイを利用したいと思いますか。（○は1つ）



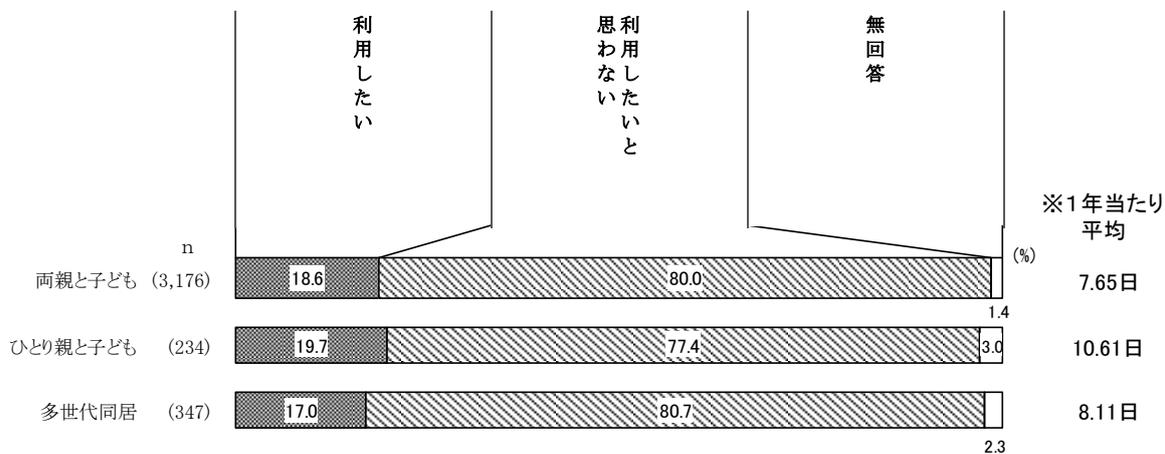
【子どもの年齢別／子どもを泊りがけで預ける際のショートステイの利用希望】

▶子どもの年齢別による、特徴的な差はみられない。



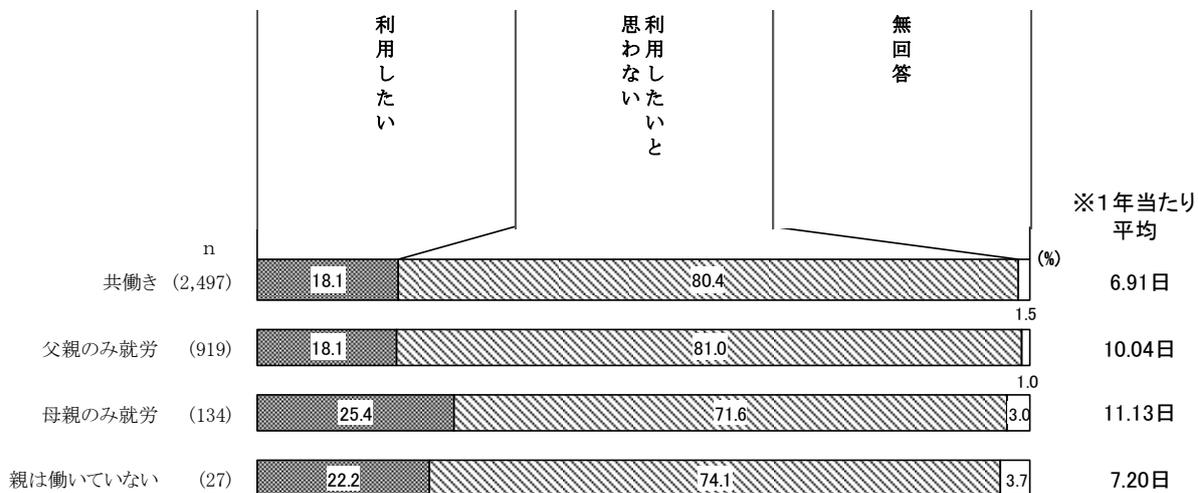
## 【家族構成別／子どもを泊りがけで預ける際のショートステイの利用希望】

▶ 家族構成別による、特徴的な差はみられない。



## 【両親の就労状況別／子どもを泊りがけで預ける際のショートステイの利用希望】

▶ 両親の就労状況別による、特徴的な差はみられない。



※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

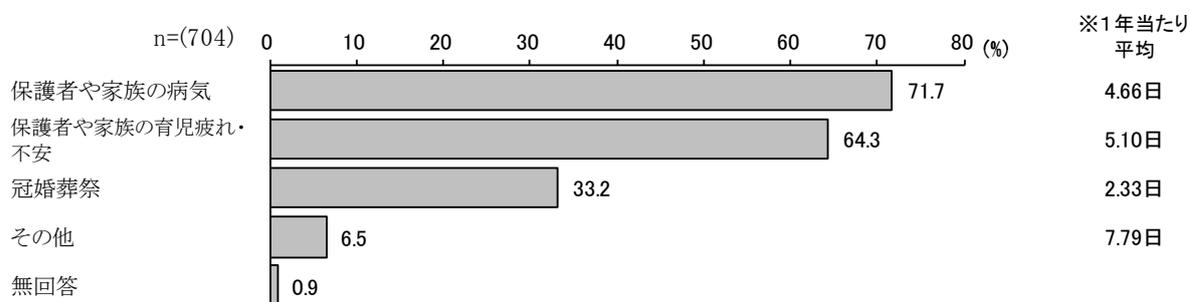
### （5）ショートステイの今後の利用希望状況

▶ ショートステイの今後の利用希望状況については、「保護者や家族の病気」が 71.7%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 64.3%となっている。

※『6（4）子どもを泊りがけで預ける際のショートステイの利用希望』で「利用したい」と回答した方のみ

問 13-1 どのような状況のときに利用したいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間で利用したい泊数を〔 〕内に数字でご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を〔 〕内に数字でご記入ください。）

なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。



### 【子どもの年齢別／ショートステイの今後の利用希望状況】

▶ 子どもの年齢別にみると、「保護者や家族の育児疲れ・不安」は年齢が上がるにつれ下降している。また「保護者や家族の病気」は 1～2 歳で 0 歳より低いものの、3～5 歳では年齢が上がるにつれ上昇している。

		(上段:件 下段:%)					
		調査数	保護者や家族の病気	育児疲れや家族の不安	冠婚葬祭	その他	無回答
子どもの年齢別	0歳	154	114	108	52	10	-
		100.0	74.0	70.1	33.8	6.5	-
	1歳	127	74	89	52	9	1
		100.0	58.3	70.1	40.9	7.1	0.8
	2歳	104	72	73	34	2	2
		100.0	69.2	70.2	32.7	1.9	1.9
	3歳	112	80	73	29	5	1
	100.0	71.4	65.2	25.9	4.5	0.9	
4歳	101	79	58	30	9	1	
	100.0	78.2	57.4	29.7	8.9	1.0	
5歳	103	84	51	37	10	1	
	100.0	81.6	49.5	35.9	9.7	1.0	

## 【家族構成別／ショートステイの今後の利用希望状況】

▶ 家族構成別による、特徴的な差はみられない。

		(上段:件 下段:%)					
		調査数	保護者や家族の病気	育児疲れ・家族の不安	冠婚葬祭	その他	無回答
家族構成別	両親と子ども	591 100.0	420 71.1	390 66.0	188 31.8	35 5.9	6 1.0
	ひとり親と子ども	46 100.0	36 78.3	30 65.2	19 41.3	7 15.2	-
	多世代同居	59 100.0	41 69.5	31 52.5	23 39.0	2 3.4	-

## 【両親の就労状況別／ショートステイの今後の利用希望状況】

▶ 両親の就労状況別による、特徴的な差はみられない。

		(上段:件 下段:%)					
		調査数	保護者や家族の病気	育児疲れ・家族の不安	冠婚葬祭	その他	無回答
両親の就労状況別	共働き	452 100.0	318 70.4	290 64.2	147 32.5	25 5.5	5 1.1
	父親のみ就労	166 100.0	126 75.9	106 63.9	49 29.5	10 6.0	1 0.6
	母親のみ就労	34 100.0	25 73.5	18 52.9	14 41.2	5 14.7	-
	親は働いていない	6 100.0	5 83.3	4 66.7	4 66.7	1 16.7	-

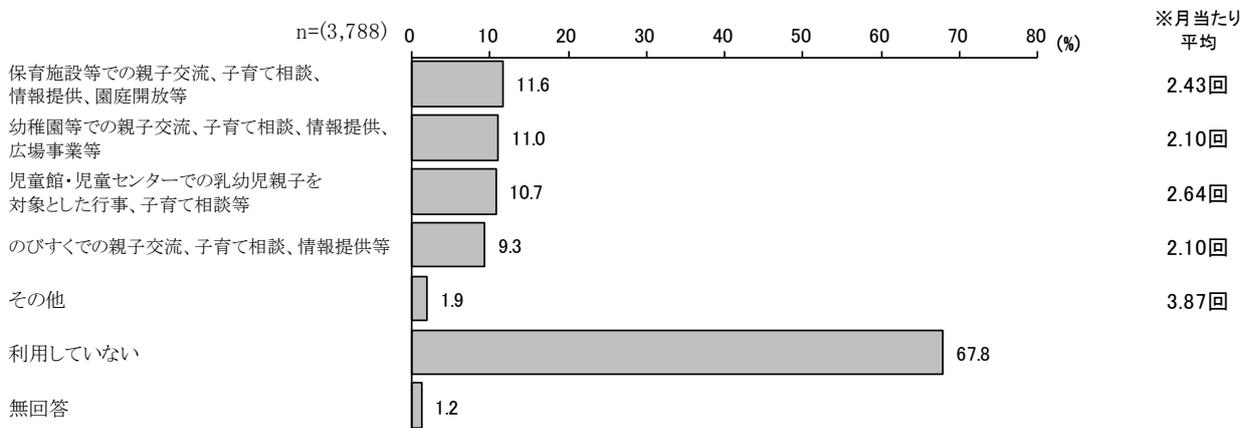
※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

## 7 地域の子育て支援事業の利用状況について

### （1）地域の子育て支援事業の利用状況

▶地域の子育て支援事業の利用状況については、「利用していない」が 67.8%と最も高くなっている。利用している事業の中では、「保育施設等での親子交流、子育て相談、情報提供、園庭開放等」（11.6%）、「幼稚園等での親子交流、子育て相談、情報提供、広場事業等」（11.0%）、「児童館・児童センターでの乳幼児親子を対象とした行事、子育て相談等」（10.7%）が 11%前後となっており、月当たりの平均利用回数は 2 ～ 3 回程度となっている。

問 14 宛名のお子さまについて、親子が集まって交流したり、子育ての相談をしたり、情報提供を受ける、地域の子育て支援事業を利用していますか。利用しているものすべてに○をつけ、おおよその利用回数（頻度）を[ ]内に数字でご記入ください。



### 【子どもの年齢別／地域の子育て支援事業の利用状況】

▶子どもの年齢別にみると、0～2歳では「のびすくでの親子交流、子育て相談、情報提供等」（16.8%）、「保育施設等での親子交流、子育て相談、情報提供、園庭開放等」（16.3%）、「児童館・児童センターでの乳幼児親子対象の行事、子育て相談等」（18.4%）が、3～5歳に比べ高い。一方、3～5歳では「幼稚園等での親子交流、子育て相談、情報提供、広場事業等」が 12.9%と、0～2歳に比べ高い。また、3～5歳では「利用していない」が 76.4%と、0～2歳に比べ高い。

子どもの年齢別	調査数	(上段:件 下段:%)						
		供、園庭開放等	保育施設等での親子交流、情報提供	広場事業等での親子交流、情報提供	幼稚園等での親子交流、子育て相談等	のびすくでの親子交流、子育て相談等	その他	利用していない
0～2歳	1,904	311	174	351	319	34	1,130	19
	100.0	16.3	9.1	18.4	16.8	1.8	59.3	1.0
3～5歳	1,875	129	242	53	33	37	1,433	26
	100.0	6.9	12.9	2.8	1.8	2.0	76.4	1.4

## 【家族構成別／地域の子育て支援事業の利用状況】

▶家族構成別による、特徴的な差はみられない。

(上段:件 下段:%)

		調査数	供、園庭開放等	流、子育て相談	保育施設等での親子交流	広場事業等	子育て相談、情報提供、	幼稚園等での親子交流、	の乳幼児親子を対象とした行事、子育て相談等	児童館・児童センターでの親子交流、	の子育て相談、親子交流、	その他	利用していない	無回答
家族構成別	両親と子ども	3,176 100.0	378 11.9	363 11.4	354 11.1	308 9.7	65 2.0	2,121 66.8	38 1.2					
	ひとり親と子ども	234 100.0	27 11.5	15 6.4	15 6.4	16 6.8	2 0.9	176 75.2	3 1.3					
	多世代同居	347 100.0	33 9.5	36 10.4	34 9.8	28 8.1	4 1.2	247 71.2	5 1.4					

## 【両親の就労状況別／地域の子育て支援事業の利用状況】

▶両親の就労状況別にみると、父親のみ就労の世帯では「幼稚園等での親子交流、子育て相談、情報提供、広場事業等」が25.5%と、他の就労状況に比べ高くなっている。

(上段:件 下段:%)

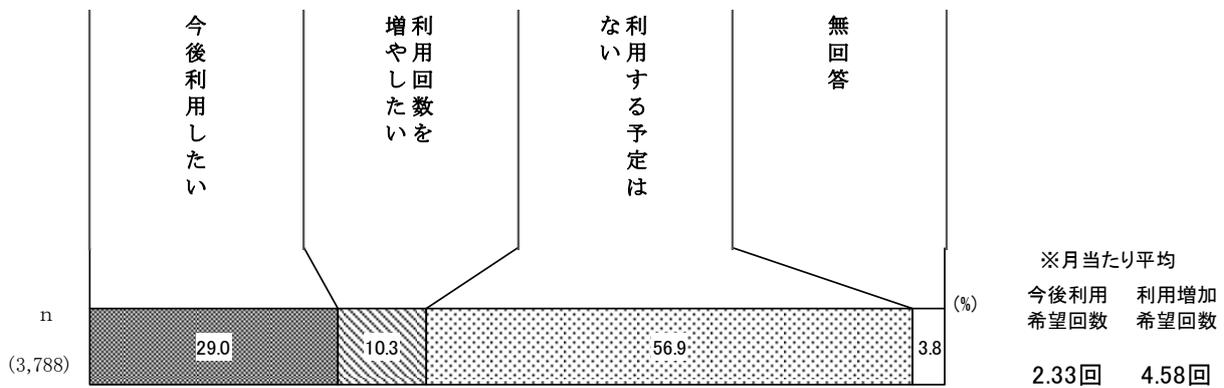
		調査数	供、園庭開放等	流、子育て相談	保育施設等での親子交流	広場事業等	子育て相談、情報提供、	幼稚園等での親子交流、	の乳幼児親子を対象とした行事、子育て相談等	児童館・児童センターでの親子交流、	の子育て相談、親子交流、	その他	利用していない	無回答
両親の就労状況別	共働き	2,497 100.0	332 13.3	148 5.9	197 7.9	213 8.5	29 1.2	1,807 72.4	30 1.2					
	父親のみ就労	919 100.0	63 6.9	234 25.5	173 18.8	106 11.5	36 3.9	502 54.6	10 1.1					
	母親のみ就労	134 100.0	20 14.9	7 5.2	4 3.0	7 5.2	-	104 77.6	-					
	親は働いていない	27 100.0	2 7.4	3 11.1	5 18.5	3 11.1	3 11.1	16 59.3	-					

※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

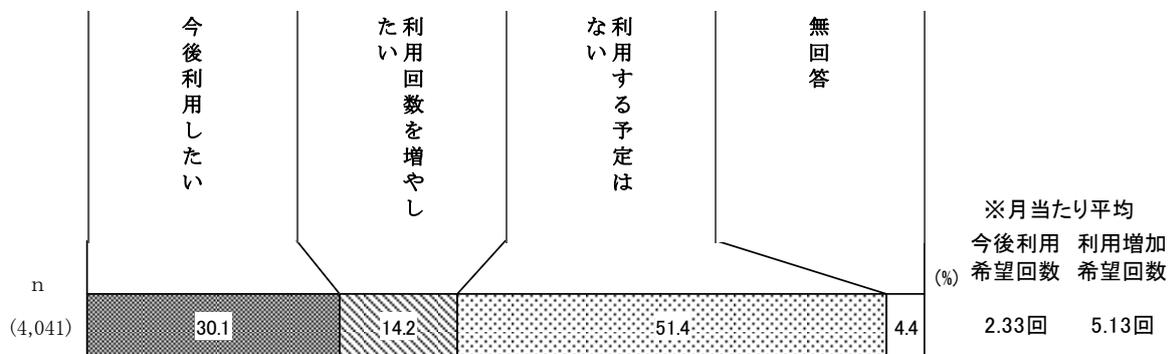
（2）地域の子育て支援事業の今後の利用希望

- ▶地域の子育て支援事業の今後の利用希望については、「利用する予定はない」が 56.9%と最も高く、「今後利用したい」と「利用回数を増やしたい」を合わせた《利用したい》は 39.3%となっている。
- ▶「今後利用したい」の月当たり平均回数は 2.33 回、「利用回数を増やしたい」の月当たり平均回数は 4.58 回となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「今後利用したい」にあまり変化はないが、《利用したい》は平成 30 年度調査の 44.3%に比べ 5 ポイント下降している。

問 15 問 14 のような地域の子育て支援事業について「できれば今後利用したい」、あるいは「利用しているが、今後もっと回数を増やしたい」と思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、おおよその利用回数（頻度）を[ ]内に数字でご記入ください。

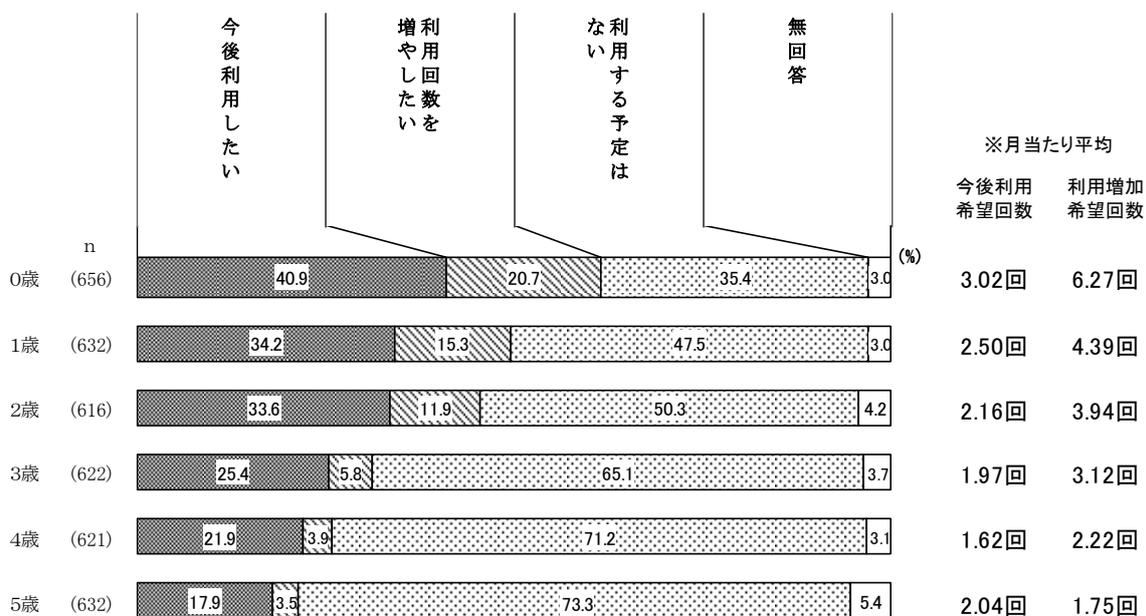


参考：平成 30 年度調査



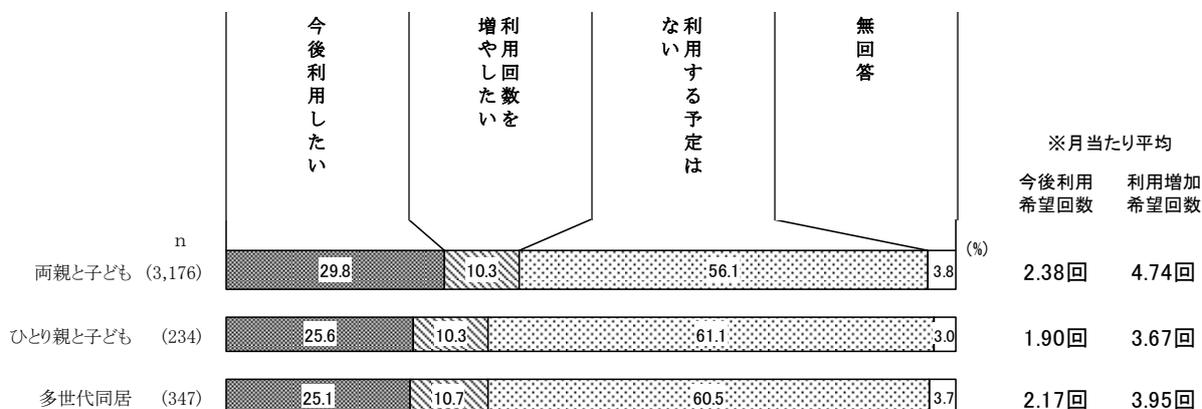
## 【子どもの年齢別／地域の子育て支援事業の今後の利用希望】

▶子どもの年齢別にみると、「利用したい」は年齢が上がるにつれて下降する傾向にある。0～2歳では「利用したい」が約4割～6割となっており、「利用する予定はない」を上回っているが、一方で3～5歳では「利用したい」が約2割～3割となっており、「利用する予定はない」を下回っている。



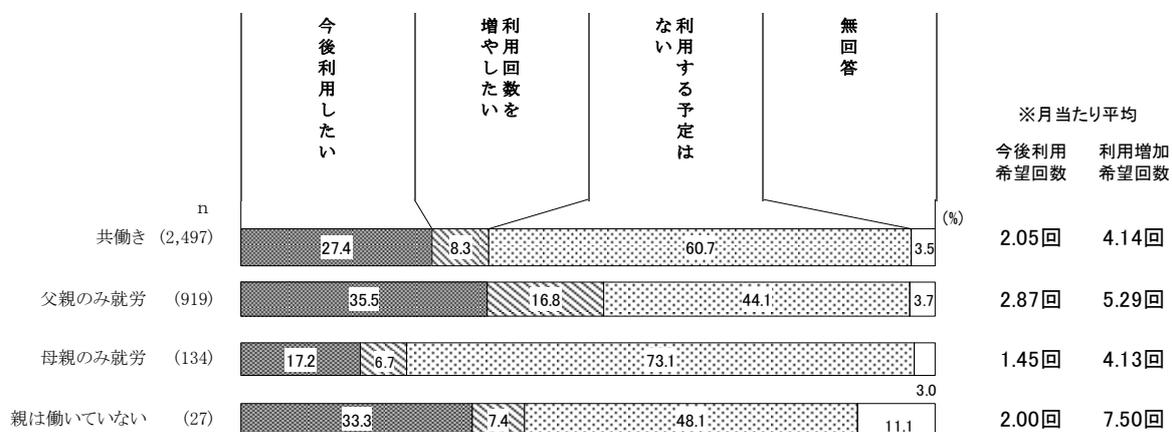
【家族構成別／地域の子育て支援事業の今後の利用希望】

▶家族構成別による、特徴的な差はみられない。



【両親の就労状況別／地域の子育て支援事業の今後の利用希望】

▶両親の就労状況別にみると、《利用したい》は父親のみ就労の世帯で約5割と、他の就労状況に比べ高いが、一方で母親のみ就労の世帯では約2割となっている。



※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

## 8 小学校就学後の放課後の過ごし方について

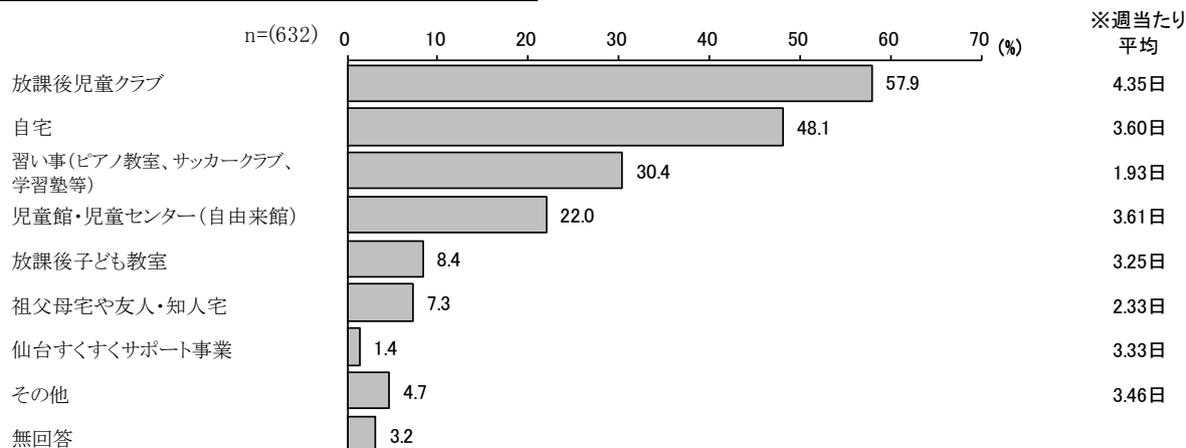
### (1) 小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所

- ▶ 小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所については、「放課後児童クラブ」が 57.9%と最も高く、次いで「自宅」(48.1%)、「習い事」(30.4%)となっている。
- ▶ 放課後児童クラブを希望する場合の利用終了時間については、「18 時まで」(30.1%) が最も高く、次いで「17 時まで」(17.5%) となっている。

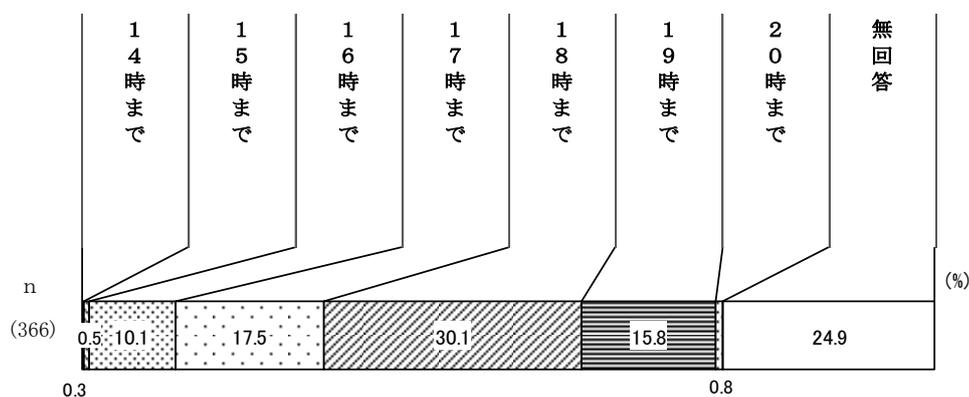
※宛名の子どもが来年度小学校に就学する方のみ

問 16 宛名のお子さまについて、小学校就学後の放課後（平日の小学校終了から夕食時まで）の時間を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望するおおよその日数を[ ]内に数字でご記入ください。なお、放課後児童クラブを利用する場合は、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

#### 小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所



#### 放課後児童クラブを希望する場合の利用終了時間



【家族構成別／小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所】

▶家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では、「自宅」が他の家族構成に比べ低く、「児童館・児童センター（自由来館）」が他の家族構成に比べ高い。

(上段:件 下段:%)

		調査数	放課後児童クラブ	自宅	塾等 (サツカー 習い事 (ピアノ クラブ、 学習)	児童館・児童センター (自由来館)	放課後子ども教室	祖父母宅や友人・知人	事業 仙台 すくすく サポート	その他	無回答
家族構成別	両親と子ども	501 100.0	290 57.9	250 49.9	161 32.1	106 21.2	43 8.6	42 8.4	7 1.4	22 4.4	17 3.4
	ひとり親と子ども	59 100.0	35 59.3	16 27.1	14 23.7	18 30.5	3 5.1	3 5.1	2 3.4	4 6.8	2 3.4
	多世代同居	68 100.0	39 57.4	37 54.4	17 25.0	14 20.6	7 10.3	1 1.5	-	3 4.4	1 1.5

【両親の就労状況別／小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所】

▶両親の就労状況別にみると、共働きの世帯、母親のみ就労の世帯では、「放課後児童クラブ」が高く、父親のみ就労の世帯では「自宅」が高い。

(上段:件 下段:%)

		調査数	放課後児童クラブ	自宅	塾等 (サツカー 習い事 (ピアノ クラブ、 学習)	児童館・児童センター (自由来館)	放課後子ども教室	祖父母宅や友人・知人	事業 仙台 すくすく サポート	その他	無回答
両親の就労状況別	共働き	405 100.0	275 67.9	149 36.8	112 27.7	97 24.0	33 8.1	30 7.4	6 1.5	15 3.7	13 3.2
	父親のみ就労	149 100.0	48 32.2	129 86.6	67 45.0	19 12.8	17 11.4	11 7.4	1 0.7	12 8.1	2 1.3
	母親のみ就労	40 100.0	26 65.0	9 22.5	6 15.0	15 37.5	3 7.5	3 7.5	2 5.0	1 2.5	-
	親は働いていない	4 100.0	1 25.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	-	-	-	-	-

※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

## (2) 休日の放課後児童クラブの利用希望

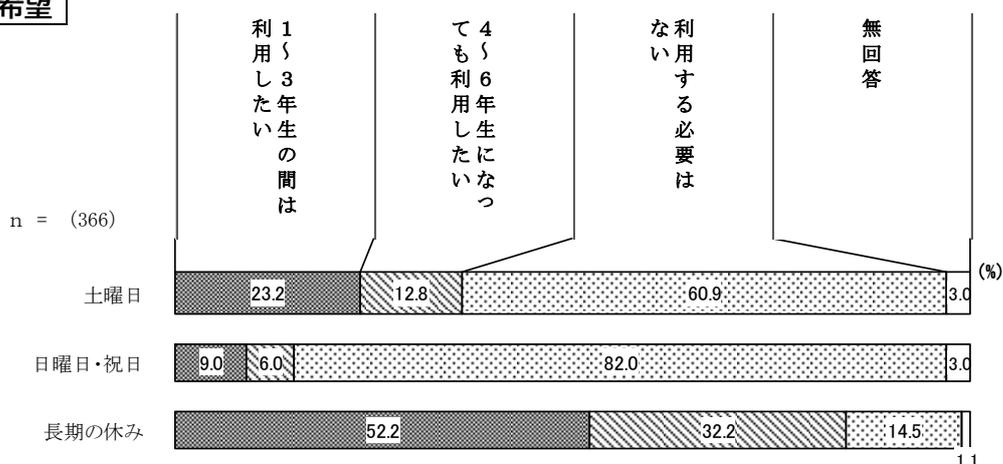
- ▶ 休日の放課後児童クラブの利用希望について、土曜日は「1～3年生の間は利用したい」が23.2%、「4～6年生になっても利用したい」が12.8%となっており、日曜日・祝日はどちらも1割以下となっている。
- ▶ また、長期の休みについては、「1～3年生の間は利用したい」が52.2%、「4～6年生になっても利用したい」が32.2%と、土曜日や日曜日・祝日に比べ利用を希望する割合が高くなっている。
- ▶ 平成30年度調査と比較すると、土曜日では「1～3年生の間は利用したい」が約8ポイント下降している。日曜日・祝日については、概ね同様の傾向となっている。

※『8(1) 小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所』で「放課後児童クラブ」と回答した方のみ

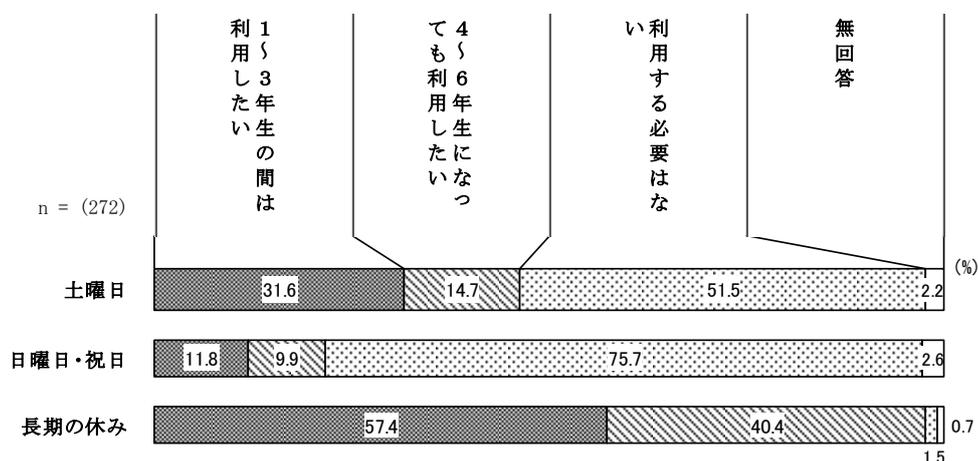
問16-1 宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日および長期の休み（夏休みなど）に、放課後児童クラブを利用したいと思いませんか。

(1)土曜日、(2)日曜日・祝日、(3)長期の休み（夏休みなど）それぞれ、【①利用希望】について当てはまる番号1つに○をつけてください。【①利用希望】で「1」「2」を選択した方は、【②希望する頻度】【③希望する時間帯】についてもご回答ください。

### 利用希望



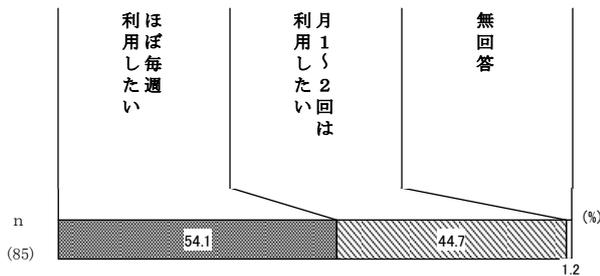
### 参考：平成30年度調査



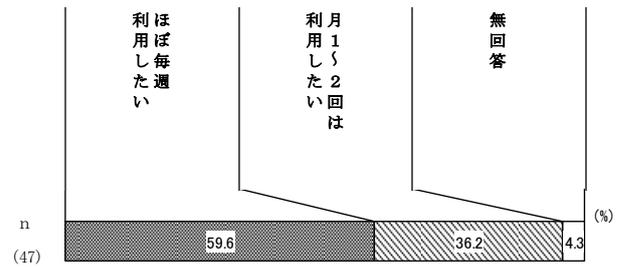
- ▶ 休日の放課後児童クラブ利用を希望する頻度については、土曜日は、1～3年生の間は利用したい場合に比べ4～6年生になっても利用したい場合の方が、「ほぼ毎週利用したい」の割合が高くなっているが、日曜日・祝日は低くなっている。
- ▶ 長期の休みについては、1～3年生の間は利用したい場合、4～6年生になっても利用したい場合ともに、「週5日以上」の割合が最も高くなっている。

希望する頻度（土曜日）

< 1～3年生の間は利用したい >

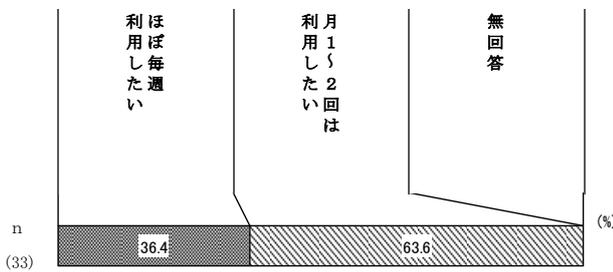


< 4～6年生になっても利用したい >

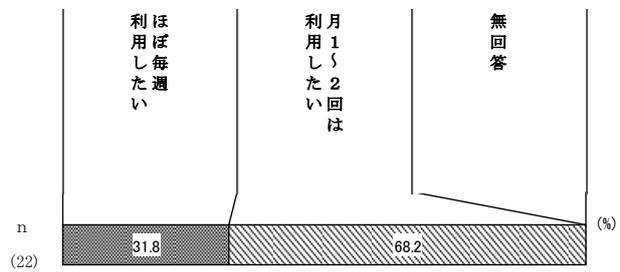


希望する頻度（日曜日・祝日）

< 1～3年生の間は利用したい >

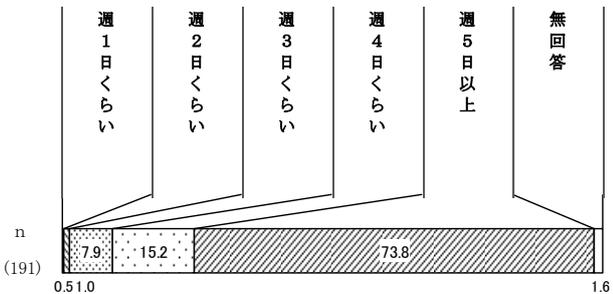


< 4～6年生になっても利用したい >

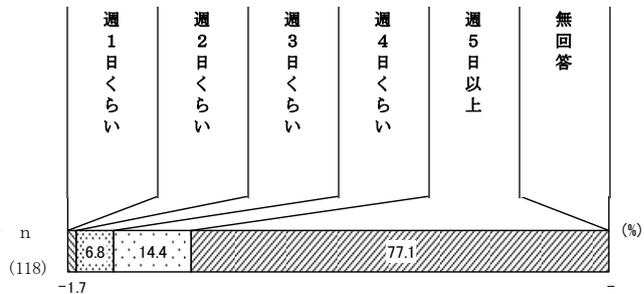


希望する頻度（長期の休み）

< 1～3年生の間は利用したい >



< 4～6年生になっても利用したい >



- ▶土曜日の放課後児童クラブ利用を希望する時間帯について、1～3年生の間は利用したい場合では、開始時間は「8時から」（54.1%）、終了時間は「18時まで」（44.7%）が最も高い。4～6年生になっても利用したい場合でも同様に、開始時間は「8時から」（59.6%）、終了時間は「18時まで」（44.7%）が最も高い。
- ▶日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用を希望する時間帯について、1～3年生の間は利用したい場合では、開始時間は「8時から」（54.5%）、終了時間は「18時まで」（48.5%）が最も高い。4～6年生になっても利用したい場合でも同様に、開始時間は「8時から」（63.6%）、終了時間は「18時まで」（50.0%）が最も高い。
- ▶長期の休みの放課後児童クラブ利用を希望する時間帯について、1～3年生の間は利用したい場合では、開始時間は「8時から」（66.0%）、終了時間は「18時まで」（40.3%）が最も高い。4～6年生になっても利用したい場合でも同様に、開始時間は「8時から」（69.5%）、終了時間は「18時まで」（39.8%）が最も高い。

### 希望する時間帯（土曜日）

#### < 1～3年生の間は利用したい >

n = 85

開始時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時から	-
7時から	10.6
8時から	54.1
9時から	25.9
10時から	2.4
11時から	-
12時から	-
13時から	1.2
14時から	2.4
15時から	-
16時から	1.2
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	2.4

終了時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	-
9時まで	-
10時まで	-
11時まで	-
12時まで	1.2
13時まで	3.5
14時まで	1.2
15時まで	3.5
16時まで	9.4
17時まで	22.4
18時まで	44.7
19時まで	11.8
20時まで	-
21時まで	-
22時まで	-
23時まで	-
24時以降	-
無回答	2.4

#### < 4～6年生になっても利用したい >

n = 47

開始時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時から	-
7時から	14.9
8時から	59.6
9時から	21.3
10時から	-
11時から	-
12時から	-
13時から	-
14時から	-
15時から	2.1
16時から	-
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	2.1

終了時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	-
9時まで	-
10時まで	-
11時まで	-
12時まで	-
13時まで	-
14時まで	-
15時まで	4.3
16時まで	8.5
17時まで	17.0
18時まで	44.7
19時まで	14.9
20時まで	8.5
21時まで	-
22時まで	-
23時まで	-
24時以降	-
無回答	2.1

希望する時間帯（日曜日・祝日）

< 1～3年生の間は利用したい >

n=33

開始時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時から	-
7時から	12.1
8時から	54.5
9時から	24.2
10時から	3.0
11時から	-
12時から	-
13時から	-
14時から	-
15時から	-
16時から	-
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	6.1

終了時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	-
9時まで	-
10時まで	-
11時まで	-
12時まで	3.0
13時まで	3.0
14時まで	-
15時まで	-
16時まで	3.0
17時まで	21.2
18時まで	48.5
19時まで	15.2
20時まで	-
21時まで	-
22時まで	-
23時まで	-
24時以降	-
無回答	6.1

< 4～6年生になっても利用したい >

n=22

開始時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時から	-
7時から	9.1
8時から	63.6
9時から	18.2
10時から	4.5
11時から	-
12時から	-
13時から	-
14時から	-
15時から	-
16時から	-
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	4.5

終了時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	-
9時まで	-
10時まで	-
11時まで	-
12時まで	-
13時まで	-
14時まで	-
15時まで	-
16時まで	-
17時まで	22.7
18時まで	50.0
19時まで	13.6
20時まで	9.1
21時まで	-
22時まで	-
23時まで	-
24時以降	-
無回答	4.5

希望する時間帯（長期の休み）

< 1～3年生の間は利用したい >

n=191

開始時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時から	-
7時から	6.3
8時から	66.0
9時から	22.0
10時から	2.6
11時から	-
12時から	-
13時から	-
14時から	-
15時から	-
16時から	-
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	3.1

終了時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	-
9時まで	-
10時まで	-
11時まで	-
12時まで	1.0
13時まで	1.0
14時まで	1.0
15時まで	3.7
16時まで	16.2
17時まで	21.5
18時まで	40.3
19時まで	12.0
20時まで	-
21時まで	-
22時まで	-
23時まで	-
24時以降	-
無回答	3.1

< 4～6年生になっても利用したい >

n=118

開始時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時から	-
7時から	11.9
8時から	69.5
9時から	16.9
10時から	-
11時から	0.8
12時から	-
13時から	-
14時から	-
15時から	-
16時から	-
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	0.8

終了時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	-
9時まで	-
10時まで	-
11時まで	-
12時まで	0.8
13時まで	-
14時まで	1.7
15時まで	2.5
16時まで	7.6
17時まで	19.5
18時まで	39.8
19時まで	23.7
20時まで	3.4
21時まで	-
22時まで	-
23時まで	-
24時以降	-
無回答	0.8

## 【家族構成別／休日の放課後児童クラブの利用希望】

- ▶ 家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では「4～6年生になっても利用したい」が、土曜日で25.7%、長期の休みで37.1%と、他の家族構成に比べ高い。

		(上段:件 下段:%)				
		調査数	1～3年生の間は利用したい	4～6年生になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
土曜日	両親と子ども	290 100.0	65 22.4	32 11.0	186 64.1	7 2.4
	ひとり親と子ども	35 100.0	8 22.9	9 25.7	16 45.7	2 5.7
	多世代同居	39 100.0	11 28.2	6 15.4	20 51.3	2 5.1
日曜日・祝日	両親と子ども	290 100.0	24 8.3	14 4.8	245 84.5	7 2.4
	ひとり親と子ども	35 100.0	4 11.4	4 11.4	25 71.4	2 5.7
	多世代同居	39 100.0	5 12.8	4 10.3	28 71.8	2 5.1
長期の休み	両親と子ども	290 100.0	151 52.1	94 32.4	42 14.5	3 1.0
	ひとり親と子ども	35 100.0	17 48.6	13 37.1	5 14.3	-
	多世代同居	39 100.0	21 53.8	11 28.2	6 15.4	1 2.6

## 【両親の就労状況別／休日の放課後児童クラブの利用希望】

- ▶ 両親の就労状況別にみると、共働きの世帯では長期の休みでは「1～3年生の間は利用したい」が56.0%と、他の就労状況に比べ高い。一方、母親のみ就労の世帯では、「4～6年生になっても利用したい」が61.5%と、他の就労状況に比べて高い。

		(上段:件 下段:%)				
		調査数	1～3年生の間は利用したい	4～6年生になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
土曜日	共働き	275 100.0	70 25.5	31 11.3	166 60.4	8 2.9
	父親のみ就労	48 100.0	6 12.5	6 12.5	35 72.9	1 2.1
	母親のみ就労	26 100.0	3 11.5	10 38.5	13 50.0	-
	親は働いていない	1 100.0	-	-	1 100.0	-
日曜日・祝日	共働き	275 100.0	26 9.5	14 5.1	227 82.5	8 2.9
	父親のみ就労	48 100.0	4 8.3	2 4.2	41 85.4	1 2.1
	母親のみ就労	26 100.0	1 3.8	6 23.1	19 73.1	-
	親は働いていない	1 100.0	-	-	1 100.0	-
長期の休み	共働き	275 100.0	154 56.0	88 32.0	29 10.5	4 1.5
	父親のみ就労	48 100.0	16 33.3	11 22.9	21 43.8	-
	母親のみ就労	26 100.0	8 30.8	16 61.5	2 7.7	-
	親は働いていない	1 100.0	1 100.0	-	-	-

※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

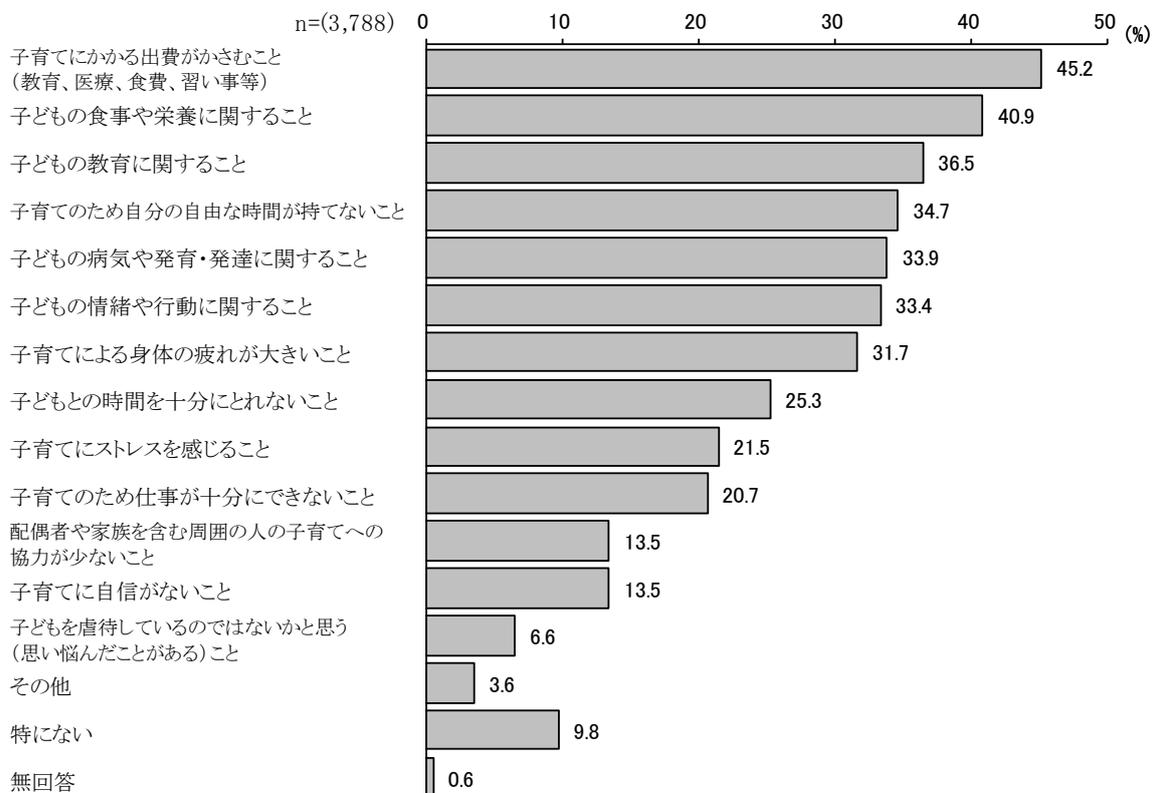
## 9 子育てに関する悩みや不安、相談先等について

### （1）子育てをする上での悩みや負担に思うこと

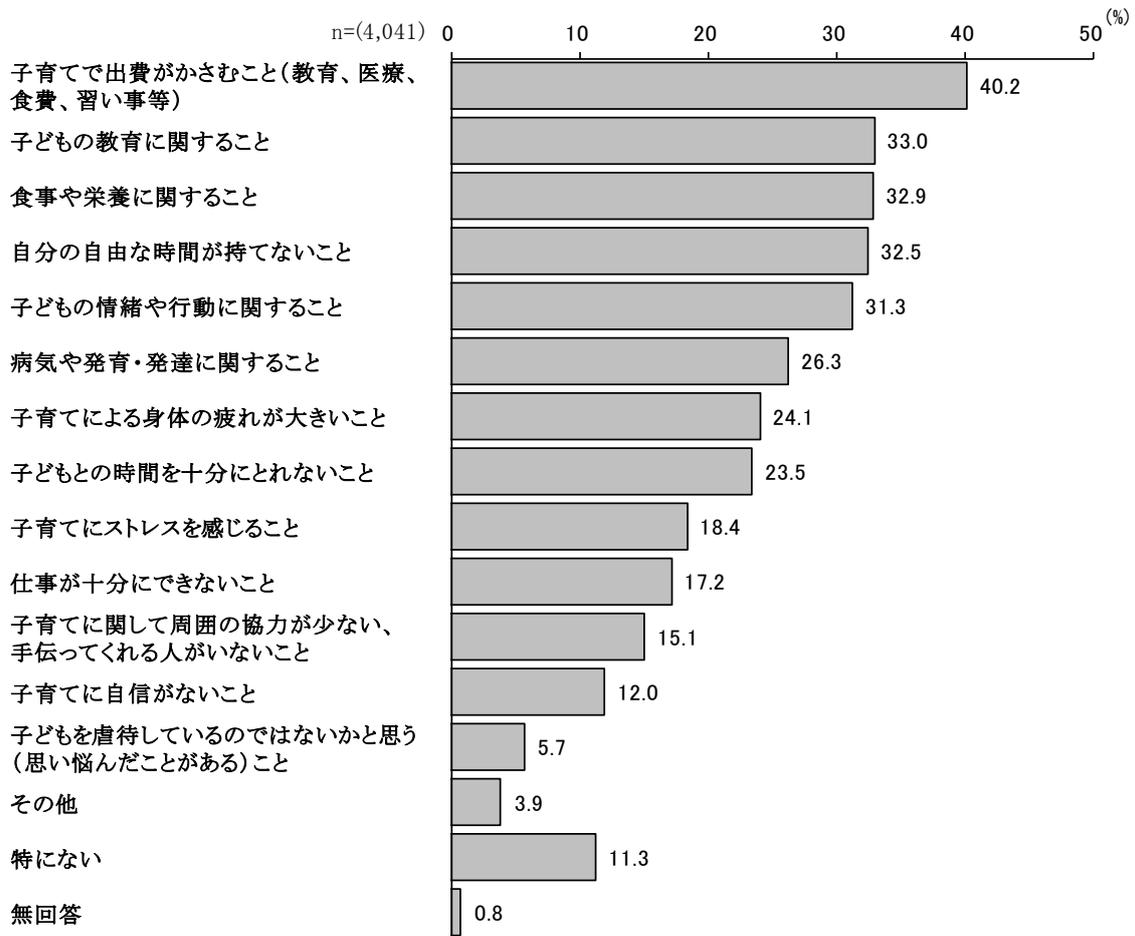
- ▶子育てをする上での悩みや負担に思うことについては、「子育てにかかる出費がかさむこと（教育、医療、食費、習い事等）」が45.2%と、経済的な負担に関する回答が最も多くなっている。このほか、「子どもの食事や栄養に関すること」（40.9%）、「子どもの教育に関すること」（36.5%）、「子どもの病気や発育・発達に関すること」（33.9%）、「子どもの情緒や行動に関すること」（33.4%）、など、子どもの教育・行動に関する悩みや、「子育てのため自分の自由な時間が持てないこと」（34.7%）、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」（31.7%）など、子育てによる時間的・身体的な影響に関する悩みが多くなっている。
- ▶平成30年度調査と比較すると、全体としては大きな傾向の変化はみられないものの、平成30年度調査で最も割合が高かった「子育てにかかる出費がかさむこと（教育、医療、食費、習い事等）」が5ポイント上昇、第3位だった「子どもの食事や栄養に関すること」が約8ポイント上昇している。

問17 子育てをする上で、特に悩んでいることや、負担に思うことはどのようなことですか。

（当てはまるものすべてに○）



参考：平成 30 年度調査



【子どもの年齢別／子育てをする上での悩みや負担に思うこと】

▶子どもの年齢別にみると、「子どもの食事や栄養に関すること」、「子育てのため自分の自由な時間が持てないこと」、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」は、年齢が上がるにつれて下降する傾向にある。

		(上段:件 下段:%)															
子どもの年齢別	調査数	子育てにかかる出費が、かさむこと(教育、医療、習い事等)	子どもの食事や栄養に関すること	子どもの教育に関すること	子育てのため自分の自由な時間が持てないこと	子どもの病気や発育・発達に関すること	子どもの情緒や行動に関すること	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子どもとの時間を十分にとれないこと	子育てにストレスを感じる	子育てのため仕事ができないこと	配偶者や家族を含む周囲の人の子育てへの協力が少ないこと	子育てに自信がないこと	子どもを虐待しているのではないかと思う(思い悩んだことがある)こと	その他	特にな	無回答
		0歳	656 100.0	336 51.2	357 54.4	247 37.7	260 39.6	274 41.8	189 28.8	240 36.6	134 20.4	110 16.8	136 20.7	79 12.0	97 14.8	30 4.6	22 3.4
1歳	632 100.0	267 42.2	294 46.5	208 32.9	245 38.8	227 35.9	204 32.3	227 35.9	169 26.7	143 22.6	148 23.4	95 15.0	76 12.0	45 7.1	21 3.3	66 10.4	2 0.3
2歳	616 100.0	286 46.4	270 43.8	208 33.8	261 42.4	182 29.5	215 34.9	222 36.0	160 26.0	146 23.7	137 22.2	87 14.1	75 12.2	48 7.8	26 4.2	45 7.3	6 1.0
3歳	622 100.0	260 41.8	222 35.7	229 36.8	218 35.0	211 33.9	234 37.6	195 31.4	174 28.0	164 26.4	134 21.5	86 13.8	95 15.3	53 8.5	25 4.0	59 9.5	5 0.8
4歳	621 100.0	275 44.3	208 33.5	228 36.7	187 30.1	192 30.9	206 33.2	170 27.4	170 27.4	134 21.6	113 18.2	78 12.6	80 12.9	39 6.3	24 3.9	76 12.2	4 0.6
5歳	632 100.0	285 45.1	197 31.2	261 41.3	139 22.0	194 30.7	218 34.5	146 23.1	150 23.7	116 18.4	116 18.4	87 13.8	85 13.4	34 5.4	17 2.7	82 13.0	3 0.5

【家族構成別／子育てをする上での悩みや負担に思うこと】

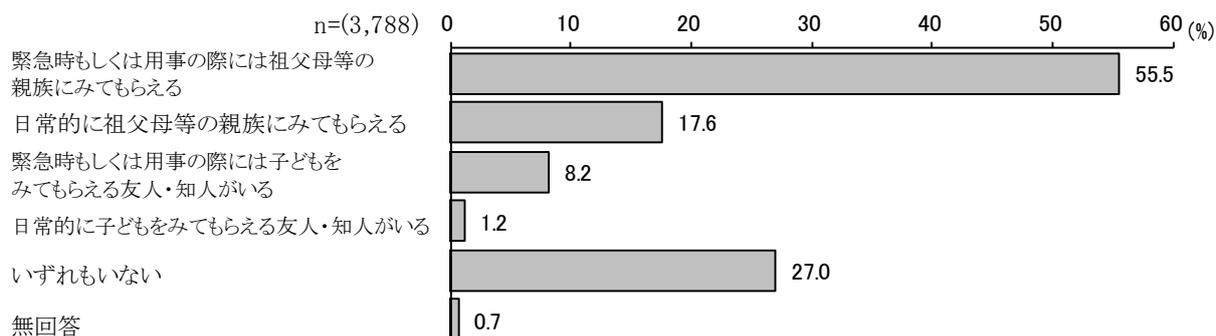
▶家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が 32.5%と、他の家族構成に比べ高い。また、多世代同居世帯では「配偶者や家族を含む周囲の人の子育てへの協力が少ないこと」「子育てによる身体の疲れが大きいこと」「子育てにストレスを感じる」「子育てのため仕事ができないこと」「子育てのため自分の自由な時間が持てないこと」が他の家族構成に比べ低くなっている。

		(上段:件 下段:%)															
家族構成別	調査数	子育てにかかる出費が、かさむこと(教育、医療、習い事等)	子どもの食事や栄養に関すること	子どもの教育に関すること	子育てのため自分の自由な時間が持てないこと	子どもの病気や発育・発達に関すること	子どもの情緒や行動に関すること	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子どもとの時間を十分にとれないこと	子育てにストレスを感じる	子育てのため仕事ができないこと	配偶者や家族を含む周囲の人の子育てへの協力が少ないこと	子育てに自信がないこと	子どもを虐待しているのではないかと思う(思い悩んだことがある)こと	その他	特にな	無回答
		両親と子ども	3,176 100.0	1,434 45.2	1,305 41.1	1,156 36.4	1,126 35.5	1,112 35.0	1,061 33.4	1,035 32.6	788 24.8	708 22.3	661 20.8	436 13.7	429 13.5	217 6.8	110 3.5
ひとり親と子ども	234 100.0	114 48.7	76 32.5	88 37.6	81 34.6	57 24.4	86 36.8	75 32.1	76 32.5	53 22.6	68 29.1	43 18.4	38 16.2	18 7.7	10 4.3	26 11.1	2 0.9
多世代同居	347 100.0	153 44.1	155 44.7	128 36.9	97 28.0	108 31.1	111 32.0	86 24.8	88 25.4	50 14.4	52 15.0	31 8.9	41 11.8	16 4.6	14 4.0	39 11.2	-

## (2) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無

- ▶日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.5%と最も高い。
- ▶一方、「いずれもない」は27.0%と、約5人に1人が子どもをみてもらえる人がいないと回答している。

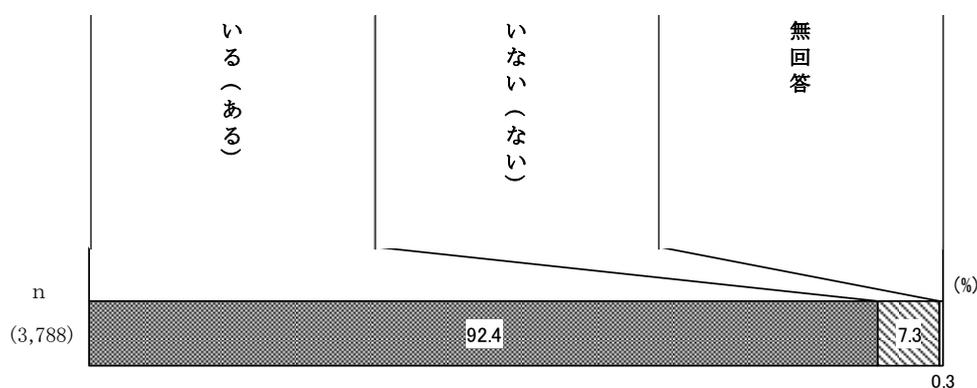
問 18 日頃、宛名のお子さまをみてもらえる親族・知人はいますか。※この設問では、親族に配偶者は含まないこととしてお答えください。(当てはまるものすべてに○)



## (3) 子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無

- ▶子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無については、「いる（ある）」が92.4%と大多数を占めている。

問 19 宛名のお子さまの子育てに関して、気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）。(○は1つ)

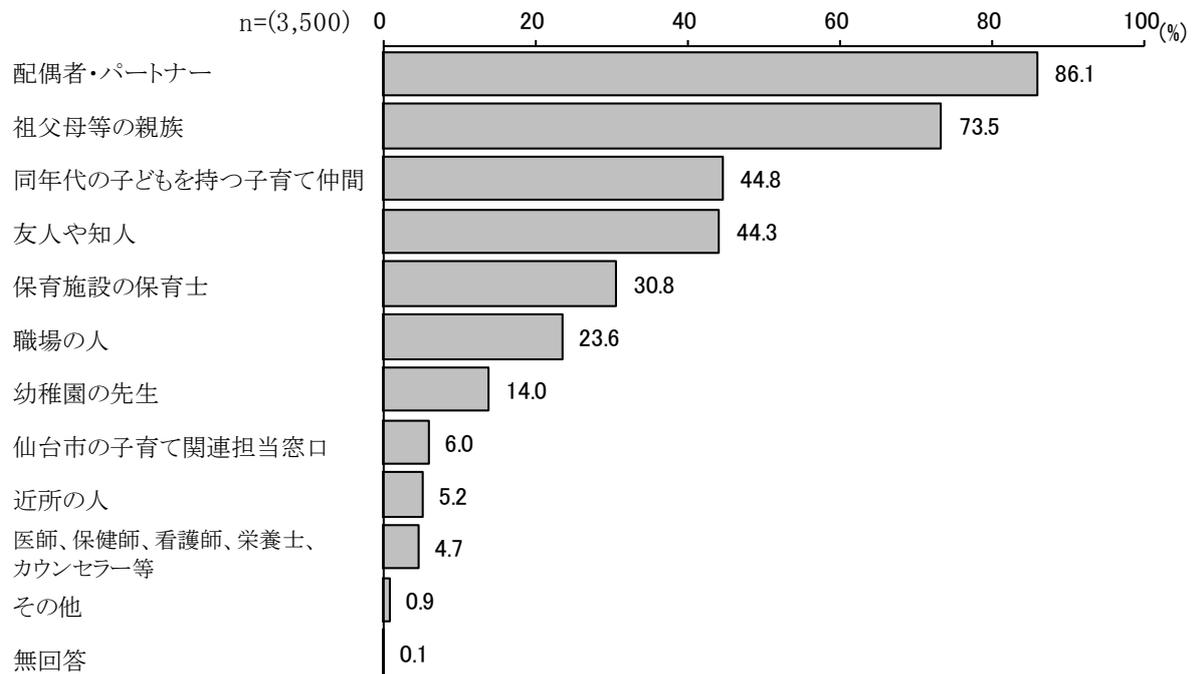


（４）子育てに関して気軽に相談できる人（場所）

▶子育てに関して気軽に相談できる人（場所）については、「配偶者・パートナー」（86.1%）、「祖父母等の親族」（73.5%）、「同年代の子どもを持つ子育て仲間」（44.8%）、「友人や知人」（44.3%）となっている。

※『9（3）子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無』で「いる（ある）」と回答した方のみ

問 19-1 それは、誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）



## 【子どもの年齢別／子育てに関して気軽に相談できる人（場所）】

▶子どもの年齢別にみると、1～2歳では「保育施設の保育士」が、幼稚園や保育施設等の利用が多くなる3～5歳では「幼稚園の先生」が、他の年齢に比べ高い。また、「祖父母等の親族」は年齢が上がるにつれて下降する傾向にある。

		調査数	配偶者・パートナー	祖父母等の親族	同年代の子どもの持つ子育て仲間	友人や知人	保育施設の保育士	職場の人	幼稚園の先生	当窓口 仙台市の子育て関連担	近所の人	ラー等 師、栄養士、カウンセ	医師、保健師、看護	その他	無回答
子どもの年齢別	0歳	617 100.0	555 90.0	492 79.7	255 41.3	287 46.5	175 28.4	120 19.4	15 2.4	30 4.9	16 2.6	35 5.7	6 1.0	1 0.2	
	1歳	595 100.0	528 88.7	456 76.6	264 44.4	270 45.4	226 38.0	149 25.0	37 6.2	32 5.4	30 5.0	25 4.2	3 0.5	-	
	2歳	572 100.0	511 89.3	420 73.4	248 43.4	243 42.5	218 38.1	138 24.1	60 10.5	30 5.2	34 5.9	25 4.4	6 1.0	1 0.2	
	3歳	575 100.0	485 84.3	423 73.6	249 43.3	252 43.8	167 29.0	133 23.1	125 21.7	41 7.1	35 6.1	29 5.0	8 1.4	1 0.2	
	4歳	559 100.0	468 83.7	379 67.8	264 47.2	250 44.7	163 29.2	152 27.2	126 22.5	34 6.1	33 5.9	28 5.0	4 0.7	1 0.2	
	5歳	574 100.0	459 80.0	395 68.8	284 49.5	246 42.9	128 22.3	131 22.8	128 22.3	41 7.1	34 5.9	22 3.8	5 0.9	-	

## 【家族構成別／子育てに関して気軽に相談できる人（場所）】

▶家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では「同年代の子どもの持つ子育て仲間」が 39.6%と、他の家族構成に比べやや低い。

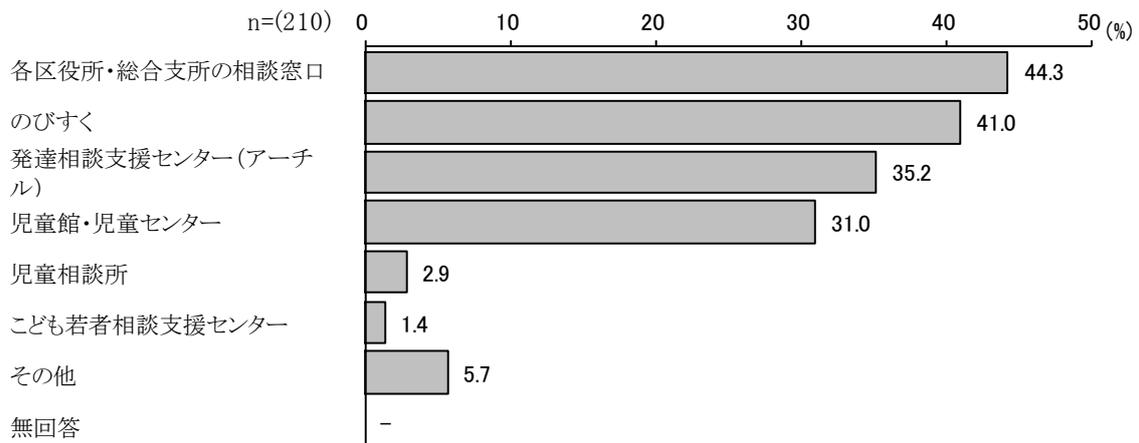
		調査数	配偶者・パートナー	祖父母等の親族	同年代の子どもの持つ子育て仲間	友人や知人	保育施設の保育士	職場の人	幼稚園の先生	当窓口 仙台市の子育て関連担	近所の人	ラー等 師、栄養士、カウンセ	医師、保健師、看護	その他	無回答
家族構成別	両親と子ども	2,940 100.0	2,635 89.6	2,154 73.3	1,317 44.8	1,291 43.9	908 30.9	676 23.0	425 14.5	169 5.7	157 5.3	137 4.7	27 0.9	4 0.1	
	ひとり親と子ども	212 100.0	109 51.4	142 67.0	84 39.6	89 42.0	62 29.2	53 25.0	17 8.0	18 8.5	9 4.2	9 4.2	3 1.4	-	
	多世代同居	322 100.0	245 76.1	254 78.9	155 48.1	156 48.4	99 30.7	90 28.0	47 14.6	22 6.8	15 4.7	18 5.6	2 0.6	-	

（５）利用したことのある市の子育て関連担当窓口

▶ 利用したことのある市の子育て関連担当窓口については、「各区役所・総合支所の相談窓口」（44.3%）、「のびすく」（41.0%）が高い。

※『9（４）子育てに関して気軽に相談できる人（場所）』で「仙台市の子育て関連担当窓口」と回答した方のみ

問 19-2 今までに利用したことのある窓口をお答えください。（当てはまるものすべてに○）

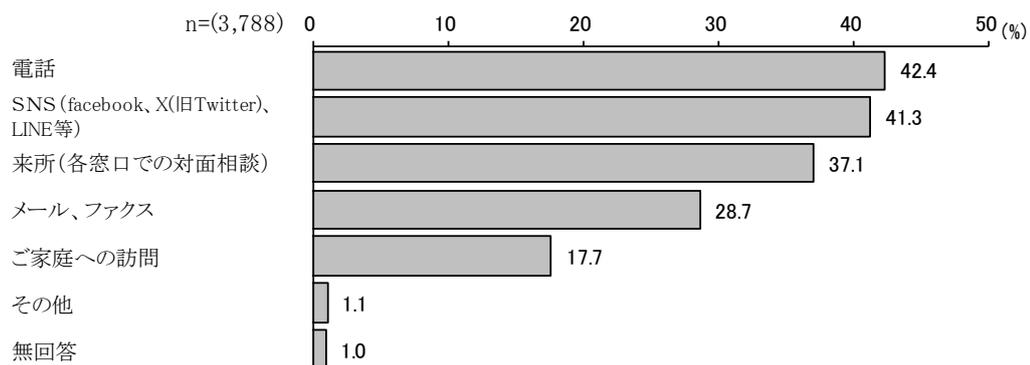


## (6) 市の子育て関連担当窓口に相談しやすい方法や日時

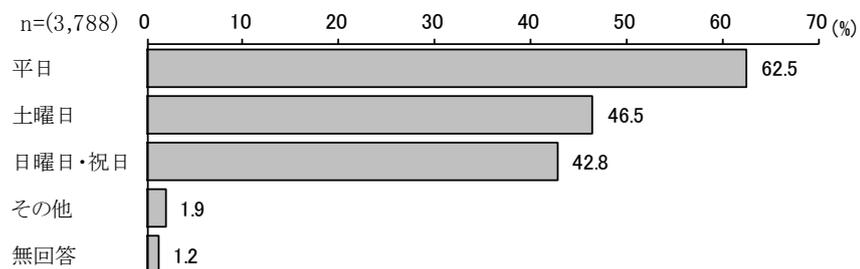
- ▶市の子育て関連担当窓口に相談する際の相談しやすい方法については、「電話」(42.4%)が最も高く、次いで「SNS (facebook・X (旧 Twitter) 、LINE 等) 」(41.3%)、「来所 (各窓口での対面相談) 」(37.1%)となっている。
- ▶相談しやすい曜日については、「平日」が 62.5%、次いで「土曜日」(46.5%)、「日曜日・祝日」(42.8%)となっている。
- ▶相談しやすい時間帯については、「午前 (9 時~12 時) 」(61.5%)、「午後 (12 時~17 時) 」(41.1%)がともに高く、日中の時間帯へのニーズが高い。

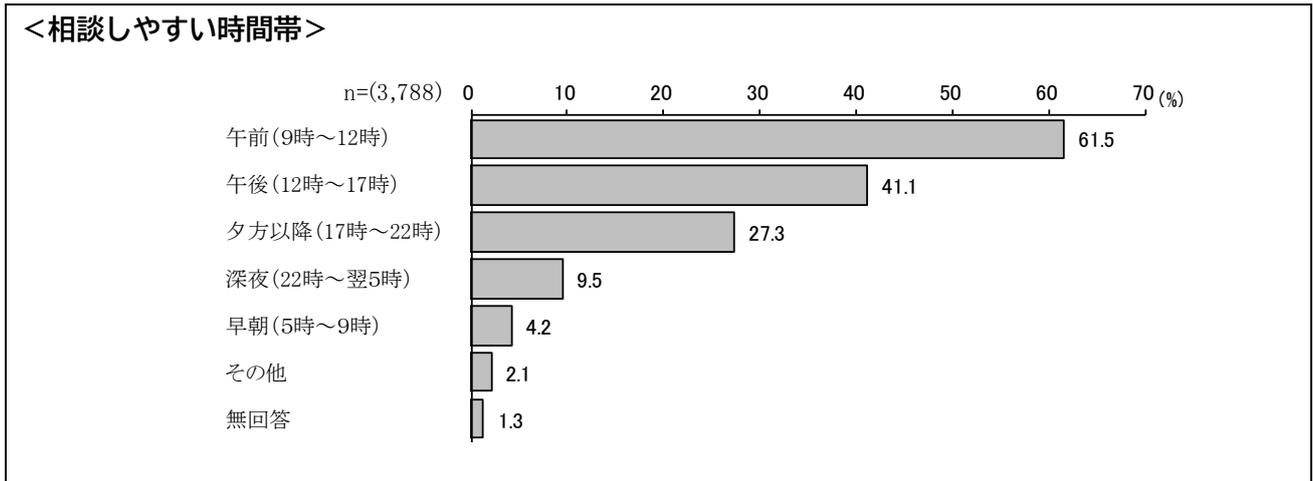
問 20 あなたが子育て関連担当窓口を利用する場合、どのような方法や日時が相談しやすいですか。  
【①相談しやすい方法】、【②相談しやすい曜日】、【③相談しやすい時間帯】、それぞれについてお答えください。(当てはまるものすべてに○)

### <相談しやすい方法>



### <相談しやすい曜日>





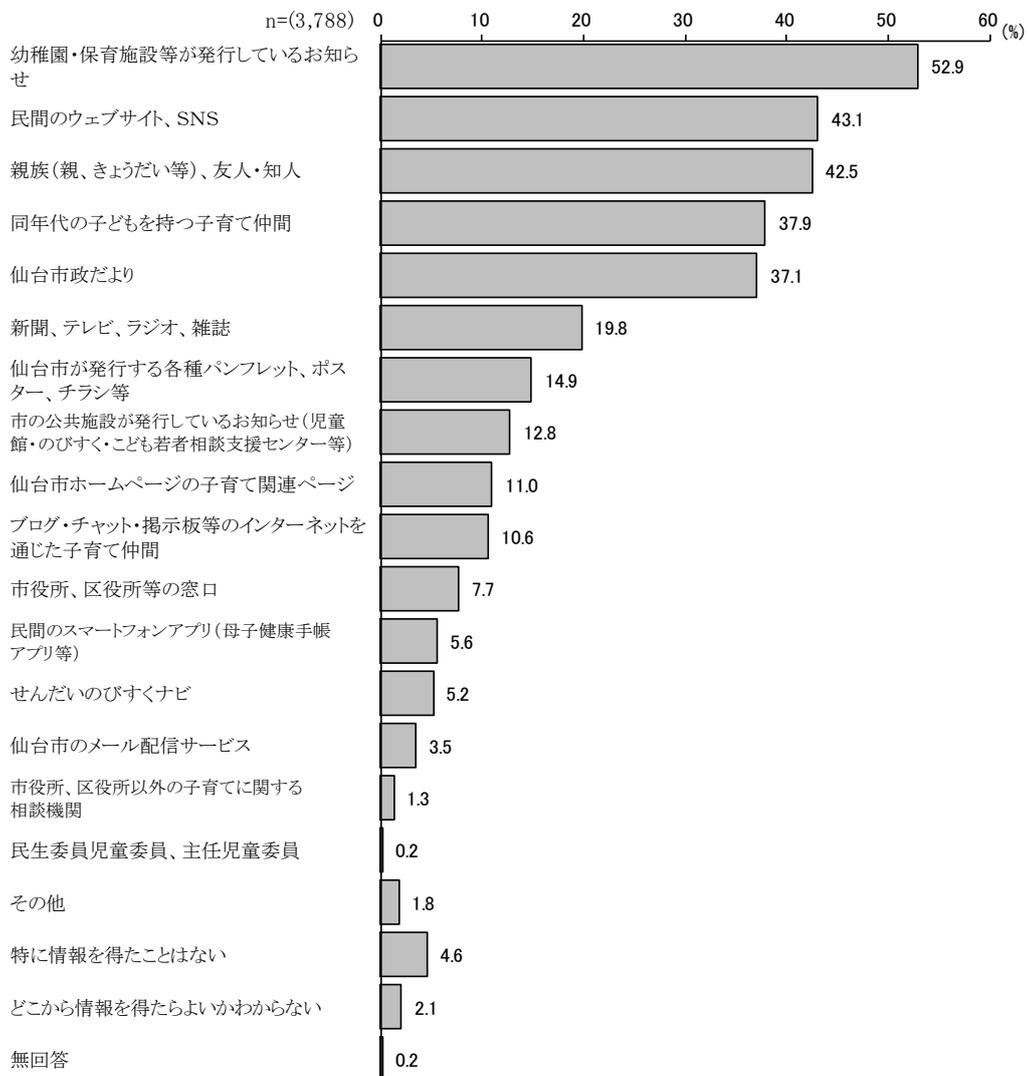
## 10 子育てに関する情報の入手方法等について

### (1) 子育てに関する情報の主な入手先

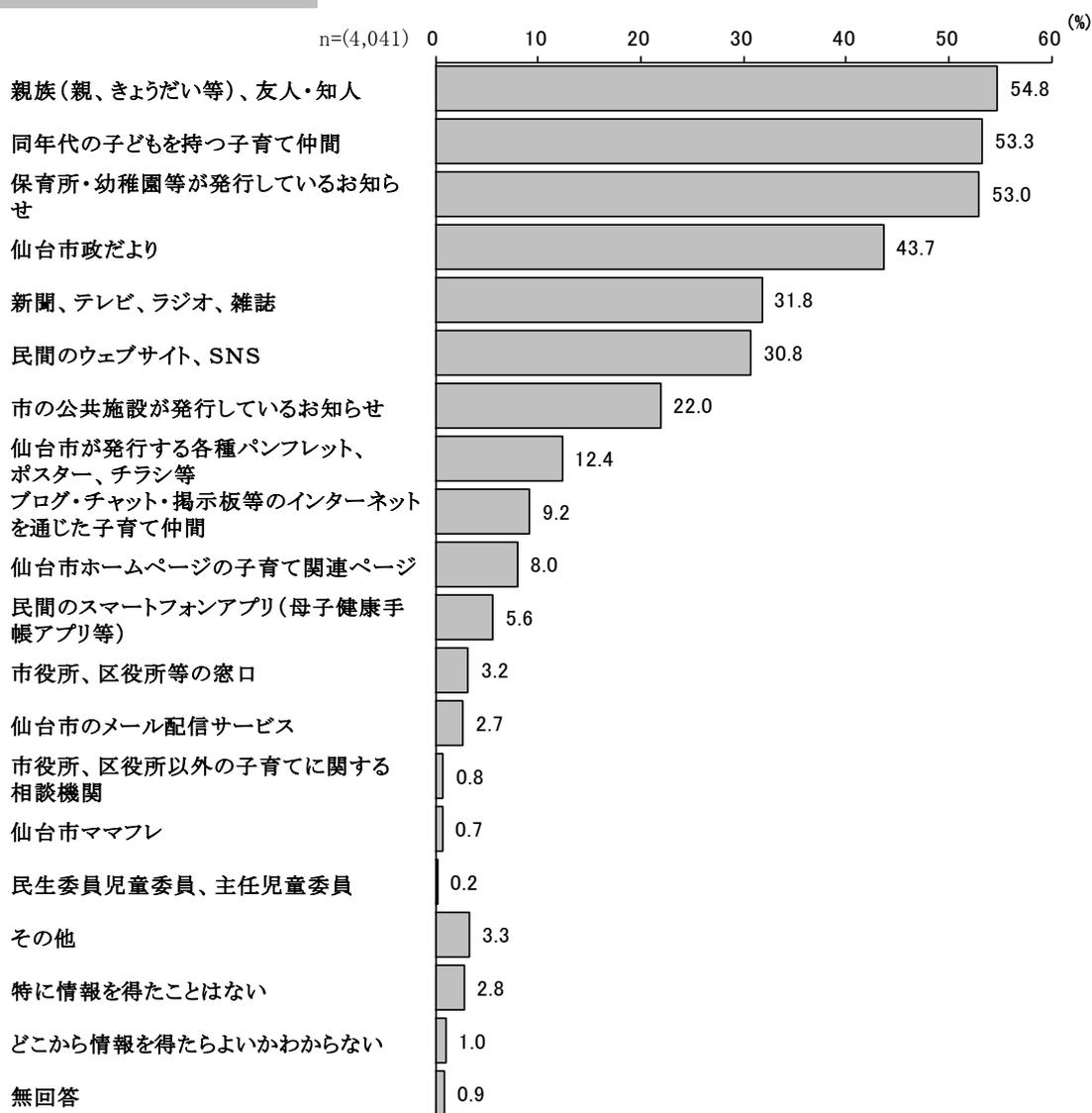
▶ 子育てに関する情報の主な入手先については、「幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ」(52.9%)、「民間のウェブサイト、SNS」(43.1%)、「親族(親、きょうだい等)、友人・知人」(42.5%)、「同年代の子どもを持つ子育て仲間」(37.9%)、「仙台市政だより」(37.1%)が高く、身近な親族・知人や紙媒体を入手先とする回答とともに、「民間のウェブサイト、SNS」を利用する割合が増えてきている。

問 21 あなたは子育てに関する情報を、主にどこから得ていますか。

(当てはまるものすべてに○)



参考：平成 30 年度調査



## 【子どもの年齢別／子育てに関する情報の主な入手先（上位 12 項目）】

▶子どもの年齢別にみると、0～2歳では「市役所、区役所等の窓口」「仙台市ホームページの子育て関連ページ」「市の公共施設が発行しているお知らせ」が、3～5歳に比べ高い。一方、幼稚園や保育施設等の利用が多くなる3～5歳では「幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ」が、0～2歳に比べ高い。また、「民間のウェブサイト、SNS」は年齢が上がるにつれて下降する傾向にある。

		(上段:件 下段:%)													
		調査数	幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ	民間のウェブサイト、SNS	親族（親、きょうだい、友人・知人）	同年代の子どもの持つ子育て仲間	仙台市政だより	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌	仙台市が発行する各種パンフレット、ポスター、チラシ等	市の公共施設が発行しているお知らせ	仙台市ホームページの子育て関連ページ	仙台市ホームページの「子育て関連ページ」	ブログ・チャット・掲示板等を通じた子育て仲間	市役所、区役所等の窓口	民間のスマートフォンアプリ（母子健康手帳等）
子どもの年齢別	0歳	656 100.0	225 34.3	336 51.2	289 44.1	221 33.7	232 35.4	112 17.1	99 15.1	114 17.4	118 18.0	85 13.0	81 12.3	80 12.2	
	1歳	632 100.0	304 48.1	307 48.6	285 45.1	219 34.7	223 35.3	118 18.7	100 15.8	111 17.6	86 13.6	76 12.0	70 11.1	54 8.5	
	2歳	616 100.0	308 50.0	281 45.6	249 40.4	238 38.6	202 32.8	106 17.2	75 12.2	84 13.6	47 7.6	75 12.2	44 7.1	30 4.9	
	3歳	622 100.0	391 62.9	271 43.6	261 42.0	216 34.7	245 39.4	128 20.6	101 16.2	57 9.2	55 8.8	54 8.7	34 5.5	17 2.7	
	4歳	621 100.0	387 62.3	238 38.3	248 39.9	259 41.7	249 40.1	147 23.7	94 15.1	61 9.8	51 8.2	65 10.5	28 4.5	18 2.9	
	5歳	632 100.0	386 61.1	199 31.5	276 43.7	279 44.1	252 39.9	134 21.2	95 15.0	56 8.9	58 9.2	47 7.4	32 5.1	12 1.9	

## 【家族構成別／子育てに関する情報の主な入手先（上位 12 項目）】

▶家族構成別にみると、「両親と子ども」の世帯では、他の家族構成より「民間のウェブサイト、SNS」が高い。「同年代の子どもの持つ子育て仲間」が 44.3%と、他の家族構成に比べ高い。また、ひとり親と子どもの世帯では他の家族構成に比べ、「市役所、区役所等の窓口」がやや高く、「仙台市政だより」「幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ」が低くなっている。

		(上段:件 下段:%)													
		調査数	幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ	民間のウェブサイト、SNS	親族（親、きょうだい、友人・知人）	同年代の子どもの持つ子育て仲間	仙台市政だより	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌	仙台市が発行する各種パンフレット、ポスター、チラシ等	市の公共施設が発行しているお知らせ	仙台市ホームページの子育て関連ページ	仙台市ホームページの「子育て関連ページ」	ブログ・チャット・掲示板等を通じた子育て仲間	市役所、区役所等の窓口	民間のスマートフォンアプリ（母子健康手帳等）
家族構成別	両親と子ども	3,176 100.0	1,700 53.5	1,406 44.3	1,384 43.6	1,214 38.2	1,192 37.5	639 20.1	482 15.2	424 13.4	352 11.1	332 10.5	232 7.3	187 5.9	
	ひとり親と子ども	234 100.0	104 44.4	88 37.6	84 35.9	81 34.6	67 28.6	40 17.1	29 12.4	20 8.5	23 9.8	26 11.1	28 12.0	15 6.4	
	多世代同居	347 100.0	186 53.6	131 37.8	132 38.0	131 37.8	137 39.5	67 19.3	50 14.4	39 11.2	37 10.7	40 11.5	27 7.8	10 2.9	

【両親の就労状況別／子育てに関する情報の主な入手先（上位12項目）】

▶両親の就労状況別にみると、父親のみ就労の世帯で「幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ」が44.6%と他の就労状況に比べ低い。

		（上段:件 下段:%）													
		調査数	幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ	SNS間のウェブサイトに、	民間のウエブサイト、	親族（親、きょうだい、友人・知人）	同年代の子どもを持つ子育て仲間	仙台市政だより	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌	仙台市が発行する各種パンフレット、ポスター、チラシ等	市の公共施設が発行しているお知らせ	仙台市ホームページの子育て関連ページ	仙台市ホームページのインターネット・掲示板	市役所、区役所等の窓口	民間のスマートフォンアプリ（母子健康手帳等）
両親の就労状況別	共働き	2,497 100.0	1,415 56.7	1,109 44.4	1,085 43.5	895 35.8	965 38.6	489 19.6	376 15.1	288 11.5	288 11.5	261 10.5	194 7.8	150 6.0	
	父親のみ就労	919 100.0	410 44.6	406 44.2	381 41.5	408 44.4	327 35.6	196 21.3	144 15.7	162 17.6	92 10.0	99 10.8	62 6.7	48 5.2	
	母親のみ就労	134 100.0	75 56.0	40 29.9	46 34.3	48 35.8	35 26.1	19 14.2	16 11.9	16 11.9	5 3.7	12 9.0	12 9.0	15 11.2	1 0.7
	親は働いていない	27 100.0	9 33.3	14 51.9	16 59.3	10 37.0	10 37.0	5 18.5	3 11.1	3 11.1	4 14.8	3 11.1	3 11.1	6 22.2	5 18.5

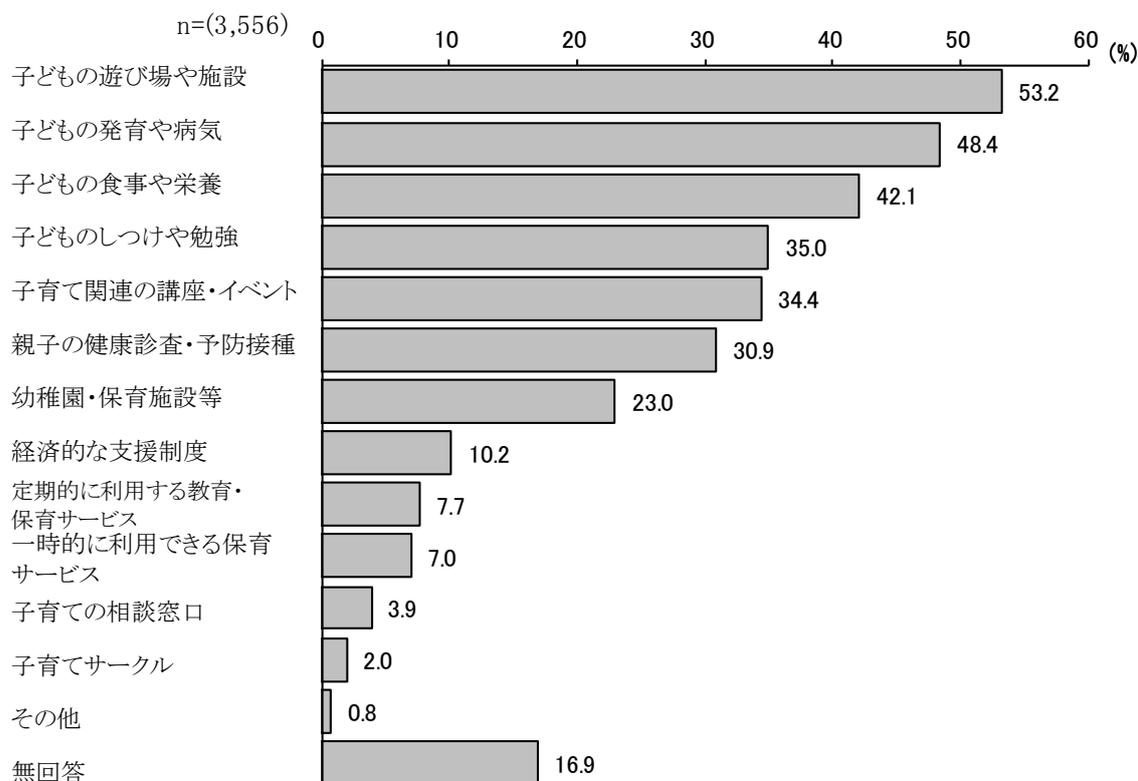
※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

## (2) 子育てに関して入手している主な情報

▶子育てに関して入手している主な情報については、「子どもの遊び場や施設」が 53.2%と最も高く、次いで「子どもの発育や病気」(48.4%)、「子どもの食事や栄養」(42.1%)、「子どものしつけや勉強」(35.0%)、「子育て関連の講座・イベント」(34.4%)となっており、子どもに関連した施設や子どもの教育・発育などに関する情報を入手している割合が高い。

※『10(1) 子育てに関する情報の主な入手先』で入手先を回答した方のみ

問 21-1 あなたは子育てに関して、どのような情報を得ていますか。(当てはまるものすべてに○)



【子どもの年齢別／子育てに関して入手している主な情報】

▶子どもの年齢別にみると、「子どもの食事や栄養」「一時的に利用できる保育サービス」は年齢が上がるにつれて下降する傾向にある。

		(上段:件 下段:%)														
		調査数	子どもの遊び場や施設	子どもの発育や病気	子どもの食事や栄養	子どものしつけや勉強	子育て関連の講座・イベント	親子の健康診査・予防接種	幼稚園・保育施設等	経済的な支援制度	定期的な利用する教育・保育サービス	一時的に利用できる保育サービス	子育ての相談窓口	子育てサークル	その他	無回答
子どもの年齢別	0歳	626 100.0	314 50.2	332 53.0	338 54.0	201 32.1	198 31.6	207 33.1	148 23.6	70 11.2	54 8.6	71 11.3	30 4.8	25 4.0	3 0.5	135 21.6
	1歳	600 100.0	316 52.7	293 48.8	290 48.3	208 34.7	200 33.3	200 33.3	156 26.0	63 10.5	56 9.3	64 10.7	23 3.8	17 2.8	3 0.5	97 16.2
	2歳	574 100.0	333 58.0	274 47.7	247 43.0	217 37.8	200 34.8	165 28.7	151 26.3	64 11.1	47 8.2	37 6.4	20 3.5	12 2.1	4 0.7	105 18.3
	3歳	582 100.0	325 55.8	275 47.3	230 39.5	201 34.5	217 37.3	154 26.5	145 24.9	49 8.4	36 6.2	32 5.5	21 3.6	9 1.5	2 0.3	85 14.6
	4歳	578 100.0	302 52.2	262 45.3	201 34.8	191 33.0	217 37.5	173 29.9	117 20.2	48 8.3	40 6.9	26 4.5	25 4.3	7 1.2	5 0.9	93 16.1
	5歳	587 100.0	299 50.9	281 47.9	187 31.9	222 37.8	186 31.7	196 33.4	101 17.2	67 11.4	41 7.0	17 2.9	18 3.1	1 0.2	10 1.7	86 14.7

【家族構成別／子育てに関して入手している主な情報】

▶家族構成別にみると、両親と子どもの世帯では「経済的な支援制度」が 9.1%と、他の家族構成に比べ低い。

		(上段:件 下段:%)														
		調査数	子どもの遊び場や施設	子どもの発育や病気	子どもの食事や栄養	子どものしつけや勉強	子育て関連の講座・イベント	親子の健康診査・予防接種	幼稚園・保育施設等	経済的な支援制度	定期的な利用する教育・保育サービス	一時的に利用できる保育サービス	子育ての相談窓口	子育てサークル	その他	無回答
家族構成別	両親と子ども	2,995 100.0	1,610 53.8	1,458 48.7	1,273 42.5	1,044 34.9	1,050 35.1	925 30.9	716 23.9	273 9.1	229 7.6	216 7.2	107 3.6	58 1.9	23 0.8	499 16.7
	ひとり親と子ども	209 100.0	95 45.5	85 40.7	75 35.9	77 36.8	55 26.3	58 27.8	36 17.2	41 19.6	21 10.0	13 6.2	10 4.8	4 1.9	2 1.0	46 22.0
	多世代同居	325 100.0	175 53.8	166 51.1	139 42.8	111 34.2	109 33.5	103 31.7	65 20.0	48 14.8	23 7.1	19 5.8	19 5.8	8 2.5	2 0.6	53 16.3

## 【両親の就労状況別／子育てに関して入手している主な情報】

▶両親の就労状況別にみると、母親のみ就労の世帯、親は働いていない世帯では「経済的な支援制度」が他の就労状況に比べ高い。

		(上段:件 下段:%)															
		調査数	子どもの遊び場や施設	子どもの発育や病気	子どもの食事や栄養	子どものしつけや勉強	子育て関連の講座・イベント	親子の健康診査・予防接種	幼稚園・保育施設等	経済的な支援制度	定期的にご利用する教 育・保育サービス	一時的にご利用できる保 育サービス	子育ての相談窓口	子育てサークル	その他	無回答	
両親の 就労 状況 別	共働き	2,350 100.0	1,231 52.4	1,141 48.6	986 42.0	819 34.9	804 34.2	735 31.3	542 23.1	225 9.6	197 8.4	155 6.6	88 3.7	44 1.9	15 0.6	408 17.4	
	父親のみ就労	869 100.0	506 58.2	438 50.4	378 43.5	322 37.1	323 37.2	275 31.6	199 22.9	71 8.2	50 5.8	73 8.4	35 4.0	21 2.4	5 0.6	135 15.5	
	母親のみ就労	120 100.0	50 41.7	42 35.0	38 31.7	31 25.8	36 30.0	23 19.2	17 14.2	17 14.2	40 33.3	9 7.5	4 3.3	4 3.3	1 0.8	2 1.7	26 21.7
	親は働いていない	25 100.0	14 56.0	16 64.0	13 52.0	12 48.0	10 40.0	9 36.0	6 24.0	6 24.0	8 32.0	2 8.0	2 8.0	3 12.0	1 4.0	-	3 12.0

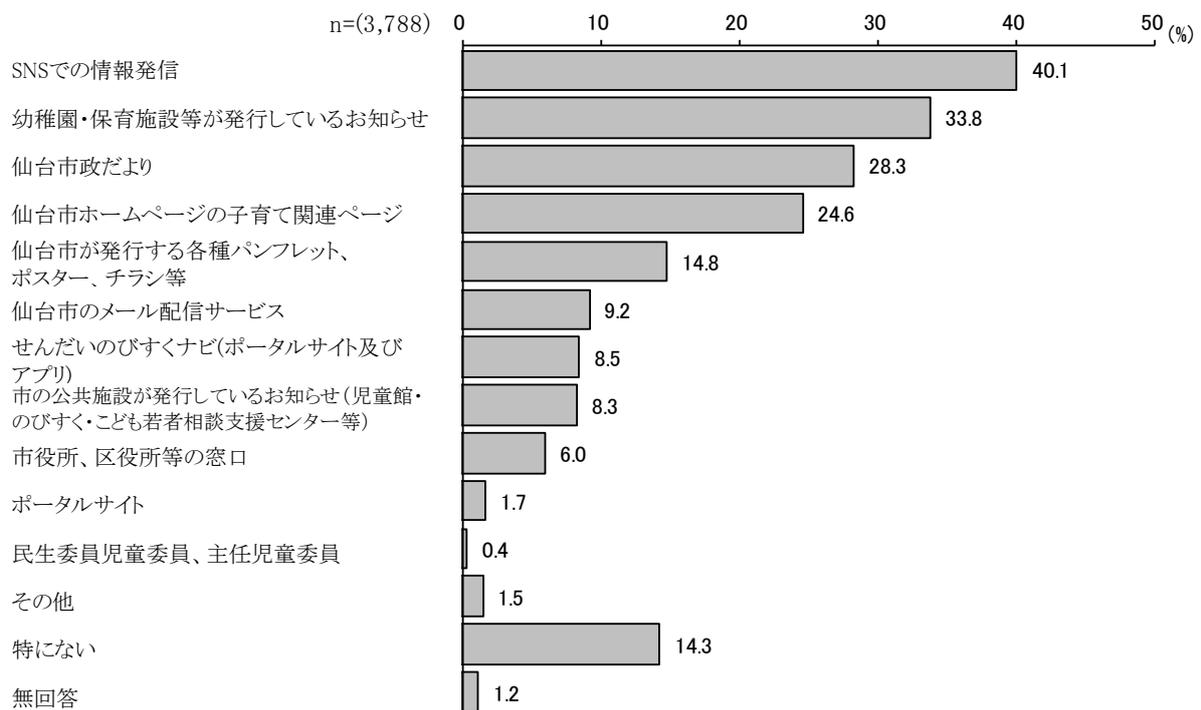
※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

### （3）市に充実してほしい情報の入手先

▶市に充実してほしい情報の入手先については、「SNSでの情報発信」（40.1%）が最も高く、次いで「幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ」（33.8%）、「仙台市政だより」（28.3%）、「仙台市ホームページの子育て関連ページ」（24.6%）となっている。

問 22 子育てに関する情報の入手先のうち、特に仙台市で充実してほしいものは何ですか。

（○は3つまで）



## 【子どもの年齢別／市に充実してほしい情報の入手先】

▶子どもの年齢別にみると、0～1歳では「仙台市ホームページの子育て関連ページ」「せんだいのびすくナビ（ポータルサイト及びアプリ）」が、他の年齢に比べ高い。または「SNSでの情報発信」は、年齢が上がるにつれて下降する傾向がある。

(上段:件 下段:%)

	調査数	SNSでの情報発信	幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ	仙台市政だより	仙台市ホームページの子育て関連ページ	シ等フレット、ポスター、チラシ	仙台市が発行する各種パンフレット、ポスター、チラシ	仙台市のメール配信サービス	（ポータルサイト及びアプリ）	せんだいのびすくナビ	市の公共施設が発行しているお知らせ（児童館・のびすく等）	市役所、区役所等の窓口	ポータルサイト	民生委員児童委員、主任児童委員	その他	特にない	無回答
子どもの年齢別	0歳	656 100.0	287 43.8	146 22.3	173 26.4	215 32.8	93 14.2	63 9.6	115 17.5	59 9.0	48 7.3	21 3.2	4 0.6	3 0.5	78 11.9	9 1.4	
	1歳	632 100.0	265 41.9	198 31.3	165 26.1	150 23.7	97 15.3	51 8.1	58 9.2	66 10.4	41 6.5	10 1.6	-	2 0.3	98 15.5	9 1.4	
	2歳	616 100.0	276 44.8	191 31.0	157 25.5	144 23.4	70 11.4	66 10.7	54 8.8	54 8.8	38 6.2	10 1.6	-	19 3.1	95 15.4	11 1.8	
	3歳	622 100.0	241 38.7	275 44.2	184 29.6	148 23.8	89 14.3	51 8.2	31 5.0	48 7.7	29 4.7	8 1.3	3 0.5	11 1.8	79 12.7	6 1.0	
	4歳	621 100.0	238 38.3	244 39.3	182 29.3	123 19.8	88 14.2	58 9.3	36 5.8	34 5.5	30 4.8	9 1.4	1 0.2	11 1.8	100 16.1	5 0.8	
	5歳	632 100.0	209 33.1	224 35.4	207 32.8	146 23.1	124 19.6	60 9.5	29 4.6	52 8.2	37 5.9	7 1.1	6 0.9	11 1.7	90 14.2	6 0.9	

## 【家族構成別／市に充実してほしい情報の入手先】

▶家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では「市役所、区役所等の窓口」が他の世帯よりやや高く、「SNSでの情報発信」「市の公共施設が発行しているお知らせ」「幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ」は低くなっている。

(上段:件 下段:%)

	調査数	SNSでの情報発信	幼稚園・保育施設等が発行しているお知らせ	仙台市政だより	仙台市ホームページの子育て関連ページ	シ等フレット、ポスター、チラシ	仙台市が発行する各種パンフレット、ポスター、チラシ	仙台市のメール配信サービス	（ポータルサイト及びアプリ）	せんだいのびすくナビ	市の公共施設が発行しているお知らせ（児童館・のびすく等）	市役所、区役所等の窓口	ポータルサイト	民生委員児童委員、主任児童委員	その他	特にない	無回答
家族構成別	両親と子ども	3,176 100.0	1,285 40.5	1,090 34.3	892 28.1	783 24.7	479 15.1	295 9.3	272 8.6	265 8.3	175 5.5	53 1.7	8 0.3	42 1.3	453 14.3	38 1.2	
	ひとり親と子ども	234 100.0	74 31.6	64 27.4	63 26.9	55 23.5	27 11.5	19 8.1	20 8.5	13 5.6	24 10.3	3 1.3	3 1.3	5 2.1	44 18.8	4 1.7	
	多世代同居	347 100.0	148 42.7	118 34.0	108 31.1	84 24.2	54 15.6	35 10.1	28 8.1	35 10.1	25 7.2	8 2.3	3 0.9	9 2.6	38 11.0	4 1.2	

【両親の就労状況別／市に充実してほしい情報の入手先】

▶両親の就労状況別による、特徴的な差はみられない。

(上段:件 下段:%)

		調査数	SNSでの情報発信	幼稚園・保育施設等が 発行しているお知らせ	仙台市政だより	子育て関連ページ	仙台市ホームページ 、チラシ等	仙台市が発行する各種 サービス	仙台市のメール配信 アプリ	（ポータルサイトのナビ ゲーション）	市役所、区役所等の窓 口に設置されているお知らせ （児童館のびすく等）	市の公共施設が発行し ているお知らせ（児童	市役所、区役所等の窓 口に設置されているお知らせ （児童館のびすく等）	ポータルサイト	民生委員児童委員、主 任児童委員	その他	特にな い	無回 答
両親の 就労 状況 別	共働き	2,497 100.0	1,028 41.2	908 36.4	698 28.0	615 24.6	365 14.6	229 9.2	226 9.1	179 7.2	127 5.1	127 5.1	45 1.8	8 0.3	37 1.5	341 13.7	29 1.2	
	父親のみ就労	919 100.0	363 39.5	266 28.9	276 30.0	237 25.8	145 15.8	84 9.1	77 8.4	106 11.5	57 6.2	57 6.2	14 1.5	2 0.2	13 1.4	130 14.1	10 1.1	
	母親のみ就労	134 100.0	41 30.6	42 31.3	34 25.4	33 24.6	15 11.2	14 10.4	5 3.7	4 3.0	15 11.2	15 11.2	3 2.2	1 0.7	4 3.0	26 19.4	1 0.7	
	親は働いていない	27 100.0	12 44.4	5 18.5	7 25.9	6 22.2	4 14.8	2 7.4	2 7.4	- -	5 18.5	7 25.9	1 3.7	1 -	- -	- -	6 22.2	- -

※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

# 11 保護者の就労状況について

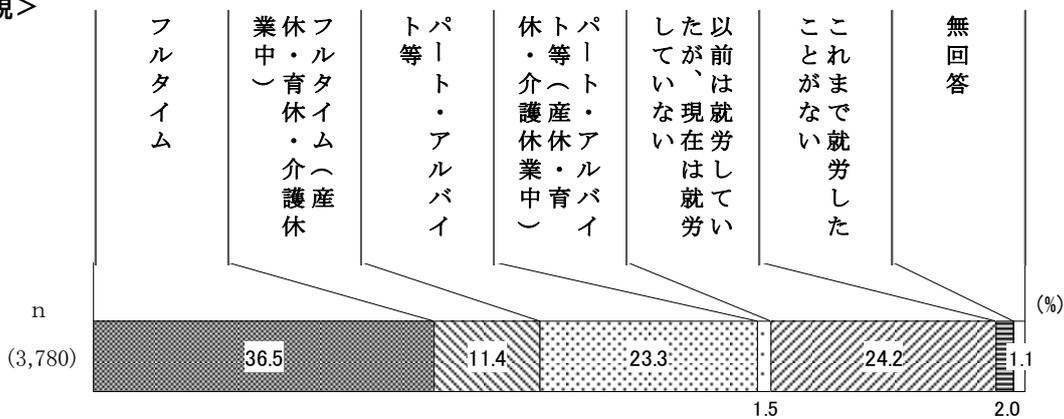
※問 23 では、母親についての設問は父子家庭を回答対象外に、父親についての設問は母子家庭を回答対象外にしている。

## (1) 就労状況

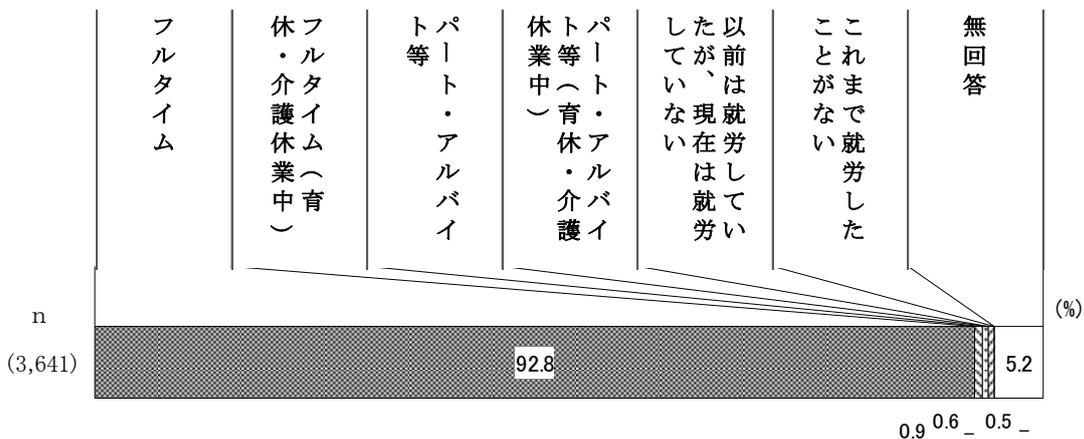
- ▶ 母親の就労状況については、「フルタイム」が 36.5%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」(24.2%)、「パート・アルバイト等」(23.3%)となっている。
- ▶ 父親の就労状況については、「フルタイム」が 92.8%と最も高い割合となっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、母親の「フルタイム」が約 6 ポイント上昇しており、就労している母親が増加していることがうかがえる。
- ▶ 参考までに、就学前児童と小学生の合算値ではあるが、両親の就労状況について過去の調査と比較すると、近年になるほど「共働き」の世帯の割合が上昇している。特に今回の令和 5 年度調査では、就労している母親の割合がさらに上昇し、全体の 6 割以上が共働き世帯となっている。

問 23(1)／問 23(2) 宛名のお子さまの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。就労状況について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください

### <母親>

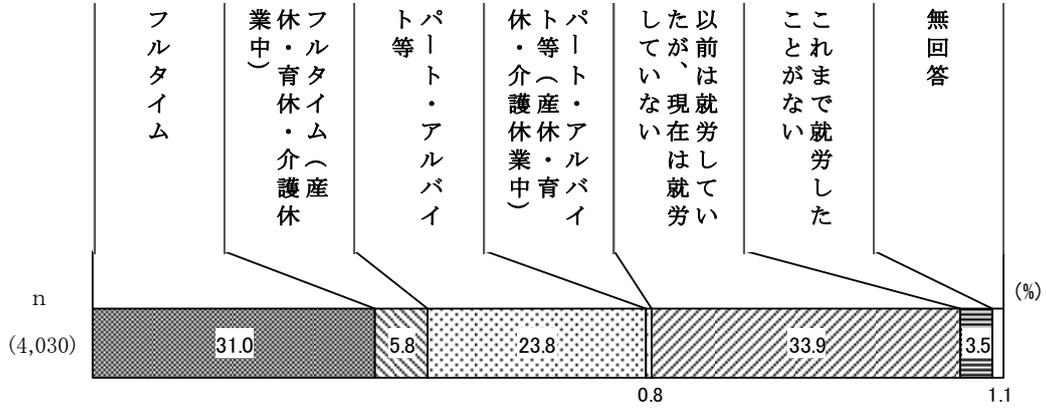


### <父親>

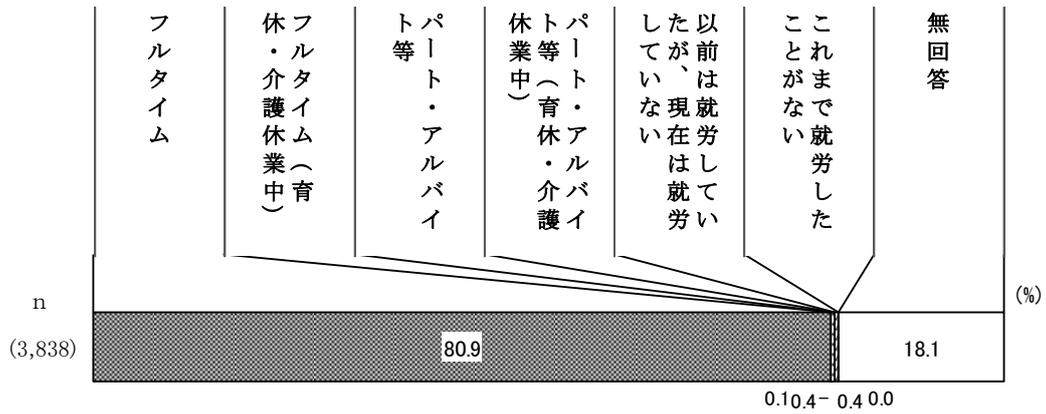


参考：平成 30 年度調査

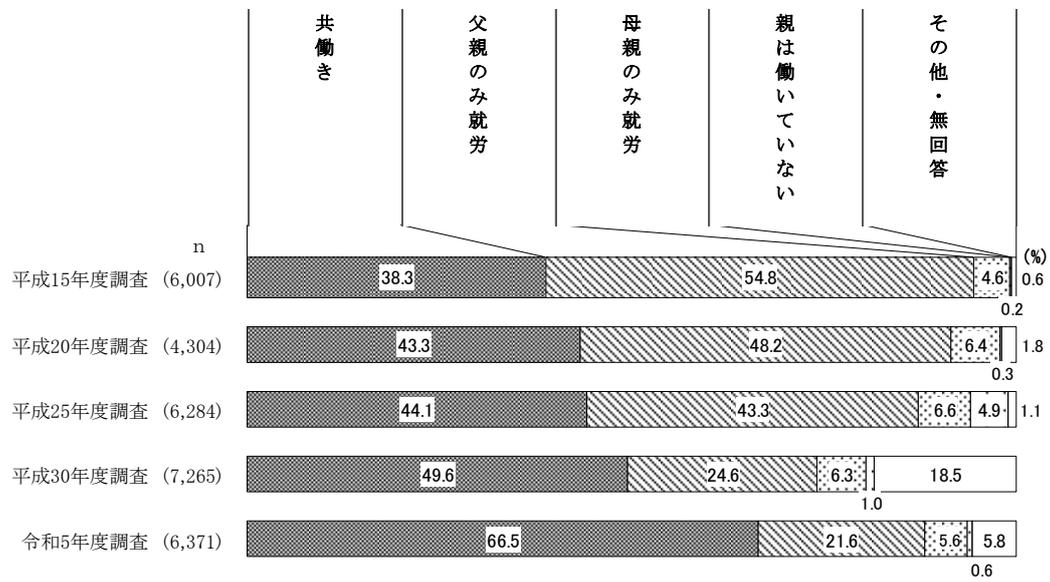
<母親>



<父親>



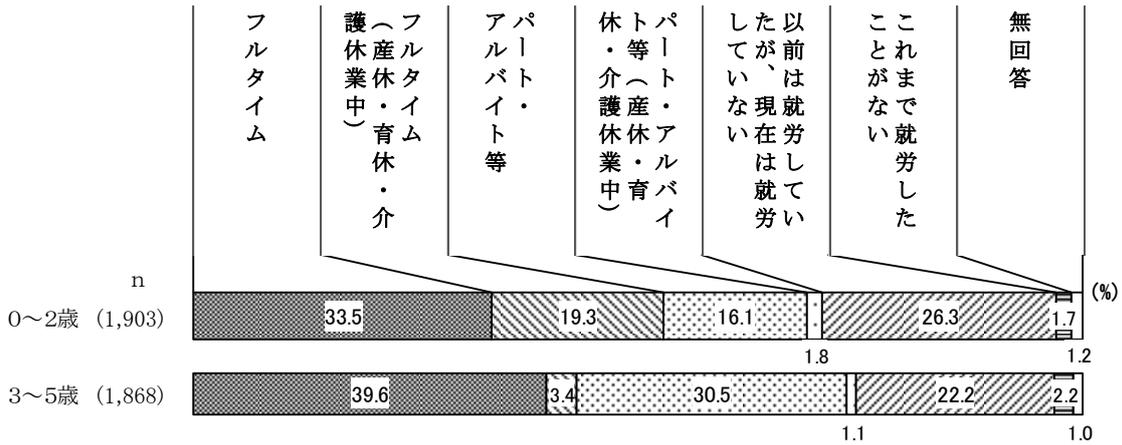
参考：両親の就労状況（経年比較）



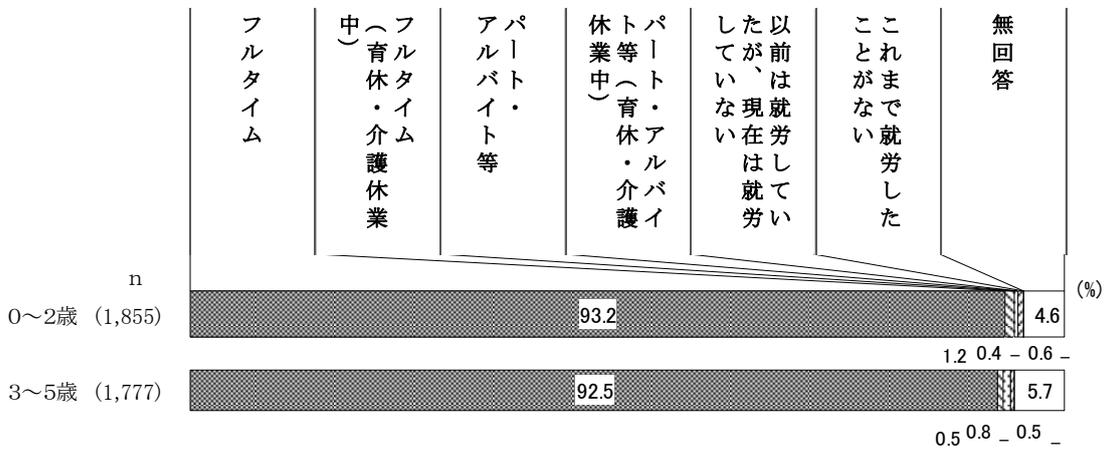
【子どもの年齢別／就労状況】

- ▶子どもの年齢別にみると、母親では、3～5歳の「パート・アルバイト等」が30.5%と、0～2歳に比べ高い。
- ▶父親では、0～2歳、3～5歳ともに、「フルタイム」が約9割となっている。

<母親>



<父親>



## (2) 就労日数・時間及び出発時間・帰宅時間

▶父親の就労日数・時間及び出発時間・帰宅時間については、週当たりの平均就労日数が 5.26 日、週当たりの平均合計就労時間が 51 時間 49 分と母親に比べ長い。また、平均出発時間は 7 時 29 分と母親より早く、平均帰宅時間は 19 時 54 分と遅い。

※『11 (1) 就労状況』で「フルタイム」、「フルタイム (産休・育休・介護休業中)」、「パート・アルバイト等」、「パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)」のいずれかに回答した方のみ  
問 23(1)-1/問 23(2)-1 ① 1 週当たりの就労日数と 1 日当たりの就労時間 (残業時間を含む)、② 家を出る時間と帰宅時間を、[ ] 内に数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。(産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。)

### <母親>

	週当たりの 平均就労日数	週当たりの 平均合計就労時間	平均出発時間	平均帰宅時間
母親 (n=2,747)	4.81 日	35 時間 10 分	7 時 49 分	17 時 28 分

### <父親>

	週当たりの 平均就労日数	週当たりの 平均合計就労時間	平均出発時間	平均帰宅時間
父親 (n=3,433)	5.26 日	51 時間 49 分	7 時 29 分	19 時 54 分

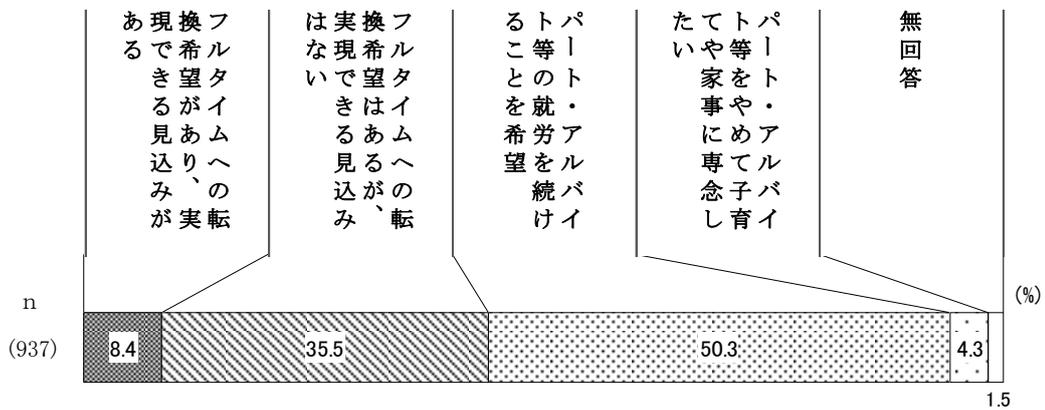
### （3）フルタイムへの転換希望

- ▶ 母親のフルタイムへの転換希望については、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた《フルタイムへの転換希望がある》が 43.9%であるのに対し、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は 50.3%となり、現在の就労状況の継続を希望する人が多い。
- ▶ 父親のフルタイムへの転換希望については回答数が少ない（23 件）ため、グラフを非掲載としている。

※『11（1）就労状況』で「パート・アルバイト等」または「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）」と回答した方のみ

問 23(1)-2/問 23(2)-2 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

<母親>



## (4) 就労希望

- ▶ 母親の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが■歳になった頃に就労したい」と「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」を合わせた《就労したい》が79.3%、「就労の予定はない」が19.0%となっている。
- ▶ 母親の就労を希望する時期の末子の年齢については、「3歳」（24.9%）、「7歳」（21.6%）、「6歳」（12.1%）、「4歳」（11.5%）など、幼稚園や小学校の入園・入学時期付近の回答が多くなっている。
- ▶ 父親の就労希望、就労を希望する時期の末子の年齢については回答数が少ない（就労希望：20件、末子の年齢：3件）ため、グラフを非掲載としている。

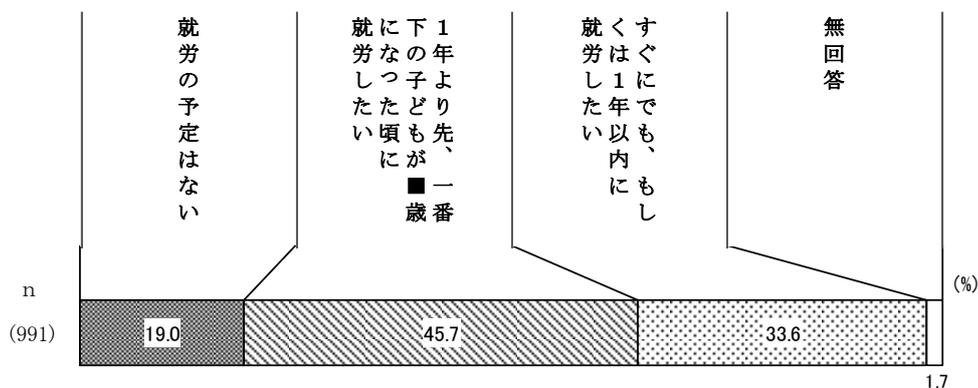
※『11(1) 就労状況』で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した方のみ

問 23(1)-3/問 23(2)-3 就労したいという希望はありますか。(○は1つ)

「2」を選択された方は[ ]内に数字もご記入ください。「3」を選択された方は、希望する就労形態について、「ア」または「イ」1つに○をつけ、「イ」に○をつけた場合には、[ ]内に数字もご記入ください。

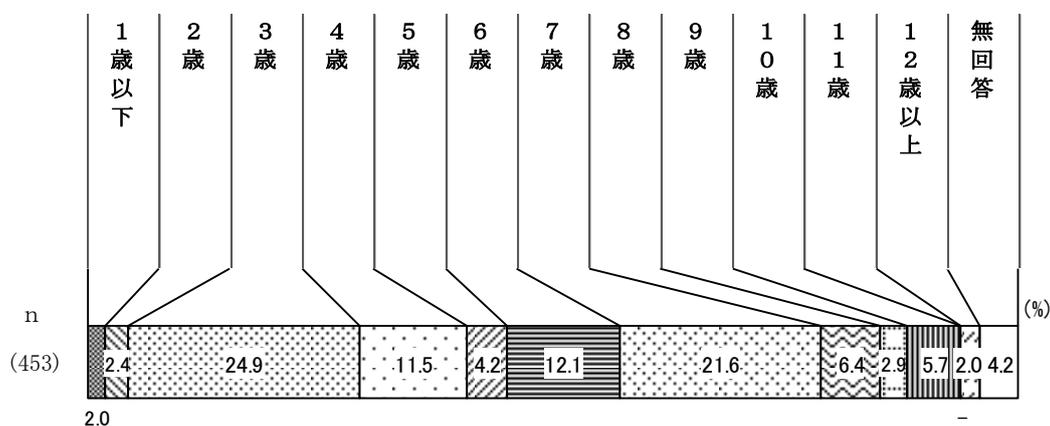
### 就労希望

<母親>



### 就労を希望する時期の末子の年齢

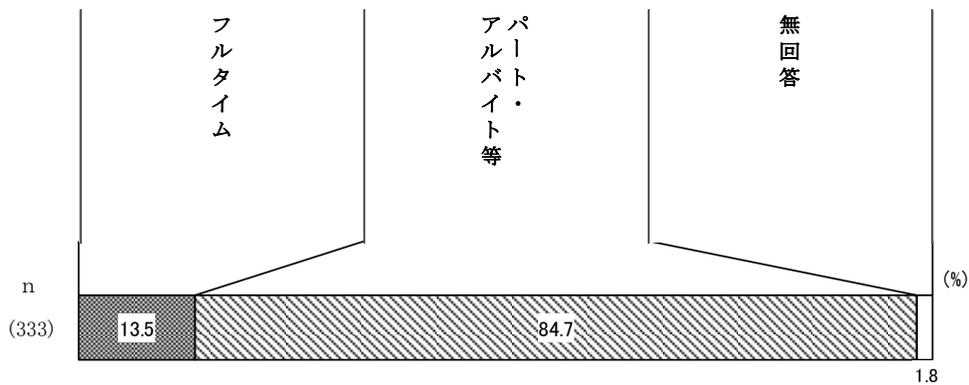
<母親>



- ▶ 母親の希望する就労形態については、「パート・アルバイト等」が 84.7%と大多数を占めている。
- ▶ 母親の希望する就労条件については、週当たりの平均就労日数が 3.76 日、週当たりの平均合計就労時間が 18 時間 50 分となっている。
- ▶ 父親の希望する就労形態、就労条件については回答数が少ない（就労形態：12 件、就労条件：1 件）ため、グラフ等を非掲載としている。

**希望する就労形態**

<母親>



**希望する就労条件**

<母親>

	週当たりの 平均就労希望日数	週当たりの 平均合計就労希望時間
母親 (n=282)	3.76日	18時間50分

## 12 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

※問 24 では、母親についての設問は父子家庭を回答対象外に、父親についての設問は母子家庭を回答対象外にしている。

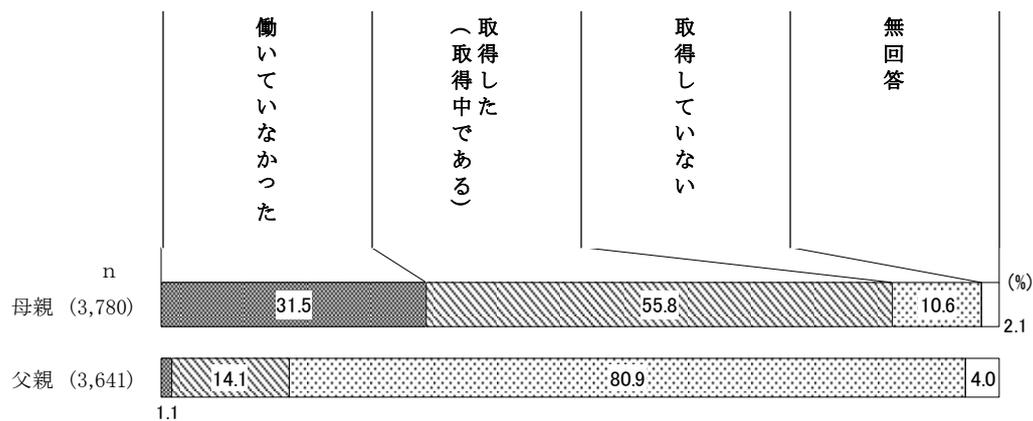
### (1) 育児休業の取得状況

- ▶母親の育児休業の取得状況については、「取得した（取得中である）」が 55.8%、「働いていなかった」が 31.5%、「取得していない」が 10.6%となっている。
- ▶父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」が 80.9%と大多数を占めており、「取得した（取得中である）」は 14.1%となっている。

問 24 宛名のお子さまが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
(母親、父親それぞれについて○は1つ)

「3 取得していない」を選んだ場合は、その理由をお答えください。

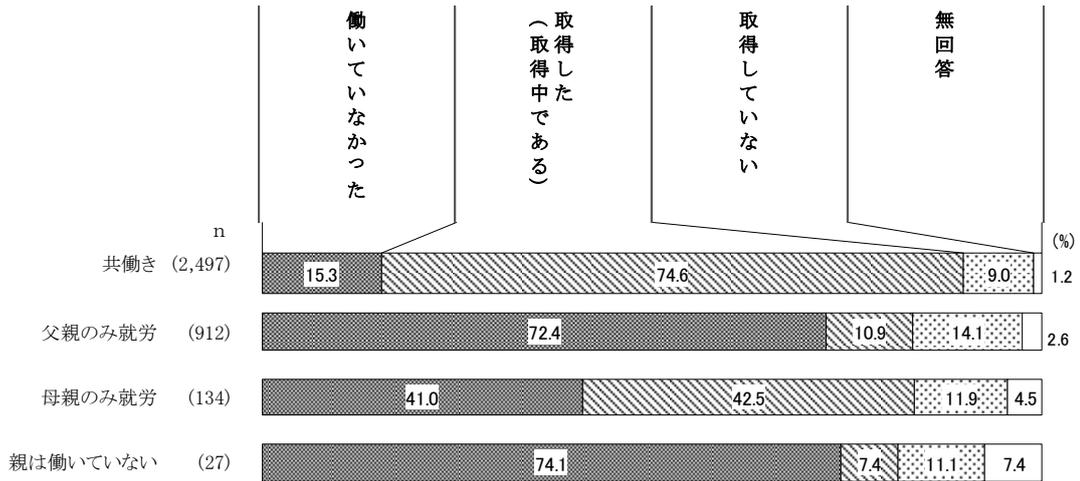
(当てはまるものすべてに○)



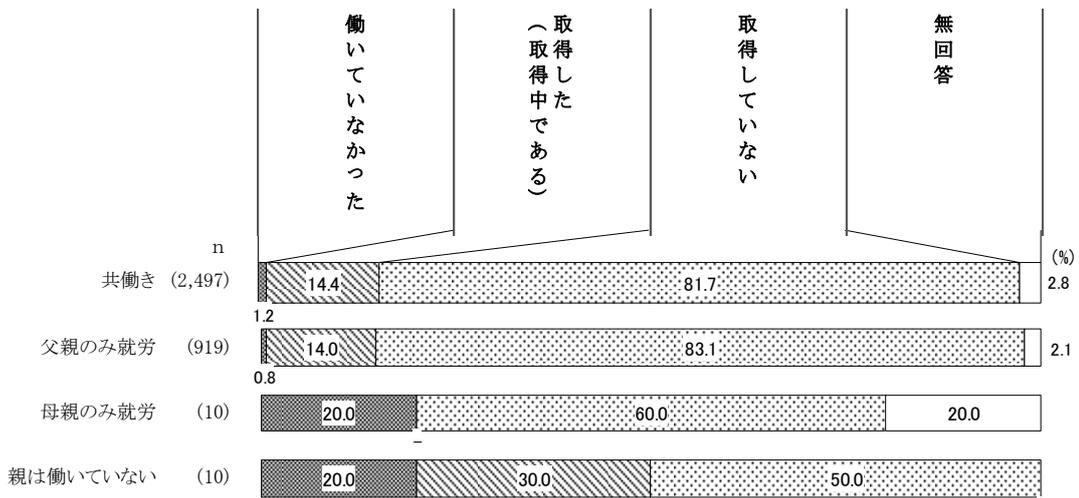
【両親の就労状況別／育児休業の取得状況】

- ▶両親の就労状況別にみると、母親では、共働きの世帯、母親のみ就労の世帯で「取得した（取得中である）」が高い。
- ▶父親では、共働きの世帯、父親のみ就労の世帯で「取得していない」が8割以上と高い。

<母親>

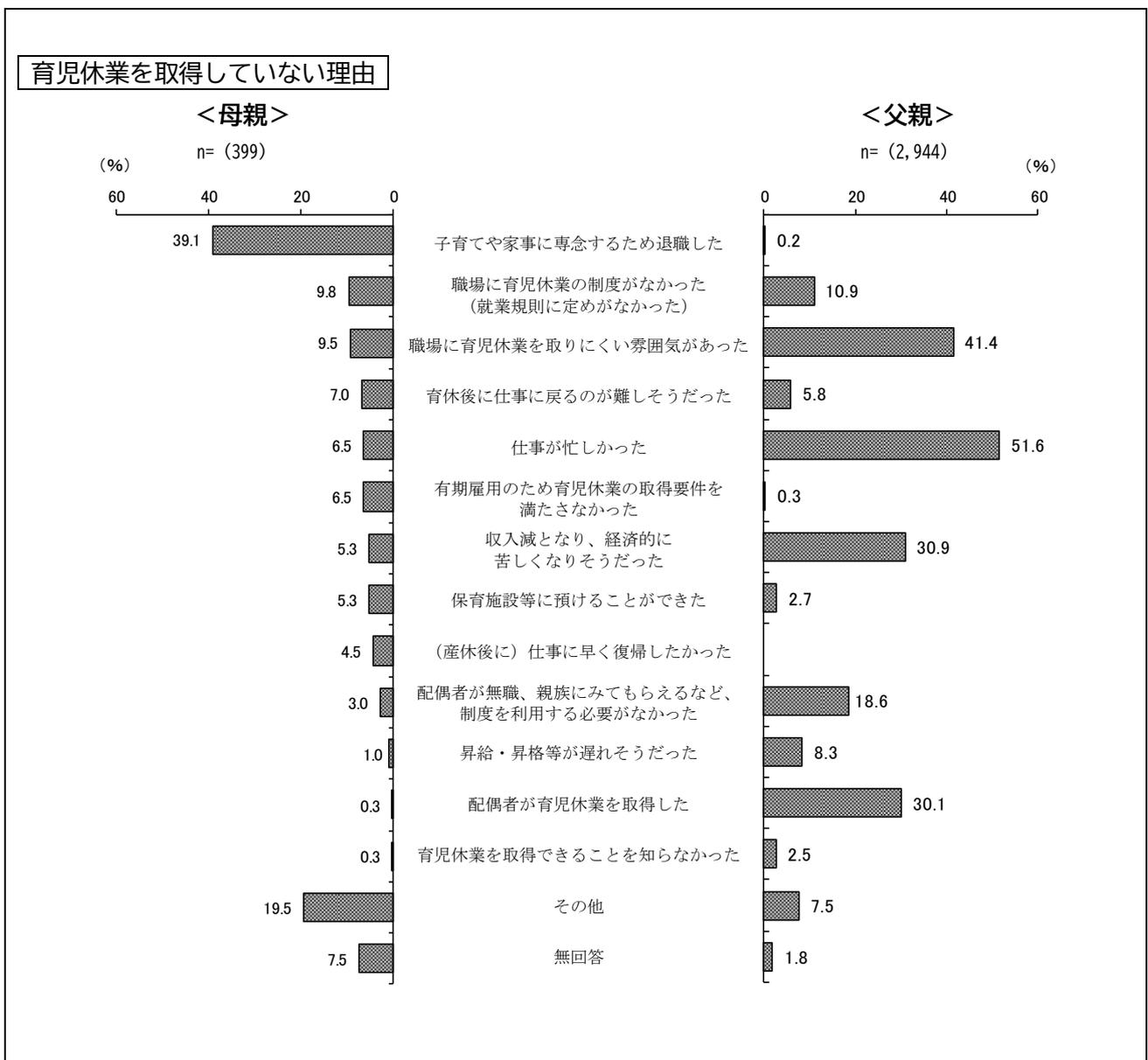


<父親>



※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

- ▶ 母親の育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が 39.1% と最も高い。このほか、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（9.8%）など、育児休業制度を理由とする回答や、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（9.5%）、「仕事に戻るのが難しそうだった」（7.0%）など、職場の状況を理由とする回答が多い。
- ▶ 父親の育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」（51.6%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（41.4%）など、職場の状況を理由とする回答や、「収入減となり、経済的に苦しくなりそうだった」（30.9%）といった経済面からの理由、「配偶者が育児休業を取得した」（30.1%）、「配偶者が無職、親族にみてもらえるなど、利用する必要がなかった」（18.6%）など、配偶者や親族の状況を理由とする回答が多い。



【両親の就労状況別／育児休業を取得していない理由】

- ▶両親の就労状況別にみると、母親では、父親のみ就労の世帯で「子育てや家事に専念するため退職した」が58.9%と他の就労状況に比べ高い。
- ▶また、父親では、共働きの世帯で「配偶者が無職、親族にみてもらえるなど、利用する必要がなかった」が10.7%と、他の就労状況に比べ低い。

<母親>

		(上段:件 下段:%)																	
		調査数	子育てや家事に専念するため退職した	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	職場に育児休業を取りたい雰囲気があった	育児後に仕事に戻るのが難しそうだった	仕事が終わらなかった	業務の取得要件を満たさなかった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	収入減となり、経済的に苦しくなりそうだった	保育施設等に預けることができなかった	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	配偶者が無職、祖父母等を利用する必要があるなど、制度を利用できなかった	昇給・昇格が遅れそうだった	配偶者が育児休業を取らなかった	育児休業を取得できることを知らなかった	その他	無回答
両親の就労状況別	共働き	224 100.0	70 31.3	29 12.9	22 9.8	12 5.4	22 9.8	17 7.6	14 6.3	15 6.7	12 5.4	10 4.5	4 1.8	1 0.4	-	-	47 21.0	12 5.4	
	父親のみ就労	129 100.0	76 58.9	5 3.9	12 9.3	11 8.5	-	5 3.9	2 1.6	1 0.8	-	-	-	-	-	-	-	23 17.8	10 7.8
	母親のみ就労	16 100.0	-	4 25.0	2 12.5	1 6.3	-	1 6.3	4 25.0	3 18.8	1 6.3	1 6.3	-	-	-	-	1 6.3	3 18.8	3 18.8
	親は働いていない	3 100.0	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 66.7

<父親>

		(上段:件 下段:%)																	
		調査数	子育てや家事に専念するため退職した	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	職場に育児休業を取りたい雰囲気があった	育児後に仕事に戻るのが難しそうだった	仕事が終わらなかった	業務の取得要件を満たさなかった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	収入減となり、経済的に苦しくなりそうだった	保育施設等に預けることができなかった	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	配偶者が無職、祖父母等を利用する必要があるなど、制度を利用できなかった	昇給・昇格が遅れそうだった	配偶者が育児休業を取らなかった	育児休業を取得できることを知らなかった	その他	無回答
両親の就労状況別	共働き	2,039 100.0	3 0.1	224 11.0	872 42.8	123 6.0	1,063 52.1	4 0.2	667 32.7	71 3.5	219 10.7	183 9.0	820 40.2	58 2.8	138 6.8	39 1.9			
	父親のみ就労	764 100.0	3 0.4	77 10.1	296 38.7	43 5.6	396 51.8	5 0.7	191 25.0	9 1.2	304 39.8	54 7.1	34 4.5	13 1.7	72 9.4	9 1.2			
	母親のみ就労	6 100.0	-	1 16.7	3 50.0	-	3 50.0	-	4 66.7	-	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	-	-	-	-	
	親は働いていない	5 100.0	-	-	1 20.0	-	2 40.0	-	1 20.0	-	1 20.0	-	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0	

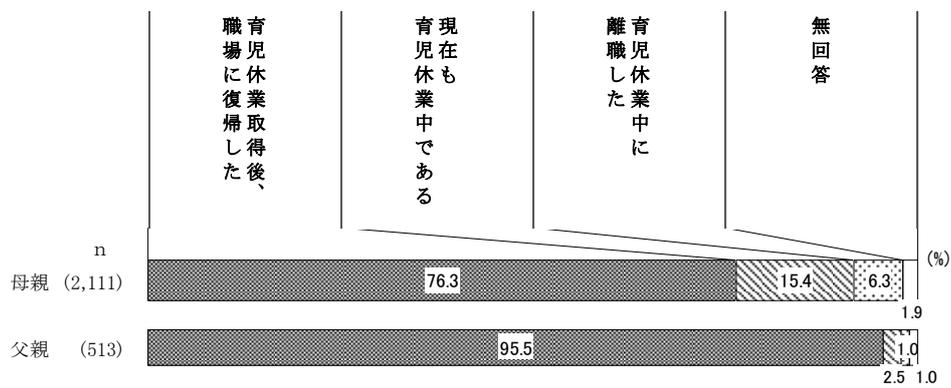
※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

## (2) 育児休業取得後の職場復帰状況

▶ 育児休業取得後の職場復帰状況については、父母ともに、「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も高くなっている。

※『12(1) 育児休業の取得状況』で母親または父親が「取得した（取得中である）」と回答した方のみ

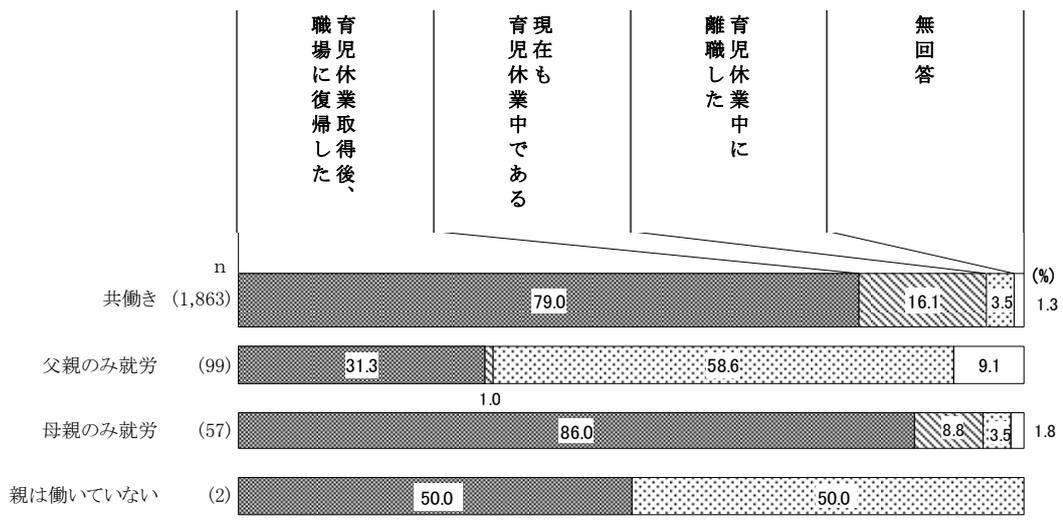
問 24-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（母親、父親の該当する方について、○は1つ）



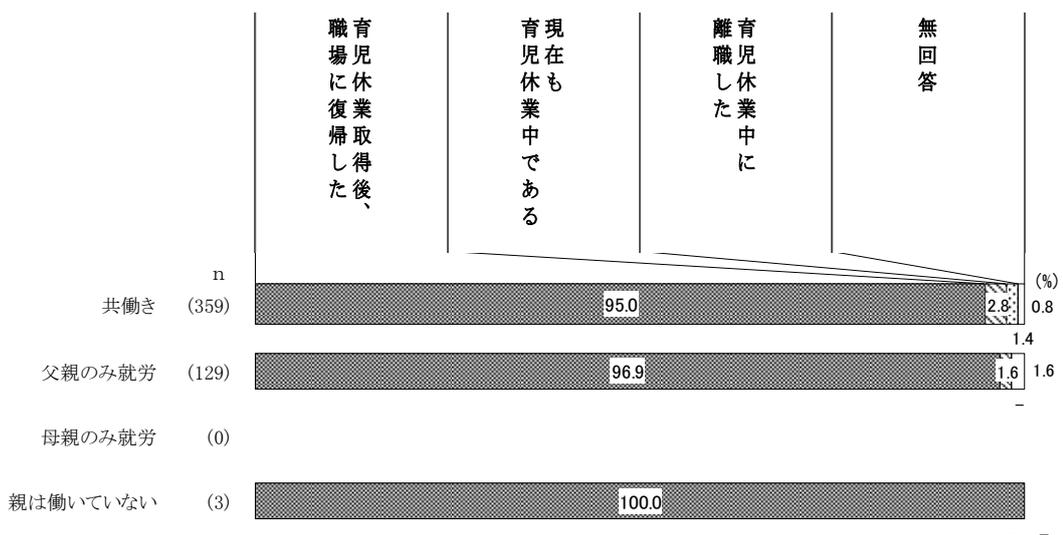
【両親の就労状況別／育児休業取得後の職場復帰状況】

- ▶両親の就労状況別にみると、母親では、共働きの世帯、母親のみ就労の世帯で「育児休業取得後、職場に復帰した」が約8割となっている。また、父親のみ就労の世帯では約6割が、「育児休業中に離職した」と回答している。
- ▶父親では、全ての区分で「育児休業取得後、職場に復帰した」が9割以上となっている。

<母親>



<父親>



※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

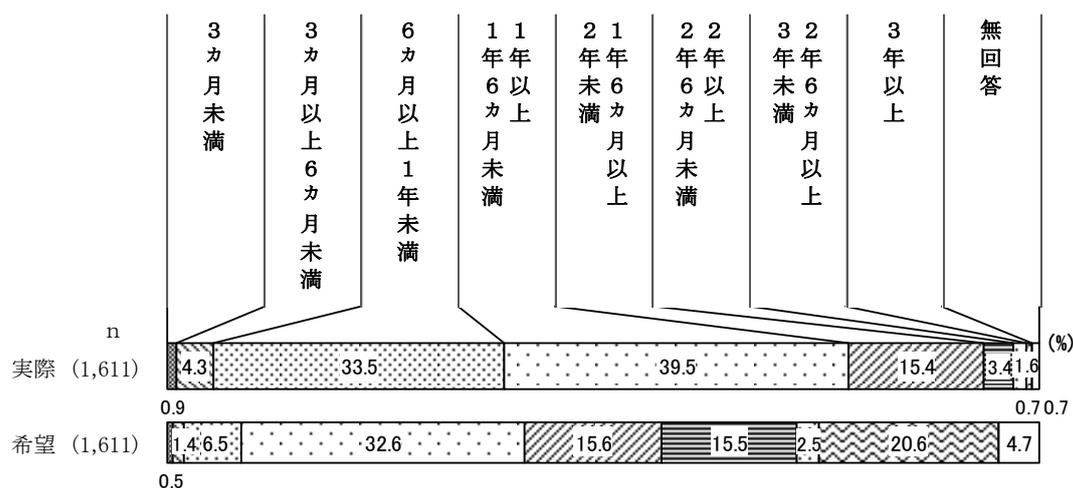
### (3) 育児休業の取得期間

- ▶ 母親の育児休業の取得期間については、1年以上の取得を希望している割合が86.8%となっているが、実際に1年以上取得できた割合は60.6%となっている。
- ▶ 父親の育児休業の取得期間については、3ヵ月以上の取得を希望する割合が63.3%となっているが、実際に3ヵ月以上取得できた割合は29.0%となっている。

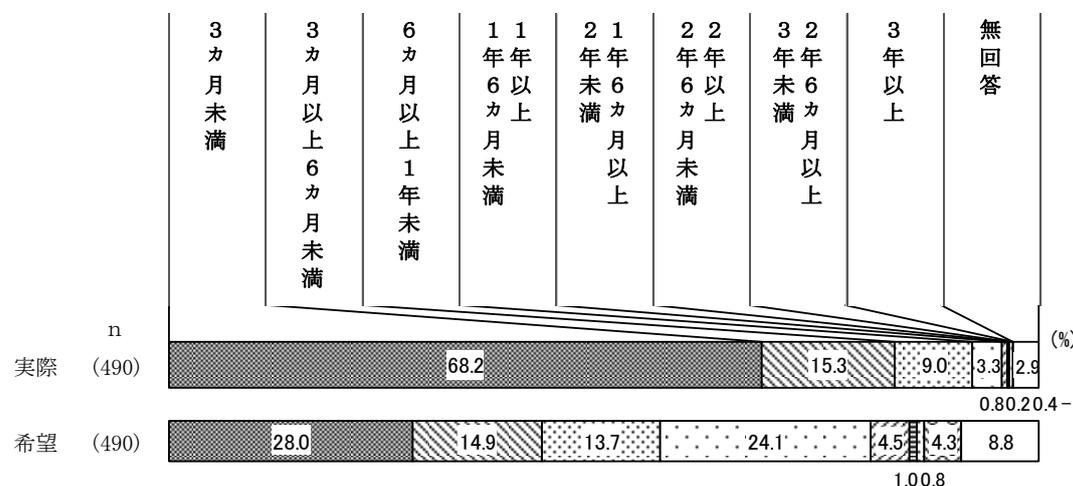
※『12(2) 育児休業取得後の職場復帰状況』母親または父親が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

問 24-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヵ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の取得可能期間にかかわらず、「希望」としてはお子さんが何歳何ヵ月のときまで育児休業を取得したかったですか。母親、父親の該当する方について、[ ]内に数字でご記入ください。

#### <母親>



#### <父親>



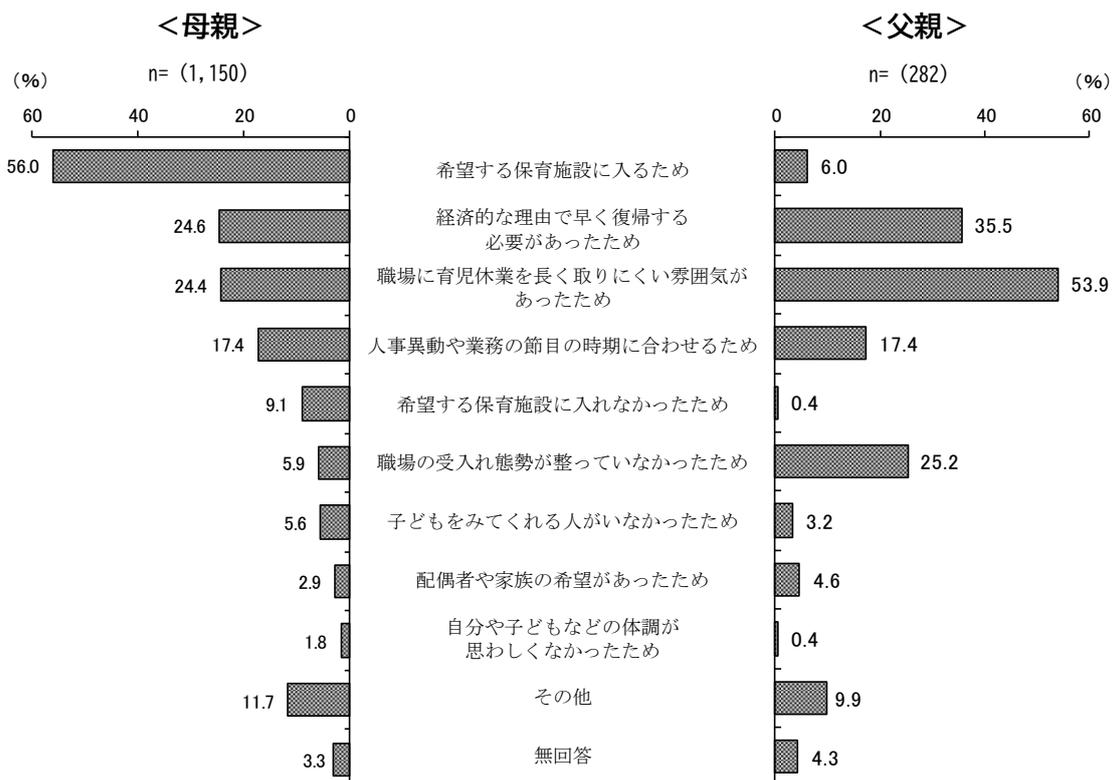
（４）職場復帰が希望時期と異なっていた理由

- ▶ 母親の職場復帰が希望時期と異なっていた理由については、「希望する保育施設に入るため」が 56.0% と最も高い。このほか、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」（24.6%）、「職場に育児休業を長く取りにくい雰囲気があったため」（24.4%）「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」（17.4%）など、職場の状況や経済面を理由とする回答が多い。
- ▶ 父親の職場復帰が希望時期と異なっていた理由については、「職場に育児休業を長く取りにくい雰囲気があったため」（53.9%）、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」（35.5%）、「職場の受入れ態勢が整っていなかったため」（25.2%）など、母親と同様に職場の状況や経済面を理由とする回答が多い。

※『12（3）育児休業の取得期間』で実際の復帰と希望が異なる方のみ

問 24-3 職場復帰が希望の時期と異なっていた理由は何ですか。

（母親、父親の該当する方について、当てはまるものすべてに○）



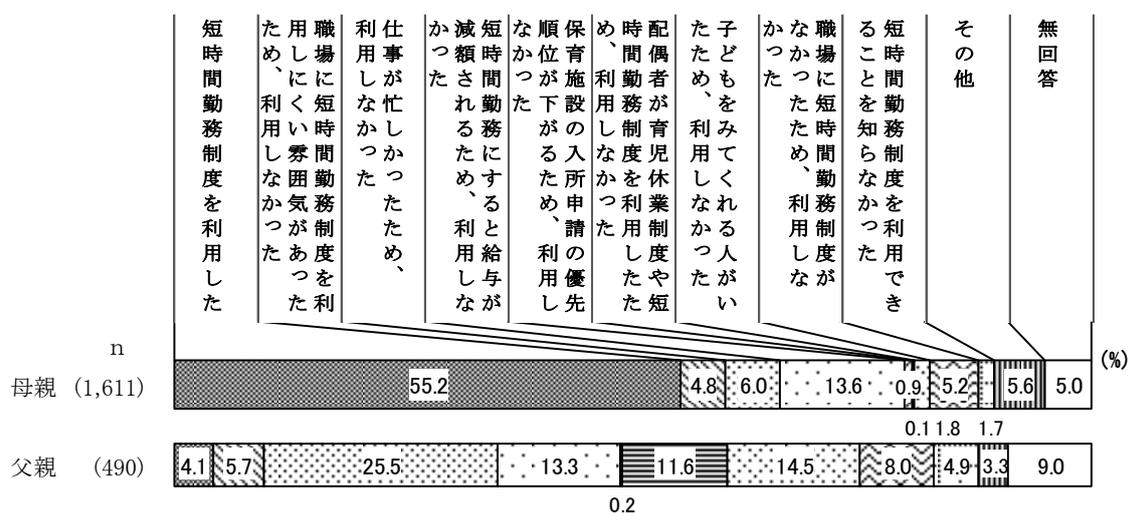
## (5) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

- ▶ 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況について、母親では「利用した」が 55.2%であるのに対し、父親では 4.1%となっている。
- ▶ 利用しなかった理由として、母親では「給与が減額されるため」(13.6%)が高い。
- ▶ 父親では、「仕事が忙しかったため」が 25.5%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいたため」(14.5%)、「給与が減額されるため」(13.3%)となっている。

※『12(2) 育児休業取得後の職場復帰状況』で母親または父親が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

問 24-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

(母親、父親の該当する方について、○は1つ)



## 13 子育てに関する市への意見等について

(1)、(2)では、本市で取り組む各施策について、「施策の評価」、「今後注力すべき施策」のそれぞれの得点を算出し、分析を行った。

得点は-2点~+2点の間に分布し、0点が中間点、2点に近いほど評価・重要度が高く、逆に-2点に近いほど評価・重要度が低いことを表す。

### \*評価点及び重要度の算出方法\*

施策の評価及び今後注力すべき施策をそれぞれ5段階評価で聞いた。

また、選択肢ごとに以下の点数を付与し、その合計を回答数で除することで、加重平均にて得点を算出した。（得点の算出に当たっては、無回答は除外した）

#### 【施策の評価】

「評価する」：2点 「どちらかといえば評価する」：1点 「どちらかといえば評価しない」：-1点

「評価しない」：-2点 「わからない」：0点 「無回答」：点数の付与はしない

#### 【今後注力すべき施策】

「特にそう思う」：2点 「そう思う」：1点 「あまりそう思わない」：-1点

「そう思わない」：-2点 「どちらともいえない」：0点 「無回答」：点数の付与はしない

#### 【算出式】

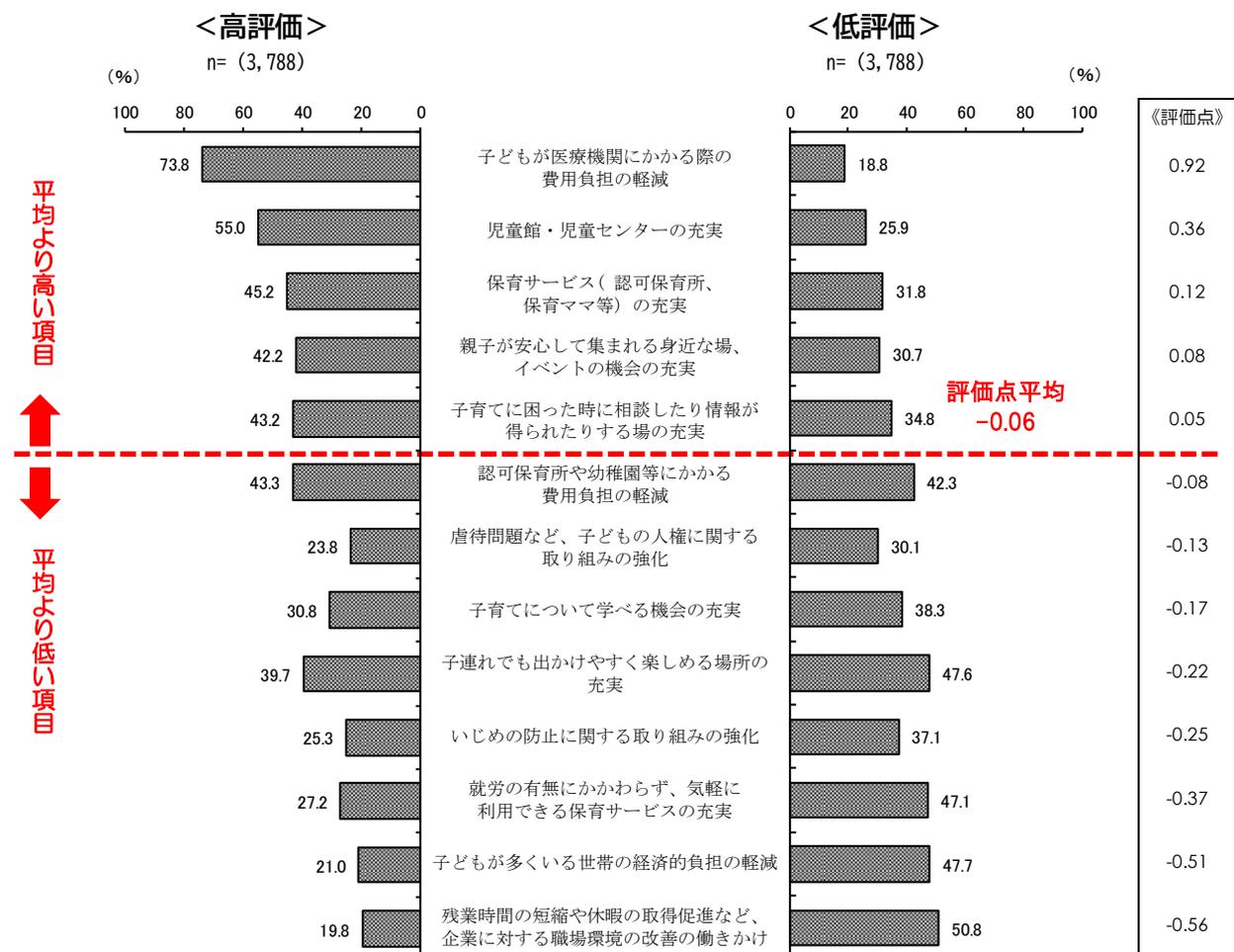
$$\frac{(\text{「評価する」} \times 2 \text{点}) + (\text{「どちらかといえば評価する」} \times 1 \text{点}) + (\text{「わからない」} \times 0 \text{点}) + (\text{「どちらかといえば評価しない」} \times -1 \text{点}) + (\text{「評価しない」} \times -2 \text{点})}{\text{調査数} - (\text{「無回答」の回答数})} = \text{評価点}$$

※重要度についても同様の算出式

## (1) 施策の評価（評価点）

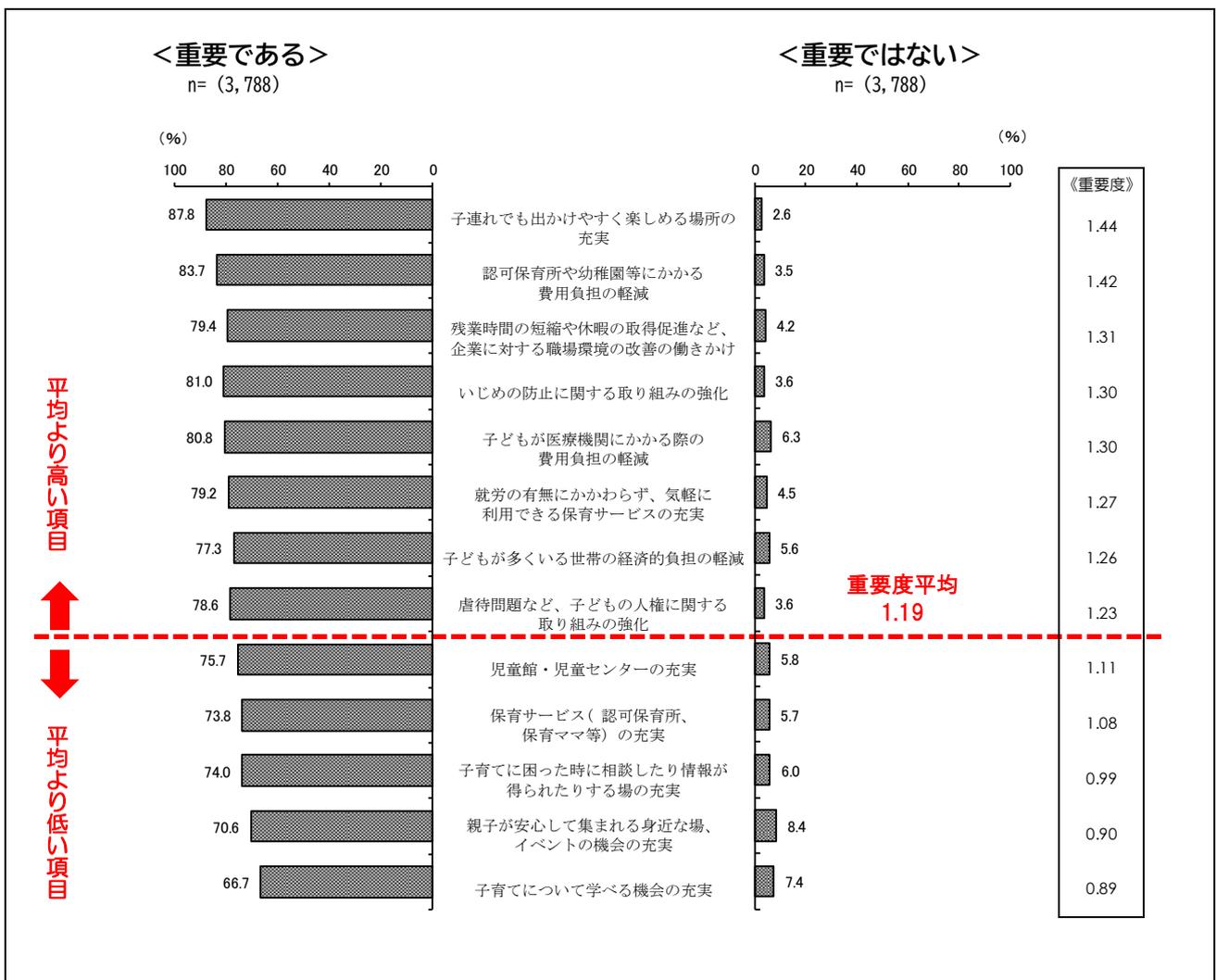
- ▶ 仙台市が行う子育て支援施策の評価について、評価点に加え、「評価する」と「どちらかといえば評価する」を合わせた《高評価》、「評価しない」と「どちらかといえば評価しない」を合わせた《低評価》の割合を算出した。
- ▶ 《高評価》の割合は「子どもが医療機関にかかる際の費用負担の軽減」（73.8%）、「児童館・児童センターの充実」（55.0%）で過半数と高く、《低評価》の割合は「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ」（50.8%）、「子どもが多くいる世帯の経済的負担の軽減」（47.7%）、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所の充実」（47.6%）、「就労の有無にかかわらず、気軽に利用できる保育サービスの充実」（47.1%）、「認可保育所や幼稚園等にかかる費用負担の軽減」（42.3%）で4割以上となっている。
- ▶ 上記を踏まえた施策の評価点は「子どもが医療機関にかかる際の費用負担の軽減」（0.92）で最も高く、次いで「児童館・児童センターの充実」（0.36）となっている。一方、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ」（-0.56）、「子どもが多くいる世帯の経済的負担の軽減」（-0.51）、「就労の有無にかかわらず、気軽に利用できる保育サービスの充実」（-0.37）などの子育て環境や支援の充実に関する項目で評価点が低くなっている。

問 25 あなたは、仙台市の子育て支援の充実に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。次の1～13の取り組みの「①施策の評価」及び「②今後力を入れるべきか」について、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。



（2）今後注力すべき施策（重要度）

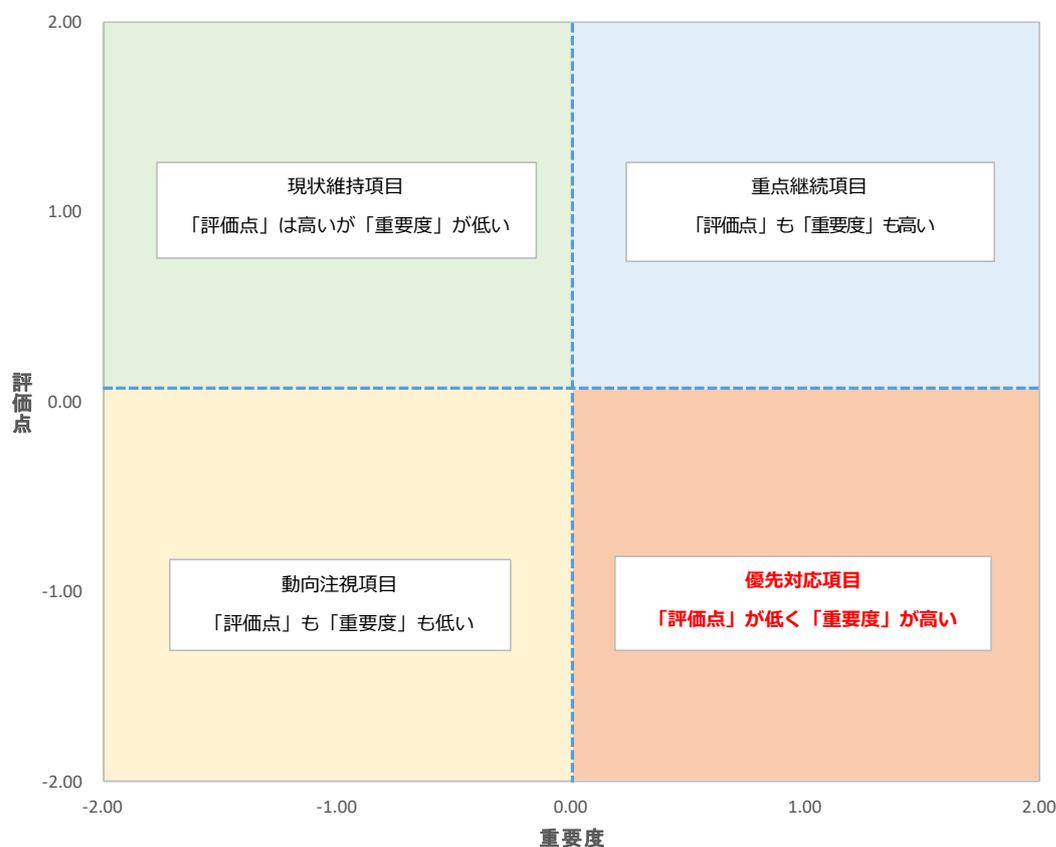
- ▶ 仙台市が今後注力すべき施策について、重要度に加え、「特にそう思う」と「そう思う」を合わせた《重要である》、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた《重要ではない》の割合を算出した。
- ▶ 《重要である》の割合は「子連れでも出かけやすく楽しめる場所の充実」（87.8%）が最も高く、次いで「認可保育所や幼稚園等にかかる費用負担の軽減」（83.7%）、「いじめの防止に関する取り組みの強化」（81.0%）、「子どもが医療機関にかかる際の費用負担の軽減」（80.8%）となっており、ほぼ全項目で7割以上となっている。《重要ではない》の割合はいずれの項目も1割未満と低い。
- ▶ 上記を踏まえた重要度は、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所の充実」（1.44）や「認可保育所や幼稚園等にかかる費用負担の軽減」（1.42）、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ」（1.31）、「いじめの防止に関する取り組みの強化」、「子どもが医療機関にかかる際の費用負担の軽減」（ともに1.30）が高くなっている。



### (3) 評価点×重要度

本項では、前述の「評価点」、「重要度」をもとに、各施策における項目間の相対的な位置付けを整理するため、散布図を作成した。

「評価点」「重要度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値を示す。

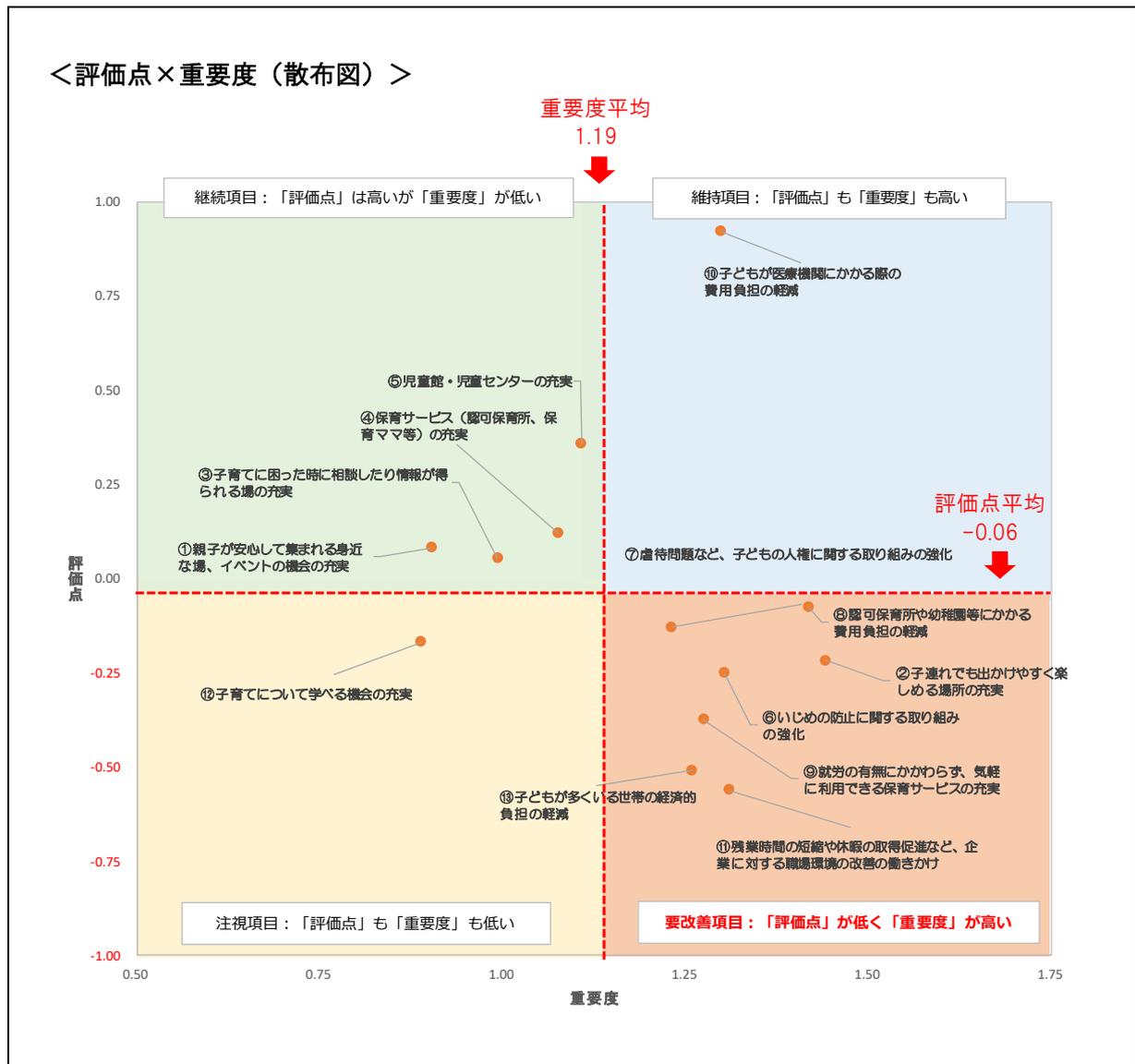


※上記のそれぞれの領域に該当した項目の評価や重要度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に評価点や重要度が高い／低いということを示す。

- 優先対応項目：「評価点」が低く「重要度」が高い  
重要度が高い取り組みであるものの、評価が低いため、優先的な対応が必要とされる項目
- 重点継続項目：「評価点」も「重要度」も高い  
重要度が高い取り組みであり、評価も高いため、重点的な対応の継続が必要とされる項目
- 現状維持項目：「評価点」は高いが「重要度」が低い  
評価が高い取り組みであるものの、重要度は低いため、現状の対応の維持が必要とされる項目
- 動向注視項目：「評価点」も「重要度」も低い  
評価は低い取り組みであるものの、重要度も低いため、市民ニーズの動向を注視しながら、状況に合わせた対応が必要とされる項目

▶ 前述の評価点と重要度をもとに作成した散布図をみると、重要度が高い取り組みに対し低い評価がなされている優先対応項目には、「いじめの防止に関する取り組みの強化」、「虐待問題など、子どもの人権に関する取り組みの強化」、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所の充実」、「認可保育所や幼稚園等にかかる費用負担の軽減」、「就労の有無にかかわらず、気軽に利用できる保育サービスの充実」、「子どもが多くなる世帯の経済的負担の軽減」、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ」が位置している。

<評価点×重要度（散布図）>



## (4) 意見・要望

問 26 その他仙台市の子育て支援施策に関するご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

自由意見		件数
1. 幼児教育・保育について		497 件
①	保育所整備	51 件
②	幼稚園・保育施設等	28 件
③	保育制度	86 件
④	保育所保育時間	13 件
⑤	保育所一時預かり	17 件
⑥	保育所入所基準・利用者基準	41 件
⑦	幼稚園全般	10 件
⑧	幼稚園保育時間	6 件
⑨	病児保育	48 件
⑩	仙台すくすくサポート	14 件
⑪	のびすく	62 件
⑫	利用施設一時預かり	32 件
⑬	幼児教育・保育の無償化	64 件
⑭	その他	25 件
2. 放課後児童について		82 件
①	児童館・放課後児童クラブ	74 件
②	その他	8 件
3. 労働環境について		123 件
①	保護者の労働環境	90 件
②	施設従事者の労働環境	32 件
③	その他	1 件
4. 生活環境について		443 件
①	子どもの遊び場（公園や屋内施設）	398 件
②	居住環境	9 件
③	公共施設（図書館など）・交通	27 件
④	その他	9 件

5. 経済的負担について	488 件
① 子育て家庭への負担軽減	328 件
② 妊娠・出産にかかる負担軽減	19 件
③ 保育料の軽減	119 件
④ その他	22 件
6. 保健・医療について	151 件
① 保健・医療全般	98 件
② 時間外医療	4 件
③ その他	49 件
7. 子育てについて	438 件
① 子育て支援全般	235 件
② 集まりの場・イベント・講座等	54 件
③ 保護者教育・両親教室等	12 件
④ 育児相談	62 件
⑤ 子育て情報	58 件
⑥ その他	17 件
8. 行政全般・計画づくりについて	93 件
① 行政の施策・計画づくり	45 件
② 行政手続き	18 件
③ 窓口対応	12 件
④ その他	18 件
9. その他	142 件
① 地域社会	7 件
② 学校教育	12 件
③ 社会の仕組み	12 件
④ 支援を要する子ども	49 件
⑤ いじめ・不登校	23 件
⑥ その他	39 件

---

## 【自由意見（一部抜粋）】

### 1. 幼児教育・保育について

#### ① 保育所整備

○仙台市内の道路で、保育園専用の駐車場がない場合、保育園前の停車を許可してほしい。または、コインパーキング等を利用しなければならない場合は補助してほしい。

○これ以上、公立の保育所を減らさないでください。

公立の保育所は障害や発育に問題のある子、早産児でも温かく迎え入れてくれます。仙台市の努力の結果だと思います。私立は企業であるため利益優先ということもあり、発育良好で手のかからない子ほど、ありがたがられます。昨年度に小規模保育施設を利用した親として、そう感じました。

#### ② 幼稚園・保育施設等

○保育園に入れるかどうか心配しなくて済むくらいたくさん増えたら嬉しいです。主人の仕事が忙しく、引っ越して親類、知人がいないので、自分が仕事と子育て、家事で一杯いっぱいなので、仕事が休みの日も保育園に預けて家事や用事をできる日を作れるようになったらすごく嬉しいです。保育士さんたちの待遇をもっと良くして、もっと保育士さんが増えてくれたらいいなと思います。

#### ③ 保育制度

○一人目の子どもが保育所に通っている場合二人目の育休を長く取ると退園になってしまうため、早く職場復帰せざるを得ない。幼い子どもと長く過ごしたかったと言う人がたくさんいるので、何か方法があればと思っています。

#### ④ 保育所保育時間

○もっと保育園等の延長保育時間や休日保育の制度を充実させてほしい。また、母親や父親が休みの日の保育園の利用も、毎回ではないので利用施設がそれぞれ理解してくれるところが増えるといいと思う。

#### ⑤ 保育所一時預かり

○土日理由を問わない一時保育を充実させてほしいです。費用は加算されても良いので手ぶらで行けて、しかも利用する前に直接出向いて面談や時間のかかる登録をしなくてもよい施設があれば助かります。関東にあるママズスマイルのような保育施設です。保育所の一時預かりを何回か利用したことがあります。事前の登録、面談も赤ちゃんを連れてなのですごく負担が大きくハードルが高かったです。当日も準備する物がすごく多くて大変で、あまり休んだ気がしませんでした。

#### ⑥ 保育所入所基準・利用者基準

○0歳児の子がいる無職(就職希望)の母です。保育園入園のため見学や区役所の窓口で話を聞きましたが、両親とも正社員でフルタイムで働いていても、それに加えて加点要素がないと入園が厳しいと聞きました。仙台市は東北の中でも一番の都市で、少子化とは言え他の地域に比べて子どもは多いと思います。本当の待機児童ゼロを目指して規模に合った支援をお願いしたいです。

#### ⑦ 幼稚園全般

○幼稚園に通わせたいのですが、夫婦共に土曜出勤のため諦めざるを得ません。土曜も稼働する幼稚園の仕組み作りを強く希望します。

#### ⑧ 幼稚園保育時間

○幼稚園の預り保育の充実をお願いします。人気、希望の保育園にはなかなか入所できない隠れ待機児童問題があります。一方で、幼稚園は希望施設受け入れが可能な場合が多いです。幼稚園で預りの時間を長くしていただくと(朝は7時台、放課後～18時台)フルタイムの保護者は選択肢が増え、安心して仕事ができると思います。

#### ⑨ 病児保育

○病児保育の予約が埋まっていることも多く、また何か所も電話しどこが空いているか確認しないといけないのは煩雑です。どこが空いているか分からないので申請用紙も仙台市と企業型の両方書いてもらっています。医師の負担も大きいと思います。ネットから予約状況が見られるだけでも電話をどこに掛ければ良いかが分かるので予約状況を可視化してほしいです。

#### ⑩ 仙台すくすくサポート

○兄がすくすくサポート事業を利用しています。事務局の方が、とても親切でサポーターさんもとても良い方です。利用して約2年近くになりますが、車での送迎を毎週お願いしています。

#### ⑪ のびすく

○いつも利用時に丁寧な対応頂きありがとうございます。のびすくを利用したいのですが、徒歩圏内にないため、今後拡充をお願いいたします。

#### ⑫ 利用施設一時預かり

○現在働いてはませんが、通院や用事、休養目的で一時預かりを時々利用したいと考えています。ですが実際には利用者が多く、かなり前から予約しないと利用できない状態です。保育所だと入所している子ども優先になってしまうので、預かり専門の施設をぜひ作って頂きたいです。

### ⑬ 幼児教育・保育の無償化

○未満児の保育料の無償化をお願いします。働けば働くほど税金も保育料も高くなり、辛いです。なんでもお金がたくさんかかるので、少しでも軽減してもらえないと、子ども産めません。こども医療費の負担軽減とても助かっています。ためらいなく子どもを病院に連れて行けるので、ぜひ今後も力を入れてください。

## 2. 放課後児童について

### ① 児童館・放課後児童クラブ

○共働きの私たちにとって、児童館は大変ありがたいサービスです。今後も継続してほしいです。

○のびすく、児童館など特に小さい子が遊べる場があるのは、とてもありがたいです。PMに小学生が来るから入れない、幼稚園の終わった子が入ってくると、小さい子は危ないなど時間に制限ができてしまうので、もう少し多く設けて頂けると助かります。

## 3. 労働環境について

### ① 保護者の労働環境

○父親が育児休業を必ず取るような制度になってほしい。取るのが普通、当たり前という雰囲気はどうしても感じられず、父親は育児休業について自分には関係ないと思いがちだと感じる。父親の子育て参加が必ずできるようなイベントやお知らせなどしてもらえると、一緒に親になることができるのではないかな。

○いくら市や県の方で取り組んでも、企業などに波及しない限り何も恩恵は受けられず、結果子どもを生き育てたいという気持ちにならないのが現状だと思う。子どもに食べさせそれなりの教育を受けさせる為に働かないといけない、その分子どもとの時間が減る、では本末転倒なのかもしれない。限りある子ども時代の親との時間を有意義に過ごせる労働改革なりが進んでいけば嬉しいです。

### ② 施設従事者の労働環境

○保育士さんの負担を減らすことより、まず保育士さんの人員確保と保育士さんの給料を上げるべき！それこそが負担減に繋がる。年少さん15人に先生一人の考えは何十年も変わっていない。働く母が増え保育時間も増えているのに働き方が変わらないのでは先生の負担が増えると思う。時代が変わっているのだから働き方も変えてあげるべき。

#### 4. 生活環境について

##### ① 子どもの遊び場（公園や屋内施設）

- たまにプレイパークや街中での子育てイベントなどあるのが凄く良いですが、全ての子育て世代が目に残る媒体が無いように感じます。また宮城では子ども向けの施設が無料ではなかったり、無料であっても駐車場料金がかかったりとか何かと利用費がかかりますが、隣接する他県では全て無料であったり道の駅の中にあったりします。例えばこれだけ今マンションが増えているのでマンションの一角に保育施設を設けるなどそういった対策もして欲しい。
- 市外や隣県だと子どもが無料で遊べる大型の施設が充実していて、よく利用します。仙台市にもそのような施設があると嬉しいです。
- 街の中心部に子どもと気軽に行けるような施設がもっと増えれば良いと思う。
- 小さな子どもと出かけられる施設が少ない。子育ての環境が良いほど仙台市の発展（人口、経済）につながると思うので、拡充して欲しい。

##### ② 居住環境

- 青葉区荒巻区内の道路も狭く、通学に毎朝と帰りに、危険に思うので道路の（歩道）整備をお願いしたい。公園も古く（遊具が）子ども達がたくさん集まるので、安心して使用出来る公園が欲しいです。

##### ③ 公共施設（図書館など）・交通

- 近くの支援センターなどでは月に一度は色々な催し物の開催など、車で行ける距離に図書館もあるのでとてもありがたいです。

#### 5. 経済的負担について

##### ① 子育て家庭への負担軽減

- 子どもは医療費がかからないので助かっています、今後も続けて欲しいです。保育所の利用料をもう少し安くしてくれると助かります。小学校入学にかかる学用品は、まとまったお金がかかるのですが、私の家庭は減免の対象ではないですが、子どもが複数いる家庭には助成するなどして少しでも安くなると助かります。

##### ② 妊娠・出産にかかる負担軽減

- 安心して子どもを産める・育てられる、経済的支援をお願いしたいです。
- 子育て支援に直接は関係ないかも知れませんが、不妊治療の助成を強く希望します。

##### ③ 保育料の軽減

- 医療費の助成拡大はとても助かっています。所得制限で医療費負担があったときは職場を休まなくてはならないのに、保育園では受診を迫られることが多くプラスでお金もかかりとてもストレスでした。同じように無償化になる3歳までは所得の関係で保育料が高額となるため、無認可ですが安い院内保育を利用しています。これからも所得制限がかかっていくと思うと2人目以降は諦めようかと夫婦で相談中です。保育料を抑えるような働きかけをして欲しいなどは思います。

---

## 6. 保健・医療について

### ① 保健・医療全般

○私の家計では子ども医療助成の所得制限に引っかかってしまい、子どもの受診時に毎回支払いをしていました。しかしこの度所得制限が撤廃され、無料で受診することができます。子どもの体調が悪い際に、手持ちの心配をしなくていいというのは、とても助かります。改善して欲しいことは多々ありますが、言うだけでなく、実際に行動していただけていると感じました。

○インフルエンザ予防接種の助成が欲しいです。1回 4,000 円を2回。子どもがいればいるほどお金がかかります。

### ② 時間外医療

○休日当番の小児科を増やしてほしい。かなり混んでいて子どもが体調悪い中時間がかかるのは子どもにかなり負担です。

## 7. 子育て支援について

### ① 子育て支援全般

○出産して、仙台市からゴミ袋をもらいましたが、とても助かりました。仕事をする、しないに関わらず、2、3時間預けられる制度。出産したら、のびすくなどに預けられる回数券をプレゼントしてもらえるといいなと思いました。料金割高なのでリフレッシュで預けるのに躊躇します。5枚はプレゼント。好きな時に使ってください！のようになるともっともっと身近になりやすいと思います。特に第一子となると預けることに躊躇しやすいのです。預けて、受け取った時に保育士さんにも相談しやすい環境があるといいと思います。

○子どもが多くいる世帯の支援だけでなく、平等性から子どもが一人でもいる人への支援も充実していくようにすべきだと思う。

### ② 集まりの場・イベント・講座等

○妊娠・出産がコロナ禍だった為、妊婦・赤ちゃん連れに関する集まりや催しが制限されていましたが、5類になってから様々なサービスを利用させていただいています。市職員の方々には親子共々たくさん親切にさせていただいています。

### ③ 保護者教育・両親教室等

○父親にももっと参加してもらえよう父親教室などいろいろやっていく世の中になると母親だけ子育てしている気持ちにはならないと思う。

### ④ 育児相談

○子どもの発達の違いや偏りについて相談できる場所としてアーチルが2カ所設置されているが、相談件数の多さを背景に数ヶ月待ちになっている。相談したいときにすぐ相談できるようになると良い。仙台駅周辺に、できれば、仙台駅構内に子育てについて気軽に相談できる場所があると利用しやすい。

⑤ 子育て情報

○何をやっているのか知らないことも多いので、もっと発信を増やしていただくことをお願いしたいです。

8. 行政全般・計画づくりについて

① 行政の施策・計画づくり

○大変お世話になっており評価出来る点もありますが、SNS 上で他の市町村等と比べるとやはり仙台市は子育て支援策に弱い、遅いと感じます。同じ政令指定都市の福岡市は力を入れていて SNS を駆使した発信も強いと感じましたので是非比べてみて頂きたいです。

○一時の給付等ではなく、長い期間での支援施策を立ててほしいです。

② 行政手続き

○仙台市は大きく、区ごともあり手順の窓口や質問したいとき、市なのか区なのか分からない時がありそのままにしてしまう。住んでいる地域に支援施設があるかもよく知らない。他県から転入してきたので、もう少し説明してもらえたら助かるなと思います。

③ 窓口対応

○母子手帳交付の際に区役所で何か困ったことがあったら電話をして下さい。なにかしら解決できるようにします、とお話がありました。保健師さんの真摯な言葉にお電話をしたことはないですが、日々育児をして何かあったらきっと区役所が助けてくれるという安心感があります。

9. その他

① 地域社会

○行政主体（まちのイベントや学校のイベントなど）で行われるイベントに関しては、学校、保護者などの関係者参加を強制しない企画運営をお願いしたい。（ボランティアは良いが半ば強制的なのはおかしい）区民まつり等についても同様である。もっと子育て世代に温かい自治体になることを期待しています。

② 学校教育

○学校に関しては、先生の負担が多すぎて、連絡したいけれど、気軽には相談できません。学習面での遅れ(基礎的な学力を担保するという意味で)をリカバリーしたいが家庭での支援の仕方を相談したい、宿題を課してチェックをしてほしい、学校の友達関係でのトラブルを相談したい、など。もちろん学習面、友達関係など親が対応できる部分はしていますが、個人的には、問題を解決するためには親の経済力(小学校の早いうちから塾に通うなど)と対応してくださる先生の善意でなんとか成り立っているように感じます。

---

### ③ 社会の仕組み

○今の日本は、生活に余裕ない家庭が多く、働かざるを得ないため共働きしているが、子どもとの時間は大切に確保したいと思い、扶養内勤務にしているのに扶養撤廃になったら意味が無い。子育て支援をいくら頑張ってくれていても、日本全体が貧困では少子化対策にならない。子どもと親の時間を十分確保出来る世の中になってほしい。

### ④ 支援を要する子ども

○我が子は来年から幼稚園に入園予定で、現在は発達に不安がある(言葉が遅い)ために療育に通園しサポートを受けています。運良く希望の幼稚園に入園が決まりましたが、療育先での進路検討の際に加配枠、プラス支援保育枠での入園希望のハードルの高さに驚きました。待機児童ゼロと謳っていたはずなのに…。支援担当の保育士不足もあるかとは思いますが、どんな子であっても親の希望する園に入れるような環境があればこんなに悩まなくて済むと思いました。特に市の管轄である保育園型こども園はそのハードルの高さから応募自体を諦め、悔しい思いで進路に悩むお母さんもいました。親が行きたい幼稚園、保育園、こども園を選択できる環境であって欲しいと切に願います。

### ⑤ いじめ・不登校

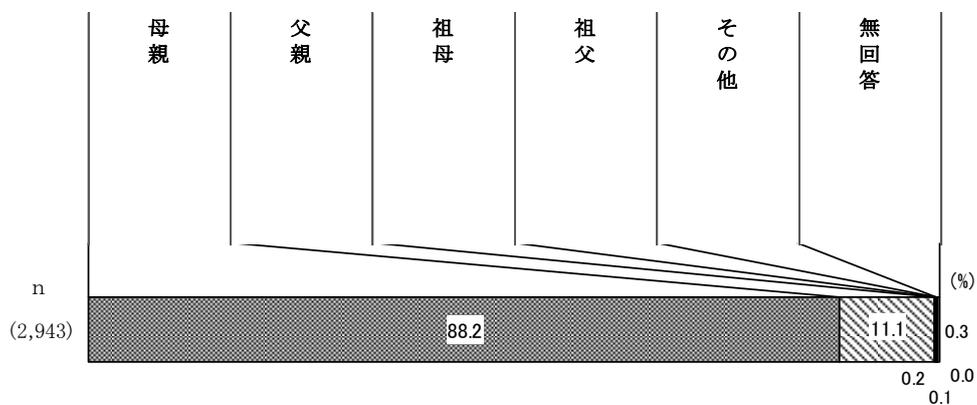
○虐待や学校でのいじめなど、ニュースで見るたび胸が張り裂けそうな思いです。どうか力を入れて取り組んでいただけると嬉しいなと思います。

# IV 調査結果（小学生の保護者向け）

## 1 子どもと家族の状況について

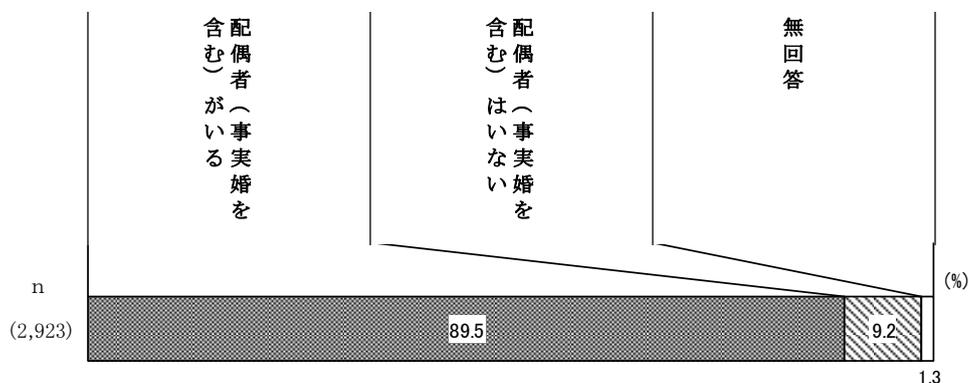
### （1）回答者

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さまから見た関係でお答えください。（〇は1つ）



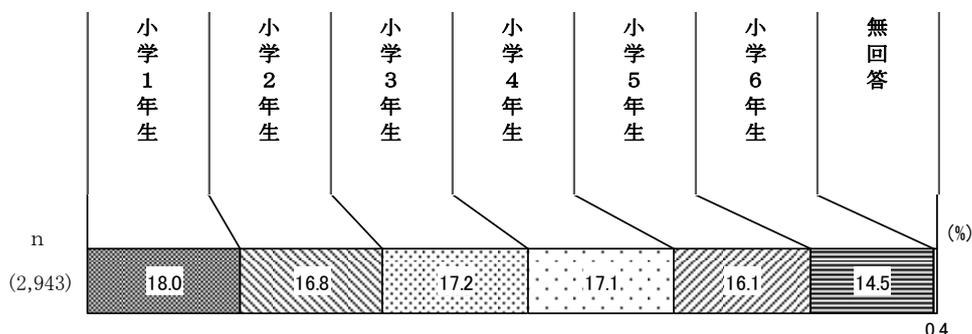
### （2）回答者の配偶関係

問1-1 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（〇は1つ）



### (3) 子どもの学年

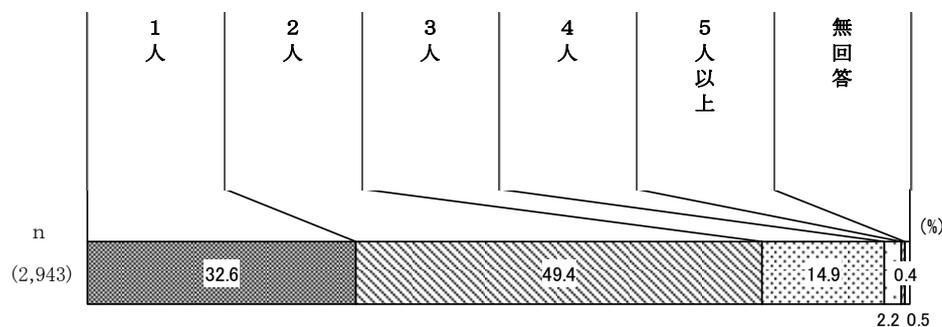
問2 宛名のお子さまの学年についてお答えください。(○は1つ)



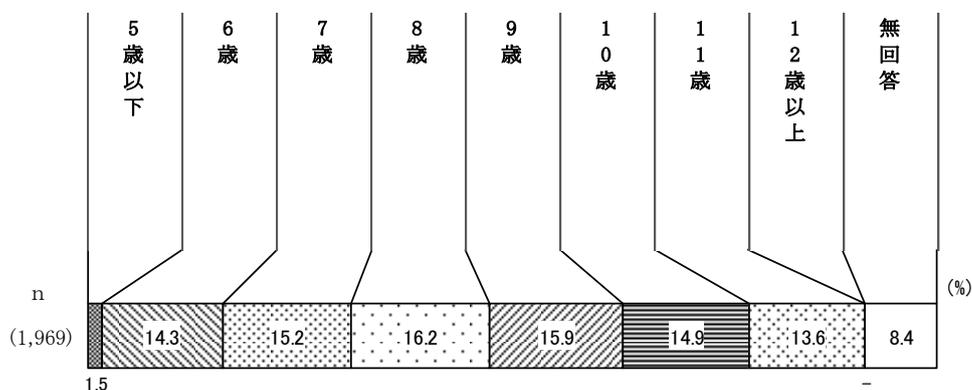
### (4) 子どもの人数・末子の年齢

問3 宛名のお子さまも含めて、全部でお子さまは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の方の生年月を[ ]内にご記入ください。(年号は○でお選びください)

<子どもの人数>



<末子の年齢>

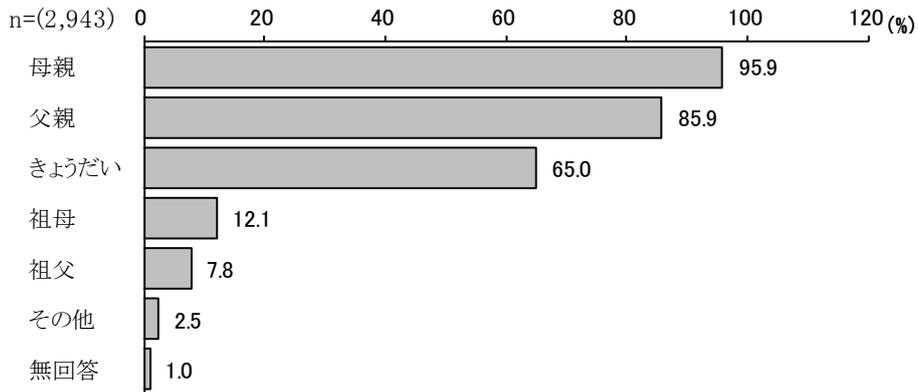


※末子の方の生年月を年齢に置き換え集計している

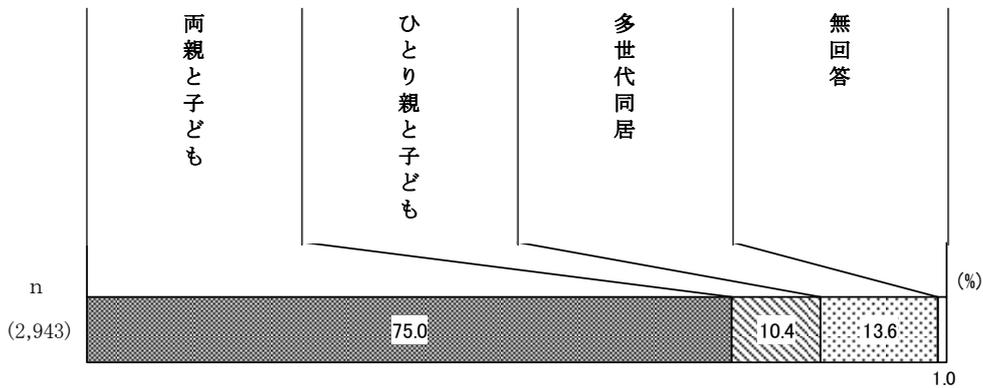
（5）同居家族・家族構成・家族全員の人数

問4 宛名のお子さまと同居（2世帯住宅を含む）されている方について、該当するすべての番号に○をつけてください。続柄はお子さまからみた関係です。また、同居している家族全員（ご両親とお子さまを含む）の人数を[ ]内に数字でご記入ください。

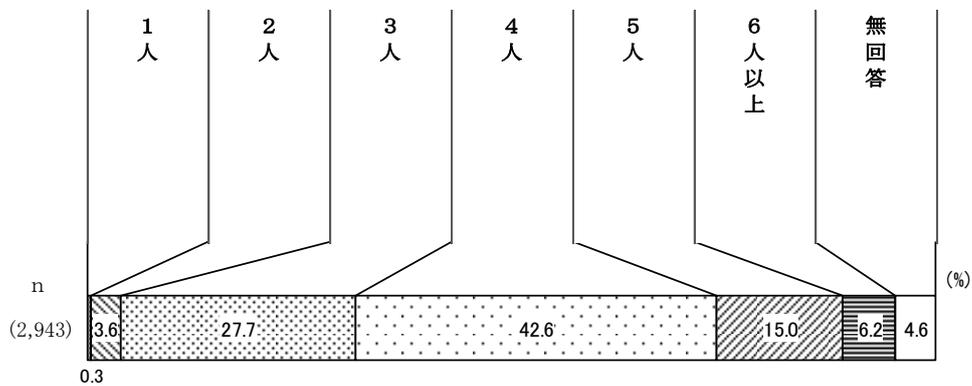
<同居家族>



<家族構成>

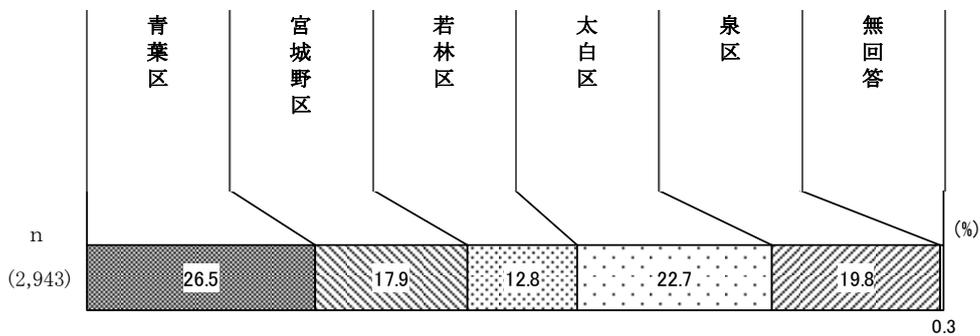


<同居家族の人数>



## (6) 居住区

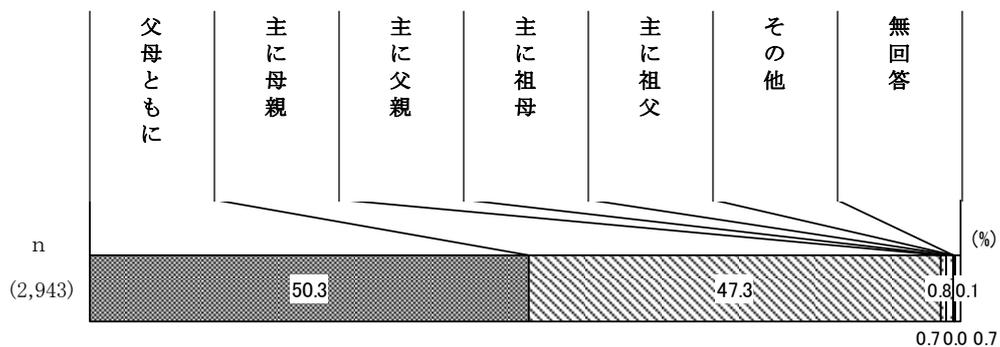
問5 お住まいの区と町丁名を( )内にご記入ください。



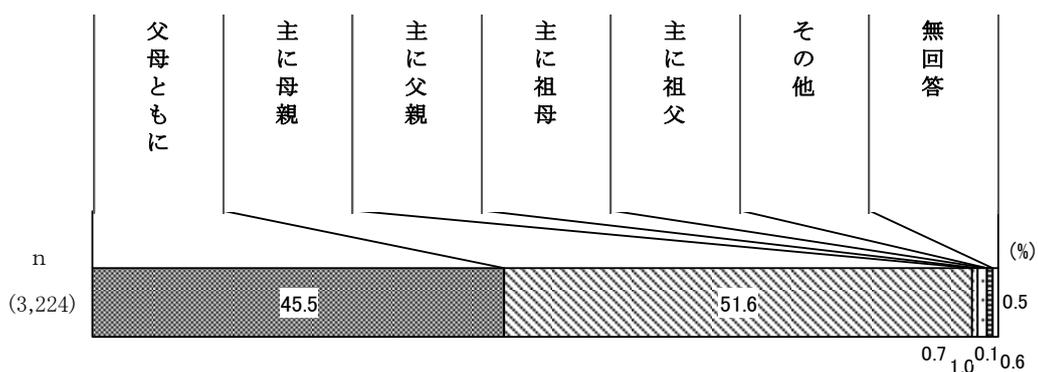
※町丁名のグラフは非掲載

## (7) 主に子育てを行っている人

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのは、お子さまから見た関係でどなたですか。(○は1つ)



参考：平成30年度調査



## 2 平日の放課後や休日の過ごし方について

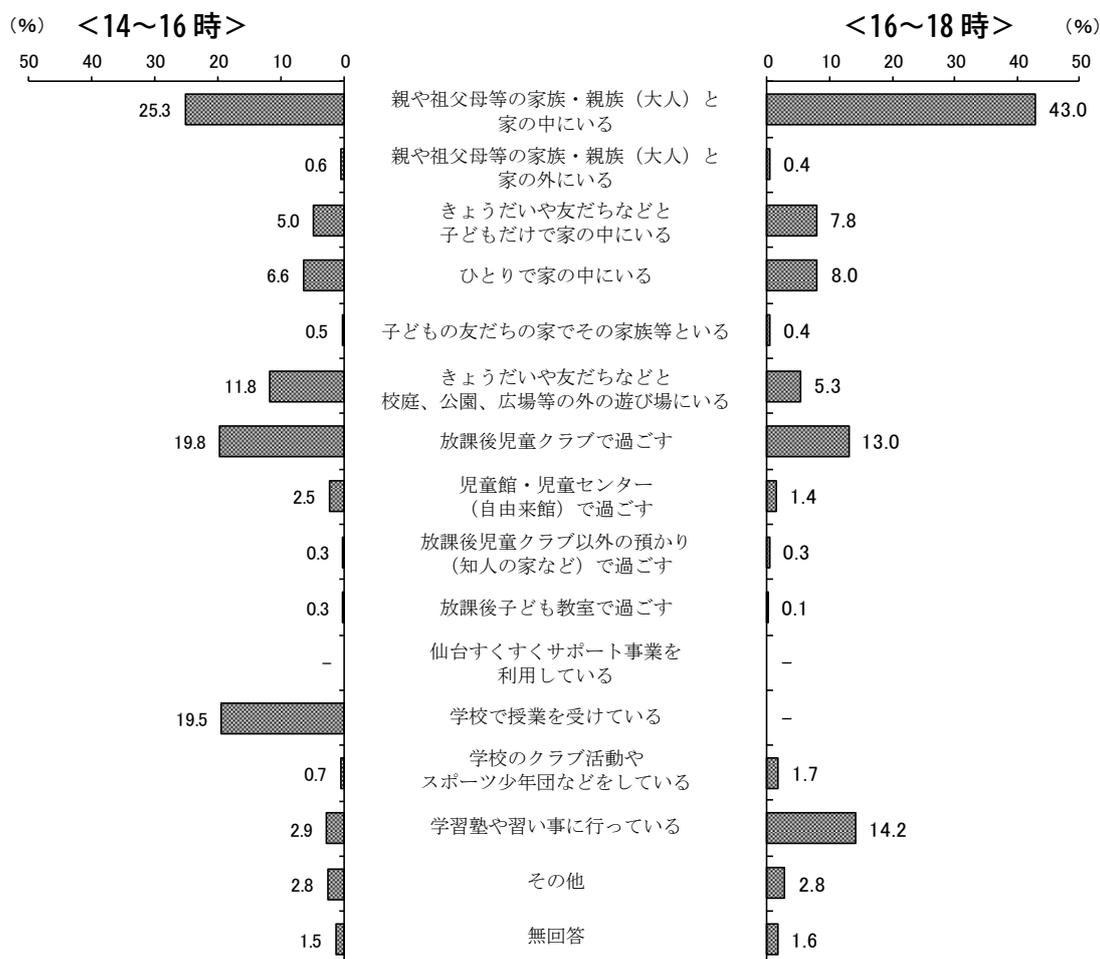
### （1）平日の放課後や休日の過ごし方

- ▶ 平日の放課後の子どもの過ごし方について、14～16 時では、「親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる」（25.3%）が最も高くなっており、次いで「放課後児童クラブで過ごす」が 19.8%となっている。
- ▶ 16～18 時では、14～16 時に比べ外の遊び場や放課後児童クラブで過ごす割合が下降し、「親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる」（43.0%）や「学習塾や習い事に行っている」（14.2%）の回答割合が上昇している。
- ▶ 18 時以降では、「親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる」（85.5%）が大多数を占めている（グラフについては非掲載）。

問7 平日の放課後、土曜日、日曜日・祝日、長期の休み（夏休みなど）のそれぞれで、日常的な宛名のお子さまの過ごし方が一番多いものについてうかがいます。時間帯ごとに当てはまるものを点線枠内からそれぞれ1つずつ選んで番号をご記入ください。

平日

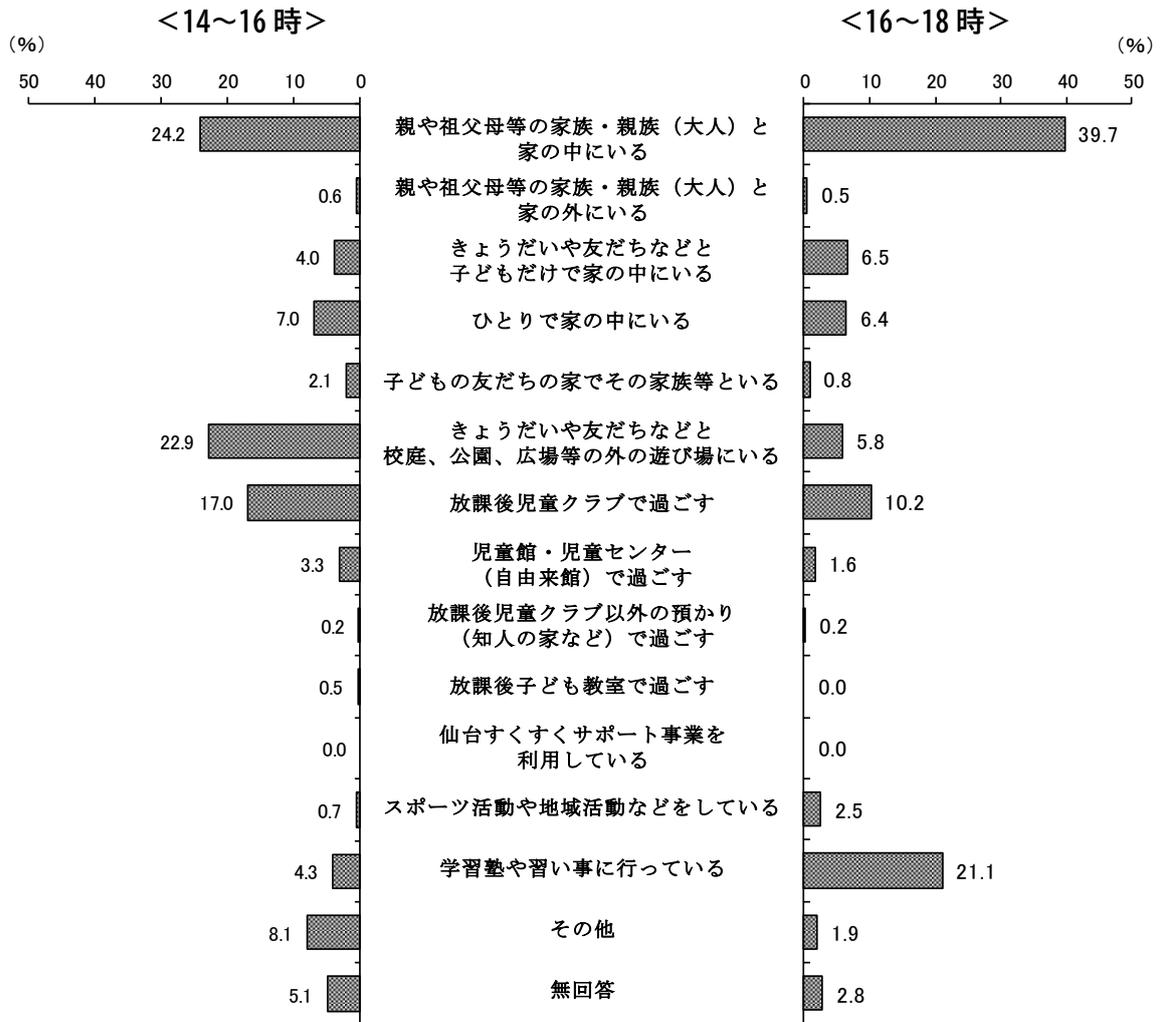
n = (2,943)



▶平成 30 年度調査と比較すると、全体として大きな傾向の変化はみられないものの、平成 30 年度調査で第 2 位だった「きょうだいや友だちなどと校庭、公園、広場等の外の遊び場にいる」が約 11 ポイント下降しており、第 3 位だった「放課後児童クラブで過ごす」との順位の入替わりがみられる。

参考：平成 30 年度調査

n= (3,224)



【学年別／平日の放課後や休日の過ごし方（平日）】

- ▶ 学年別にみると、14～16 時の時間帯では、小学 1～3 年生は「放課後児童クラブで過ごす」（34.2%）が、小学 4～6 年生は「学校で授業を受けている」（31.5%）の割合が最も高い。
- ▶ 16～18 時の時間帯では、ともに「親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる」が最も高いが、小学 4～6 年生では小学 1～3 年生に比べ「学習塾や習いごとに行っている」（16.2%）が高く、小学 1～3 年生では「放課後児童クラブで過ごす」（21.9%）が小学 4～6 年生に比べ高い。
- ▶ 18 時以降の時間帯では、ともに「親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる」が最も高い。

<小学1～3年生>

n=(1,527)

		親や祖父母等の家族の中にいる	親や祖父母等の家族の外にいる	中の子どものみで家の中にいる	きょうだいや友達など	ひとり家で家の中にいる	子どもの友だちの家でその家族等といる	等々の遊び場にいる	きょうだいや友達など	放課後児童クラブで過ごす	児童館・児童センター（自由来館）で過ごす	放課後児童クラブ以外（知り人の家など）で過ごす	放課後子ども教室で過ごす	事業を利用している	仙台市利用している	学校で授業を受けている	ポーツ少年団など	学校のクラブ活動や習い事	学習塾や習い事	その他	無回答
平日	14～16時	27.2	0.7	4.4	2.3	0.5	9.0	34.2	4.3	0.4	0.3	-	-	8.5	0.3	3.9	2.6	1.3			
	16～18時	44.0	0.5	7.3	2.8	0.3	3.4	21.9	2.4	0.5	-	-	-	0.7	12.4	2.8	1.1				
	18時以降	88.5	0.3	1.9	0.3	-	-	4.5	0.2	0.1	-	-	-	0.9	2.3	0.5	0.7				

<小学4～6年生>

n=(1,404)

		親や祖父母等の家族の中にいる	親や祖父母等の家族の外にいる	中の子どものみで家の中にいる	きょうだいや友達など	ひとり家で家の中にいる	子どもの友だちの家でその家族等といる	等々の遊び場にいる	きょうだいや友達など	放課後児童クラブで過ごす	児童館・児童センター（自由来館）で過ごす	放課後児童クラブ以外（知り人の家など）で過ごす	放課後子ども教室で過ごす	事業を利用している	仙台市利用している	学校で授業を受けている	ポーツ少年団など	学校のクラブ活動や習い事	学習塾や習い事	その他	無回答
平日	14～16時	23.3	0.5	5.6	11.4	0.5	14.8	4.3	0.6	0.1	0.3	-	-	31.5	1.1	1.7	3.0	1.3			
	16～18時	42.2	0.3	8.5	13.7	0.6	7.2	3.2	0.4	0.1	0.1	-	-	2.9	16.2	2.8	1.8				
	18時以降	82.5	0.4	3.1	2.4	0.1	0.1	1.1	-	-	-	-	-	1.6	7.1	0.6	1.0				



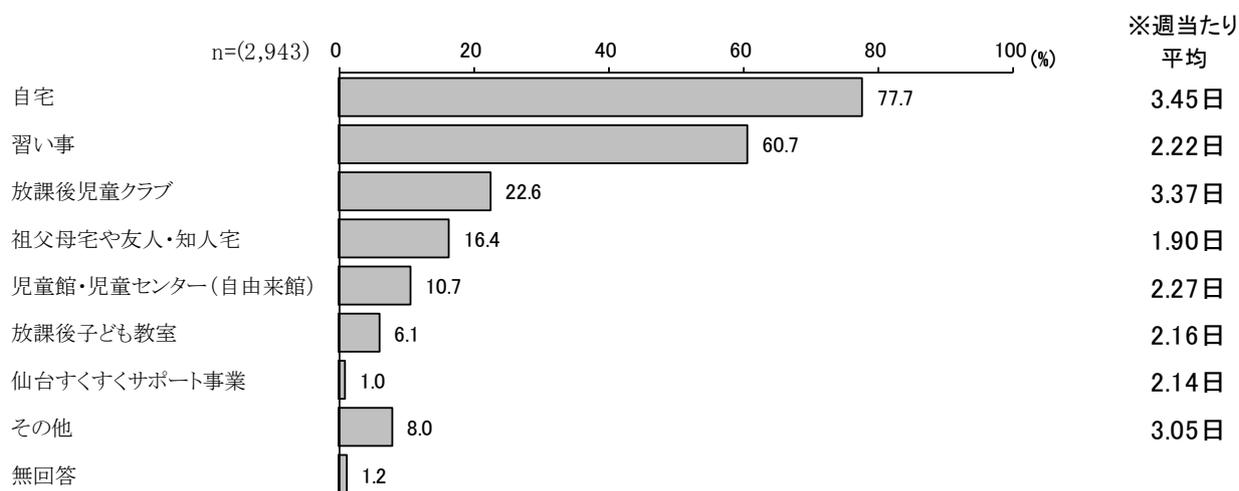


## (2) 放課後に過ごさせたい場所

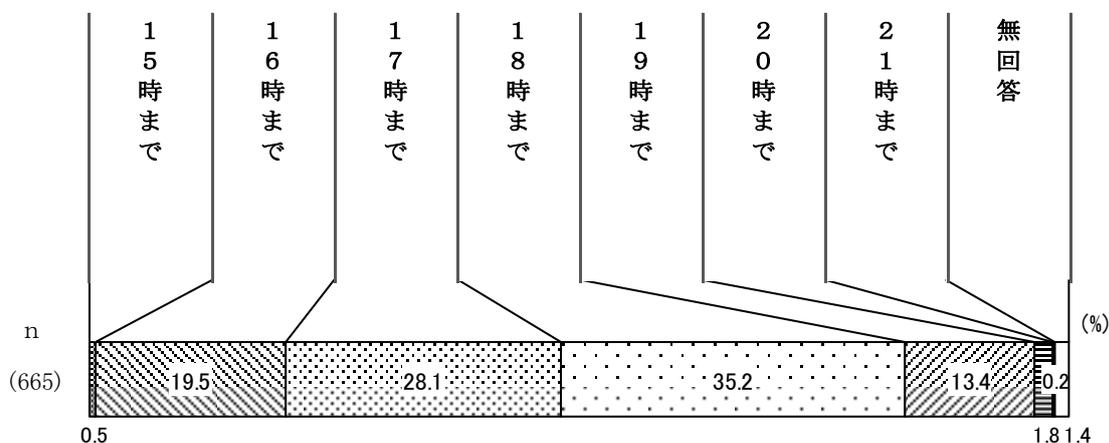
- ▶ 平日の放課後に過ごさせたい場所については、「自宅」(77.7%)、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)」(60.7%)がともに高く、次いで「放課後児童クラブ」(22.6%)となっている。
- ▶ 放課後児童クラブを利用している人の利用終了時間については、「18時まで」(35.2%)が最も高く、次いで「17時まで」(28.1%)となっている。

問8 宛名のお子さまについて、平日の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。現在の利用の有無や状況にかかわらず、当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望するおおよその日数を[ ]内に数字でご記入ください。また、「4. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

### <放課後に過ごさせたい場所>



### <放課後児童クラブの利用終了時間>



## 【学年別／放課後に過ごさせたい場所】

▶学年別にみると、小学1～3年生では「放課後児童クラブ」（36.3%）、「児童館・児童センター（自由来館）」（14.1%）が小学4～6年生に比べ高い。一方、小学4～6年生では「自宅」が83.4%と小学1～3年生に比べ高い。

		調査数	自宅	塾等 サッカークラブ、 習い事（ピアノ教室、 学習）	放課後児童クラブ	祖父母宅や友人・知人宅	児童館・児童センター （自由来館）	放課後子ども教室	事業 仙台 すくすくサポート	その他	無回答
学年別	小学1～3年生	1,527 100.0	1,107 72.5	904 59.2	555 36.3	238 15.6	216 14.1	106 6.9	12 0.8	106 6.9	18 1.2
	小学4～6年生	1,404 100.0	1,171 83.4	877 62.5	107 7.6	244 17.4	99 7.1	73 5.2	16 1.1	129 9.2	17 1.2

(上段:件 下段:%)

## 【家族構成別／放課後に過ごさせたい場所】

▶家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では、小学1～3年生、小学4～6年生ともに、「自宅」が、他の家族構成に比べ低く、「祖父母宅や友人・知人宅」「放課後児童クラブ」、「児童館・児童センター（自由来館）」は他の家族構成に比べ高い。ただし、「祖父母宅や友人・知人宅」、「放課後児童クラブ」、「児童館・児童センター（自由来館）」を希望する割合は、小学1～3年生に比べ小学4～6年生で下降している。

家族構成別		調査数	自宅	塾等 サッカークラブ、 習い事（ピアノ教室、 学習）	放課後児童クラブ	祖父母宅や友人・知人宅	児童館・児童センター （自由来館）	放課後子ども教室	事業 仙台 すくすくサポート	その他	無回答
小学1～3年生	両親と子ども	1,159 100.0	848 73.2	707 61.0	431 37.2	179 15.4	167 14.4	80 6.9	7 0.6	88 7.6	10 0.9
	ひとり親と子ども	144 100.0	95 66.0	78 54.2	63 43.8	29 20.1	23 16.0	8 5.6	3 2.1	7 4.9	-
	多世代同居	210 100.0	154 73.3	112 53.3	57 27.1	28 13.3	24 11.4	18 8.6	2 1.0	11 5.2	6 2.9
小学4～6年生	両親と子ども	1,042 100.0	875 84.0	651 62.5	79 7.6	187 17.9	76 7.3	52 5.0	10 1.0	90 8.6	9 0.9
	ひとり親と子ども	162 100.0	121 74.7	104 64.2	18 11.1	29 17.9	12 7.4	12 7.4	5 3.1	20 12.3	5 3.1
	多世代同居	190 100.0	168 88.4	115 60.5	10 5.3	24 12.6	10 5.3	9 4.7	1 0.5	19 10.0	3 1.6

(上段:件 下段:%)

## 【両親の就労状況別／放課後に過ごさせたい場所】

- ▶両親の就労状況別にみると、共働きの世帯、母親のみ就労の世帯では、小学1～3年生で「放課後児童クラブ」が、他の就労状況に比べ高い。
- ▶父親のみ就労世帯では、小学1～3年生で「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」が、他の就労状況に比べ高い。

(上段:件 下段:%)

		調査数	自宅	塾等 習い事 （ピアノ クラブ、 学習 塾等）	放課後 児童 クラブ	祖 父 母 宅 や 友 人 ・ 知 人	児童館・児童センター （自由来館）	放課後子ども教室	事業 仙台 すくすく サポート	その他	無回答
小学 1～ 3 年生	共働き	1,016 100.0	712 70.1	585 57.6	435 42.8	159 15.6	136 13.4	75 7.4	5 0.5	53 5.2	9 0.9
	父親のみ就労	296 100.0	250 84.5	199 67.2	34 11.5	43 14.5	49 16.6	17 5.7	2 0.7	39 13.2	3 1.0
	母親のみ就労	126 100.0	80 63.5	69 54.8	60 47.6	19 15.1	20 15.9	7 5.6	3 2.4	4 3.2	-
	親は働いていない	2 100.0	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-
小学 4～ 6 年生	共働き	956 100.0	798 83.5	589 61.6	76 7.9	165 17.3	69 7.2	40 4.2	8 0.8	76 7.9	10 1.0
	父親のみ就労	236 100.0	210 89.0	147 62.3	6 2.5	37 15.7	13 5.5	14 5.9	-	31 13.1	-
	母親のみ就労	115 100.0	84 73.0	81 70.4	18 15.7	19 16.5	11 9.6	12 10.4	5 4.3	13 11.3	2 1.7
	親は働いていない	9 100.0	6 66.7	6 66.7	1 11.1	3 33.3	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1

※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

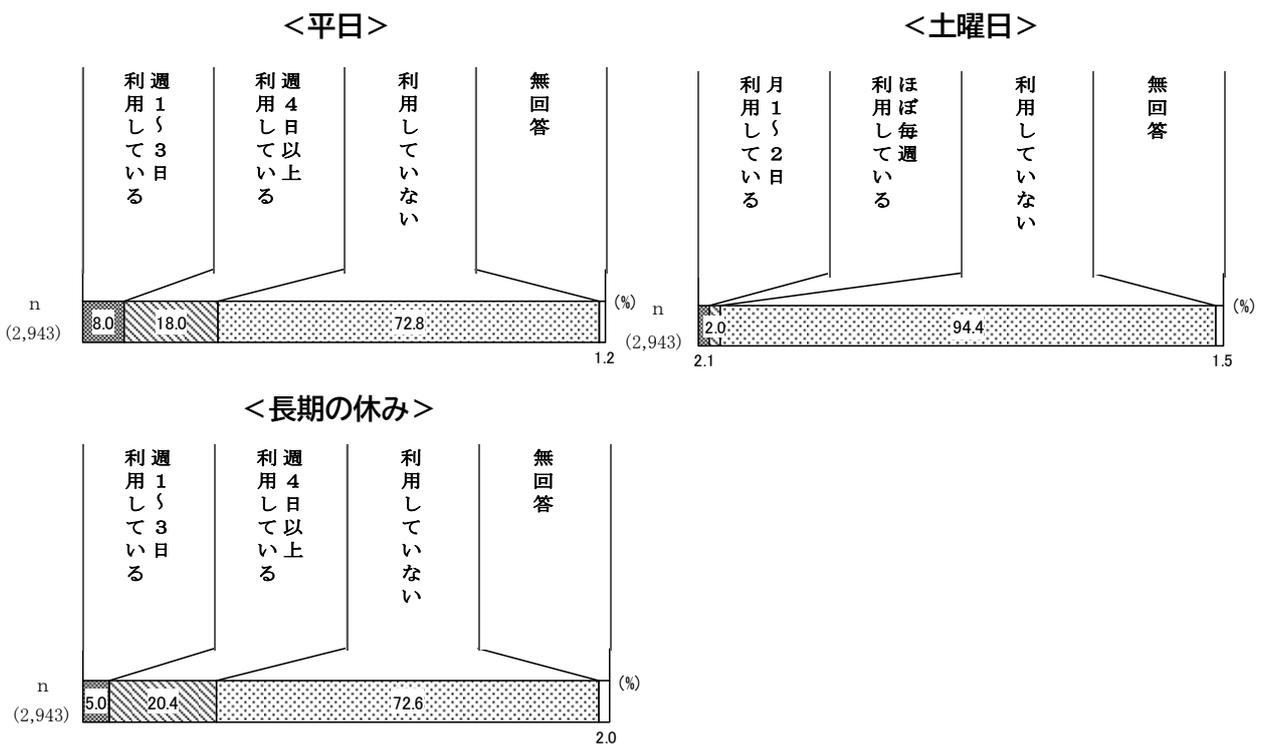
### 3 放課後児童クラブの利用状況について

#### （1）放課後児童クラブの利用状況

- ▶放課後児童クラブの利用状況については、「週1～3日利用している」と「週4日以上利用している」を合わせた《利用している》は、平日が26.0%、長期の休みが25.4%となっている。
- ▶一方、土曜日では「月1～2日利用している」と「ほぼ毎週利用している」を合わせた《利用している》は4.1%となっており、平日、長期の休みに比べ、利用割合が低い。
- ▶平成30年度調査と比較すると、《利用している》は、平日が約4ポイント、長期の休みが約5ポイント上昇しており、放課後児童クラブの利用者が増加していることがうかがえる。

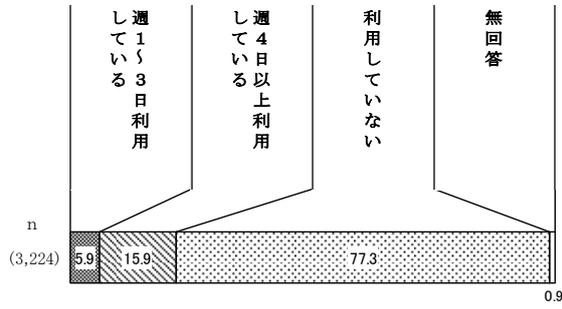
問9 宛名のお子さまは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。(1)平日、(2)土曜日、(3)長期の休み（夏休みなど）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、利用している日数と時間帯を[ ]内に数字でご記入ください。

#### 利用状況

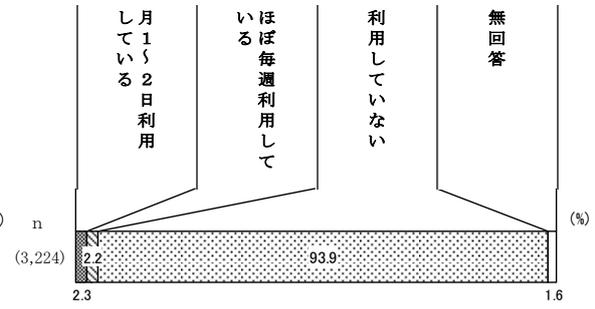


参考：平成 30 年度調査

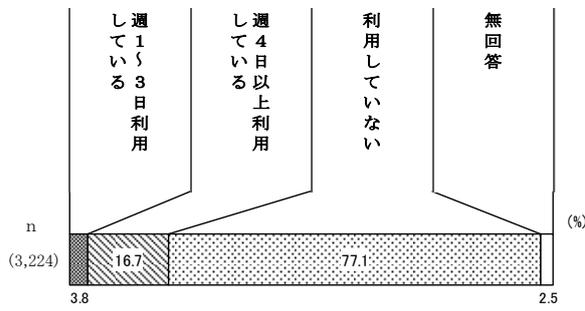
<平日>



<土曜>



<長期の休み>



▶放課後児童クラブの利用時間については、開始が平日は「15時から」（59.6%）、土曜日は「9時から」（77.4%）、長期の休みは「8時から」（62.9%）が高い。終了は平日、長期の休みともに「18時まで」（平日：33.1%、長期の休み：31.7%）が最も高く、土曜日は「17時まで」（39.5%）が高い。

## 利用時間

## &lt;平日&gt;

n = 768

開始時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時から	-
7時から	-
8時から	-
9時から	-
10時から	-
11時から	-
12時から	0.1
13時から	1.2
14時から	28.4
15時から	59.6
16時から	6.6
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	4.0

終了時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	-
9時まで	-
10時まで	-
11時まで	-
12時まで	-
13時まで	-
14時まで	0.3
15時まで	1.0
16時まで	25.8
17時まで	22.4
18時まで	33.1
19時まで	13.4
20時まで	-
21時まで	-
22時まで	-
23時まで	-
24時以降	-
無回答	4.0

## &lt;土曜日&gt;

n = 124

開始時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時から	-
7時から	-
8時から	4.0
9時から	77.4
10時から	11.3
11時から	3.2
12時から	1.6
13時から	-
14時から	-
15時から	1.6
16時から	-
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	0.8

終了時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	-
9時まで	-
10時まで	-
11時まで	1.6
12時まで	3.2
13時まで	3.2
14時まで	5.6
15時まで	12.9
16時まで	28.2
17時まで	39.5
18時まで	4.8
19時まで	-
20時まで	-
21時まで	-
22時まで	-
23時まで	-
24時以降	-
無回答	0.8

## &lt;長期の休み&gt;

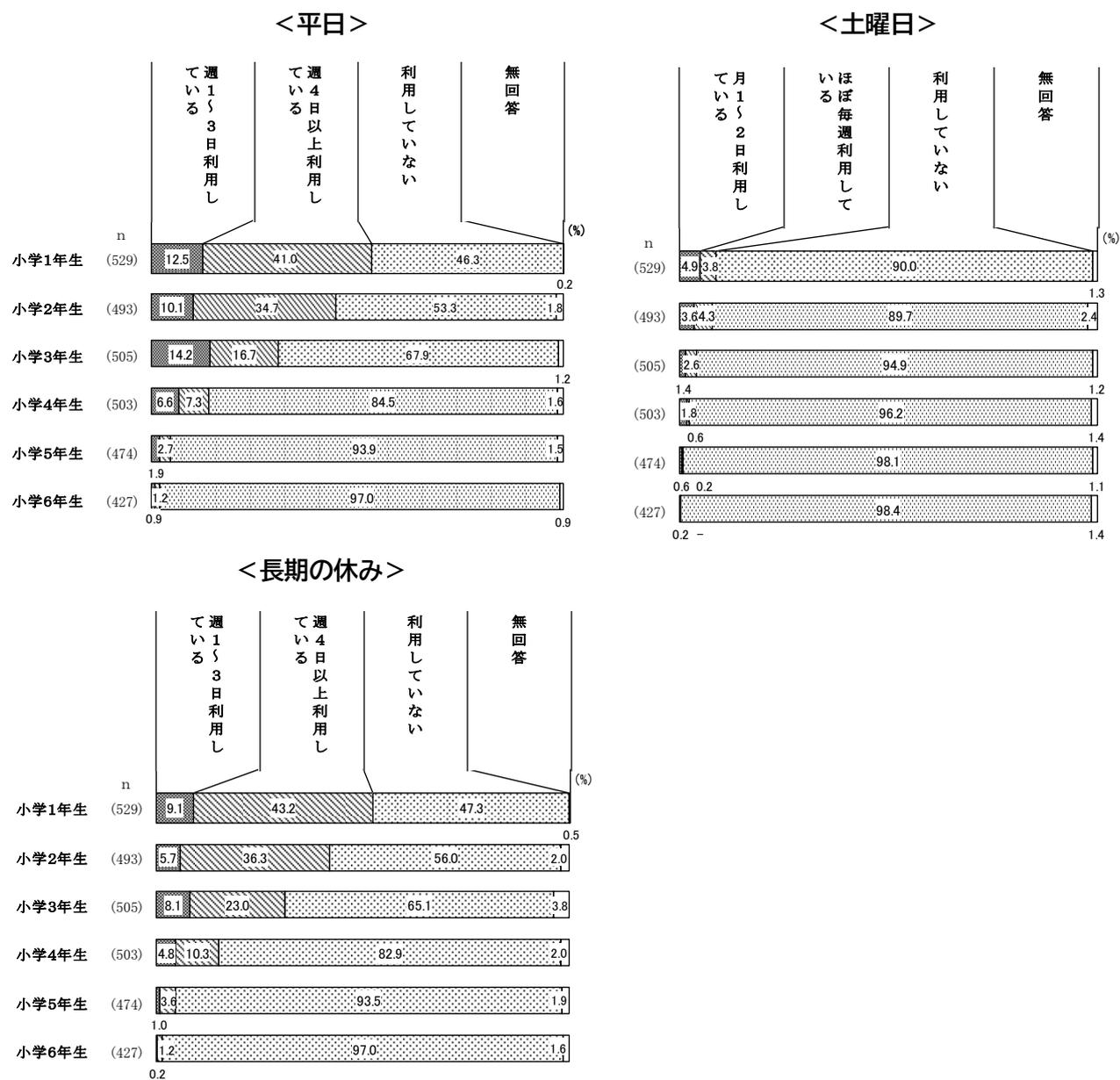
n = 761

開始時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時から	-
7時から	-
8時から	62.9
9時から	30.6
10時から	3.5
11時から	0.1
12時から	0.3
13時から	0.1
14時から	0.1
15時から	0.7
16時から	0.1
17時から	-
18時から	-
19時から	-
20時から	-
21時から	-
22時から	-
23時から	-
24時以降	-
無回答	1.4

終了時間	
時間帯	%
6時以前	-
6時まで	-
7時まで	-
8時まで	-
9時まで	-
10時まで	0.1
11時まで	0.1
12時まで	1.6
13時まで	0.5
14時まで	2.4
15時まで	7.2
16時まで	22.3
17時まで	20.5
18時まで	31.7
19時まで	12.1
20時まで	-
21時まで	-
22時まで	-
23時まで	-
24時以降	-
無回答	1.4

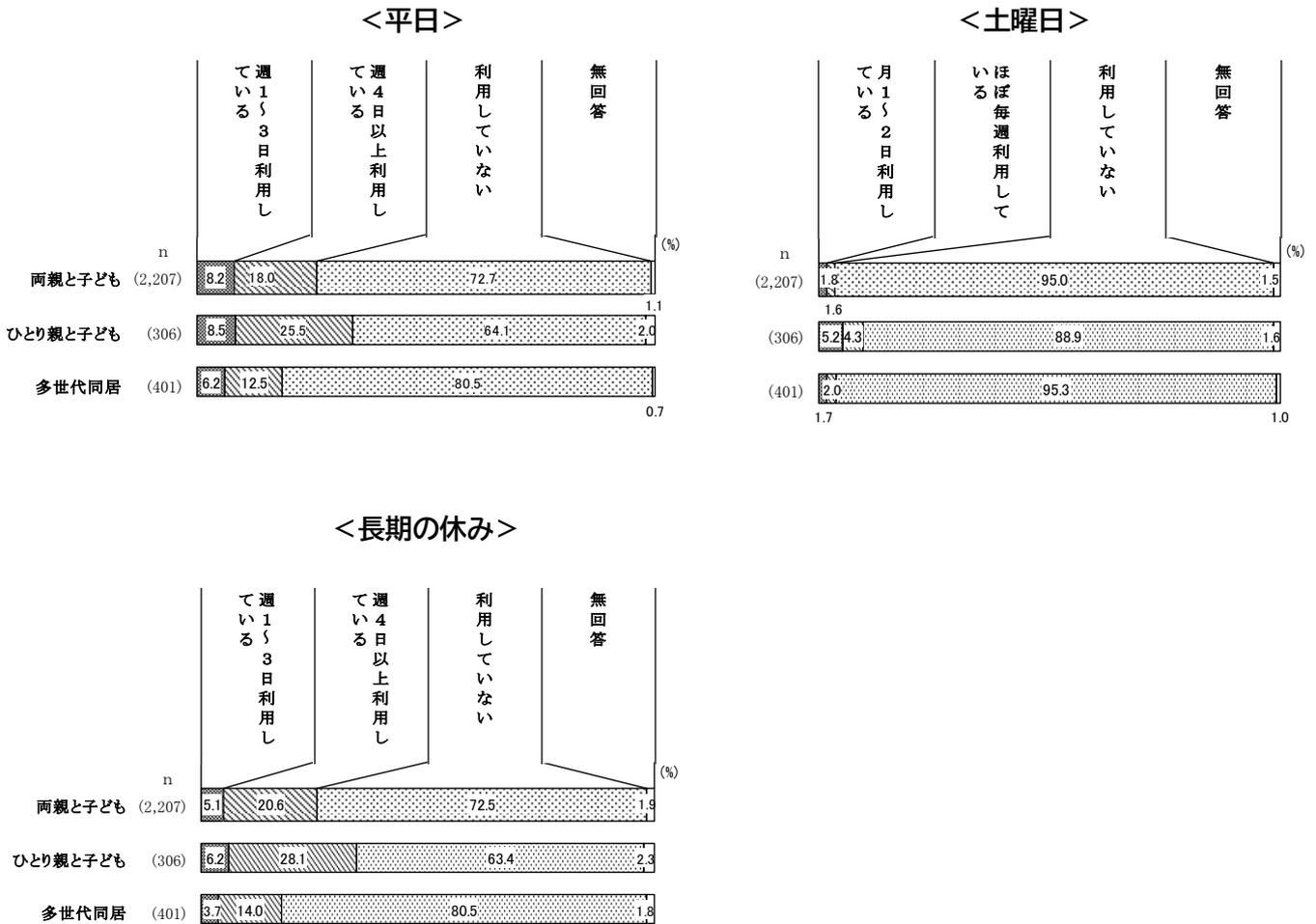
## 【学年別／放課後児童クラブの利用状況】

▶ 学年別にみると、《利用している》は、平日、土曜日、長期の休みのいずれも、小学1年生（平日：53.5%、土曜日：8.7%、長期の休み：52.3%）が最も高く、学年が上がるにつれて下降している。



【家族構成別／放課後児童クラブの利用状況】

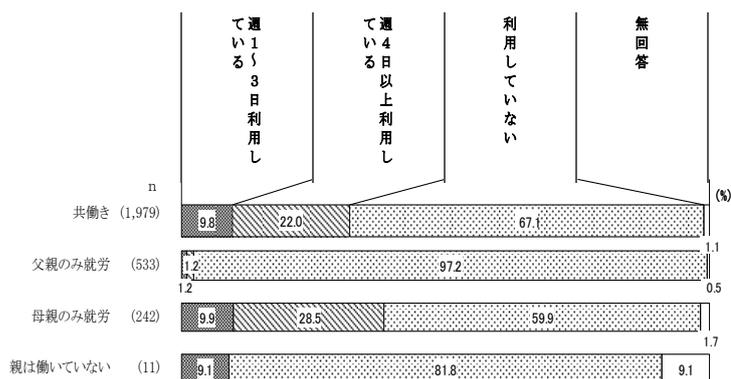
- ▶ 家族構成別にみると、平日、長期の休みでは、ひとり親と子どもの世帯で「週4日以上利用している」の割合が、他の家族構成に比べやや高くなっている。
- ▶ 土曜日でも同様に、ひとり親と子どもの世帯で「ほぼ毎週利用している」の割合が、他の家族構成に比べやや高くなっている。



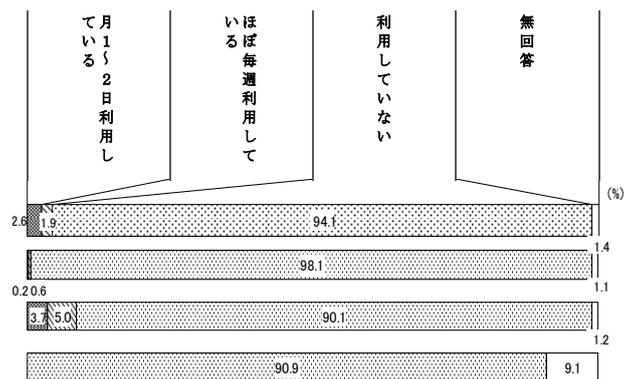
## 【両親の就労状況別／放課後児童クラブの利用状況】

- ▶両親の就労状況別にみると、共働きの世帯、母親のみ就労の世帯では、平日、長期の休みともに《利用している》の割合が約2割～3割と、他の就労状況に比べ高くなっている。
- ▶一方、父親のみ就労の世帯では、平日、土曜日、長期の休みのいずれも、「利用していない」が大多数を占めている。

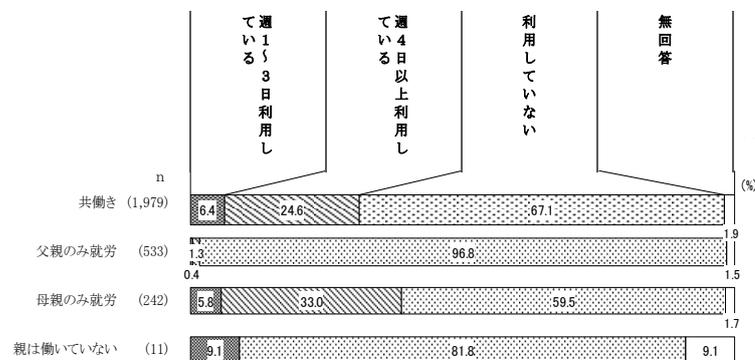
### <平日>



### <土曜日>



### <長期の休み>



※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

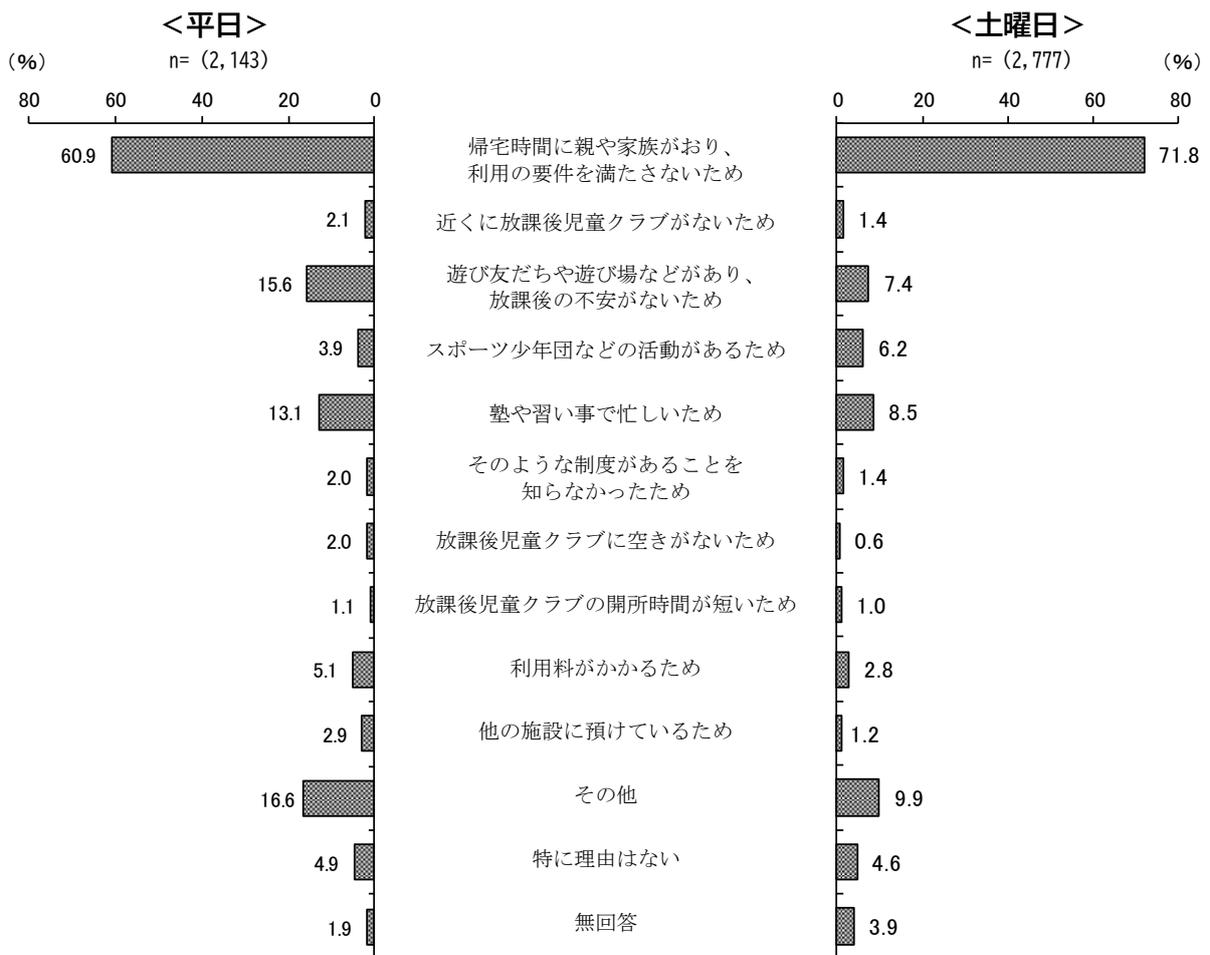
## （２）放課後児童クラブを利用していない理由

- ▶放課後児童クラブを利用していない理由については、平日、土曜日ともに「帰宅時間に親や家族がおり、利用の要件を満たさないため」（平日：60.9%、土曜日：71.8%）が最も高く、次いで「遊び友だちや遊び場などがあり、放課後の不安がないため」（平日：15.6%、土曜日：7.4）、「塾や習い事で忙しいため」（平日：13.1%、土曜日：8.5%）など、利用の必要性がないことを理由とする回答が多くなっている。
- ▶また、平日では、「遊び友だちや遊び場などがあり、放課後の不安がないため」（15.6%）、「塾や習い事で忙しいため」（13.1%）が土曜日に比べ高く、土曜日では「スポーツ少年団などの活動があるため」（6.2%）が平日に比べやや高い。

※『3（１）放課後児童クラブの利用状況』で「利用していない」と回答した方のみ

問 9-1 放課後児童クラブを、平日または土曜日に利用していない理由は何ですか。

（平日または土曜日それぞれ、当てはまるものすべてに○）



## 【学年別／放課後児童クラブを利用していない理由】

▶学年別にみると、平日、土曜日ともに「帰宅時間に親や家族がおり、利用の要件を満たさないため」がすべての学年で最も高いが、概ね学年が上がるにつれて下降する傾向にある。一方、「遊び友達や遊び場などがあり、放課後の不安がないため」は、学年が上がるにつれて上昇する傾向にある。

### <平日>

(上段:件 下段:%)

		調査数	た さ な い た め	お り 、 利 用 の 要 件 を 満 た す	近 く に 放 課 後 児 童 ク ラ ブ が な い	安 が な い た め	遊 び 友 だ ち や 遊 び 場 な ど が あ り 、 放 課 後 の 不 安 が な い	活 動 が あ る た め	ス ポ ー ツ 少 年 団 な ど の 活 動 が あ る	め 塾 や 習 い 事 で 忙 し い た め	め こ と を 知 ら な か つ た た め	そ の よ う な 制 度 が あ る た め	放 課 後 児 童 ク ラ ブ に 空 き が な い	所 時 間 が 短 い た め	放 課 後 児 童 ク ラ ブ の 開 所 時 間 が 短 い た め	利 用 料 が か か る た め	た め 他 の 施 設 に 預 け て い る	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
学 年 別	小学1年生	245 100.0	190 77.6	10 4.1	14 5.7	3 1.2	19 7.8	3 1.2	6 2.4	3 1.2	15 6.1	16 6.5	22 9.0	5 2.0	6 2.4					
	小学2年生	263 100.0	182 69.2	8 3.0	28 10.6	4 1.5	24 9.1	5 1.9	4 1.5	2 0.8	17 6.5	13 4.9	35 13.3	6 2.3	1 0.4					
	小学3年生	343 100.0	206 60.1	10 2.9	54 15.7	6 1.7	46 13.4	8 2.3	10 2.9	4 1.2	21 6.1	8 2.3	68 19.8	11 3.2	8 2.3					
	小学4年生	425 100.0	262 61.6	6 1.4	60 14.1	28 6.6	65 15.3	6 1.4	8 1.9	11 2.6	22 5.2	9 2.1	72 16.9	24 5.6	8 1.9					
	小学5年生	445 100.0	250 56.2	7 1.6	91 20.4	23 5.2	65 14.6	8 1.8	5 1.1	3 0.7	18 4.0	9 2.0	71 16.0	26 5.8	10 2.2					
	小学6年生	414 100.0	211 51.0	4 1.0	88 21.3	19 4.6	61 14.7	13 3.1	9 2.2	1 0.2	16 3.9	8 1.9	87 21.0	31 7.5	6 1.4					

### <土曜日>

(上段:件 下段:%)

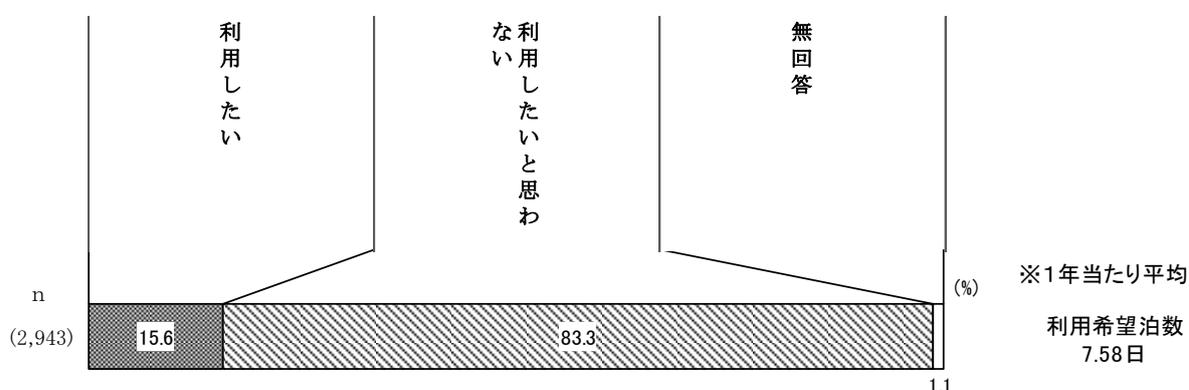
		調査数	た さ な い た め	お り 、 利 用 の 要 件 を 満 た す	近 く に 放 課 後 児 童 ク ラ ブ が な い	安 が な い た め	遊 び 友 だ ち や 遊 び 場 な ど が あ り 、 放 課 後 の 不 安 が な い	活 動 が あ る た め	ス ポ ー ツ 少 年 団 な ど の 活 動 が あ る	め 塾 や 習 い 事 で 忙 し い た め	め こ と を 知 ら な か つ た た め	そ の よ う な 制 度 が あ る た め	放 課 後 児 童 ク ラ ブ に 空 き が な い	所 時 間 が 短 い た め	放 課 後 児 童 ク ラ ブ の 開 所 時 間 が 短 い た め	利 用 料 が か か る た め	た め 他 の 施 設 に 預 け て い る	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
学 年 別	小学1年生	476 100.0	373 78.4	7 1.5	12 2.5	11 2.3	34 7.1	6 1.3	5 1.1	11 2.3	14 2.9	5 1.1	34 7.1	9 1.9	27 5.7					
	小学2年生	442 100.0	336 76.0	9 2.0	18 4.1	15 3.4	25 5.7	7 1.6	1 0.2	6 1.4	14 3.2	5 1.1	41 9.3	15 3.4	19 4.3					
	小学3年生	479 100.0	349 72.9	9 1.9	25 5.2	24 5.0	48 10.0	7 1.5	2 0.4	4 0.8	10 2.1	9 1.9	48 10.0	17 3.5	24 5.0					
	小学4年生	484 100.0	356 73.6	4 0.8	35 7.2	47 9.7	48 9.9	4 0.8	6 1.2	5 1.0	14 2.9	6 1.2	44 9.1	27 5.6	14 2.9					
	小学5年生	465 100.0	307 66.0	5 1.1	59 12.7	42 9.0	43 9.2	7 1.5	1 0.2	- -	12 2.6	4 0.9	49 10.5	25 5.4	12 2.6					
	小学6年生	420 100.0	263 62.6	5 1.2	57 13.6	33 7.9	36 8.6	9 2.1	2 0.5	1 0.2	14 3.3	5 1.2	57 13.6	36 8.6	11 2.6					

## 4 宿泊を伴う一時預かりについて

### （1）保護者の用事により子どもを泊りがけで預ける必要がある場合、ショートステイを利用したいと思うか

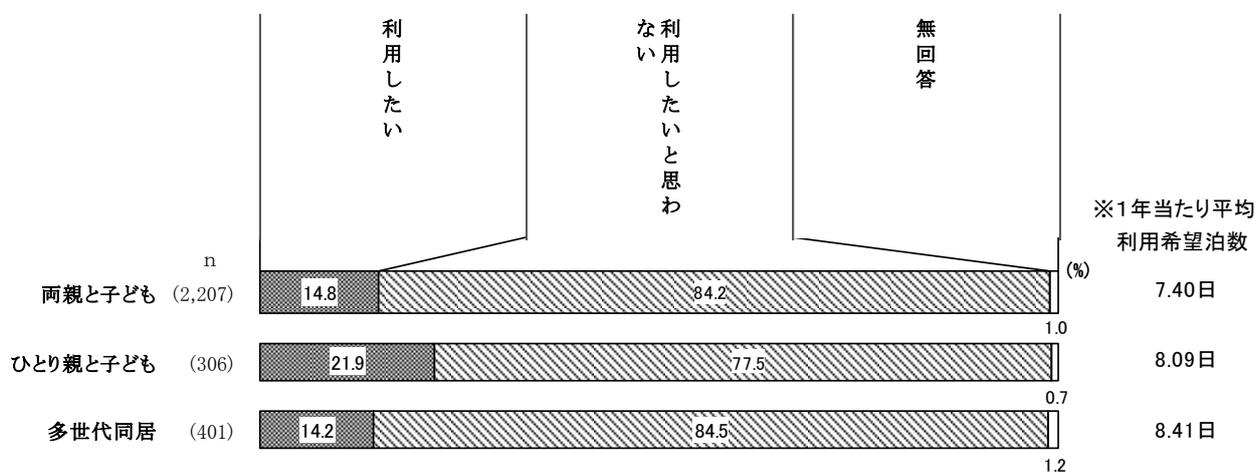
▶ ショートステイを利用したいと思うかについては、「利用したいと思わない」が 83.3%と大多数を占めており、「利用したい」は 15.6%となっている。「利用したい」の年間平均日数は、7.58 日となっている。

問 10 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気、その他の理由）により、宛名のお子さまを泊りがけで家族に預ける必要がある場合、ショートステイを利用したいと思いますか。（○は1つ）



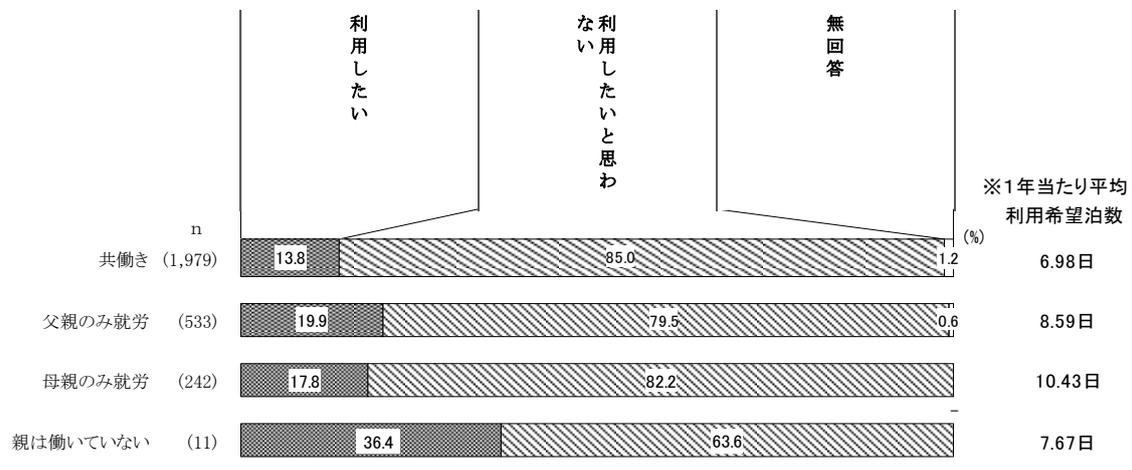
#### 【家族構成別／ショートステイの利用希望】

▶ 家族構成別にみると、「利用したい」はひとり親と子どもの世帯で 21.9%と、他の家族構成に比べ高い。



## 【両親の就労状況別／ショートステイの利用希望】

▶両親の就労状況別にみると、「利用したい」は親は働いていない世帯で 36.4%と、他の就労状況に比べ高い。

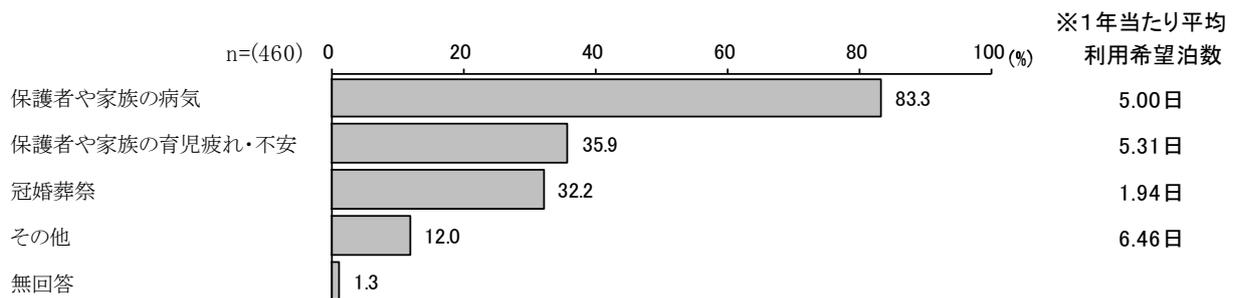


※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

## （2）ショートステイを利用したい状況

▶ ショートステイを利用したい状況については、「保護者や家族の病気」が 83.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」（35.9%）となっている。

※『4（1）ショートステイを利用したいと思うか』で「利用したい」と回答した方のみ  
 問 10-1 どのような状況の時に利用したいですか。当てはまる数字すべてに○をつけ、1年間で利用したい泊数を[ ]内に数字でご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を[ ]内に数字でご記入ください。）



### 【学年別／ショートステイを利用したい状況】

▶ 学年別にみると、小学1～3年生では「保護者や家族の育児疲れ・不安」が小学4～6年生に比べ高い。また、小学3～6年生では「保護者や家族の病気」が小学1～2年生に比べ高い。

		調査数	保護者や家族の病気	保護者や家族の育児疲れ・不安	冠婚葬祭	その他	無回答
学年別	小学1年生	103	80	41	34	11	-
		100.0	77.7	39.8	33.0	10.7	-
	小学2年生	87	72	36	36	9	1
		100.0	82.8	41.4	41.4	10.3	1.1
	小学3年生	87	74	29	27	10	2
		100.0	85.1	33.3	31.0	11.5	2.3
小学4年生	69	59	24	20	8	1	
	100.0	85.5	34.8	29.0	11.6	1.4	
小学5年生	61	52	20	20	10	-	
	100.0	85.2	32.8	32.8	16.4	-	
小学6年生	52	45	15	11	7	2	
	100.0	86.5	28.8	21.2	13.5	3.8	

### 【家族構成別／ショートステイを利用したい状況】

▶ 家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では、「保護者や家族の育児疲れ・不安」（43.3%）が、他の家族構成に比べ高い。

		(上段:件 下段:%)					
		調査数	保護者や家族の病気	れ保護者や家族の育児疲れ・不安	冠婚葬祭	その他	無回答
家族構成別	両親と子ども	326 100.0	274 84.0	110 33.7	108 33.1	35 10.7	4 1.2
	ひとり親と子ども	67 100.0	58 86.6	29 43.3	20 29.9	12 17.9	- -
	多世代同居	57 100.0	47 82.5	22 38.6	16 28.1	8 14.0	- -

### 【両親の就労状況別／ショートステイを利用したい状況】

▶ 両親の就労状況別にみると、母親のみ就労の世帯では、「保護者や家族の育児疲れ・不安」（53.5%）が、他の就労状況に比べ高い。

		(上段:件 下段:%)					
		調査数	保護者や家族の病気	れ保護者や家族の育児疲れ・不安	冠婚葬祭	その他	無回答
両親の就労状況別	共働き	273 100.0	228 83.5	89 32.6	90 33.0	38 13.9	2 0.7
	父親のみ就労	106 100.0	91 85.8	44 41.5	37 34.9	3 2.8	2 1.9
	母親のみ就労	43 100.0	31 72.1	23 53.5	14 32.6	10 23.3	- -
	親は働いていない	4 100.0	4 100.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -

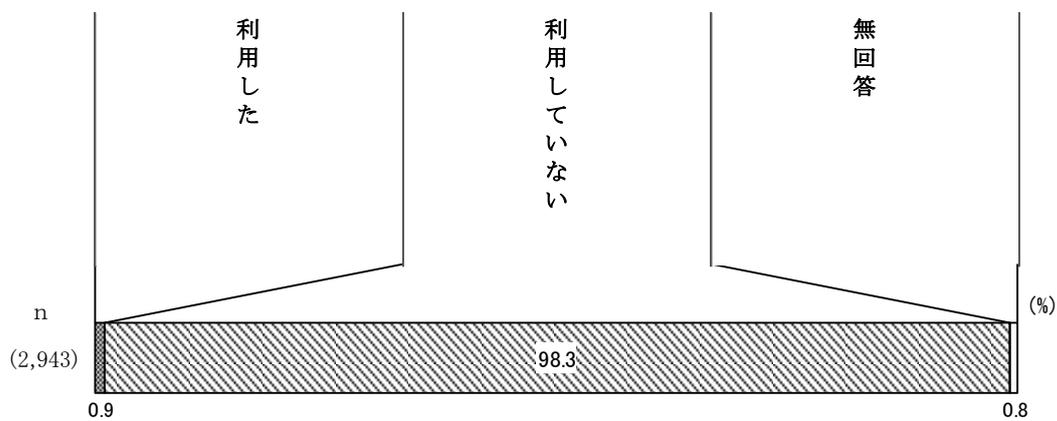
※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

## 5 地域の子育て支援事業の利用状況について

### （1）仙台すくすくサポート事業の利用状況

▶仙台すくすくサポート事業の利用状況については、「利用していない」が98.3%と大多数を占めている。

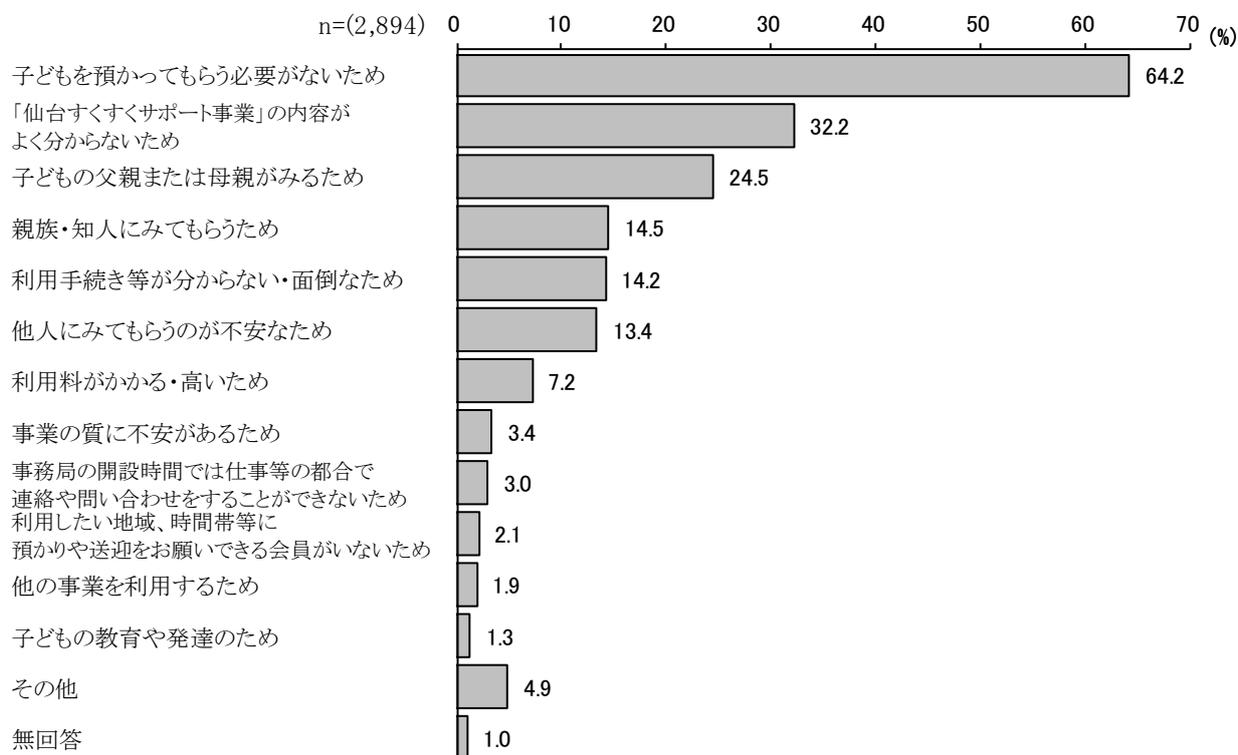
問 11 この1年間に「仙台すくすくサポート事業」（市民が登録会員となって、子どもの預かりや習い事・保育施設等への送迎などを行う事業）を利用しましたか。（○は1つ）



## (2) 仙台すくすくサポート事業を利用していない主な理由

▶ 仙台すくすくサポート事業を利用していない主な理由については、「子どもを預かってもらう必要がないため」が 64.2%と最も高く、次いで「「仙台すくすくサポート事業」の内容がよく分からないため」(32.2%)、「子どもの父親または母親がみるため」(24.5%)となっており、利用の必要性がないことや、事業の認知度の低さを理由とする回答が上位を占めている。

※『5 (1) 仙台すくすくサポート事業の利用状況』で「利用していない」と回答した方のみ  
問 11-1 「仙台すくすくサポート事業」を利用していない主な理由は何ですか。  
(当てはまるものすべてに○)

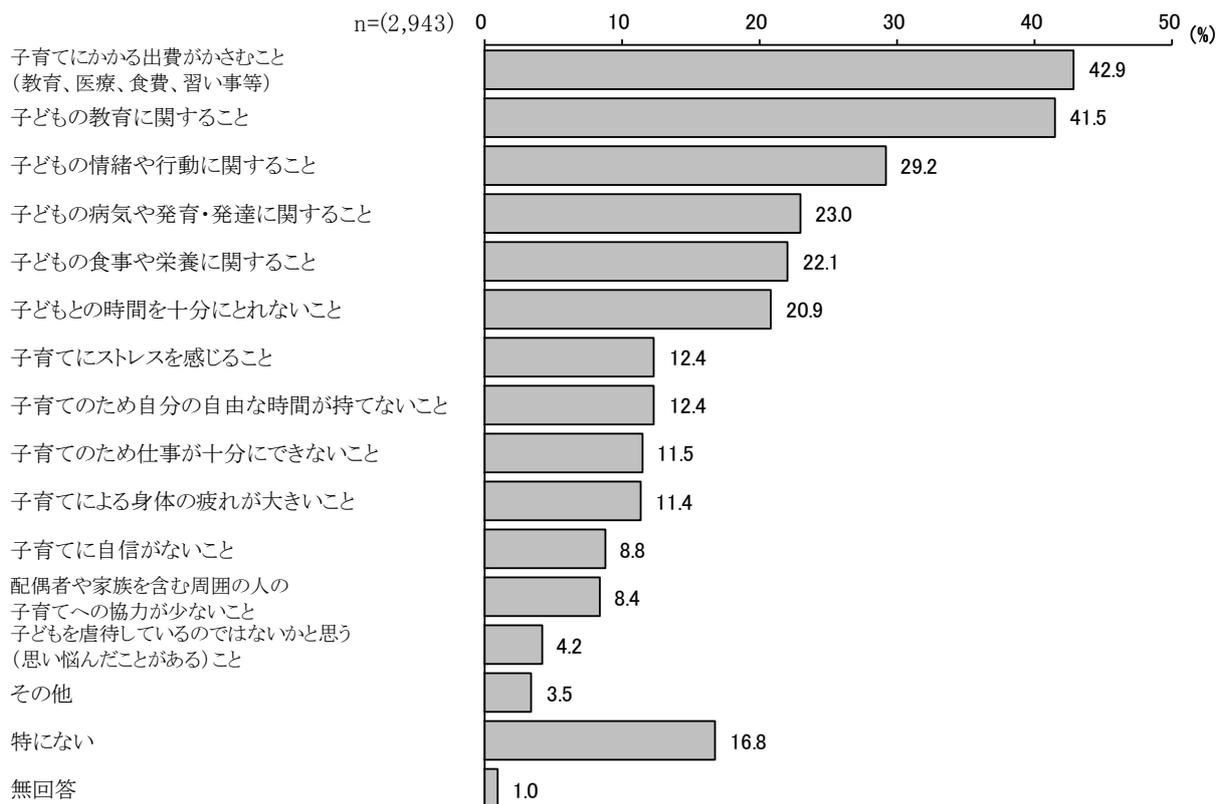


## 6 子育てに関する悩みや不安、相談先等について

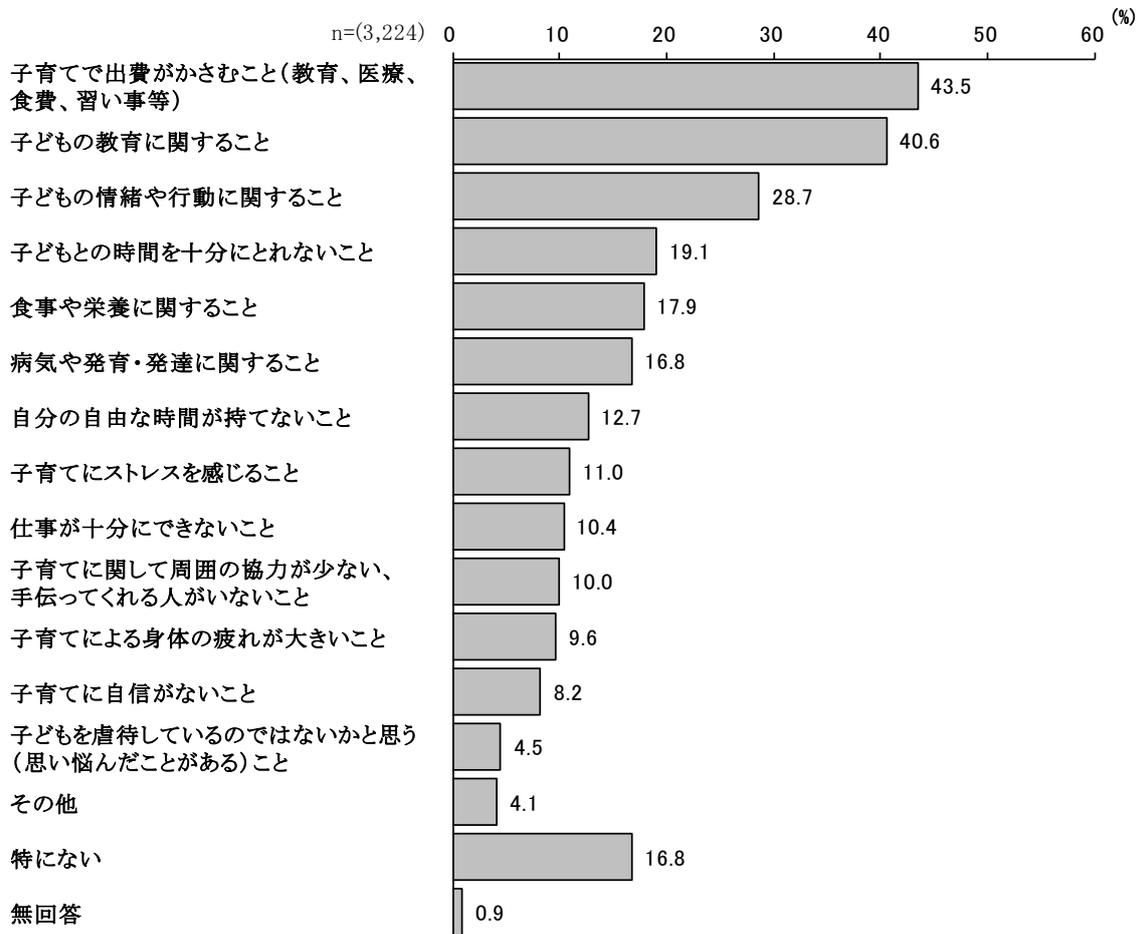
### (1) 子育てをする上での悩みや不安に思うこと

- ▶ 子育てをする上での悩みや負担に思うことについては、「子育てにかかる出費がかさむこと（教育、医療、食費、習い事等）」（42.9%）、「子どもの教育に関すること」（41.5%）がともに高く、次いで「子どもの情緒や行動に関すること」（29.2%）など、経済的な負担や子どもの教育・行動に関する内容が多くなっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、全体としては大きな傾向の変化はみられないものの、平成 30 年度調査で第 6 位だった「子どもの病気や発育・発達に関すること」が約 6 ポイント上昇し、第 4 位だった「子どもとの時間を十分にとれないこと」との順位の入替わりがみられる。

問 12 子育てをする上で、特に悩んでいることや、負担に思うことはどのようなことですか。  
（当てはまるものすべてに○）



参考：平成 30 年度調査



【学年別／子育てをする上での悩みや負担に思うこと（上位 12 項目）】

▶ 学年別にみると、小学 1～6 年生ではいずれも「子育てにかかる出費がかさむこと（教育、医療、食費、習い事等）」が最も高く、4 割以上を占めている。また、「子どもとの時間を十分にとれないこと」、「子育てのため仕事ができないこと」「子育てによる身体の疲れが大きいこと」は学年が上がるにつれて下降する傾向にある。

		調査数	(上段:件 下段:%)											
学年別			子育てにかかる出費がかさむこと(教育、医療、食費、習い事等)	子どもの教育に関すること	子どもの情緒や行動に関すること	子どもの病気や発育・発達に関すること	子どもの食事や栄養に関すること	子どもとの時間を十分にとれないこと	子育てにストレスを感じる	子育てのため自分の自由な時間が持てないこと	子育てのため仕事ができないこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てに自信がないこと	配偶者や家族を含む周囲の人の子育てへの協力が少ないこと
学年別	小学1年生	529 100.0	229 43.3	191 36.1	169 31.9	133 25.1	123 23.3	138 26.1	72 13.6	88 16.6	83 15.7	79 14.9	60 11.3	38 7.2
	小学2年生	493 100.0	201 40.8	206 41.8	140 28.4	116 23.5	126 25.6	112 22.7	75 15.2	76 15.4	62 12.6	72 14.6	51 10.3	49 9.9
	小学3年生	505 100.0	211 41.8	209 41.4	160 31.7	119 23.6	103 20.4	116 23.0	66 13.1	67 13.3	59 11.7	52 10.3	44 8.7	44 8.7
	小学4年生	503 100.0	218 43.3	211 41.9	137 27.2	114 22.7	110 21.9	89 17.7	57 11.3	48 9.5	56 11.1	51 10.1	41 8.2	46 9.1
	小学5年生	474 100.0	214 45.1	232 48.9	136 28.7	94 19.8	104 21.9	84 17.7	48 10.1	40 8.4	39 8.2	37 7.8	28 5.9	31 6.5
	小学6年生	427 100.0	183 42.9	167 39.1	114 26.7	98 23.0	82 19.2	69 16.2	45 10.5	42 9.8	36 8.4	42 9.8	32 7.5	39 9.1

【家族構成別／子育てをする上での悩みや負担に思うこと（上位 12 項目）】

▶ 家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では「子育てにかかる出費がかさむこと（教育、医療、食費、習い事等）」(53.9%)、「子どもとの時間を十分にとれないこと」(27.1%)、「子育てのため自分の自由な時間が持てないこと」(18.3%)、「配偶者や家族を含む周囲の人の子育てへの協力が少ないこと」(14.1%) が、他の家族構成に比べ高い。

		調査数	(上段:件 下段:%)											
家族構成別			子育てにかかる出費がかさむこと(教育、医療、食費、習い事等)	子どもの教育に関すること	子どもの情緒や行動に関すること	子どもの病気や発育・発達に関すること	子どもの食事や栄養に関すること	子どもとの時間を十分にとれないこと	子育てにストレスを感じる	子育てのため自分の自由な時間が持てないこと	子育てのため仕事ができないこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てに自信がないこと	配偶者や家族を含む周囲の人の子育てへの協力が少ないこと
家族構成別	両親と子ども	2,207 100.0	905 41.0	919 41.6	627 28.4	499 22.6	480 21.7	419 19.0	264 12.0	263 11.9	251 11.4	245 11.1	181 8.2	175 7.9
	ひとり親と子ども	306 100.0	165 53.9	125 40.8	97 31.7	77 25.2	68 22.2	83 27.1	48 15.7	56 18.3	46 15.0	44 14.4	36 11.8	43 14.1
	多世代同居	401 100.0	178 44.4	164 40.9	129 32.2	92 22.9	96 23.9	99 24.7	49 12.2	39 9.7	32 8.0	44 11.0	37 9.2	24 6.0

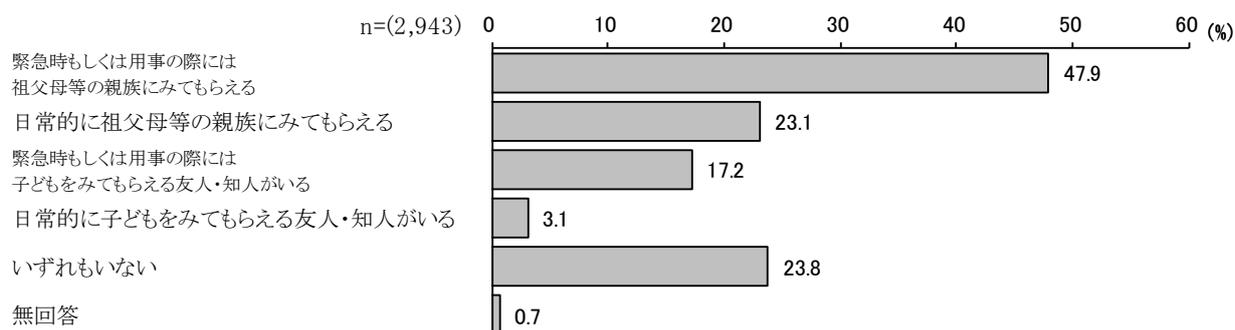
## (2) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無

- ▶日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が47.9%と最も高い。
- ▶一方、「いずれもない」は23.8%と、約4人に1人が子どもをみてもらえる人がいないと回答している。

問13 日頃、宛名のお子さまをみてもらえる親族・知人はいますか。

※この設問では、親族に配偶者は含まないこととしてお答えください。

(当てはまるものすべてに○)

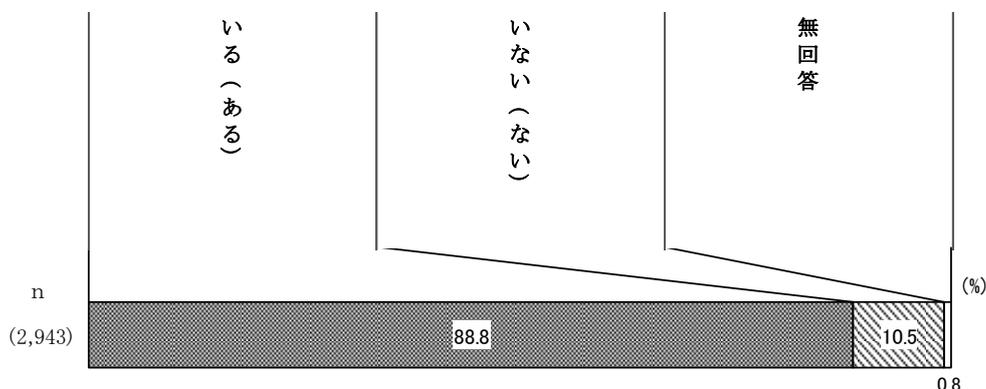


## (3) 子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無

- ▶子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無については、「いる（ある）」が88.8%と大多数を占めている。

問14 宛名のお子さまの子育てに関して、気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）。

(○は1つ)

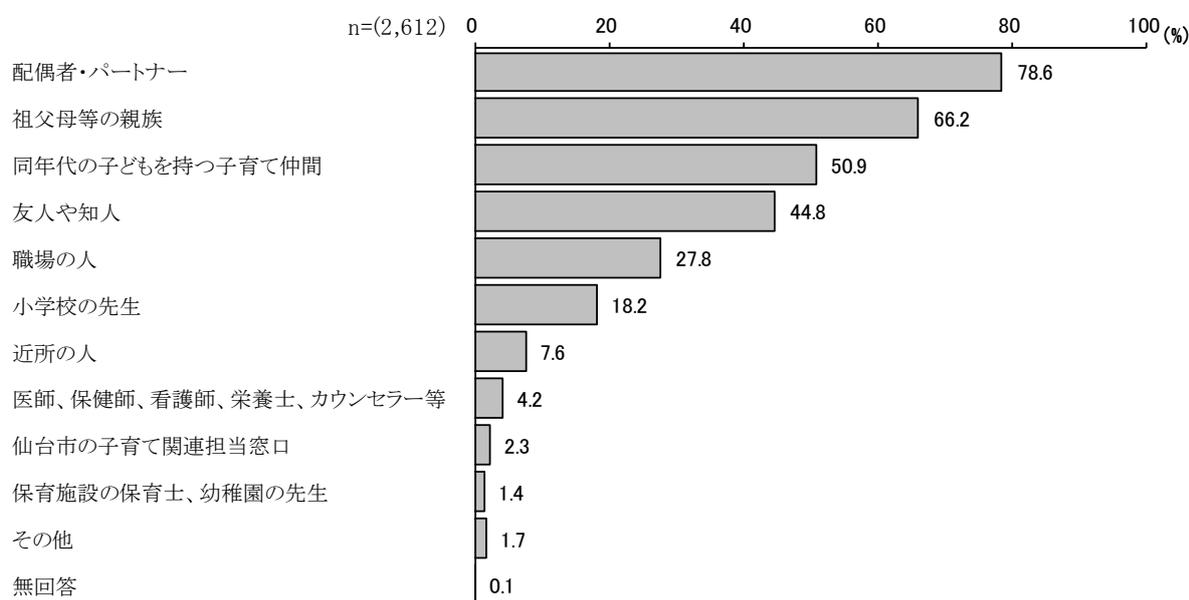


### （４）子育てに関して気軽に相談できる人（場所）

- ▶子育てに関して気軽に相談できる人（場所）については、「配偶者・パートナー」が78.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」（66.2%）、「同年代の子どもを持つ子育て仲間」（50.9%）、「友人や知人」（44.8%）となっている。
- ▶相談相手として、家族や友人などの身近な人が上位となっている一方、「仙台市の子育て関連担当窓口」は2.3%となっている。

※『6（３）子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無』で「いる（ある）」と回答した方のみ

問 14-1 それは、誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）



### 【家族構成別／子育てに関して気軽に相談できる人（場所）】

- ▶家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では「同年代の子どもを持つ子育て仲間」が43.8%と、他の家族構成に比べやや低いが、「友人や知人」は48.1%と高くなっている。

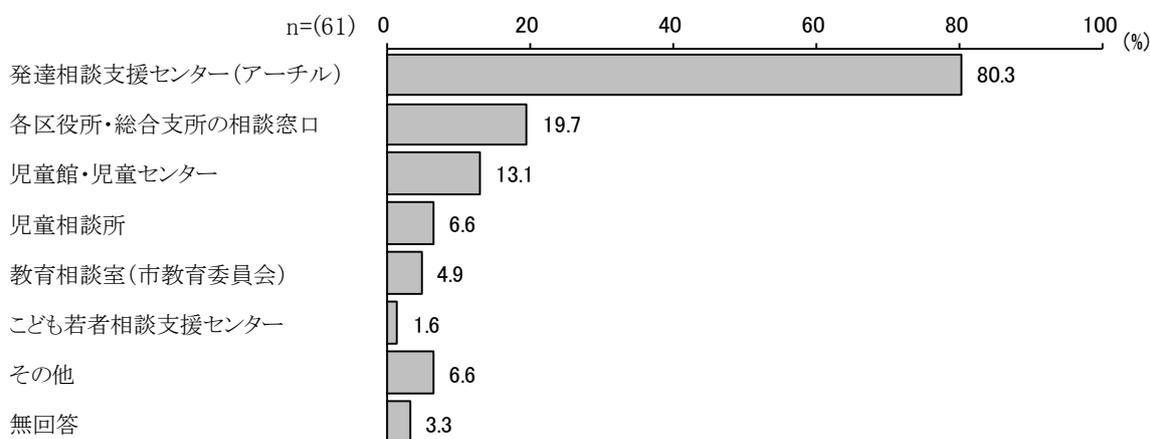
		調査数	配偶者・パートナー	祖父母等の親族	同年代の子どもを持つ子育て仲間	友人や知人	職場の人	小学校の先生	近所の人	医師、保健師、看護師、栄養士、カウンセラー等	仙台市の子育て関連担当窓口	保育施設の先生、幼稚園の先生、保育士、幼	その他	無回答
家族構成別	両親と子ども	1,980	1,701	1,290	1,052	890	534	362	164	75	45	31	33	2
		100.0	85.9	65.2	53.1	44.9	27.0	18.3	8.3	3.8	2.3	1.6	1.7	0.1
	ひとり親と子ども	258	102	167	113	124	81	50	19	16	8	4	4	1
	100.0	39.5	64.7	43.8	48.1	31.4	19.4	7.4	6.2	3.1	1.6	1.6	0.4	
	多世代同居	354	236	260	161	144	103	59	15	19	8	2	7	-
	100.0	66.7	73.4	45.5	40.7	29.1	16.7	4.2	5.4	2.3	0.6	2.0	-	

## (5) 利用したことのある市の子育て関連担当窓口

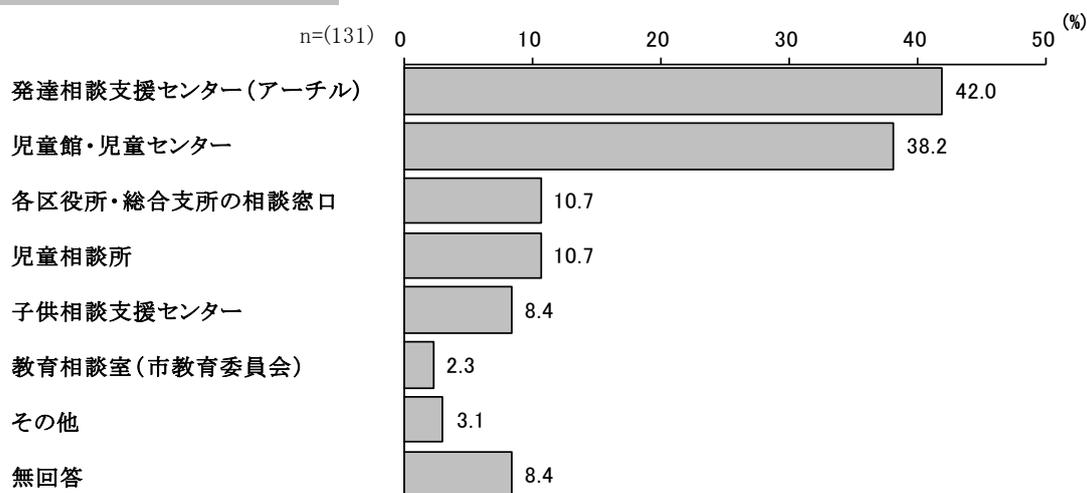
- ▶利用したことのある子育て関連担当窓口については、「発達相談支援センター（アーチル）」が 80.3%と最も高く、次いで「各区役所・総合支所の相談窓口」（19.7%）、「児童館・児童センター」（13.1%）となっている。
- ▶平成 30 年度調査と比較すると、「発達相談支援センター（アーチル）」が第 1 位であることは変わらないが、数値としては約 38 ポイントと大幅に上昇している。また、回答割合が高かった「児童館・児童センター」が約 25 ポイント下降し、「各区役所・総合支所の相談窓口」との順位の入替わりがみられる。

※『6（4）子育てに関して気軽に相談できる人（場所）』で「仙台市の子育て関連担当窓口」と回答した方のみ

問 14-2 利用したことのある窓口をお答えください。（当てはまるものすべてに○）



### 参考：平成 30 年度調査

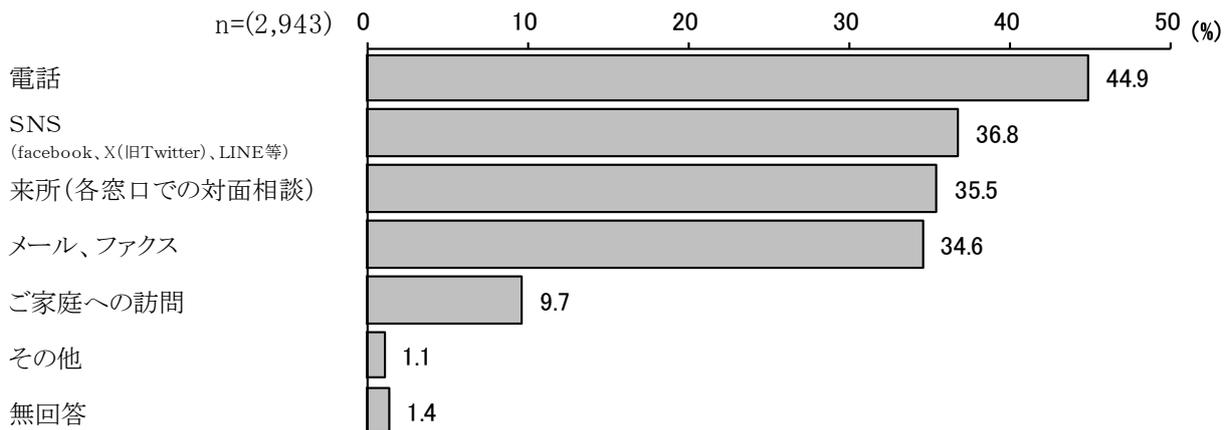


## （６）市の子育て関連担当窓口に相談しやすい方法や日時

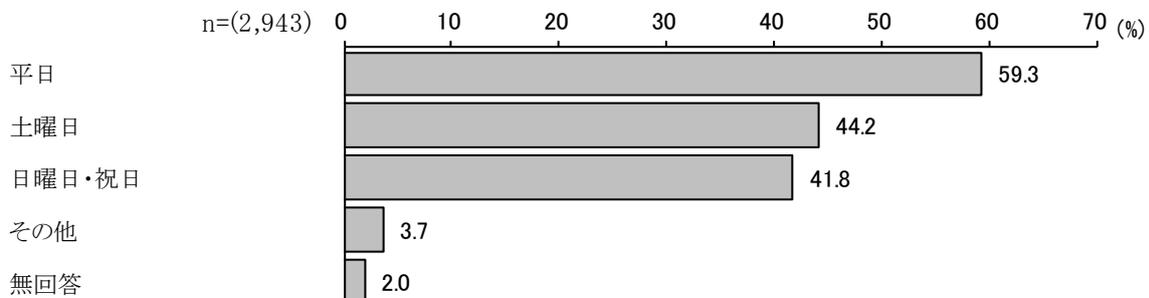
- ▶市の子育て関連担当窓口で相談する際の相談しやすい方法については、「電話」が 44.9%と最も高く、次いで「SNS（facebook・X（旧 Twitter）、LINE 等）」（36.8%）、「来所（各窓口での対面相談）」（35.5%）となっている。
- ▶相談しやすい曜日については、「平日」が 59.3%と最も高く、「土曜日」（44.2%）や「日曜日・祝日」（41.8%）も 4 割を超えている。
- ▶相談しやすい時間帯については、「午前（9 時～12 時）」が 52.3%と最も高く、次いで「午後（12 時～17 時）」（38.6%）と日中の時間帯へのニーズが高い。
- ▶一方、「夕方以降（17 時～22 時）」も 35.7%と、一定数のニーズがある。

問 15 あなたが子育て関連担当窓口を利用する場合、どのような方法や日時が相談しやすいですか。  
【①相談しやすい方法】、【②相談しやすい曜日】、【③相談しやすい時間帯】、それぞれについてお答えください。（当てはまるものすべてに○）

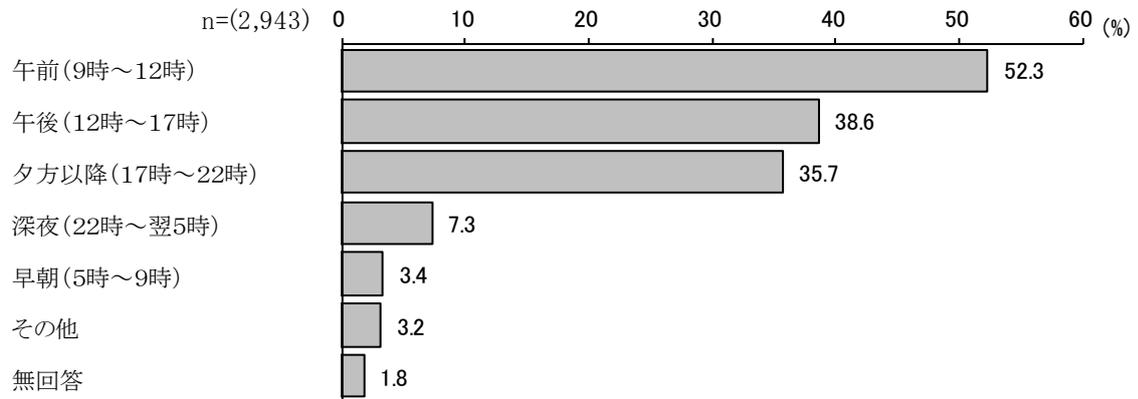
### <相談しやすい方法>



### <相談しやすい曜日>



<相談しやすい時間帯>

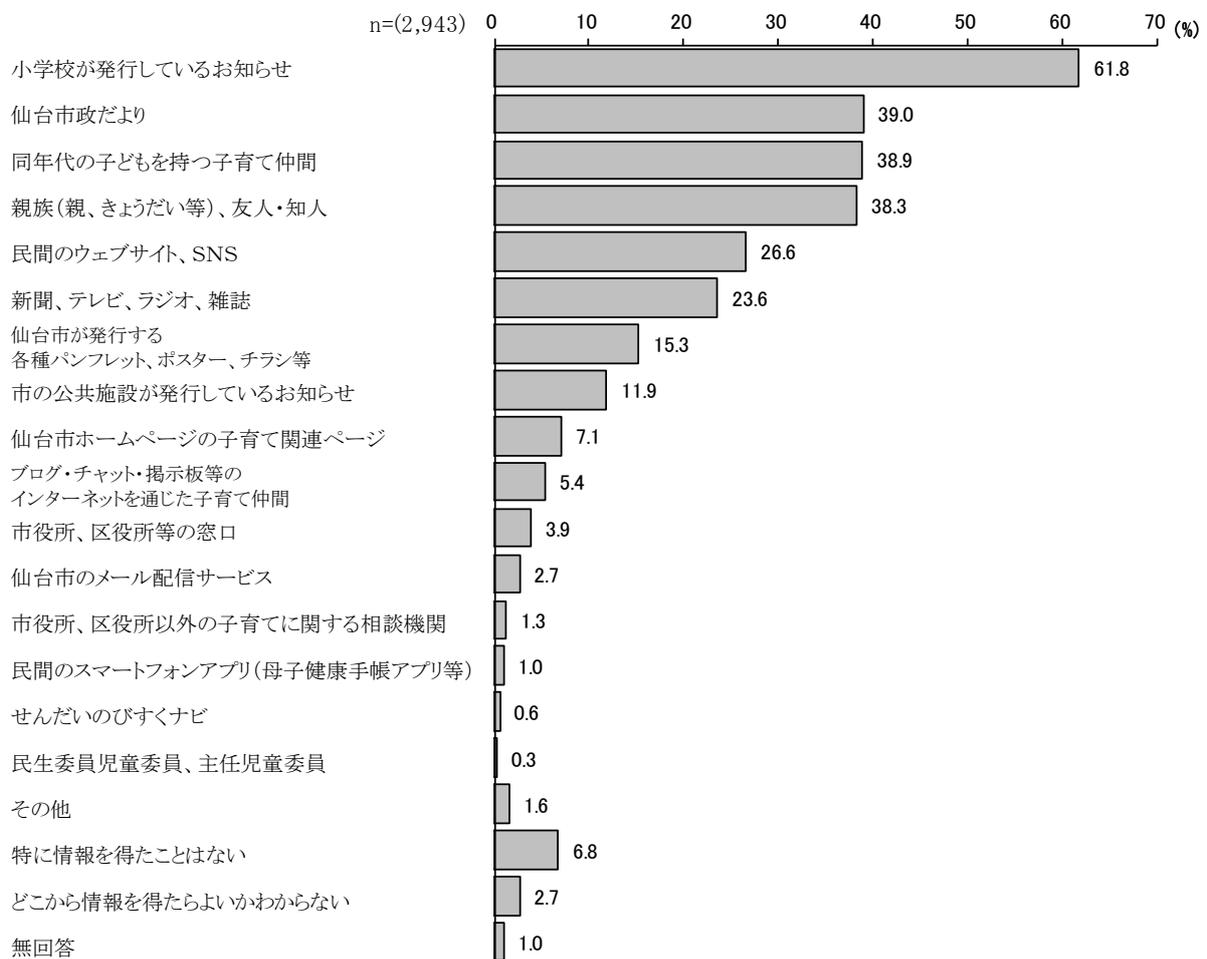


## 7 子育てに関する情報の入手方法等について

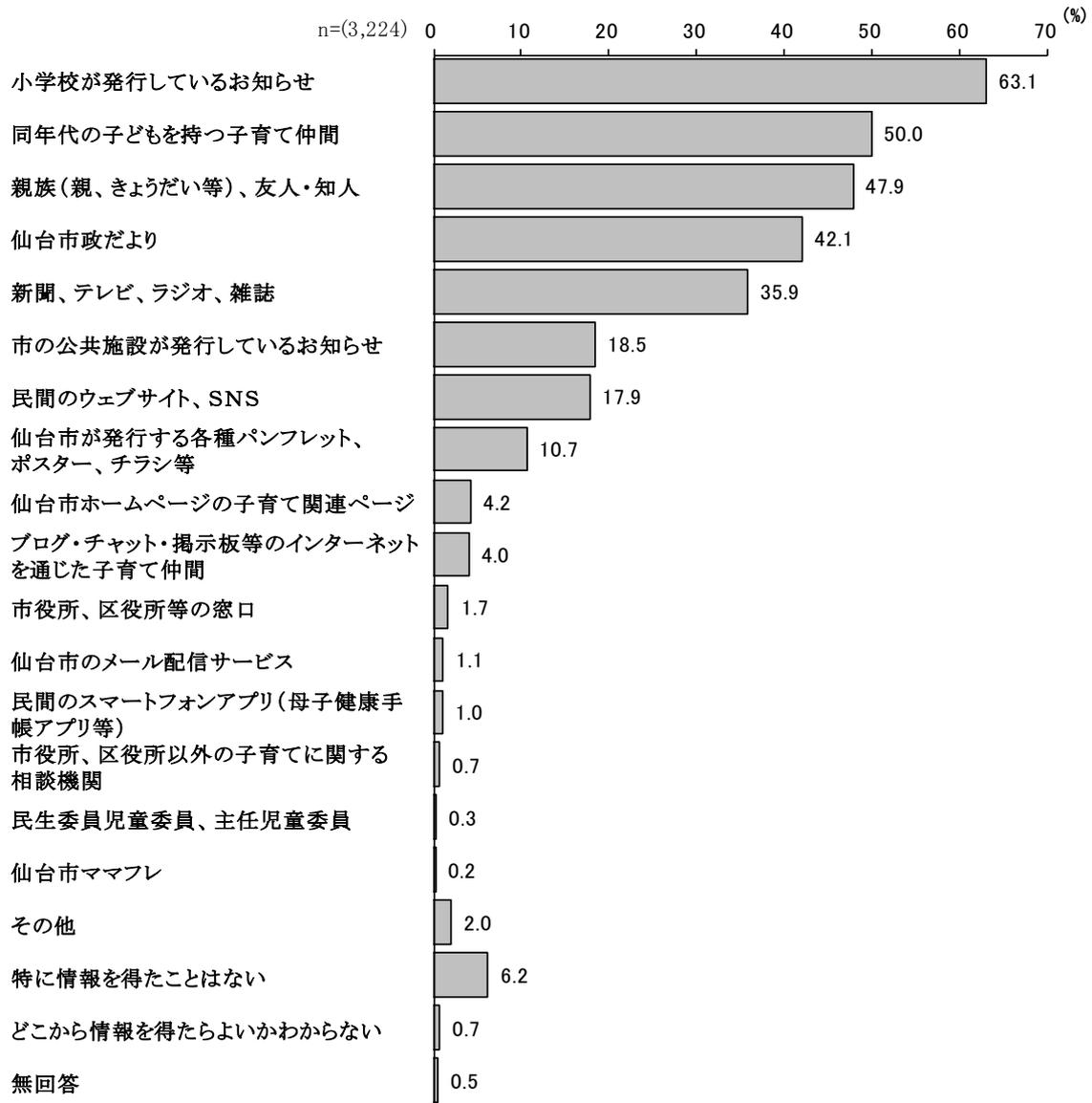
### （1）子育てに関する情報の主な入手先

▶子育てに関する情報の主な入手先については、「小学校が発行しているお知らせ」が 61.8%と最も高く、次いで「仙台市政だより」（39.0%）「同年代の子どもを持つ子育て仲間」（38.9%）、「親族（親、きょうだい等）、友人・知人」（38.3%）など、身近な親族・知人や紙媒体を入手先とする回答とともに、「民間のウェブサイト、SNS」を利用する割合が増えてきている。

問 16 あなたは子育てに関する情報を、主にどこから得ていますか。（当てはまるものすべてに○）



参考：平成 30 年度調査



【学年別／子育てに関する情報の主な入手先（上位 12 項目）】

▶ 学年別にみると、「民間のウェブサイト、SNS」、「市の公共施設が発行しているお知らせ」は学年が上がるにつれて下降する傾向にある。

(上段:件 下段:%)

学年別		調査数	小学校が発行しているお知らせ	仙台市政だより	同年代の子どもを持つ子育て仲間	親族（親、きょうだい等）、友人・知人	SNS	民間のウェブサイト、SNS	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌	仙台市が発行する各種パンフレット、ポスター、チラシ等	市の公共施設が発行しているお知らせ	仙台市ホームページの子育て関連ページ	掲示板等のインターネットを通じての子育て仲間	ブログ・チャット・掲示板等	市役所、区役所等の窓口	仙台市のメール配信サービス											
			件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%									
学年別	小学1年生	529	356	211	212	211	155	106	88	104	37	31	23	19	100.0	67.3	39.9	40.1	39.9	29.3	20.0	16.6	19.7	7.0	5.9	4.3	3.6
	小学2年生	493	309	184	183	180	143	114	81	76	23	30	21	11	100.0	62.7	37.3	37.1	36.5	29.0	23.1	16.4	15.4	4.7	6.1	4.3	2.2
	小学3年生	505	326	195	185	194	141	119	85	64	46	34	19	14	100.0	64.6	38.6	36.6	38.4	27.9	23.6	16.8	12.7	9.1	6.7	3.8	2.8
	小学4年生	503	314	208	215	193	128	133	77	50	34	25	9	12	100.0	62.4	41.4	42.7	38.4	25.4	26.4	15.3	9.9	5.0	1.8	2.4	
	小学5年生	474	277	182	186	192	113	121	62	34	30	15	21	10	100.0	58.4	38.4	39.2	40.5	23.8	25.5	13.1	7.2	3.2	4.4	2.1	
	小学6年生	427	229	160	161	151	97	100	52	21	37	23	20	14	100.0	53.6	37.5	37.7	35.4	22.7	23.4	12.2	4.9	5.4	4.7	3.3	

【家族構成別／子育てに関する情報の主な入手先（上位 12 項目）】

▶ 家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では「同年代の子どもを持つ子育て仲間」が 33.7%と、他の家族構成に比べやや低い。

(上段:件 下段:%)

家族構成別		調査数	小学校が発行しているお知らせ	仙台市政だより	同年代の子どもを持つ子育て仲間	親族（親、きょうだい等）、友人・知人	SNS	民間のウェブサイト、SNS	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌	仙台市が発行する各種パンフレット、ポスター、チラシ等	市の公共施設が発行しているお知らせ	仙台市ホームページの子育て関連ページ	掲示板等のインターネットを通じての子育て仲間	ブログ・チャット・掲示板等	市役所、区役所等の窓口	仙台市のメール配信サービス											
			件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%									
家族構成別	両親と子ども	2,207	1,397	895	882	846	597	524	335	257	145	113	82	63	100.0	63.3	40.6	40.0	38.3	27.1	23.7	15.2	11.6	6.6	5.1	3.7	2.9
	ひとり親と子ども	306	158	106	103	111	87	61	52	36	30	21	15	7	100.0	51.6	34.6	33.7	36.3	28.4	19.9	17.0	11.8	9.8	6.9	4.9	2.3
	多世代同居	401	251	134	153	157	94	104	59	54	28	24	18	8	100.0	62.6	33.4	38.2	39.2	23.4	25.9	14.7	13.5	7.0	6.0	4.5	2.0

## 【両親の就労状況別／子育てに関する情報の主な入手先（上位12項目）】

▶両親の就労状況別にみる、特徴的な差は見られない。

(上段:件 下段:%)

		調査数	小学校が お知らせ	仙台市政 だより	子育て 仲間	親族（ 親、き ょう だい 友人・ 知人	民間の SNS	新聞、 雑誌	仙台市 が 発行 する 各種 ポ ス タ ー 、 チ ラ シ 等	市の公 共 施 設 が 発 行 し て い る お 知 ら せ	仙台市 ホ ー ム ペ ー ジ の 子 育 て 関 連 ペ ー ジ	示 板 等 の イ ン タ ー ネ ッ ト を 通 じ た 子 育 て 仲 間	市役所、 区役所 等の窓 口	仙台市 のメ ー ル 配 信 サ ー ビ ス
両親の 就労 状況 別	共働き	1,979 100.0	1,254 63.4	783 39.6	795 40.2	767 38.8	536 27.1	454 22.9	305 15.4	253 12.8	132 6.7	107 5.4	72 3.6	56 2.8
	父親のみ就労	533 100.0	324 60.8	215 40.3	196 36.8	203 38.1	143 26.8	140 26.3	74 13.9	42 7.9	32 6.0	29 5.4	18 3.4	12 2.3
	母親のみ就労	242 100.0	138 57.0	82 33.9	82 33.9	84 34.7	65 26.9	47 19.4	46 19.0	34 14.0	29 12.0	15 6.2	15 6.2	8 3.3
	親は働いていない	11 100.0	5 45.5	4 36.4	5 45.5	6 54.5	2 18.2	4 36.4	1 9.1	1 9.1	2 18.2	- -	3 27.3	1 9.1

※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

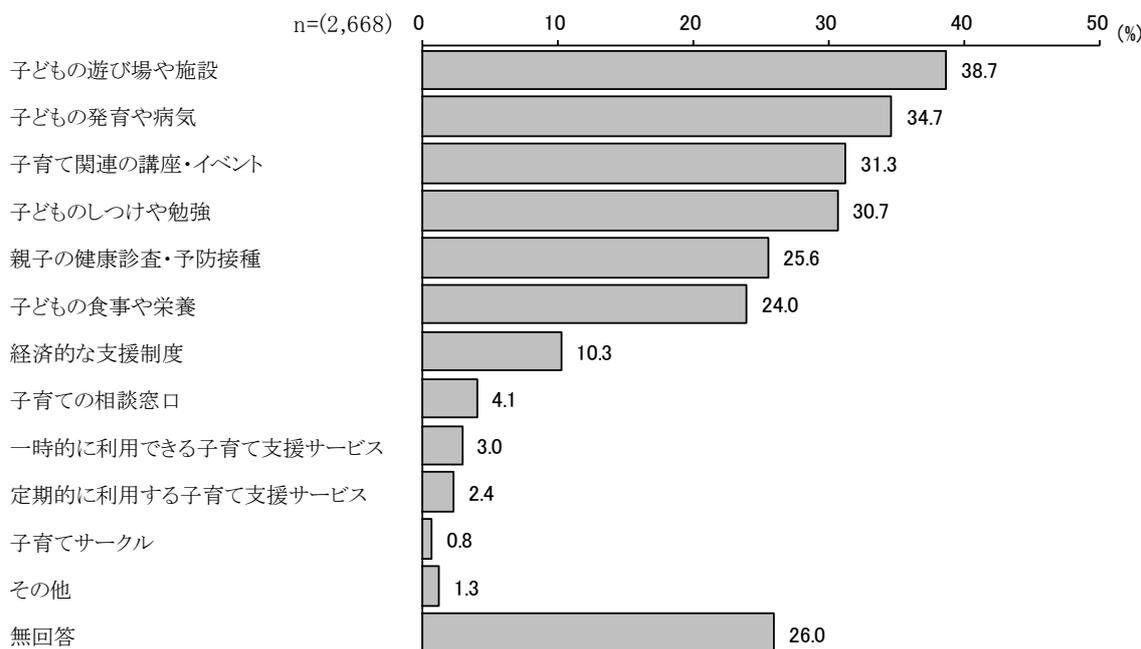
## （2）子育てに関して入手している主な情報

▶子育てに関して入手している主な情報については、「子どもの遊び場や施設」が 38.7%と最も高く、次いで「子どもの発育や病気」（34.7%）、「子育て関連の講座・イベント」（31.3%）、「子どものしつけや勉強」（30.7%）など、子どもに関連した施設や子どもの教育・発育などに関する情報を入手している割合が高い。

※『7（1）子育てに関する情報の主な入手先』で入手先を回答した方のみ

問 16-1 あなたは子育てに関して、主にどのような情報を得ていますか。

（当てはまるものすべてに○）。



### 【学年別／子育てに関して入手している主な情報】

▶学年別にみると、小学1～3年生では「子どもの遊び場や施設」が、小学4～6年生に比べ高い。

		調査数	子どもの遊び場や施設	子どもの発育や病気	子育て関連の講座・イベント	子どものしつけや勉強	親子の健康診査・予防接種	子どもの食事や栄養	経済的な支援制度	子育ての相談窓口	一時的に利用できる子育て支援サービス	定期的に利用する子育て支援サービス	子育てサークル	その他	無回答
学年別	小学1年生	482	220	158	176	131	103	130	40	15	18	16	6	2	142
		100.0	45.6	32.8	36.5	27.2	21.4	27.0	8.3	3.1	3.7	3.3	1.2	0.4	29.5
	小学2年生	446	202	160	153	117	97	102	48	18	15	10	4	8	110
		100.0	45.3	35.9	34.3	26.2	21.7	22.9	10.8	4.0	3.4	2.2	0.9	1.8	24.7
	小学3年生	457	198	151	154	140	124	98	50	17	15	13	3	2	127
		100.0	43.3	33.0	33.7	30.6	27.1	21.4	10.9	3.7	3.3	2.8	0.7	0.4	27.8
小学4年生	463	169	154	140	154	121	107	36	20	8	8	5	6	124	
	100.0	36.5	33.3	30.2	33.3	26.1	23.1	7.8	4.3	1.7	1.7	1.1	1.3	26.8	
小学5年生	428	133	153	118	152	108	102	59	18	10	9	1	12	96	
	100.0	31.1	35.7	27.6	35.5	25.2	23.8	13.8	4.2	2.3	2.1	0.2	2.8	22.4	
小学6年生	380	104	145	91	117	122	95	41	21	12	7	3	6	94	
	100.0	27.4	38.2	23.9	30.8	32.1	25.0	10.8	5.5	3.2	1.8	0.8	1.6	24.7	

## 【家族構成別／子育てに関して入手している主な情報】

▶家族構成別にみると、ひとり親と子どもの世帯では「経済的な支援制度」が 25.5%と、他の家族構成に比べ高い。

(上段:件 下段:%)

		調査数	子どもの遊び場や施設	子どもの発育や病気	子育て関連の講座・イベント	子どものしつけや勉強	接種 親子の健康診査・予防	子どもの食事や栄養	経済的な支援制度	子育ての相談窓口	一時的に利用できる子育て支援サービス	定期的に利用する子育て支援サービス	子育てサークル	その他	無回答
家族構成別	両親と子ども	2,018 100.0	780 38.7	701 34.7	639 31.7	622 30.8	524 26.0	477 23.6	152 7.5	77 3.8	61 3.0	44 2.2	18 0.9	26 1.3	535 26.5
	ひとり親と子ども	267 100.0	110 41.2	82 30.7	82 30.7	68 25.5	62 23.2	56 21.0	68 25.5	15 5.6	10 3.7	11 4.1	1 0.4	8 3.0	62 23.2
	多世代同居	362 100.0	134 37.0	135 37.3	106 29.3	118 32.6	86 23.8	98 27.1	52 14.4	16 4.4	5 1.4	7 1.9	3 0.8	2 0.6	92 25.4

## 【両親の就労状況別／子育てに関して入手している主な情報】

▶両親の就労状況別にみると、母親のみ就労の世帯では「経済的な支援制度」が 35.2%と、他の就労状況に比べ高い。

(上段:件 下段:%)

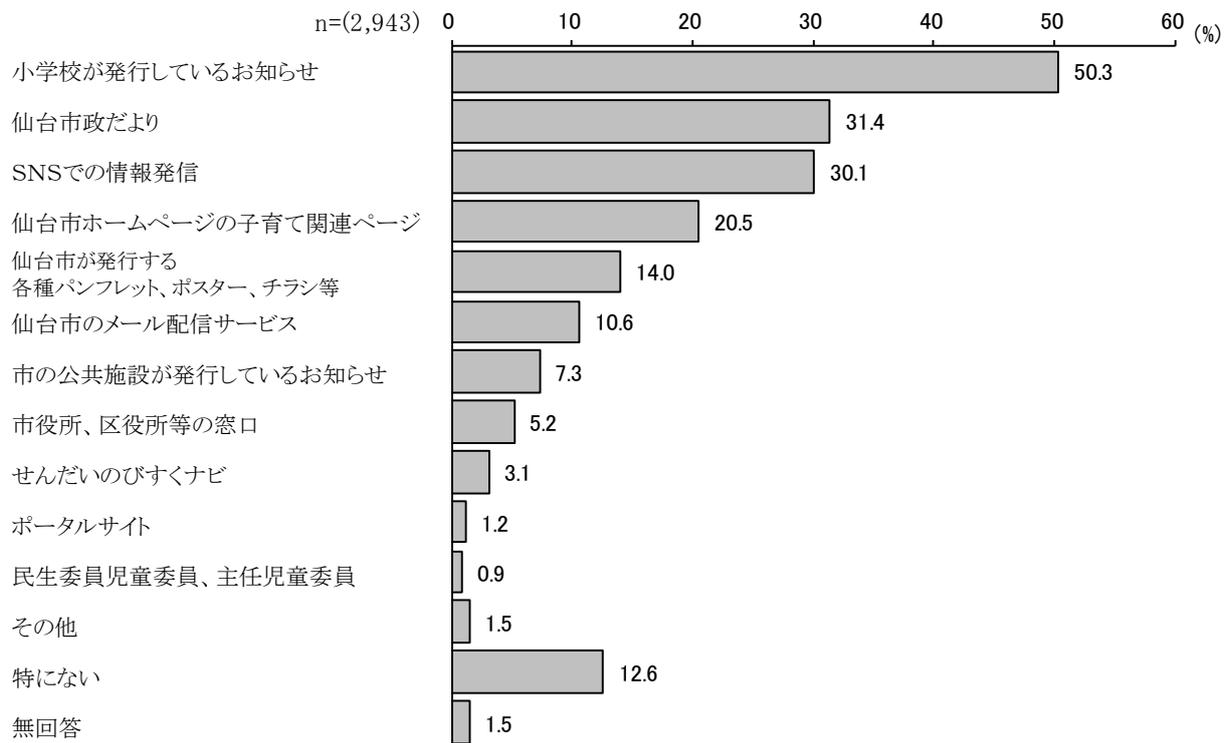
		調査数	子どもの遊び場や施設	子どもの発育や病気	子育て関連の講座・イベント	子どものしつけや勉強	接種 親子の健康診査・予防	子どもの食事や栄養	経済的な支援制度	子育ての相談窓口	一時的に利用できる子育て支援サービス	定期的に利用する子育て支援サービス	子育てサークル	その他	無回答
両親の就労状況別	共働き	1,807 100.0	671 37.1	600 33.2	553 30.6	549 30.4	452 25.0	418 23.1	148 8.2	70 3.9	51 2.8	46 2.5	13 0.7	19 1.1	499 27.6
	父親のみ就労	479 100.0	213 44.5	196 40.9	166 34.7	159 33.2	139 29.0	128 26.7	29 6.1	22 4.6	18 3.8	6 1.3	6 1.3	8 1.7	108 22.5
	母親のみ就労	210 100.0	89 42.4	69 32.9	62 29.5	54 25.7	50 23.8	51 24.3	74 35.2	9 4.3	6 2.9	6 2.9	1 0.5	3 1.4	48 22.9
	親は働いていない	10 100.0	2 20.0	5 50.0	2 20.0	4 40.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	-	1 10.0	-	-	2 20.0

※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別ごとの家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

### （3）市に充実してほしい情報の入手先

▶市に充実してほしい情報の入手先については、「小学校が発行しているお知らせ」（50.3%）が最も高く、次いで「仙台市政だより」（31.4%）、「SNSでの情報発信」（30.1%）、「仙台市ホームページの子育て関連ページ」（20.5%）となっている。

問 17 子育てに関する情報の入手先のうち、特に仙台市で充実してほしいものは何ですか。  
（○は3つまで）



## 【学年別／市に充実してほしい情報の入手先】

▶ 学年別による、特徴的な差はみられない。

		調査数	小学校が お知らせ している	仙台市政 だより	SNS での 情報 発信	仙台市 ホーム ページ の 子育て 関連 ページ	仙台市 ホーム ページ の 子育て 関連 ページ の 各種 チラシ 等	仙台市 が発行 する 各種 パンフ レット 、ポス ター	仙台市 のメー ル配 信 サー ビス	市の公 共施設 が発行 し て いる お知 らせ	市役所 、区役 所等 の窓 口	せんだ いのび すくナ ビ	ポータル サイト	民生委 員児童 委員、 主 任児童 委員	その他	特 に な い	無 回 答
学年別	小学1年生	529 100.0	276 52.2	166 31.4	164 31.0	97 18.3	82 15.5	52 9.8	53 10.0	30 5.7	23 4.3	9 1.7	3 0.6	8 1.5	61 11.5	9 1.7	
	小学2年生	493 100.0	245 49.7	163 33.1	149 30.2	88 17.8	69 14.0	40 8.1	41 8.3	21 4.3	10 2.0	6 1.2	3 0.6	5 1.0	67 13.6	6 1.2	
	小学3年生	505 100.0	271 53.7	152 30.1	161 31.9	99 19.6	62 12.3	51 10.1	41 8.1	16 3.2	17 3.4	3 0.6	8 1.6	9 1.8	68 13.5	5 1.0	
	小学4年生	503 100.0	274 54.5	163 32.4	148 29.4	97 19.3	70 13.9	57 11.3	36 7.2	26 5.2	12 2.4	8 1.6	7 1.4	12 2.4	55 10.9	6 1.2	
	小学5年生	474 100.0	215 45.4	141 29.7	141 29.7	123 25.9	71 15.0	61 12.9	21 4.4	28 5.9	14 3.0	5 1.1	3 0.6	4 0.8	65 13.7	14 3.0	
	小学6年生	427 100.0	193 45.2	136 31.9	119 27.9	99 23.2	53 12.4	50 11.7	22 5.2	31 7.3	15 3.5	5 1.2	2 0.5	5 1.2	52 12.2	5 1.2	

## 【家族構成別／市に充実してほしい情報の入手先】

▶ 家族構成別による、特徴的な差はみられない。

		調査数	小学校が お知らせ している	仙台市政 だより	SNS での 情報 発信	仙台市 ホーム ページ の 子育て 関連 ページ	仙台市 ホーム ページ の 子育て 関連 ページ の 各種 チラシ 等	仙台市 が発行 する 各種 パンフ レット 、ポス ター	仙台市 のメー ル配 信 サー ビス	市の公 共施設 が発行 し て いる お知 らせ	市役所 、区役 所等 の窓 口	せんだ いのび すくナ ビ	ポータル サイト	民生委 員児童 委員、 主 任児童 委員	その他	特 に な い	無 回 答
家族 構成 別	両親と子ども	2,207 100.0	1,099 49.8	714 32.4	653 29.6	452 20.5	321 14.5	240 10.9	159 7.2	109 4.9	70 3.2	28 1.3	19 0.9	28 1.3	270 12.2	38 1.7	
	ひとり親と子ども	306 100.0	142 46.4	76 24.8	104 34.0	62 20.3	34 11.1	25 8.2	23 7.5	19 6.2	9 2.9	3 1.0	4 1.3	8 2.6	38 12.4	5 1.6	
	多世代同居	401 100.0	224 55.9	126 31.4	121 30.2	84 20.9	48 12.0	46 11.5	30 7.5	24 6.0	11 2.7	5 1.2	2 0.5	6 1.5	56 14.0	2 0.5	

## 【両親の就労状況別／市に充実してほしい情報の入手先】

▶ 両親の就労状況別による、特徴的な差はみられない。

		調査数	小学校が お知らせ している	仙台市政 だより	SNS での 情報 発信	仙台市 ホーム ページ の 子育て 関連 ページ	仙台市 ホーム ページ の 子育て 関連 ページ の 各種 チラシ 等	仙台市 が発行 する 各種 パンフ レット 、ポス ター	仙台市 のメー ル配 信 サー ビス	市の公 共施設 が発行 し て いる お知 らせ	市役所 、区役 所等 の窓 口	せんだ いのび すくナ ビ	ポータル サイト	民生委 員児童 委員、 主 任児童 委員	その他	特 に な い	無 回 答
両親 の 就 労 状 況 別	共働き	1,979 100.0	977 49.4	604 30.5	615 31.1	408 20.6	276 13.9	200 10.1	156 7.9	91 4.6	72 3.6	33 1.7	15 0.8	26 1.3	251 12.7	30 1.5	
	父親のみ就労	533 100.0	292 54.8	199 37.3	135 25.3	112 21.0	82 15.4	60 11.3	24 4.5	32 6.0	9 1.7	1 0.2	6 1.1	8 1.5	62 11.6	7 1.3	
	母親のみ就労	242 100.0	117 48.3	65 26.9	89 36.8	47 19.4	26 10.7	34 14.0	17 7.0	18 7.4	7 2.9	2 0.8	3 1.2	7 2.9	30 12.4	1 0.4	
	親は働いていない	11 100.0	3 27.3	3 27.3	3 27.3	1 9.1	1 9.1	-	-	1 9.1	1 9.1	1 9.1	-	-	1 9.1	1 9.1	-

※クロス集計軸『両親の就労状況別』については、就労状況別の家族構成の内訳に留意が必要である（詳細はP.3「4調査結果の見方」⑨を参照）。

## 8 保護者の就労状況について

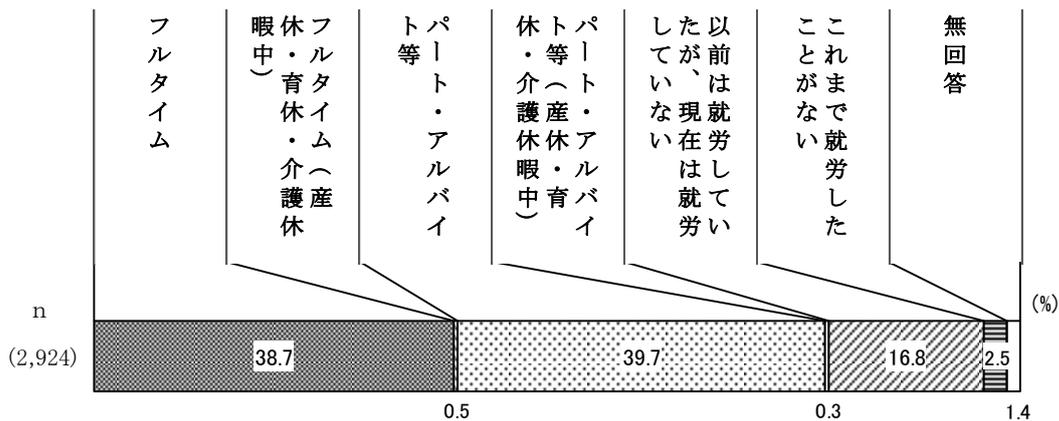
※問 18 では、母親についての設問は父子家庭を回答対象外に、父親についての設問は母子家庭を回答対象外にしている。

### （1）就労状況

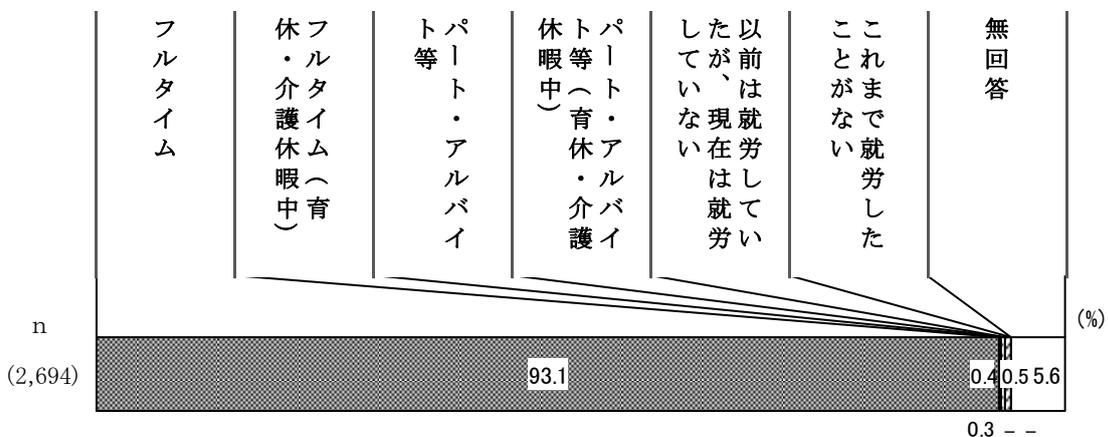
- ▶ 母親の就労状況については、「パート・アルバイト等」が 39.7%と最も高く、次いで「フルタイム」（38.7%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（16.8%）となっている。
- ▶ 父親の就労状況については、「フルタイム」が 93.1%と最も高くなっている。
- ▶ 平成 30 年度調査と比較すると、母親の「フルタイム」が約 6 ポイント上昇し、「パート・アルバイト等」が下降していることから、フルタイムで就労している母親が増加していることがうかがえる。

問 18(1)／問 18(2) 宛名のお子さまの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。就労状況について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

#### <母親>

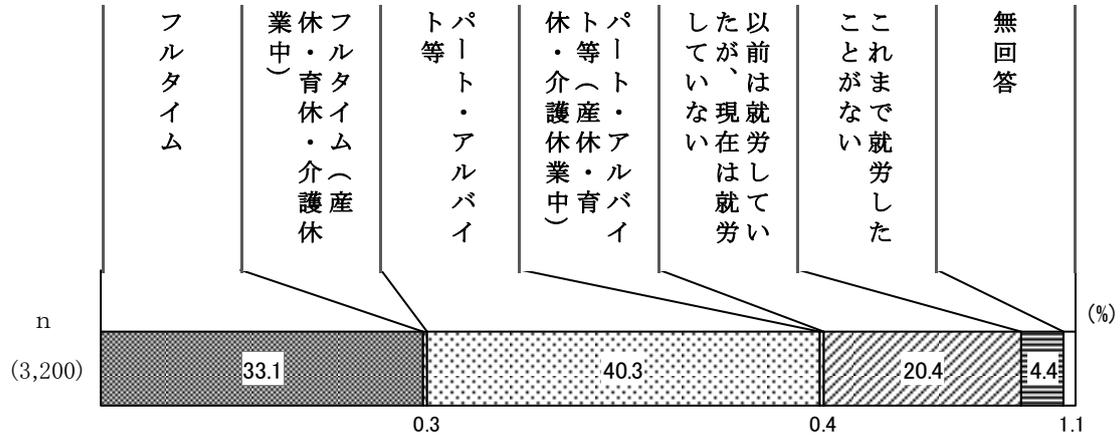


#### <父親>

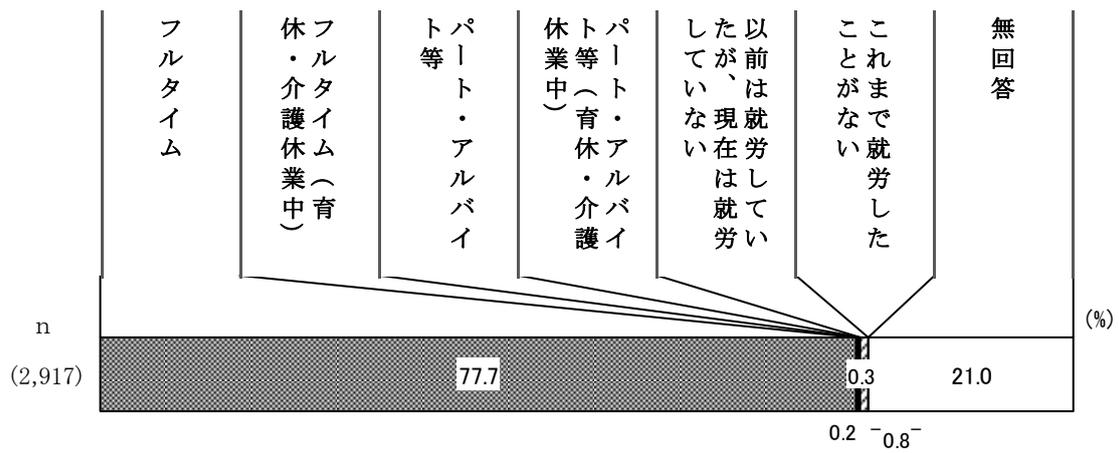


参考：平成 30 年度調査

<母親>



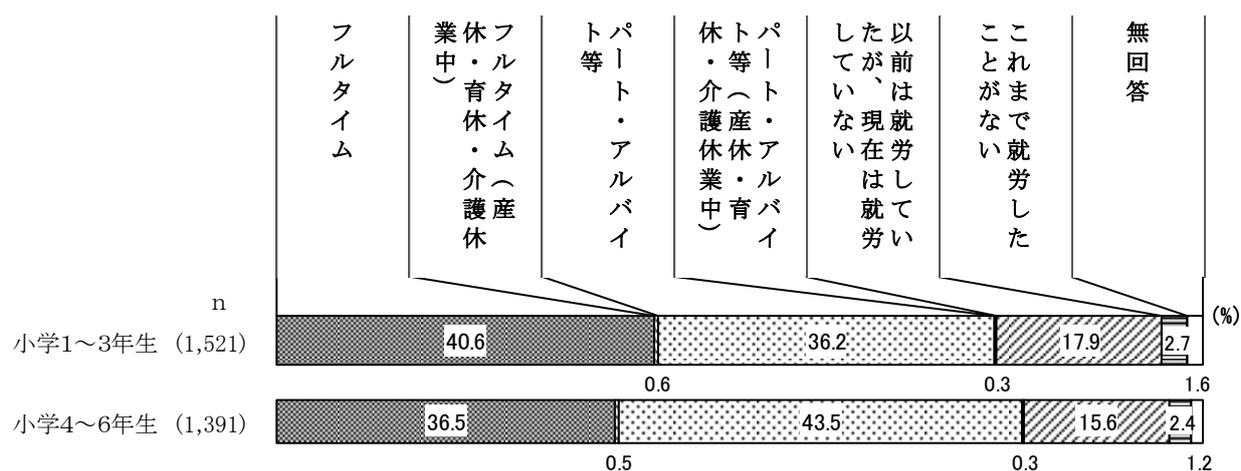
<父親>



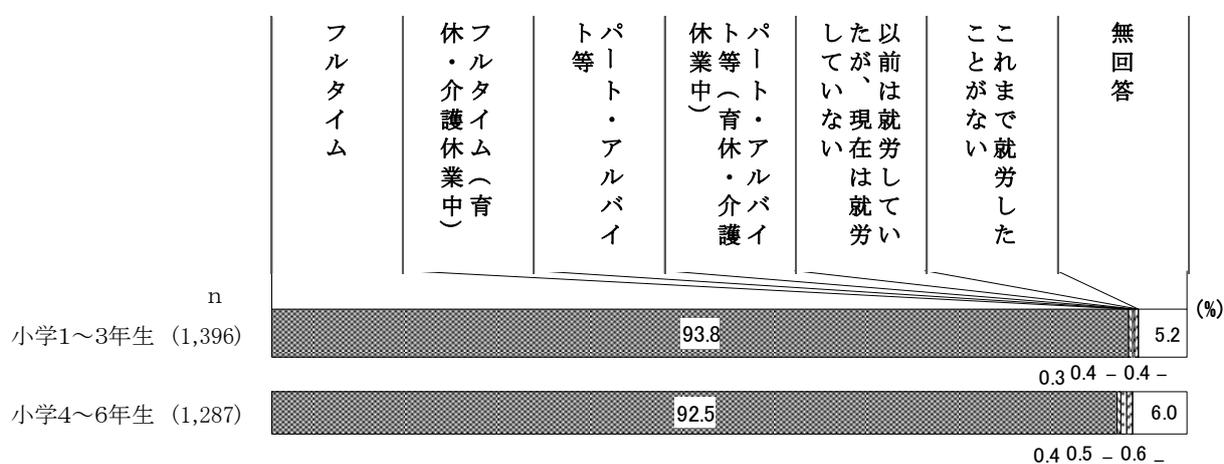
【学年別／就労状況】

- ▶ 学年別にみると、母親では、小学1～3年生の「フルタイム」は40.6%と小学4～6年生に比べ高いが、「パート・アルバイト等」は36.2%と低くなっている。
- ▶ 父親では、小学1～3年生、小学4～6年生ともに「フルタイム」が9割以上となっている。

<母親>



<父親>



## (2) 就労日数・時間及び出発時間・帰宅時間

▶父親の就労日数・時間及び出発時間・帰宅時間については、週当たりの平均就労日数が 5.25 日、週当たりの平均合計就労時間が 50 時間 23 分と母親に比べ長い。また、平均出発時間は 7 時 31 分と母親より早く、平均帰宅時間は 19 時 58 分と遅い。

※『8 (1) 就労状況』で「フルタイム」、「フルタイム（〔産休・〕育休・介護休業中）」、「パート・アルバイト等」、「パート・アルバイト等（〔産休・〕育休・介護休業中）」のいずれかに回答した方のみ

問 18(1)-1/問 18(2)-1 ①1 週当たりの就労日数と 1 日当たりの就労時間（残業時間を含む）、②家を出る時間と帰宅時間を、[ ]内に数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。）

### <母親>

	週当たりの平均就労日数	週当たりの平均合計就労時間	平均出発時間	平均帰宅時間
母親 (n=2,316)	4.60日	31時間28分	8時11分	17時11分

### <父親>

	週当たりの平均就労日数	週当たりの平均合計就労時間	平均出発時間	平均帰宅時間
父親 (n=2,528)	5.25日	50時間23分	7時31分	19時58分

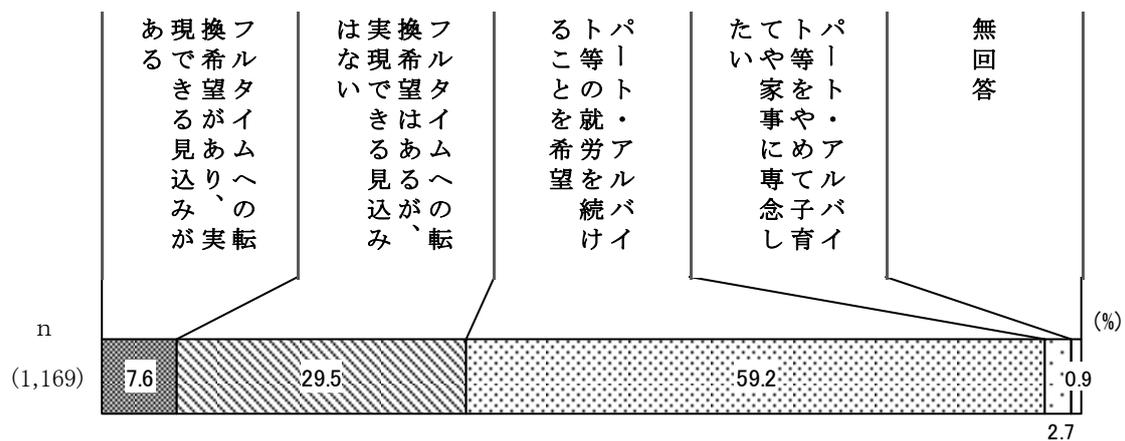
### （3）フルタイムへの転換希望

- ▶ 母親のフルタイムへの転換希望については、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた《フルタイムへの転換希望がある》が 37.1%であるのに対し、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は 59.2%となり、現在の就労状況の継続を希望する人が多い。
- ▶ 父親のフルタイムへの転換希望については回答数が少ない（12 件）ため、グラフを非掲載としている。

※『8（1）就労状況』で「パート・アルバイト等」または「パート・アルバイト等（〔産休・〕育休・介護休業中）」と回答した方のみ

問 18(1)-2/問 18(2)-2 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

<母親>



## (4) 就労希望

- ▶ 母親の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが■歳になった頃に就労したい」と「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」を合わせた《就労したい》が62.1%、「就労の予定はない」が36.4%となっている。
- ▶ 母親の就労を希望する末子の年齢については、「12歳以上」が50.8%と過半数を占めており、小学校卒業時期付近または卒業以降の回答が多くなっている。
- ▶ 父親の就労希望、就労を希望する時期の末子の年齢については回答数が少ない（就労希望：14件、末子の年齢：1件）ため、グラフを非掲載としている。

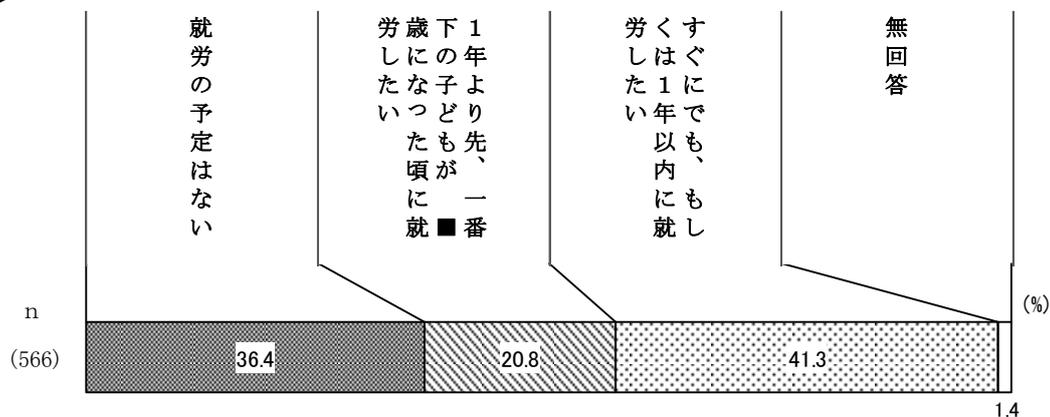
※『8(1) 就労状況』で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した方のみ

問 18(1)-3/問 18(2)-3 就労したいという希望はありますか。(○は1つ)

「2」を選択された方は[ ]内に数字もご記入ください。「3」を選択された方は、希望する就労形態について、「ア」または「イ」1つに○をつけ、「イ」に○をつけた場合には、[ ]内に数字もご記入ください。

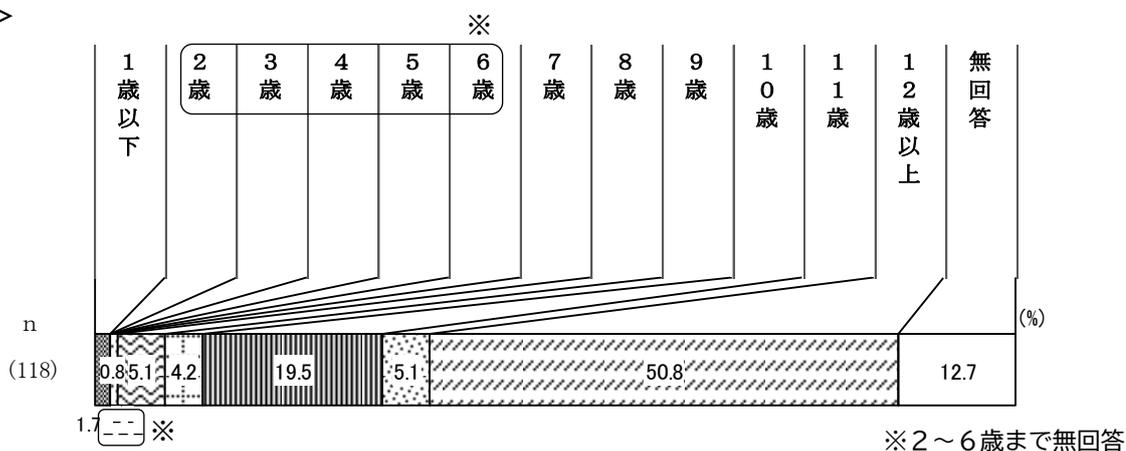
### 就労希望

<母親>



### 就労を希望する時期の末子の年齢

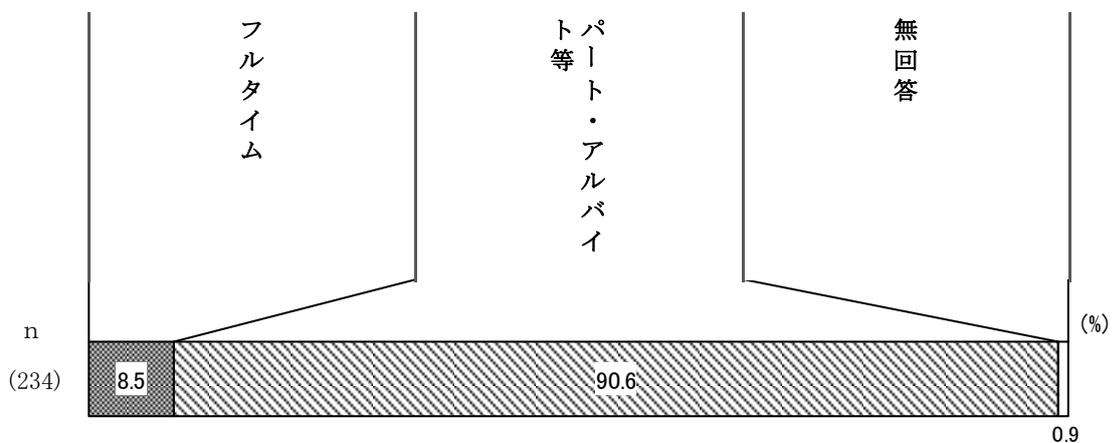
<母親>



- ▶母親の希望する就労形態については、「パート・アルバイト等」が90.6%と大多数を占めている。
- ▶母親の希望する就労条件については、週当たりの平均就労日数が3.52日、週当たりの平均合計就労時間が16時間32分となっている。
- ▶父親の希望する就労形態、就労条件については回答数が少ない（就労形態：8件、就労条件：3件）ため、グラフ等を非掲載としている。

### 希望する就労形態

<母親>



### 希望する就労条件

<母親>

	週当たりの 平均就労希望日数	週当たりの 平均合計就労希望時間
母親 (n=212)	3.52日	16時間32分

## 9 子育てに関する市への意見等について

(1)、(2)では、本市で取り組む各施策について、「施策の評価」、「今後注力すべき施策」のそれぞれの得点を算出し、分析を行った。

得点は-2点~+2点の間に分布し、0点が中間点、2点に近いほど評価・重要度が高く、逆に-2点に近いほど評価・重要度が低いことを表す。

### \*評価点及び重要度の算出方法\*

施策の評価及び今後注力すべき施策をそれぞれ5段階評価で聞いた。

また、選択肢ごとに以下の点数を付与し、その合計を回答数で除することで、加重平均にて得点を算出した。(得点の算出に当たっては、無回答は除外した)

#### 【施策の評価】

「評価する」：2点 「どちらかといえば評価する」：1点 「どちらかといえば評価しない」：-1点

「評価しない」：-2点 「わからない」：0点 「無回答」：点数の付与はしない

#### 【今後注力すべき施策】

「特にそう思う」：2点 「そう思う」：1点 「あまりそう思わない」：-1点

「そう思わない」：-2点 「どちらともいえない」：0点 「無回答」：点数の付与はしない

#### 【算出式】

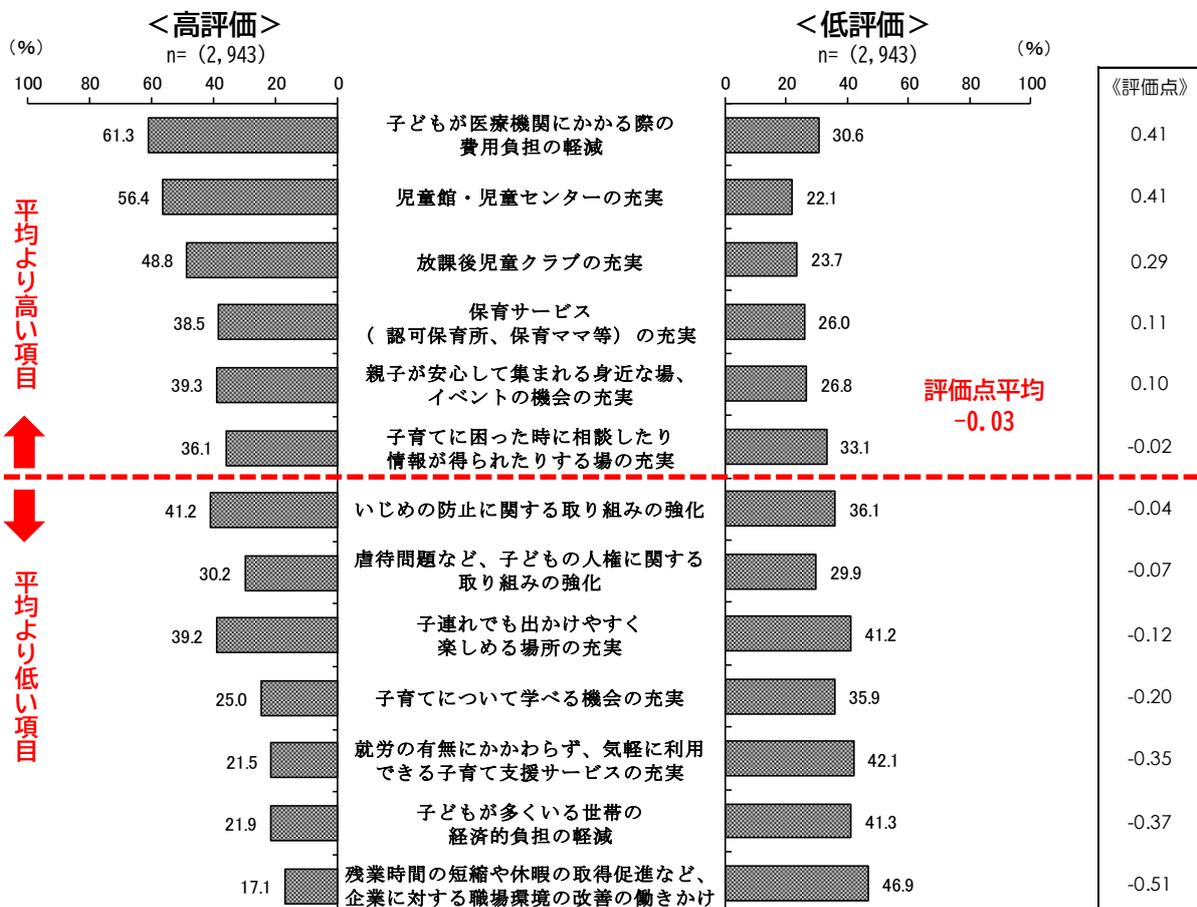
$$\frac{(\text{「評価する」} \times 2 \text{点}) + (\text{「どちらかといえば評価する」} \times 1 \text{点}) + (\text{「わからない」} \times 0 \text{点}) + (\text{「どちらかといえば評価しない」} \times -1 \text{点}) + (\text{「評価しない」} \times -2 \text{点})}{\text{調査数} - (\text{「無回答」の回答数})} = \text{評価点}$$

※重要度についても同様の算出式

（1）施策の評価（評価点）

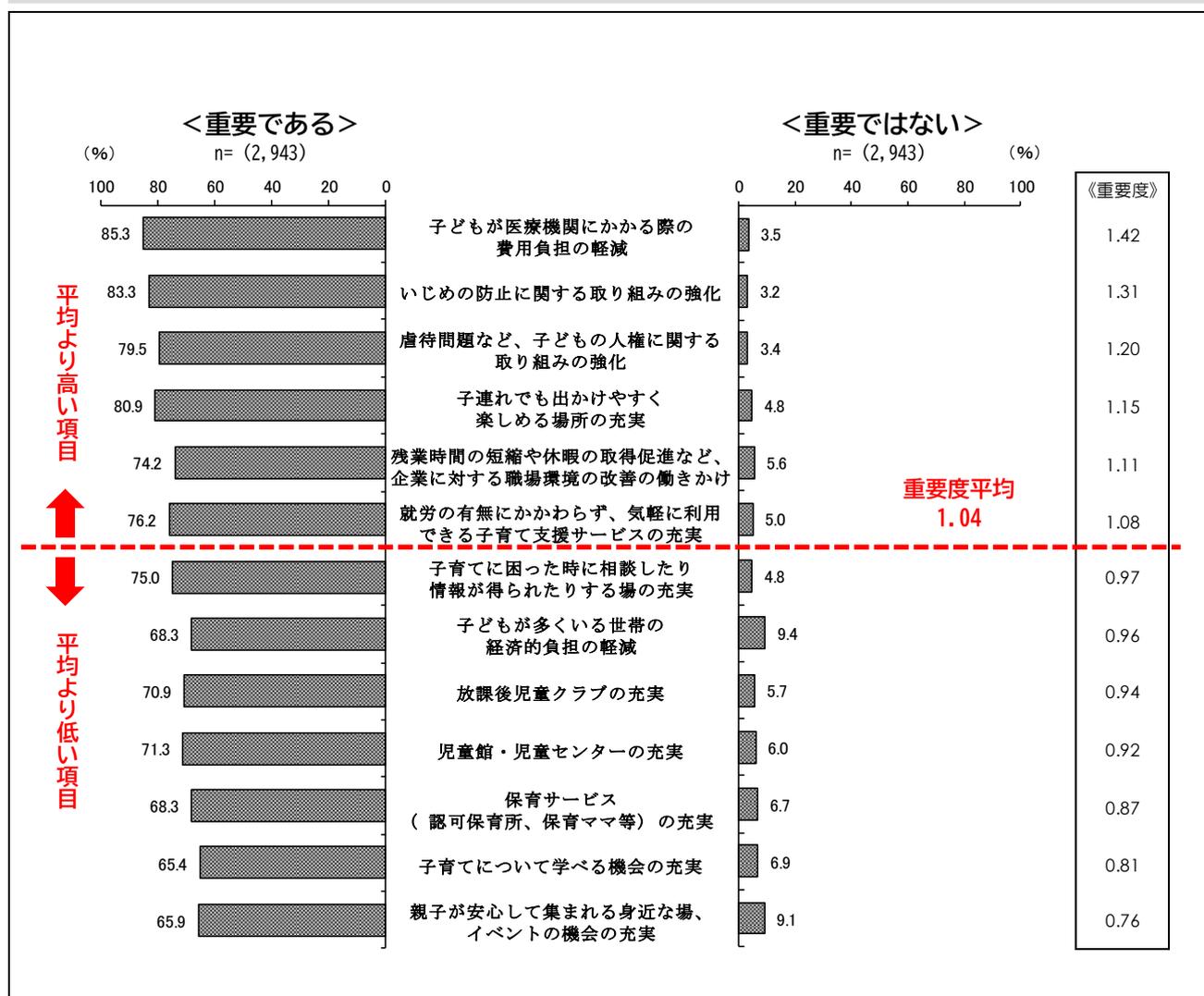
- ▶ 仙台市が行う子育て支援施策の評価について、評価点に加え、「評価する」と「どちらかといえば評価する」を合わせた《高評価》、「評価しない」と「どちらかといえば評価しない」を合わせた《低評価》の割合を算出した。
- ▶ 《高評価》の割合は「子どもが医療機関にかかる際の費用負担の軽減」（61.3%）、「児童館・児童センターの充実」（56.4%）で過半数と高く、《低評価》の割合は「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ」（46.9%）、「就労の有無にかかわらず、気軽に利用できる子育て支援サービスの充実」（42.1%）で4割以上となっている。
- ▶ 上記を踏まえた施策の評価点は「子どもが医療機関にかかる際の費用負担の軽減」と「児童館・児童センターの充実」（ともに 0.41）が最も高く、次いで「放課後児童クラブの充実」（0.29）と、子どもの医療費の助成制度や子どもたちの放課後の居場所に関する項目が評価されている。
- ▶ 一方、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ」（-0.51）、「就労の有無にかかわらず、気軽に利用できる子育て支援サービスの充実」（-0.35）などの子育て環境や支援の充実に関する項目や、「子どもが多くいる世帯の経済的負担の軽減」（-0.37）では、評価点が低くなっている。

問 19 あなたは、仙台市の子育て支援の充実に向けた以下の取り組みについて、どのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。  
次の1～13の取り組みの「①施策の評価」及び「②今後力を入れるべきか」について、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。



## (2) 今後注力すべき施策（重要度）

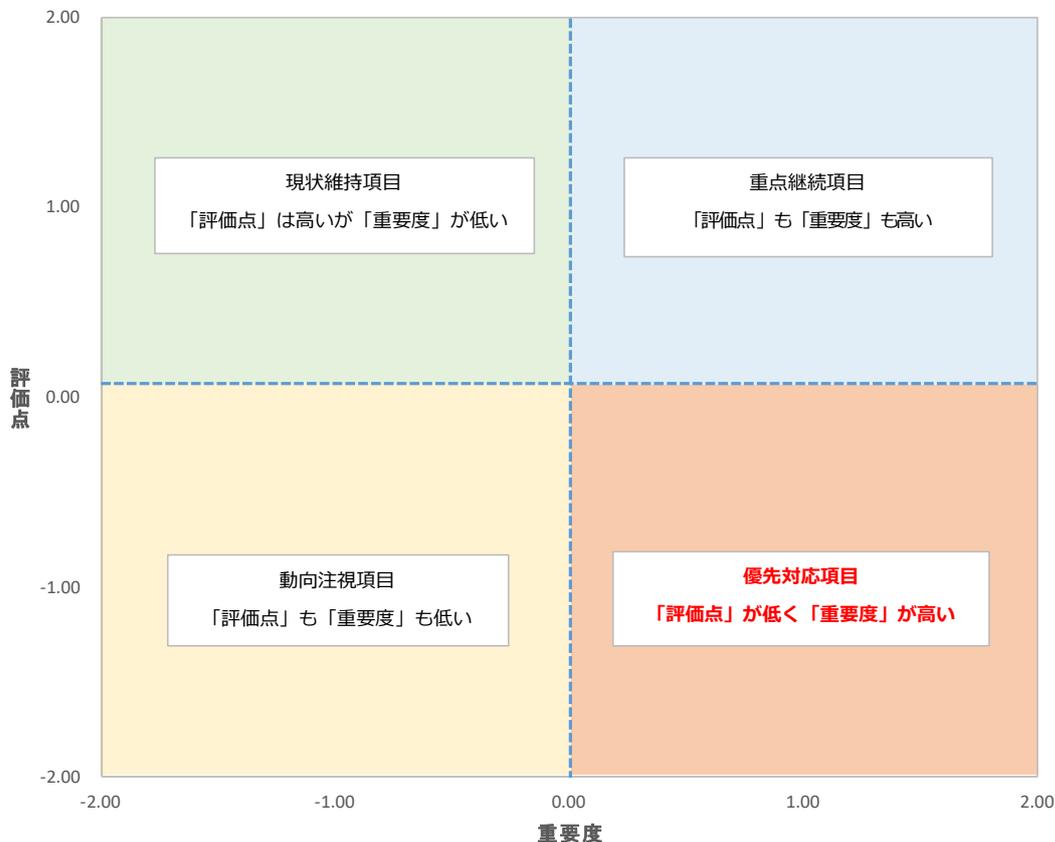
- ▶ 仙台市が今後注力すべき施策について、重要度に加え、「特にそう思う」と「そう思う」を合わせた《重要である》、「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた《重要ではない》の割合を算出した。
- ▶ 《重要である》の割合は「子どもが医療機関にかかる際の費用負担の軽減」（85.3%）が最も高く、次いで「いじめの防止に関する取り組みの強化」（83.3%）、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所の充実」（80.9%）となっている。《重要ではない》の割合はいずれの項目も1割未満と低い。
- ▶ 上記を踏まえた重要度は、「子どもが医療機関にかかる際の費用負担の軽減」（1.42）や「いじめの防止に関する取り組みの強化」（1.31）、「虐待問題など、子どもの人権に関する取り組みの強化」（1.20）が高い。
- ▶ 一方、「親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会の充実」（0.76）や「子育てについて学べる機会の充実」（0.81）などの重要度は比較的低くなっている。



### （3）評価点×重要度

本項では、前述の「評価点」、「重要度」をもとに、各施策における項目間の相対的な位置付けを整理するため、散布図を作成した。

「評価点」「重要度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値を示す。

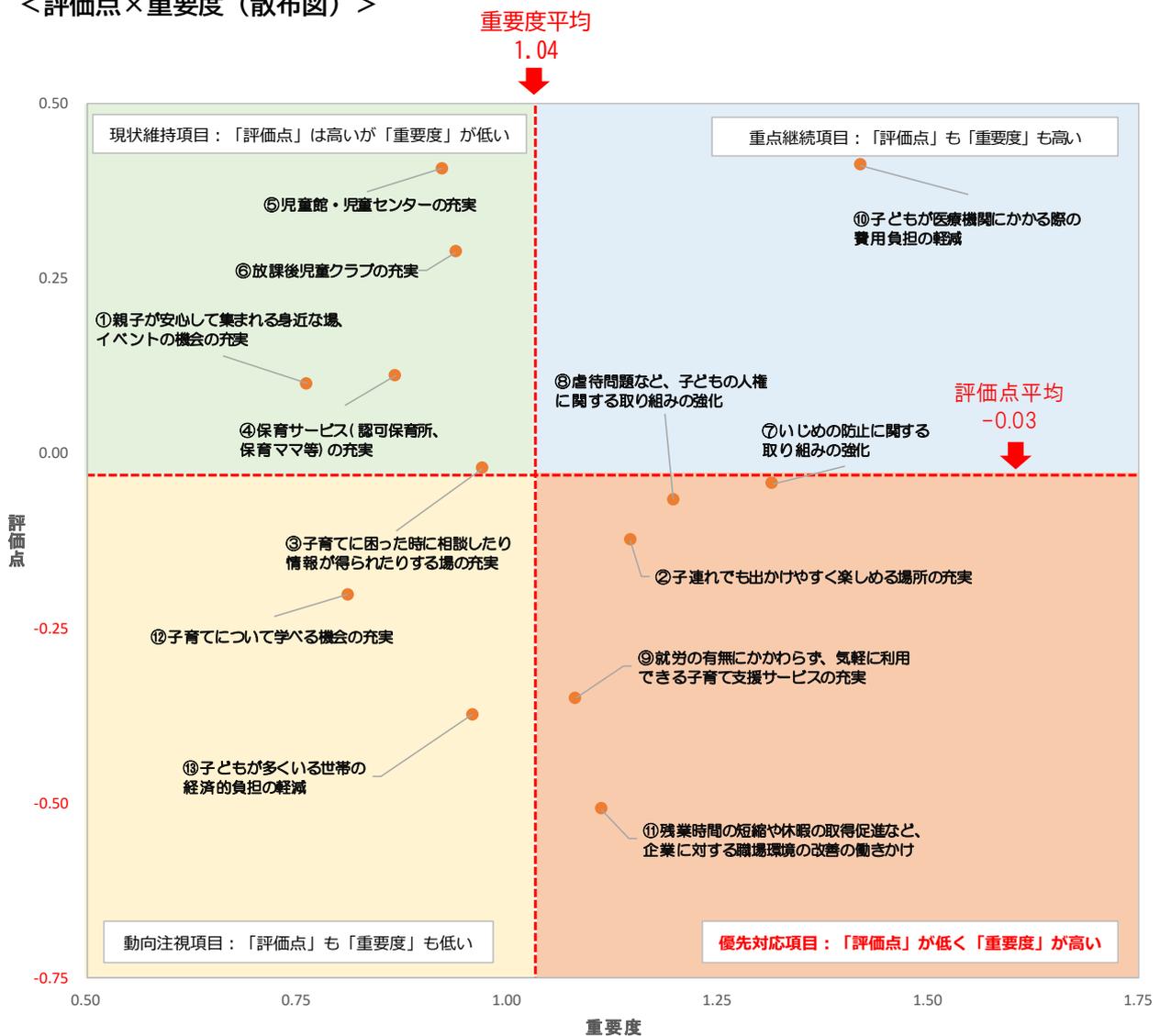


※上記のそれぞれの領域に該当した項目の評価や重要度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に評価点や重要度が高い／低いということを示す。

- 優先対応項目**：「評価点」が低く「重要度」が高い  
重要度が高い取り組みであるものの、評価が低いため、優先的な対応が必要とされる項目
- 重点継続項目**：「評価点」も「重要度」も高い  
重要度が高い取り組みであり、評価も高いため、重点的な対応の継続が必要とされる項目
- 現状維持項目**：「評価点」は高いが「重要度」が低い  
評価が高い取り組みであるものの、重要度は低いため、現状の対応の維持が必要とされる項目
- 動向注視項目**：「評価点」も「重要度」も低い  
評価は低い取り組みであるものの、重要度も低いため、市民ニーズの動向を注視しながら、状況に合わせた対応が必要とされる項目

▶前述の評価点と重要度をもとに作成した散布図をみると、重要度が高い取り組みに対し低い評価がなされている優先対応項目には、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所の充実」、「いじめの防止に関する取り組みの強化」「虐待問題など、子どもの人権に関する取り組みの強化」「就労の有無にかかわらず、気軽に利用できる子育て支援サービスの充実」、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境改善の働きかけ」が位置している。

<評価点×重要度（散布図）>



## （４）意見・要望

問 20 その他仙台市の子育て支援施策に関するご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

自由意見	件数
1. 幼児教育・保育について	51 件
① 保育所整備	3 件
② 幼稚園・保育施設等	1 件
③ 保育制度	9 件
④ 保育所一時預かり	2 件
⑤ 病児保育	7 件
⑥ 仙台すくすくサポート	11 件
⑦ のびすく	10 件
⑧ 利用施設内一時預かり	4 件
⑨ 幼児教育・保育の無償化	1 件
⑩ その他	3 件
2. 放課後児童について	149 件
① 児童館・放課後児童クラブ	114 件
② 一時預かり	8 件
③ 放課後子ども教室	5 件
④ その他	22 件
3. 労働環境について	81 件
① 保護者の労働環境	46 件
② 施設従事者の労働環境	34 件
③ その他	1 件
4. 生活環境について	188 件
① 子どもの遊び場（公園や屋内施設）	164 件
② 居住環境	4 件
③ 公共施設（図書館など）・交通	7 件
④ その他	13 件
5. 経済的負担について	306 件
① 子育て家庭への負担軽減	217 件
② 妊娠・出産にかかる負担軽減	3 件
③ 保育料の軽減	1 件
④ 各種支援等の平等化（不公平感の解消）	78 件
⑤ その他	7 件

6. 保健・医療について	153 件
① 保健・医療全般	136 件
② その他	17 件
7. 子育て支援について	272 件
① 子育て支援全般	137 件
② 集まりの場・イベント・講座等	26 件
③ 保護者教育・両親教室等	4 件
④ 育児相談	38 件
⑤ 子育て情報	55 件
⑥ その他	12 件
8. 行政全般・計画づくりについて	74 件
① 行政の施策・計画づくり	26 件
② 行政手続き	9 件
③ 窓口対応	12 件
④ その他	27 件
9. その他	231 件
① 地域社会	18 件
② 学校教育	30 件
③ 社会の仕組み	2 件
④ 子どもの権利	2 件
⑤ 支援を要する子ども	56 件
⑥ いじめ・不登校	67 件
⑦ その他	56 件

## 【自由意見（一部抜粋）】

## 1. 幼児教育・保育について

## ① 保育所整備

○若林区の保育施設や放課後支援施設が少ないため、選択肢が限られているように感じる。安心して遊べる屋内の大型遊び場を作ってほしい。

## ② 幼稚園・保育施設等

○保育施設の質の向上は必要と思う。学校に入学してから、集団生活が難しい子どもが多すぎる。就学前の保育が不十分なのか、子どもの状態を学校側に伝えきれていないのかグレーゾーンの子どものために、クラス全体が迷惑を被る状況が見られている。学校の教育方法や運営に関しても、施設によりだいぶ異なっており、納得いかない部分も多々ある。

## ③ 保育制度

○土日の保育園かそれに準じたサービスの拡充。子どもが小さい頃、保育園が日曜日は休みなので土日のシフト勤務ができず、それだけで正社員からパートにならざるを得なかった。仕事内容は変わらないのに収入が激減し、経済的に大変だった。

## ④ 保育所一時預かり

○未就園の頃、子どもを預けたくても一時保育を断られることが多かったです。幸い義実家が近いこともあり、祖母に預かってもらうことができていたので助かりましたが、家族の協力を得られずに子育てしている方がもっと利用しやすくなればいいかなと思います。（数年も前なので今は改善されているかもしれませんが）小学生になった今は、放課後子ども教室に力を入れて欲しいです。うちの小学校でもやっているのですが、お勉強系なので親としてはぜひ行って欲しい内容ですが、子どもが嫌がっています。

## ⑤ 病児保育

○病児・病後児保育は小学生でも利用できることを知りませんでした。家の近くに行っている施設がなかったので、今後施設が増えるといいと思いました。子どもの体調不良時、預け先がなく困ることがあります。

## ⑥ 仙台すくすくサポート

○仙台すくすくサポートの利用が中学生まで広げてほしい。塾、習い事の送迎をお願いできたらよいと思う。

○赤ちゃんの時にすくすくサポートを何回か利用させていただきました。とても助かりました。

## ⑦ のびすく

○もう六年生なので。幼稚園の時までは、のびすくや児童館の幼児教室に本当にお世話になりました。幼児教室皆勤賞でした。図書館の読み聞かせなどのイベントもいつも参加していましたし、楽しい時間を過ごせました。感謝しております。

## ⑧ 利用施設内一時預かり

○子どもも小学6年生になり、あまり手がかからなくなりましたが、まだ小さかった頃は、のびすくや、一時預かり等お世話になりました。あまり回数は多くなかったですが、本当に困った時に利用していたので、本当に助かりました。今、困っているお母さん達が、より利用しやすくなって、子育てが少しでも楽になるよう、より利用することのハードルが低くなると良いと思います。(料金や預り人数の枠など)

## ⑨ 幼児教育・保育の無償化

○国政が的外れなバラマキを何度かしていますが、収入に関係なくすべての子どもに平等に支援する方法は給食費無料化です。ぜひ市政で子育て支援をお願いします。また、児童館が実質高学年向きでないことも気になります。低学年優先で、3年生になると居場所がなく我が家は仕方なくやめました。

## 2. 放課後児童について

### ① 児童館・放課後児童クラブ

○小学校低学年までは良いですが、それ以上の大きな子ども達が放課後に安心して過ごせる場所が少ないと感じています。公園や雨の日に遊べる室内施設(児童館はすでに人でいっぱいのため)があると嬉しいと思います。また夏休みなど長期休みのみ預かりを利用したかった事もありますが、預け先が見つからず大変でした。こういった施設が充実してくれるとありがたいと思います。

○放課後児童クラブの質が場所によって異なる。子ども達が行きたくなるような雰囲気づくりを心がけてほしい。学区内の児童クラブは1つの部屋に多くの子ども達がぎゅうぎゅうになって場所を探しており、何もできない。サテライトをいくつか設けるなど、早急に対策して頂きたい。

### ② 一時預かり

○母子家庭の母親が就労している場合、子どもの急な病気や土日出勤などに対応して頂ける保育サービスが非常に少ないと感じます。配偶者も頼れる両親もいない場合でも安心して就労できる環境を作ってほしいです。

### ③ 放課後子ども教室

○放課後子ども教室の受け入れ人数を増やしてほしい。

○子育て支援ショートステイや放課後子ども教室のサービスがあるのを知りませんでした。放課後子ども教室は子どもが通っている小学校では行っていないようでしたが、今後開設する小学校が増えるといいと思いました。

### 3. 労働環境について

#### ① 保護者の労働環境

○子育てのための時短勤務制度の充実と期間延長への働きかけ。会社の制度上、16時には仕事を終わりに帰りたいのに17時まで勤務しないといけない時短勤務制度。時短勤務制度利用者がいる会社への補助制度。

○フルタイム勤務のため帰宅後の家事に追われ、子どもの話を聞いていない状況が続いています。男性の長時間勤務が緩和されなければ状況が良くなることはないと思うので、職場での勤務体制の改善を望みます。また小学校入学当初、地域の児童クラブを利用していました。児童に対するスタッフ数が少なくトラブルにも目が届かないこと、一人遊び時間が多く放置されている印象を受けたことなどが理由で、途中から民間の学童保育に変えました。多少お金を支払ってでも放課後に安心して預けられる児童館が必要だと思いました。

#### ② 施設従事者の労働環境

○我が家は両親が共働きで、子ども達は3人とも0歳から認可保育所に入り、就学後は3年生まで放課後児童クラブにお世話になり、安心して仕事を続けることができました。集団の中で子ども達が大人に見守られながら安心して遊びを楽しみ、成長することができたと思っています。おかげさまで第一子は大学生になり、逞しく育っています。保育士や児童館の職員の方々の処遇改善をしていただき、子どもたちのために人材を確保していただけると有難いです。また、子ども達の健全な育成のために、公園や児童館など、安心して楽しく遊べる遊び場を充実させていただけると有難いです。

### 4. 生活環境について

#### ① 子どもの遊び場（公園や屋内施設）

○放課後、子どもたちが気軽に安心して遊べる公園などが無い。近くに公園が無い訳ではないが、遊んでいるだけで、うるさいと怒る大人がいて可哀想になります。子どもの体力低下にもつながることなので、子どもたちが伸び伸びできる機会を作ってほしい。

○こどもが自由にのびのびと遊べる場所が減っていると思う。大規模なイベントでなくていいので、自然に気の向くままに遊べる場所を増やしてほしい。「ここではこんなことをして遊べるよ！」みたいな遊び場の紹介とか。

○宮城県は子ども達を遊びに連れて行ける楽しい施設があまりない。もっとアクティビティに力を入れて欲しい。外遊びもですが、特に天気が悪い時本当に困ります。大きなレジャー施設など作って欲しいです。

○無料で遊べる施設が、他県に比べて圧倒的に少ないです。また、自転車の練習ができる公園もなかなか乗れる機会がありません。公園の駐車場も有料だったりするので行くのをためらいます。気軽に遊びに行ける、自転車やスケボーに乗れる、ボール遊びができる、そのような施設を増やしてほしいです。もちろん無料で。

## ② 居住環境

○近年、不審者情報が多発しています。「警察にパトロールの強化をお願いしています」と小学校から連絡が入りますが、パトロールが確かに強化されていると感じるのは、実際に被害が出た後だけです。子どもが安心して外出できる環境作りをお願いいたします。

## ③ 公共施設（図書館など）・交通

○交通料金（バス・地下鉄）中学生まで子ども料金にしてほしい。家の前の道路が信号がずっとないので車の抜け道でスピードを出している車が多いが、通学路など、小さい子が多いのでヒヤヒヤする。中学校の通学距離が1 kmを超える場合、自転車通学を許可してほしい。

## 5. 経済的負担について

### ① 子育て家庭への負担軽減

○子どもを育てるにあたって経済的不安が多すぎる。仕事をしようとしても、学校や町内会、子ども会の負担が昔のままで共働き世帯仕様になっておらず、親の負担や子どもの負担が多くなるばかり。よく第三子から無料だったりお金の支援が多くなっていたりするが、第二子がいる時点で経済的に厳しいと判断して産まない人もいますので、まずは子育てするにあたって何人でも不安がないように政策してほしい。

○我が家は、3人子どもがいますが、子育て支援政策としては、仙台市は、子育てしにくい街だと感じます。特に、何でも値上げの世の中なので、支援していただかないと、少子化はどんどん加速します。実際、大変です。もっと、子どもを産みたいという気持ちにさせるような迅速な対策をお願いします。

### ② 妊娠・出産にかかる負担軽減

○子育ては出産の時だけではなくその後の方が時間も経済的負担も大きいものです。少子化だからといって出産時に助成を増やすのではなく、継続的に出費を減らすことのできる社会にして欲しいです。また収入による助成制度の制限はもってのほかと感じる。収入が多くても子どもの数が多ければそれに伴って支出も増えるのである。3人目以降は支出がかからないようにすれば少子化を改善するきっかけになると思います。

### ③ 保育料の軽減

○上の子（20歳）の子どものおときと比べると、今はとても良い環境になっており、感謝しております。ただ、歳が離れていると、保育料などの支援がなくなったりしてしまい、残念でした。

## ④ 各種支援等の平等化（不公平感の解消）

○子育てするのにお金がかかるから給付をもっと増やして欲しい。低所得世帯にしか恩恵が無いのはおかしい。働いてる世帯にこそもっと手厚い補償、給付をすべき。何のために働いているのか、それは生活しなければいけないから。低所得世帯よりも収入があるのは生活しなければいけないから頑張ってるだけであってそこに給付が無いのはほんとに不公平。頑張っている世帯にこそ手厚くすべき。

## 6. 保健・医療について

## ① 保健・医療全般

○今、医療費負担は中学卒業までですが、高校卒業までに延長して頂けると家計的にはとてもありがたいです。

○医療費助成、成人するまで続けて欲しい。任意などの予防接種も多くあります。任意でなくなればと思います。HPV ワクチン接種、女子だけじゃなく男子も無料で接種するべきと思います。他県では男子も対象のところもあり仙台市も実施して欲しい。学校で行われる内科検診の必要性が分かりません。思春期の女の子が男性の医者に見せる行為は本人にとってかなりの負担です。本人の意思と関係なく看護師が後ろから下着を首もとまでめくり上げるそうです。胸を完全に露出しなくても聴診器は当てられるはず。そんな事を毎年されるから学校行きたくないと言います。それを知ながらも受けさせないといけない、親心が痛み非常につらいです。かわいそうすぎます。一刻も早く女性の医者や、希望する医療機関で受診できるよう変えて下さい。強く要求します。

## 7. 子育て支援について

## ① 子育て支援全般

○子どもが生まれてからもずっとフルタイムで働いております。保育園、幼稚園（預り保育・1年間のみ）小学校では学童と大変お世話になっております。なるべく、子どもが1人でもすごせるような安全な街づくりを希望します。幼い子どもへの性被害がなくなるように防犯強化お願いしたいです。防犯カメラや施設警備など。又、給食の無償化もお願いします。

○多胎育児の支援充実を希望します。家事のサポートサービスのような支援を受けたことがあります。サポート期間が長かったらもっと利用したかったです。育児は、孤独になりがちなので話し相手（相談相手）がいるだけでだいぶ心が楽になります。特に、初めての出産で多胎育児だと何をどうしたらよいか分からず、悩むことが多かったので、相談やアドバイスをしてくれるとありがたいです。

## ② 集まりの場・イベント・講座等

○イベントの充実は大いに賛成ですが、子どもを連れて行くのにお金がかからない取り組みもセットだと嬉しいです。入場料無料、ランチ券つき、映画無料&ジュースポップコーンつきなど。子どもを連れて出かけたいたいです。家族みんなで外食になるとそれだけ出費がかさみます。また、普段から仕事に家事に育児に奮闘しているお母さんができるだけ、出かける際にも負担の少ないイベントだと嬉しいです。

### ③ 保護者教育・両親教室等

○何でも効率化、デジタル化と、一見、環境が良くなっている一方で、能力的に、衰えたり、できなくなった事も増えている気がする。子育ては、100人いたら100通り。親も色々な価値観を持っている人が子どもを育てるが、親自身が、学ぶ事、食育の自活ができる場を持つ事が子育てによい影響を与えるのではないかと思います。子どもだけではなく、親への教育に力を入れた方が良いと感じる。

### ④ 育児相談

○未就学時は色々な情報を得る機会があったが、小学生になると少ない気がします。得たい情報も多様です。相談は、こちら側からはコンタクトしづらい。定期的に「悩んでいることありませんか」などと聞いてもらえたら、話しやすいかと思います。

○第一子を育てる時の不安がとても大きかったので、第一子を授かった時から誰かに相談できて子育てを一貫してサポートしてくれる取り組みがあると良いです。母子手帳交付とともに定期的に集まれる義務的なものがあると、良かったなと、今になって思います。

### ⑤ 子育て情報

○グレーゾーンの子どもに対しての取り組みがされているのかわからないところがあります。学習障害やこだわりで学校に行けない子の学習支援について、学校の先生だけに負担してもらうには難しい場合、どこに相談すると良いのかわかりません。家庭教師や習い事なども、そのような子どもに対応できる方を探すことで疲れてしまいます。家庭の生活に沿った支援と情報が欲しいと考えています。

## 8. 行政全般・計画づくりについて

### ① 行政の施策・計画づくり

○近年の子育て施策は柔軟に対応して頂けるようになったと思います。多くの方が、ルールを守っているとは思いますが、子育て中は予期しない行動（泣きやまない等）もあるのでそのようなキャンペーン等、啓発が必要かと思う次第です。

○仙台市のこども若者局という部署があることを今回のアンケートが届いて、初めて知りました。どういうことをやっているのかわかりませんが、今後、このアンケートの回答をもとによりよい子育てができるように望みます。アンケートをして、回答を公表して終わり、ということだけはしないでほしいと思いました。

### ② 行政手続き

○母子家庭です。特別扶養手当の申請が平日だと仕事を休まなければならない、困っています。学校行事、子どもの体調不良で有給使っているので申請に行けません。郵送だけで済むと楽です。

### ③ 窓口対応

○教育委員会と連携している窓口が欲しい。親が入院した時、頼れる人が誰もいないなど、どうしたら良いか全くわからない。子育てに関して何でも受付できる第一段階の窓口が欲しい。

## 9. その他

### ① 地域社会

○子ども達が生き生き生活できるような、まちづくりを応援しています。

○学校行事や PTA 行事、こども会や町内会の行事が多すぎる。金銭的、時間的負担があり、家族で過ごす時間が減ってしまう事もある。各家庭が様々な選択肢から希望することを選べるような子育て支援をして欲しい。

### ② 学校教育

○子どもを対象にした防犯教室を学校や児童クラブと連携して実施してほしい。特に SNS 対策などのメディアリテラシーも含めたものを検討してほしい。

### ③ 社会の仕組み

○低所得者や生活保護世帯への助成が充実している一方で、稼げば稼ぐほど援助はなく子どもと過ごす時間も無くなると感じます。社会制度全体を見直すべきだと思います。

### ④ 子どもの権利

○子どもたちが平等に学ぶ環境づくりをするべき。（普通学級、支援学級）

### ⑤ 支援を要する子ども

○障害のある子どもに対してもっと手厚くしてほしい。あまりにも施設等あずけられる保育所や放課後デイサービスなどが少なすぎる。保育所も入所資格や規則がきびしく、そのわりに入所できる人数等がとても少ない。もちろん情報の提供もわずかしかなく自力で集めているのが現状。いろいろと情報をくれるのは同じ子をもつ先輩母親のサークル。仙台市からもらったことはほぼない。相談窓口もアーチルが2ヶ所・相談に4ヶ月待ちとかおかしすぎる。仙台市の人数に対してあまりにも少なくあふれてあたりまえの現状を早急に対応するべきと思います。

### ⑥ いじめ・不登校

○不登校の子ども達で希望者には学習支援を行って欲しい。学校の先生方は多忙なので、リタイヤされた元教師の方などのお力をお借りできたら良いと思う。